

建築工事特記仕様書

I 工事概要
1. 工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事
2. 工事場所 津市 美里町三郷 地内
3. 敷地概要 敷地面積 : 3079.98 m²
4. 敷地概要 建物用途 : プール及びプール付属棟
工事の種別 : 新築
構造 : 鉄筋コンクリート造 平家建
建築面積 : 128.85 m²
床面積 : 1階床面積 122.85 m²
II 建築工事仕様
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。
2. 本特記仕様書における採用事項
① 項目欄は番号等に○ 印を付したものを適用する。
② 項目欄に○ 印を付し特記事項欄に○ 印を付していない場合は標準仕様書による。
③ 特記事項は○ 印を付したものを適用する。但し○ 印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。
○ 印と※ 印を付した場合は共に適用する。
特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。
使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 平成25年版
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 平成25年版
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築解体工事共通仕様書 平成24年版
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図 平成22年版
・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課)
・津市公共建築物等木材利用方針
4. その他事項
・特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
・特記事項に記載の[. . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目 特記事項
1 ① 適用基準
・本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。
建築工事標準詳細図(平成22年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
② 施工条件
施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。
※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出は、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ プール及びプール付属棟新築工事の現場着手については、先行の造成工事があるため、1.0月1日以降からとする。
※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ プールの引渡しにおいては、W. L.まで水を張った状態で引渡しとすること。
※ 側溝、枳等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
※ 工事着手前には、現況状況把握のために破損箇所等があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
※ 本工事は、分離発注(本工事のほか、機械設備工事)形式となるため、施工にあたっては、工事の円滑な運営を図り、受注者間相互協力のもとに本施設の完成を目指すこと。
※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

1 一般共通事項
4 化学物質の濃度判定
⑤ 環境への配慮
⑥ 発生材の処理等(1.3.8)
7 建設副産物情報交換システムの利用
⑧ 三重県産業廃棄物税

測定物質(○で示したものとす。)
適用施設用途
ホルム アルデヒド
トルエン
キシレン
エチル ベンゼン
スチレン
パラジクロロ ベンゼン
対象箇所(※ 図示)
測定方法(※ パッシブ法 ・ アクティブ法)
報告書提出部数 2部
(1.4.1)[1.4.1]
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル、ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキサンを含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三种」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三种ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三种ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件よりも難い場合は、監督員と協議するものとする。
分別解体等の方法
工程 作業の有無 分別解体の方法
造成等 ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
基礎・基礎ぐい ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
上部構造部分・外装 ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
屋根 ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
建築設備・内装等 ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
その他() ・有 ・無 ・手作業
・手作業と機械作業の併用
・ 引き渡しを要するもの ※なし
・ 石綿含有産業廃棄物 ※有()
・ アスベスト成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2. 可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
3. 飛散されにくい様にする。
4. 保護員及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
① 再資源化を図るもの
・ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ・ 建設発生木材
・ 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。
② 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進綱要」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D、E類の各写しを提出すること。)
・ 受注者は受注時において工事着手前に「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。
また、工事完了後にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行い、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出すること。
※ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。
また、産業廃棄物処理累計表(マニフェストの数量の累計)を超えて請求することはできない。
⑦ 既存部分への処置(1.3.12)
⑧ 事故報告
⑨ 不当介入を受けた場合の措置
⑩ 消防提出書類

⑨ 材料の品質等(1.4.2)[1.4.2]
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料
・ 鉄骨柱下無収縮モルタル ・ 無収縮グラウト材 ・ 乾式保護材(防水立上り)
・ 既成調合モルタル(外(体)工用) ・ 既成調合目地材 ○ルーフトドレイン ・ 吸水調整材(むらむら) ○錠前類 ○クローザ類 ・ 自動扉機構 ・ 自閉式上り引リ機構(手動開き式) ・ 重量シャッター
○軽量シャッター ・ オーバーヘッドドア ○防水剤 ・ 現場発泡断熱材 フリーアクセスフロア ・ 可動間仕切り ・ 移動間仕切り(アタックドア)
○トイレプース ・ 煙突成形ライニング材 ○天井点検口 ○床点検口
○グレーチング ・ 屋上緑化システム ・ トフプライト ・ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントモルタル ・ 鋼鉄製ふた
⑩ 建築材料等
※ 本工事に使用する建築材料等は別記載規格によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿及び別記載の資材及び見識りメーカー(参考)又はこれらと同等とする。品質が求められる水準以上であれば県内生産品の優先使用に努めること。
また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろむのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく環境配慮を行うこと。
※ 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が少ないものとする。
保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が少ないものとする。
接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキサンを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が少ないものとする。
塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が少ないものとする。
これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が少ないものとする。
11 施工調査
※施工計画調査
本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。
報告書 監督職員に2部提出
立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付
調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする
・埋設配管の試験
範囲、復旧方法 ※図示
※ 公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規格に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
※ 工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備に付いた撮影する。
提出部数 1部 用紙はA3用紙とする。
※ 作成する(※ 完成図 A2(2部) ・ 保全に関する資料)
※ 完成図作図範囲(設計図を修正)
完成図はCADにより作成し、著作権にかかわる使用権は発注者に移譲するものとする。
※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観3面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・着工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。
・ アルバム1部
(大きさ335mm×290mm程度、カラー)
工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来ならぬ補修する。
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
※暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について
(1)受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
(2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。
発注者への報告は文書で行うこと。
(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
消防の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。
防火対象物使用開始届については書類の作成(建築図面の用意及び建築に関する部分の記述)を行うこと。

2 仮設工事
① 足場その他(2.2.4)
内部足場の種別: ※脚立 ・ 足場板 ・ ロックンクワ ・ 枠組棚足場(手摺先行工法)、階段足場
外部足場の種別: ※A種(手摺先行据置型) ・ B種(手摺先行据置型) ・ C種 ・ D種 ・ E種
保護シート等の設置: ※設置する(・ 防音シート ※メッシュ) ・ 防音パネル) ・ 設置しない
材料等の運搬方法: ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
○「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり据置方式により行う。
② 既存部分の養生(3.1)
既存部分養生材料: ・ ビニールシート ※その他: 施工者にて選材適所を選択する
既存作業養生材料: ・ ビニールシート ・ その他: 施工者にて選材適所を選択する
既存ブラインド、カーテンの養生方法:
・ 指定場所に保管し再設置 ・ 指定場所に保管し清掃の上再設置
③ 仮設間仕切り(3.2)
仮設間仕切り: ・ 無し ※有り
設置箇所: ※図示 ・
種別: ※A種 ・ B種 ・ C種
仮設扉: ・ 不要 ※必要【設置箇所: ※図示 ・ 任意の場所 ・
】
仮設扉の種別: ・ 鋼製 ・ 木製 ・ 図示 ※7&8製
④ 仮設物(2.3.1)
監督員事務所の設置: ・ 不要 ○必要
構造: ※鉛直造 ・ その他:
規模: ・ 30m内外 ・ 20m内外 ※10m内外 ・ その他:
備品: ※机、椅子
・ その他: ・ 書棚 ・ 図架 ・ 定規 ・ 黒板又は白板 ・ 温湿度計 ・ 圧力鍋 ・ ガス
・ 安全帽(兼客用共) ・ 水平 ・ 垂直器 ・ 印か
設備: ※電灯 ・ 給排水 ※空調換気 ・ 給湯 ・ 通信 ・ 消火器 ・ 冷蔵庫
・ その他:
⑤ 工事用水及び電力(2.3.4)
⑥ 仮設便所
⑦ 交通誘導員
3 土工事
① 埋戻し及び盛土
種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種
② 建設発生土の処理
○構外自由処分
・ 搬入まさ土(砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締めるとする)
・ 現場説明書による ・ 構外搬出処分処理 ・ 構内指定場所堆積 ・ 構内指定場所敷出し
・ 他現場に搬入() ・ 指定処分地()
4 地業工事
① 支持地盤(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4~4.3.5)(4.5.4~4.5.5)
・ 杭基礎 (4.3.4~4.3.5)(4.5.4~4.5.5)
支持地盤の位置及び種別(基礎ぐい先の先端位置含む)
・ 図示による() ・ 直接基礎
支持地盤の位置及び種別(基礎底盤の位置含む)
○図示による(お-リ)柱状図
試験掘り(根切り底の状態の確認等) (3.2.1)
・ 行わない ・ 行う
・ 位置等 ・ 図示による()
・ 地盤の載荷試験(4.2.4)
試験の位置、方法等
・ 図示による()
種類等(4.3.2) (4.2.2)(4.3.1~4.3.7)(7.2.5)
・ 連心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・ 外装鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490
寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.2~4.3.3)
試験杭
上杭 中杭 下杭
本杭 上杭 中杭 下杭
杭先端部形状(4.3.2)
・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形
施工方法(4.3.1)
・ 打込み工法(・ 油圧ハンマー ・ ディーゼルハンマー ・) (4.2.2)(4.3.3)
プレローリングの併用
・ 行わない ・ 行う
掘削深さ及び径 ・ 図示による()
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下
杭の傾斜 ・ 1/100以内
試験杭(4.2.2)(4.3.3)
試験杭の位置 ・ 図示による()
打込杭の推定支持力の算定方法
・ 図示による()
・ セメントミルク工法(4.2.2)(4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.5m程度
杭の支持地盤への侵入深さ ・ 1.0m以上
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下
杭の傾斜 ・ 1/100以内

設計代表者 設計担当者 S C A L E 原図 A 2
A 2 :
A 3 :
D A T E
工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事
図面名称 特記仕様書1 A-02



三重県知事登録第1-861 一級建築士 №134324 田端 隆

設計代表者 一般建築士 №134324 構造設計一級建築士 №2300 田端 隆
設計担当者 一級建築士 №297989 河合 敏
一級建築士 №32033 井上 貴博
一級建築士 №352551 田端 隆也

4 地業工事	<p>試験杭 試験杭の位置 ・ 図示による ()</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で$\alpha=250$を採用できる工法</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α、β、γが以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$、$\beta=()$、$\gamma=()$</p> <p>工法 ・プレローリング拡大掘削工法 ・中掘り拡大掘削工法</p> <p>杭周囲定液 ・使用する ・使用しない 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ・ 図示による ()</p> <p>杭継手工法 (4.3.2)(4.3.6)(7.2.5)</p> <p>・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(a)(b)による ・ 図示による ()</p> <p>・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (4.3.7)</p> <p>・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの</p>	4 地業工事	<p>5 捨コンクリート地業 (4.6.4)(6.14.1)</p> <p>捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ※50mm 〇 図示</p> <p>施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)</p> <p>・基礎梁下、土に接するスラブ下 〇 図示 設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1) ※18N/mm² スラブ (4.6/4)(6.14.1) ・15cm ※18cm</p>	9 圧接完了後の試験 (5.4.9~5.4.10)	外観試験 (5.4.9~5.4.10) ※行う(全数) (5.4.9~5.4.10) 抜取試験 (5.4.9~5.4.10) ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	6 コンクリート工事	<p>15 打増し厚さ(打ち直し)仕上げ部 (6.8.2)</p> <p>・打増し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.2) ・20mm 〇 図示 ・打増し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm 〇 図示</p>	6.8.2	<p>16 型枠 (6.8.3)</p> <p>せき板の材料及び厚さ (6.8.3) 〇 合板(※12mm) 断熱材の兼用 (6.8.3) 〇 行わない ・ 行う MOR工法用シート (6.8.3) ・用いる 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・ 図示による () ・用いない スリーブの材質 (6.8.3) ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による</p>	6.8.3	<p>17 コンクリートの単位水量測定 (—)</p> <p>実施要領 〇 図示による (構造関係共通図)</p>	—																																																																																																											
	<p>3 鋼杭地業 (4.2.2)(4.3.3)(4.3.5)(4.3.7)(4.4.1~4.4.6)(7.2.5)</p> <p>種類の記号 (4.4.2) ・SKK400 ・SKK490 寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>杭長(m)</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.4.2) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 先端部の補強 (4.4.2) ・標準仕様書4.4.1、表4.4.2による 先端部の補強(補強バンド等)及びその他附属品の材質 ・SS400と同等又はそれ以上</p> <p>施工方法 (4.4.1) ・打込み工法 (・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー) (4.2.2)(4.4.3) プレローリングの併用 ・行わない ・行う 掘削深さ及び径 ・ 図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ・ 図示による () 打込杭の推定支持力の算定方法 ・ 図示による () ・ 図示による ()</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.4.4)</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で$\alpha=250$を採用できる工法</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α、β、γが以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$、$\beta=()$、$\gamma=()$</p> <p>工法 ・中掘り拡大掘削工法</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ・ 図示による ()</p> <p>杭の現場継手 (4.4.5)</p> <p>・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による ・標準仕様書7.2.5(a)(b)による ・ 図示による ()</p> <p>・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (4.3.7)(4.4.6)</p> <p>・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの</p>						種類		杭径(mm)		板厚(mm)		杭長(m)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭								本杭	上杭 中杭 下杭								<p>5 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <p>鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇 SD295A</td> <td>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〇 SD345</td> <td>D19~D25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>形状等 (5.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td>$\phi 6 \times 100 \times 100$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手方法等 (5.3.4)(5.5.2~5.5.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>〇 ガス圧接 ・機械室継手 ・溶接継手</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>〇 重ね継手</td> <td>D10・D13</td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>〇 重ね継手</td> <td>D16</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) 〇 図示による (構造関係共通図)</p> <p>継手位置図 (5.3.4) 〇 図示による (構造関係共通図)</p> <p>鉄筋の定着方法及び長さ (5.3.4) 〇 図示による (構造関係共通図)</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4) 〇 図示による (構造関係共通図)</p> <p>最小かぶり厚さ (5.3.5) 〇 図示による (構造関係共通図)</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 〇 なし ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 〇 なし ・有り 適用箇所 () 最少かぶり厚さに加える長さ () mm</p> <p>耐久性不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) 〇 なし ・有り 適用箇所 () 最少かぶり厚さに加える長さ () mm</p> <p>鉄筋相互のあき(機械室継手及び溶接継手を除く) (5.3.5) 〇 図示による (構造関係共通図)</p>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	〇 SD295A	D16以下		〇 SD345	D19~D25		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所	・溶接金網		$\phi 6 \times 100 \times 100$		・鉄筋格子				部位	継手方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋	〇 ガス圧接 ・機械室継手 ・溶接継手	D19以上	耐力壁の鉄筋	〇 重ね継手	D10・D13	その他の鉄筋	〇 重ね継手	D16	<p>2 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>形状等 (5.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td>$\phi 6 \times 100 \times 100$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所	・溶接金網		$\phi 6 \times 100 \times 100$		・鉄筋格子				<p>2 コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>種類 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>	<p>3 セメント (6.3.1)</p> <p>種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 使用部位 () ・高炉セメントB種 使用部位 () ・フライアッシュセメントB種 使用部位 ()</p>	<p>4 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) ※A ・B</p>	<p>5 混和材料 (6.3.1)</p> <p>〇 混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による 〇 混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による</p>	<p>6 気乾単位容積質量 (6.2.3)(6.10.1)</p> <p>・普通コンクリート (6.2.3) ・軽量コンクリート (6.10.1)</p>	<p>7 軽量コンクリート (6.10.1)</p> <p>種類 (6.10.1) ・1種 ・2種 適用箇所 ・ 図示による ()</p>	<p>8 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>適用期間 ・ 図示による () 〇 算定温度を基に定める場合(参考:平成25年度版 建築工事整理指針)</p>	<p>9 凍中コンクリート (6.12.2)</p> <p>構造体強度補正值 ※6N/mm²</p>	<p>10 マスコンクリート (6.2.1)(6.13.1~6.13.2)</p> <p>適用箇所 (6.2.1)(6.13.1) ・ 図示による () セメントの種類 (6.13.2) ・中産ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉ポルトランドセメントB種 ・フライアッシュポルトランドセメントB種 ・普通ポルトランドセメントに標準仕様書6.13.2(b)(2)の混和材を混合したもの</p>	<p>11 無筋コンクリート (6.2.1)(6.14.1)</p> <p>設計基準強度 (6.14.1) ※18(N/mm²) スラブ (6.14.2) ※18cm 適用箇所 (6.2.1)(6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・ 図示による(ラップコンクリート)</p>	<p>12 流動化コンクリート (6.2.19)(6.15.1)</p> <p>適用箇所 (6.2.1)(6.15.1) ・ 図示による ()</p>	<p>13 ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)</p> <p>目地寸法 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3) ・標準仕様書9.7.3による 間隔・位置・形状 (6.8.2) ・ 図示による ()</p>	<p>14 コンクリートの仕上げ (6.2.5)(6.8.3)</p> <p>部位の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5) 〇 標準仕様書6.2.3による 合板せき板を用いるコンクリートの打増し仕上げ (6.2.5)(6.8.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>打放し部</td> </tr> <tr> <td>〇 B種</td> <td>打放し部・基礎以外</td> </tr> <tr> <td>〇 C種</td> <td>基礎</td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	・A種	打放し部	〇 B種	打放し部・基礎以外	〇 C種	基礎	<p>7 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨の製作工場 (7.1.1)(7.1.3)</p> <p>製作場の加工能力 (7.1.1)(7.1.3) ・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作場の性能評価基準」に定める()グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.3)</p> <p>※適用する ・適用しない</p> <p>3 鋼材 (7.2.1)</p> <p>材質等 (7.2.1) ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主に部分)</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>有効細長比(圧縮率に限る) ・ 図示による ()</p> <p>4 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)</p> <p>ボルトの区分 (7.2.2) ・トルネア形高力ボルト セットの種類 ・2種(S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種(F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ・ 図示 ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示</p> <p>すべり係数試験 (7.4.2) ※実施しない 試験方法</p> <p>5 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2)</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ・標準仕様書7.2.3による 産金 (7.2.3) ・標準仕様書7.2.3(d)による ボルトの径 (7.2.3) ・ 図示 ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示</p> <p>6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.3.8)(7.12.4)</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) セットの種類 (7.2.2) ・1種(F8T相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ・ 図示による (構造図) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前孔径 (7.3.8) ・審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・ 図示による (構造図)</p> <p>7 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>適用 (7.2.4)(7.10.3) ・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B 1220 又は JSS II 13-2004) ・ABR400 ・ABR490 ・SS400 形状、寸法 ・ 図示による (構造図) ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格並びに仕上げの程度 ※標準仕様書7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による ()</p> <p>8 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料 (7.2.5) ・標準仕様書7.2.5(a)(b)による ・ 図示による ()</p>	種類の記号	適用箇所(主に部分)	規格等												
	種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																																																															
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																						
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																						
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																					
〇 SD295A	D16以下																																																																																																																						
〇 SD345	D19~D25																																																																																																																						
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所																																																																																																																				
・溶接金網		$\phi 6 \times 100 \times 100$																																																																																																																					
・鉄筋格子																																																																																																																							
部位	継手方法	呼び径(mm)																																																																																																																					
柱、梁の主筋	〇 ガス圧接 ・機械室継手 ・溶接継手	D19以上																																																																																																																					
耐力壁の鉄筋	〇 重ね継手	D10・D13																																																																																																																					
その他の鉄筋	〇 重ね継手	D16																																																																																																																					
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所																																																																																																																				
・溶接金網		$\phi 6 \times 100 \times 100$																																																																																																																					
・鉄筋格子																																																																																																																							
種別	適用箇所																																																																																																																						
・A種	打放し部																																																																																																																						
〇 B種	打放し部・基礎以外																																																																																																																						
〇 C種	基礎																																																																																																																						
種類の記号	適用箇所(主に部分)	規格等																																																																																																																					
備考	<p>(株)田端隆建築設計</p> <p>三重県知事登録第1-861 一級建築士 №134324 田端 隆</p>			<p>設計代表者</p> <p>一級建築士 №134324 構造設計一級建築士 №2300 田端 隆</p>	<p>設計担当者</p> <p>一級建築士 №297989 河合 敏 一級建築士 №32033 井上 貴博 一級建築士 №352551 田端 達也</p>	<p>SCALE 原図A2 A2 : A3 : DATE</p>	<p>工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書2</p>	<p>A-03</p>																																																																																																															

10 1 施工 (10.1.3、5)

2 石材等 (10.2.1、3) (表10.2.1、2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ	備考
玄関床	◎等品 ・2等品	花こう岩 (御影石)	※正方形に 近い矩形	W100	t40	本磨き	滑り止め付
	・1等品 ・2等品		※正方形に 近い矩形				

テラズブロック (10.2.1、3) (表10.2.1、2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

3 外壁湿式工法 (10.2.2、3) (10.3.2、3)

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し防工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー 横筋横流し工法
受金物 材質 ※SS400
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

ドレインパイプの材質 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.11による ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (3)による ・図示

4 内壁空工工法 (10.2.2) (10.4.2、3)

受金物 材質 ※SS400
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー 横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (3)による ・図示

5 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4)

取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b) (1)による ・図示
外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
アンカーの材質及び形状 ※ステンレス (SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 目地幅(mm) ※8以上
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9章7節による ・図示) ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取合い部
・図示

6 床及び階段の石張り (10.6.2、3)

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示
シーリング材 ○適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取合い部
・図示

10 7 アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.1、2)

取付け工法 ・内壁空工工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(c)による
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS304)径6mm長さ80mm(加工物)
吊りボルト ※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き

8 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1、3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(c)による
引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・ステンレス(SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上
伸縮調整目地 位置 ※他の階位との取合い部 ・図示

11 ①伸縮調整目地及びびひり割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)

位置 ※標準仕様書表11.1.11による ・図示

②セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (11.2.2、3、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物			色	再生材の適用	耐凍害性	備考
			I	II	III	施ゆう	無ゆう	有	無	標				
外壁	外装壁材		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
外壁	外装壁材		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
便所	床材	100角	・	・	・	○	○	○	○	○	○	○	○	○

標準的な曲がりの役物とは一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない(外装壁材)
見本焼き ・行う ・行わない(外装壁材)

モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄)
壁タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

3 接着剤による陶磁器質タイル張り (11.3.2~4、7)

タイルの形状、寸法等

主な用途による区分	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物			色	再生材の適用	耐凍害性	備考
		I	II	III	施ゆう	無ゆう	有	無	標				
内装壁用材	100角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物とは一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材
モルタル塗りをコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄)

4 陶磁器質タイル型枠先付け (11.4.2、3) (表11.4.1)

タイルの形状、寸法等

主な用途による区分	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物			色	再生材の適用	耐凍害性	備考
		I	II	III	施ゆう	無ゆう	有	無	標				
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物とは一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

タイル型枠先付けの種類

種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類
・タイルシート法	・小口タイル	※標準仕様書6.8.3(b) (2)
・目地樹法	・二丁掛タイル	・金属製タイル先付け用パネル
・積木法	・大形タイル	

12 1 表面仕上げ (12.1.4)

表面仕上げの種類	適用箇所
・A種	
※B種	見えがかり全て
・C種	
・D種	

2 敷材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・図示(木構造特記仕様書・木構造部材リスト)
・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
		※2級			※A種・B種	
		※2級			※A種・B種	
		※2級			※A種・B種	

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種
						※A種・B種
						※A種・B種

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
		※1等			※A種・B種	
		※1等			※A種・B種	
		※1等			※A種・B種	

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			()	・適用する	・適用しない	※A種・B種	
			造作材の場合(※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種・B種	
			()	・適用する	・適用する	※A種・B種	
			造作材の場合(※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種・B種	
			()	・適用する	・適用する	※A種・B種	
			造作材の場合(※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種・B種	

3 造作用集成材 (12.2.1)

・図示(木構造特記仕様書・木構造部材リスト)
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
			※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種
						※A種・B種
						※A種・B種

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種
						※A種・B種
						※A種・B種

4 造作用単板積層材 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工)		
		・無し()		
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工)		
		・無し()		

12 5 床張り用合板等 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の層数	板面の品質	含水率	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用
普通教室	※5.5	ラワン	※1類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	※14%以下	・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない
	※6.0		※1類			・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない
	※5.5		※1類			・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない

・構造用合板

施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	有効断面係数比	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用
		※2級以上	※1類	※C-D以上	※12		・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない
		※1級	・特類				・適用しない()	・適用しない	・適用しない	・適用しない
		※2級以上	※1類	・特類	※12		・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない
		※1級	・特類				・適用しない()	・適用しない	・適用しない	・適用しない
		※2級以上	※1類	・特類	※12		・適用する	・適用する	・適用する	・適用しない
		※1級	・特類				・適用しない()	・適用しない	・適用しない	・適用しない

6 接着剤 (12.2.2、3)

接着剤に含まれる可塑性は、難揮発性のものとする。

7 防霉・防蟻処理 (12.3.1、2)

・防霉・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材
適用部位: ()
・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理
適用部位
保存処理性能区分
・K2・K3・K4
・K2・K3・K4
・K2・K3・K4

・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理
適用部位
処理の方法
※標準仕様書12.3.1(3)(ii)①~④による

8 防虫処理 (12.3.2)

・「製材の日本農林規格」第8条「広葉樹製材の規格」による防虫処理
適用部位
保存処理性能区分
巾木: 米楯
・K1・K2・K3

13 1 長尺金属板葺 (13.2.2、3)

施工箇所	板及び材の種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用コイル				・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺

工法 ()
材料 ()

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ・複層タイプ・粘着層付タイプ)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
留止め ・設置する(図示)

2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2、3) (表13.2.1)

施工箇所	形式	山高・山幅による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面厚	耐火性能
	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	165mm	333mm	-	※鋼板製 1.0	・有り ・無し	・30分 ・無し
	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	150mm	250mm	-	※鋼板製 1.0	・有り ・無し	・30分 ・無し

13 屋根及び とい工事	<p>材料 板及びコイルの種類 ()</p> <p>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ()</p> <p>断熱材 ・ 有り (防火性能: 時間)</p> <p>断熱材 ・ 無し (防火性能: 時間)</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>といの材種 ・ 配管用鋼管 (白管) ○硬質ポリ塩化ビニル管 (好-) ・ 7&#223;製 (n'nd's)</p> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>鋼管製といの防露巻き ・ 適用する (工法: ※標準仕様書表13.5.5による ・)</p> <p>・適用しない</p> <p>とい受金物</p> <p>※ 適用する (材質: ※標準仕様書 13.5.2による。)</p> <p>(工法: ※標準仕様書 13.5.3による。)</p> <p>・適用しない</p> <p>ルーフトレン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○&#2262;く屋根用 (・縦型 ○横型)</td> <td>屋根</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	○ࣖく屋根用 (・縦型 ○横型)	屋根	・バルコニー用		・バルコニー中継用		14 金属工事	<p>6 金属成形板張り (14.6.2、3) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜等の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 7&#223;製</td> <td>・ 押し出し</td> <td>ス&#223;ンドル形</td> <td></td> <td></td> <td>・ B-1種</td> <td>※ B</td> </tr> <tr> <td>・ ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ B-2種 (・ 7&#223;製)</td> <td>※ B</td> </tr> <tr> <td>・ プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td>・ プ&#223;ス</td> <td>※ B</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 7&#223;製</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td>・ C-1種</td> <td>※ AA6</td> </tr> <tr> <td>・ C-2種 (・ 7&#223;製)</td> <td>※ AA6</td> </tr> <tr> <td>・ プ&#223;ス</td> <td>※ AA6</td> </tr> <tr> <td>・ 7&#223;製</td> <td>※ AA6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ D種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・ 図示</p> <p>伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所 ・ 図示 ・) ・ 設けない</p> <p>(14.7.2、3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)</p> <p>種別 ・ 図示 ○50形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 100形</p> <p>表面処理 種別 (B-2) 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による ・)</p> <p>着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)</p> <p>支柱の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>(14.8.2、3)</p> <p>手すり ・ アルミ製 表面処理 種別 (B-2) 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)</p> <p>着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)</p> <p>○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度 ・ No.2&#223;程度 ・)</p> <p>・ 鋼製 (表面処理 ・ 溶融亜鉛めっきC種 ・)</p> <p>タラップ ○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし ○図示 ・)</p> <p>・ 鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・)</p>	種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	皮膜等の種類	・ 7ß製	・ 押し出し	スßンドル形			・ B-1種	※ B	・ ロール				・ B-2種 (・ 7ß製)	※ B	・ プレス	パネル形			・ プßス	※ B	・ 7ß製					・ C-1種	※ AA6	・ C-2種 (・ 7ß製)	※ AA6	・ プßス	※ AA6	・ 7ß製	※ AA6	・ D種							15 左官工事	<p>5 ALCパネルの場合の 下地処理 (15.5.4)</p> <p>6 マスチック塗料塗り (15.6.2)</p> <p>7 ロックウール吹付け (15.8.2)</p> <p>1 防火戸 (16.1.4)</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>3 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>4 アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5) (表14.2.1)</p> <p>5 網戸等 (16.2.3)</p> <p>6 樹脂製建具 (16.3.2~5)</p> <p>7 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)</p>	16 建具工事	<p>8 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>9 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)</p> <p>10 木製建具 (16.7.2~4)</p>	<p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・ 適用する (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ・ 標準仕様書表16.5.1による ・</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・ 適用する (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ S-5 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ S-6 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>鋼板 (屋外) ※SUS430J1L、SUS443J1、SUS304</p> <p>鋼板 (屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・</p> <p>表面仕上げ ※H1仕上げ ・ 顔面仕上げ ・</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 ・</p> <p>・ フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 普通合板 G</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7&#223;程度 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗り (※1&#223;合板程度 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木 化粧合板 G</td> <td>樹種名 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工 化粧合板 G</td> <td>化粧加工の方法 (・ 2&#223;・ 4・ 7&#223;・ プリット ・ 塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 () タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※表16.7.6による ・</p> <p>・ かまち戸</p> <p>かまち樹種 (バイン) 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による ・</p> <p>・ ふすま</p> <p>張りの種別 (・ I型 ・ II型)</p> <p>上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度</p> <p>縁仕上 ・ 縁り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による ・</p> <p>・ 戸ふすま</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による ・</p> <p>種、くつずりの材料 ・ 建具表による</p> <p>(16.8.2.3)</p> <p>金物の種類 見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による ・</p> <p>掘り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・ 建具表による ・</p> <p>○錠前類 【シリンドラ錠及びシリンドラ本錠り錠】 (品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。 錠付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>・ 錠前類 【レバーハンドル】 (性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>・ クローザ類 (品質・性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による (試験方法)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>(16.8.4)</p> <p>マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組 ・</p> <p>鍵箱 ※有り ○無し</p>	合板の種類	規格等	備考	・ 普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7ß程度 ・)			不透明塗料塗り (※1ß合板程度 ・)			板面の品質 ()			接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		・ 天然木 化粧合板 G	樹種名 ()			接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		・ 特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 (・ 2ß・ 4・ 7ß・ プリット ・ 塗装)			表面性能 () タイプ			接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																						
		種別	施工箇所																																																																																																																																																
○ࣖく屋根用 (・縦型 ○横型)	屋根																																																																																																																																																		
・バルコニー用																																																																																																																																																			
・バルコニー中継用																																																																																																																																																			
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																																																																																																																														
					種別	皮膜等の種類																																																																																																																																													
・ 7ß製	・ 押し出し	スßンドル形			・ B-1種	※ B																																																																																																																																													
	・ ロール				・ B-2種 (・ 7ß製)	※ B																																																																																																																																													
	・ プレス	パネル形			・ プßス	※ B																																																																																																																																													
・ 7ß製					・ C-1種	※ AA6																																																																																																																																													
					・ C-2種 (・ 7ß製)	※ AA6																																																																																																																																													
					・ プßス	※ AA6																																																																																																																																													
					・ 7ß製	※ AA6																																																																																																																																													
・ D種																																																																																																																																																			
	合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																
・ 普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7ß程度 ・)																																																																																																																																																		
	不透明塗料塗り (※1ß合板程度 ・)																																																																																																																																																		
	板面の品質 ()																																																																																																																																																		
	接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																																																																																																																		
・ 天然木 化粧合板 G	樹種名 ()																																																																																																																																																		
	接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																																																																																																																		
・ 特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 (・ 2ß・ 4・ 7ß・ プリット ・ 塗装)																																																																																																																																																		
	表面性能 () タイプ																																																																																																																																																		
	接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																																																																																																																		
14 金属工事	<p>1 ステンレスの表面 仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ HL程度</td> <td>見えがかり全て</td> </tr> <tr> <td>・ 顔面仕上げ程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No.2&#223;程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14.2.2) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜又は符合 皮膜の種類</th> <th>施工箇所 (成形板、支柱、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○B-1種</td> <td>※ AA15</td> <td>水切り金物</td> </tr> <tr> <td>・ A-2種 (・ 7&#223;製 ・ プ&#223;ス ・ プ&#223;ス系 ・ ス&#223;ンドル)</td> <td>※ AA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-1種</td> <td>※ B</td> <td>支柱</td> </tr> <tr> <td>・ B-2種 (・ 7&#223;製 ・ プ&#223;ス ・ プ&#223;ス系 ・ ス&#223;ンドル)</td> <td>※ B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C-1種</td> <td>※ AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C-2種 (・ 7&#223;製 ・ プ&#223;ス ・ プ&#223;ス系 ・ ス&#223;ンドル)</td> <td>※ AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・ 三次電解着色</p> <p>3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・ D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>野縁等の種類 (14.4.2~4) (表14.4.1)</p> <p>屋外 ※25形 ・ 19形 屋内 ※19形 ・ 25形</p> <p>・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・ 適用しない</p> <p>野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・</p> <p>周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・</p> <p>野縁の間隔 ・ 図示 ・</p> <p>・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合</p> <p>補強方法 ※図示 ・</p> <p>・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合</p> <p>補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による ・ 図示</p> <p>・ 天井のふとところが3.0mを超える場合</p> <p>補強方法 ※図示 ・</p> <p>・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強</p> <p>補強箇所 ・ 図示 ・</p> <p>補強方法 ※図示 ・</p> <p>(14.5.3) (表 14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナーの種類</p> <p>※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示</p>	種別	施工箇所	※ HL程度	見えがかり全て	・ 顔面仕上げ程度		・ No.2ß程度		種別	皮膜又は符合 皮膜の種類	施工箇所 (成形板、支柱、建具以外)	○B-1種	※ AA15	水切り金物	・ A-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ AA15		○B-1種	※ B	支柱	・ B-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ B		・ C-1種	※ AA6		・ C-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ AA6		・ D種			表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・ A種		・ B種		・ C種		電気亜鉛めっき	・ D種		・ E種		・ F種		15 左官工事	<p>1 モルタル塗り (15.2.2、5)</p> <p>既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・)</p> <p>・ 設けない</p> <p>床目地 ・ 設ける (工法※押し目地 ・)</p> <p>・ 設けない</p> <p>外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 ・ 適用する</p> <p>・ 適用しない</p> <p>・ 防水剤 (品質・性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による (試験方法)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>6.2.5) (15.3.2)</p> <p>下表以外は標準仕様書15.3.2による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平たんさ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通路・倉庫・機械室・ブ&#223;付</td> <td>1mにつき 10 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3mにつき 7 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 セルフレベリング 材塗り (15.4.2) (表15.4.1)</p> <p>・ せっこう系 ・ セメント系</p> <p>4 仕上塗材仕上げ (15.5.2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>○規制対象外 (F☆☆☆☆) ・</p> <p>仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">・ 厚付け仕上 塗材</td> <td>・ 外装薄塗材 S i</td> <td>・ 砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 E</td> <td>・ さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・ 平たん状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水形外装薄塗材 E</td> <td>・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 S</td> <td>・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け ・ こて塗り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 C</td> <td>・ 砂壁状じゅらく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 L</td> <td>・ 京壁状じゅらく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 S i</td> <td>・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 E</td> <td>・ 耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ 厚付け仕上 塗材</td> <td>・ 外装厚塗材 C</td> <td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 S i</td> <td>・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 E</td> <td>・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 C</td> <td>・ 上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 内装厚塗材 L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">○複層仕上塗材</td> <td>・ 複層塗材 C E</td> <td>・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○凹凸模様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形複層塗材 C E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材 S i</td> <td>上塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材 E</td> <td>耐候性 ※耐候形 2種 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材 R E</td> <td>溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水形複層塗材 C E</td> <td>樹 脂 ・ アクリル系 ○フッ素</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水形複層塗材 E</td> <td>外 観 ※つやあり、つやなし、ツリカ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水形複層塗材 R S</td> <td>増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 軽量骨材仕上 塗材</td> <td>・ 吹付け軽量塗材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ こて塗用軽量塗材</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	平たんさ (mm)	備 考	通路・倉庫・機械室・ブß付	1mにつき 10 以下			3mにつき 7 以下		種別	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装薄塗材 S i	・ 砂壁状		・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り)		・ 外装薄塗材 E	・ さざ波状		・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 平たん状		・ 防水形外装薄塗材 E	・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)		・ 外装薄塗材 S	・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け ・ こて塗り)		・ 内装薄塗材 C	・ 砂壁状じゅらく		・ 内装薄塗材 L	・ 京壁状じゅらく		・ 内装薄塗材 S i	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない		・ 内装薄塗材 E	・ 耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない		・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状		・ 外装厚塗材 S i	・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし		・ 外装厚塗材 E	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない		・ 内装厚塗材 C	・ 上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない		・ 内装厚塗材 L			○複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○凹凸模様		・ 可とう形複層塗材 C E			・ 複層塗材 S i	上塗材		・ 複層塗材 E	耐候性 ※耐候形 2種 ・		○複層塗材 R E	溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系		・ 防水形複層塗材 C E	樹 脂 ・ アクリル系 ○フッ素		・ 防水形複層塗材 E	外 観 ※つやあり、つやなし、ツリカ		・ 防水形複層塗材 R S	増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない		・ 軽量骨材仕上 塗材	・ 吹付け軽量塗材				・ こて塗用軽量塗材			16 建具工事	<p>11 建具用金物 (16.8.2.3)</p> <p>金物の種類 見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による ・</p> <p>掘り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・ 建具表による ・</p> <p>○錠前類 【シリンドラ錠及びシリンドラ本錠り錠】 (品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。 錠付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>・ 錠前類 【レバーハンドル】 (性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>・ クローザ類 (品質・性能)</p> <p>建築材料等品質性能表による (試験方法)</p> <p>建築材料等品質性能表による</p> <p>(16.8.4)</p> <p>マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない</p> <p>その他の錠 ※各室3本1組 ・</p> <p>鍵箱 ※有り ○無し</p>
種別	施工箇所																																																																																																																																																		
※ HL程度	見えがかり全て																																																																																																																																																		
・ 顔面仕上げ程度																																																																																																																																																			
・ No.2ß程度																																																																																																																																																			
種別	皮膜又は符合 皮膜の種類	施工箇所 (成形板、支柱、建具以外)																																																																																																																																																	
○B-1種	※ AA15	水切り金物																																																																																																																																																	
・ A-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ AA15																																																																																																																																																		
○B-1種	※ B	支柱																																																																																																																																																	
・ B-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ B																																																																																																																																																		
・ C-1種	※ AA6																																																																																																																																																		
・ C-2種 (・ 7ß製 ・ プßス ・ プßス系 ・ スßンドル)	※ AA6																																																																																																																																																		
・ D種																																																																																																																																																			
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																	
溶融亜鉛めっき	・ A種																																																																																																																																																		
	・ B種																																																																																																																																																		
	・ C種																																																																																																																																																		
電気亜鉛めっき	・ D種																																																																																																																																																		
	・ E種																																																																																																																																																		
	・ F種																																																																																																																																																		
施工箇所	平たんさ (mm)	備 考																																																																																																																																																	
通路・倉庫・機械室・ブß付	1mにつき 10 以下																																																																																																																																																		
	3mにつき 7 以下																																																																																																																																																		
種別	呼び名	防火材料	仕上げの形状等																																																																																																																																																
・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装薄塗材 S i	・ 砂壁状																																																																																																																																																	
	・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー塗り)																																																																																																																																																	
	・ 外装薄塗材 E	・ さざ波状																																																																																																																																																	
	・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 平たん状																																																																																																																																																	
	・ 防水形外装薄塗材 E	・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)																																																																																																																																																	
	・ 外装薄塗材 S	・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け ・ こて塗り)																																																																																																																																																	
	・ 内装薄塗材 C	・ 砂壁状じゅらく																																																																																																																																																	
	・ 内装薄塗材 L	・ 京壁状じゅらく																																																																																																																																																	
	・ 内装薄塗材 S i	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																	
	・ 内装薄塗材 E	・ 耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																	
・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状																																																																																																																																																	
	・ 外装厚塗材 S i	・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし																																																																																																																																																	
	・ 外装厚塗材 E	・ 吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																	
	・ 内装厚塗材 C	・ 上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																	
	・ 内装厚塗材 L																																																																																																																																																		
○複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○凹凸模様																																																																																																																																																	
	・ 可とう形複層塗材 C E																																																																																																																																																		
	・ 複層塗材 S i	上塗材																																																																																																																																																	
	・ 複層塗材 E	耐候性 ※耐候形 2種 ・																																																																																																																																																	
	○複層塗材 R E	溶 媒 ※水系 ・ 溶剤系																																																																																																																																																	
	・ 防水形複層塗材 C E	樹 脂 ・ アクリル系 ○フッ素																																																																																																																																																	
	・ 防水形複層塗材 E	外 観 ※つやあり、つやなし、ツリカ																																																																																																																																																	
・ 防水形複層塗材 R S	増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																		
・ 軽量骨材仕上 塗材	・ 吹付け軽量塗材																																																																																																																																																		
	・ こて塗用軽量塗材																																																																																																																																																		

16 建具工事	13 自動ドア開閉機構 (16.9.2.3) 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表 ・SSLD-2 16.9.11による ・DSDL-1 ・DSDL-2 ・適用する ・適用しない ・SMD-1 ※標準仕様書表 ・SMD-2 16.9.2による ・図示 ・マトスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイスイッチ ・行う (適用箇所は 建具表による) ・行わない	16 建具工事	19 ガラスブロック (16.14.5) ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 ※標準仕様書表16.14.11による ・図示	17 カーテンウォール工事 2 メタルカーテンウォール 3 PCカーテンウォール 18 1) 材料 2) 系地ごしらえ 3) 錆止め塗料塗り 4) 塗装 19 1 取付方法、性能等 2 カーテンウォール工事 3 ビニル床シート	19 カーテンウォールの材料 カーテンウォールの材料 規格等 ※アルミニウム製 製品及び取付位置の寸法許差 ※標準仕様書表17.2.1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による カーテンウォールの材料 コンクリート ※標準仕様書17.3.2(a)~(iv)による 鉄筋 ※SD295A(・D13・D10) 補強鉄線の径(mm) ※3.2・4.0・5.0・6.0 配筋 ※図示 先付けの材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上げ材 ・磁器質タイル ・石材(・花こう岩 ・大理石) ガセットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許差(mm) h=1~2, W1及びW2±1 製品及び取付位置の寸法許差 ※標準仕様書表17.3.1~2による 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗りの場合 ※B種・A種 鉄鋼面 ※C種・A種・B種 垂れめっき鋼面 ・A種・B種・C種 モルタル面及びプラスター面 ※B種・A種 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面 ※B種・A種 せつこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※A種・B種 その他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※B種・A種 下地面等 工程の種別 塗料の種別 鉄鋼面 見え隠れ部分 ※A種・B種 見え隠れ部分 ※B種・A種 垂れめっき鋼面 鋼製建具 ※A種・B種・C種 鋼製建具以外 ※C種・A種・B種・C種 塗装 種別 塗料の種類 ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※A種・B種 ※1種・2種 木部屋内 ※B種・A種 ※1種・2種 鉄鋼面 ※B種・A種 ※1種・2種 垂れめっき鋼面 - ※1種・2種 ・クリヤッカー塗り(L) ※B種・A種 - ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ※B種・A種 - ・耐水性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 - 上塗り等級(1)級 垂れめっき鋼面 - 上塗り等級(1)級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種・B種・C種 上塗り等級(1)級 木部屋内 ※B種・A種 - ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種・A種 - ・合成樹脂エマルジョン機性塗料塗り(EP-T) ※B種・A種 - ・ウレタン樹脂ニス塗り(UC) ※B種・A種 - ・ラッカーエナメル塗り(LE) ※B種・A種 - ・オイルステイン塗り(OS) - ・木材保護塗料塗り(WP) ※B種・A種 - ・C化(打)部全て 保護塗料塗り(水性リソ系) 屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 とする。 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) ※規制対象外 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のもとする。 種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 (19.2.2~3) ○発泡剤のないもの ※FS 仕上表に 無地 ・無地 ・帯電防止 ※2.0 ・発泡剤のあるもの ・無地 ・無地 ・耐動荷重性 ※2.5 ・耐薬品性 工法 ※ 熱溶接工法 ・突付け(施工箇所: 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度 (19.2.2) JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 (19.2.2) ○F T 増設棟 廊下床 ・無地 ○300×300 ・帯電防止 ※2.0 A 3 ・無地 ○450×450 ・防汚性 ・2.5 ・防汚性 ○K T 既設棟 廊下床 ・無地 ○300×300 ・帯電防止 ※2.0 ○物 ○450×450 ・防汚性 ・3.0 ・FOA ・無地 ・500×500 ・帯電防止 ・防汚性	19 内装工事 4 ビニル床 5 ゴム床タイヤ 6 カーペット敷き 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・タフテッドカーペット (19.3.3~4) パイル形状 p/体長さ(mm) 工法 帯電性 備考 ・カットパイル ・5~7 ・ ※全面接着工法 ・適用する ・ループパイル ・4~6 ・ ・グリップ工法 (性能: ※人体帯電電圧 3kV以下) ・ ・レベルアップパイル ・4 ・ ・ ・カット、ループ併用 ・7mm以上カーペット (標準品) (標準品) 3kV以下 ・ ・適用しない 下敷き材(グリップ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) () 帯電性 ・適用する (性能: ※人体帯電電圧3kV以下) ・ ・適用しない 備考 () ・タイルカーペット (19.3.3.4) パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ ループパイル ※ 第一種 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ カットパイル ・ 第一種 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ カット、ループ併用 ・ 第一種 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市敷き ・ 見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示 ・ ・適用しない 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 (19.4.2)(19.4.3)(表 19.4.1~7) ・厚膜型塗料床 弾性力付樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ○厚膜型塗料床 30~7 ○厚膜流し膜上工法 ・平滑仕上げ 15~20樹脂系塗床 ・厚膜流し膜上工法 ○防汚仕上げ ・薄膜型塗料床 7~10樹脂系塗床 (JIS K 5970) 工程 塗布量(kg/m ²) ・表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・耐熱水、耐衝撃部のみ圧縮型水性ウレタンコンクリート系塗料床材とする(煮吹き廻り) 塗料のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2) ※規制対象外 単層フローリング (19.5.2~7)(表 19.5.1~6) 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 仕上塗装 間伐材等の適用 ・フローリングボード ・釘留め工法 ※ なら 15 板幅75 板長さ500以上 ・塗装品 ・板張工法 ・ ・ ・板幅75 板長さ300以上 ・無塗装品 ・フローリングブロック ・接着工法 ※ なら 15 303×303 ・塗装品 ・ ・ ・ ・ ・無塗装品 ・モルタル埋込工法 ※ なら ※15 ※303×303 ・塗装品 ・ ・ ・ ・ ・無塗装品 ・モザイクカーペット 接着工法 ・ ・ ・ ・ ・塗装品 ・ ・ ・ ・ ・無塗装品 天然木化粧複合フローリング 種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 仕上塗装 間伐材等の適用 ・複合フローリング ・釘留め工法 (板太張り) ※ なら ・A種・適用する ・塗装品 ・板張工法 (直張り) ・ ・ ・B種・適用しない ・C種 ・直張り ※ なら 板厚 ・塗装品 表面2mm ・すき 板幅 ・耐摩耗 ・300以上 ・板長さ ・300以上	16 建具工事 13 自動ドア開閉機構 (16.9.2.3) 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表 ・SSLD-2 16.9.11による ・DSDL-1 ・DSDL-2 ・適用する ・適用しない ・SMD-1 ※標準仕様書表 ・SMD-2 16.9.2による ・図示 ・マトスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイスイッチ ・行う (適用箇所は 建具表による) ・行わない (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による 14 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) 性能 ※標準仕様書表 16.10.1による (試験) 建築材料等品質性能表による 15 重量シャッター (16.11.2.3) シャッターの種類 ・一般重量シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・外壁用防火シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防塵シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ00) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 16 軽量シャッター (16.12.2~4) 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ00) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 17 オーバーヘッドドア (16.13.2.3) セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質 による区分 (Pa) による区分 による区分 ※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・50 ・パーチカル形 18 ガラス (16.14.1) ガラス 種類 構成種類 性能 ・フロートガラス ・網入ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・I 類 ・型板ガラス ・網入ガラス ・熱線吸収、網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・II-1類 ・II-2類 ・III類 強化ガラス 種類 性能 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I 類 ・III類 ・型板ガラス ○型板強化ガラス 熱線吸収板ガラス 断熱性 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス 複層ガラス 断熱性 色調 日射熱減へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 U-3-1 ・U-3-2 ・日射熱減へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5 熱線反射ガラス 日射熱減へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 色調(・ブルー ・グレー) ・2種 A種 ・B種 ・高性能熱線反射ガラス ・3種 B種 反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス - ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ	16 建具工事 19 ガラス用フィルム (17.1.3)(17.2.2)(17.3.2) 取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スバンドレル方式 性能 耐湿性能 耐風圧性能 状態 水平方向(kH) 垂直方向(kV) 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性(℃) ・1.0 ・0.5 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性(℃) ・30分 ・80 ・1時間 ・70 ・60 耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く) 支点間距離(h) 耐風圧性能 状態 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 4mを超える 層間変位伝達性 建築物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態 鉄骨造 ・±(1/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 鉄筋コンクリート造 ・±(1/300)×h以上 シーリングは補修程度の損傷であること 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリング材 ※標準仕様書表 9.7.1 による 接着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス カーテンウォール板間目地 構造用ガスケット ・適用する (施工箇所・図示) 材質 ・フクロレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系 形状 ・H型 ・Y型 ・C型 寸法(mm) ガラス板厚()、支持棒の厚さ()、ウェブの寸法() ・適用しない 断熱材 種類 () 厚さ(mm) () 施工箇所 図示 耐火材料 施工部位 種別 規格帯 ・ファスナー部 ・取付けブラケット ・パネル目地部 ・層間ふきぎ	16 建具工事 19 ガラス用フィルム (17.1.3)(17.2.2)(17.3.2) 取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スバンドレル方式 性能 耐湿性能 耐風圧性能 状態 水平方向(kH) 垂直方向(kV) 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性(℃) ・1.0 ・0.5 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性(℃) ・30分 ・80 ・1時間 ・70 ・60 耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く) 支点間距離(h) 耐風圧性能 状態 4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 4mを超える 層間変位伝達性 建築物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態 鉄骨造 ・±(1/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること 鉄筋コンクリート造 ・±(1/300)×h以上 シーリングは補修程度の損傷であること 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリング材 ※標準仕様書表 9.7.1 による 接着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス カーテンウォール板間目地 構造用ガスケット ・適用する (施工箇所・図示) 材質 ・フクロレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系 形状 ・H型 ・Y型 ・C型 寸法(mm) ガラス板厚()、支持棒の厚さ()、ウェブの寸法() ・適用しない 断熱材 種類 () 厚さ(mm) () 施工箇所 図示 耐火材料 施工部位 種別 規格帯 ・ファスナー部 ・取付けブラケット ・パネル目地部 ・層間ふきぎ
------------	---	------------	---	--	---	--	---	--	--

19 内装工事	9 畳敷き (19.6.2) (表 19.6.1)	フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂フニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない	19 ⑫断熱材 (19.9.2, 3)	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ③断熱材打込み工法	20 ⑤視覚障害者用床タイル (11.2.2) (19.2.2)	断熱材の種類 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 断熱材の種類 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 断熱材の種類 種類 寸法(mm) 厚さ(mm)	20 ⑥階段滑り止め	15 カーテン (20.2.15)	形式 開閉操作 ひたの種類 きれ地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・シングル・片引き ・手引き ・フランスひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、つまひだ ・電動 ・ブレーションひだ、片ひだ
	10 せつこうボードその他のボード張り (19.7.2, 3) (表 19.7.1)	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.5.11による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア) (G)	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.5.11による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア) (G)	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	16 カーテンレール (20.2.16)	材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形
11 壁紙張り	10 せつこうボードその他のボード張り (19.7.2, 3) (表 19.7.1)	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書 表12.5.11による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア) (G)	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	17 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.17)	清型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・150×150 ・150×80 ・図示 (一) 材質 ・集成材 (仕上げ:) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理 ・C-1 ・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・ 皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.11による ・鋼製 (仕上げ:)	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	18 天井点検口 (20.2.18)	材種 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 500×450 一般形 屋内外用 顔線タイプ 顔線タイプ 600×600 気密形 屋内用 目地タイプ 目地タイプ	
11 壁紙張り	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	19 床点検口 (20.2.19)	材種 寸法 形式 備考 ※アルミニウム製 300×300 一般形 屋内外用 壁付き ステンレス製 450×450 密閉形 屋内用 鋼製 600×600 結露防止形	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	20 耐震スリット (20.2.20)	方 向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考 ・垂直方向 ※完全 (全貫通型) ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・非耐火型 ・無し ・t=25mm	
11 壁紙張り	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	21 止水板 (20.2.21)	目地 内壁 外壁 目地材 (mm) ・シーリング材 (見え掛かりのみ) ・シーリング材 (内外とも)	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	22 エキスパンション・ジョイント金物 (20.2.22)	形 状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示	
11 壁紙張り	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	23 くつみきマット (20.2.23)	材種 クリアランス 耐火性能 備考 ・アルミニウム製 ・50 ・100 ・有り () ・ステンレス製 ・200 ・無し	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	24 流し台ユニット (20.2.24)	材種 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板人造大理石	
11 壁紙張り	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	25 換気口 (20.2.25)	品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	25 換気口 (20.2.25)	材種 仕様 径(mm) 取付場所 ・鋼板製 ・防火 [※] 付(72℃) ・100φ ・天井裏 (建弁114系区画部分)	
11 壁紙張り	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	25 換気口 (20.2.25)	材種 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板人造大理石	
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2, 3) 壁紙の種類	①押出法 [※] リフォーム断熱材 ・保温板 (2種b) ・25 ・30 ②保温板 (3種b) ・30 ・50 ・通路、更衣室、便所 ・A種硬質ウレタンフォーム断熱材 ・30 ・ポリウレタン断熱材 (3種2号を除く)	⑦手すり	⑧黒板及びホワイトボード	⑨鏡	25 換気口 (20.2.25)	品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示	

20 ユニット及び他の工事	26 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		21 排水工事	⑤ 街きよ、緑石、側溝 (21.4.1)(表21.4.1)	22 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2~4)(表22.6.1)	23 植栽及び屋上緑化工事	5 樹木 (23.3.2)	24 解体施工	1 杭の解体 (解3.9.2)			
	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																			
	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																				
	27 旗竿受金物	材種 ・ ステンレス製 (SUS 304)	⑥ 埋戻し土 (21.2.3)	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2.3、6)	6 支柱 (23.3.2)	2 樹木等 (解3.10.1)																			
28 車止め支柱	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎮内蔵式</td> <td>・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎮内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製		7 排水性アスファルト舗装 (22.8.2.3、6)	7 地下埋設物、埋設配管 (解3.11.1)														
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																						
・上下式鎮内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																							
②0 フェンス	<p>フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ○鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ○図示</p> <p>コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度 ・図示</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示</p> <p>取付け方法 ※図示</p>	8 透水ブロック舗装 (22.9.2.3)	8 解体後の整地 (解3.12.1)【標表3.2.1】																						
30 プレキャストコンクリート	<p>コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度 ・図示</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示</p> <p>取付け方法 ※図示</p>	9 玉砂利敷き (22.10.1)	3 杭の解体 (解3.9.2)																						
31 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート 間知ブロック</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 ・ 伸縮目地 伸縮目地 材種 ・ 図示 厚さ ・ 図示</p>	材種	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—		・コンクリート 間知ブロック	—	—	・A ・B		1 路床 (22.2.2.3、5)(表22.2.2)	10 路面標示用塗料 (22.11.1)	4 解体後の整地 (解3.12.1)【標表3.2.1】						
材種	材種	種類	質量区分	備考																					
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—																						
・コンクリート 間知ブロック	—	—	・A ・B																						
21 排水工事	1 排水管	<p>排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU</td> <td></td> <td>※ 図示 ※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RS-VU</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>基床の厚さ及び種類 ・ 図示 砂地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (1) ・ 図示 砂利地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (2) ・ 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。 ・図示</p>	材種	管の種類	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	※図示		・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU		※ 図示 ※ 図示			・RS-VU		※ 図示		2 路盤 (22.2.2.3、5)(表3.2.1)	23 植栽及び屋上緑化工事	3 地下埋設物、埋設配管 (解3.11.1)
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考																				
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・B形管	※図示																					
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU		※ 図示 ※ 図示																					
	・RS-VU		※ 図示																						
2 側溝、排水樹等	<p>側溝、排水樹等 形状及び寸法 ・ 図示 砂地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (1) ・ 図示 砂利地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (2) ・ 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。 ・図示</p>	3 アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1.5)	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	4 解体後の整地 (解3.12.1)【標表3.2.1】																					
3 舗装製ふた	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>舗装製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHA5E-S209による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	舗装製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHA5E-S209による	4 コンクリート舗装 (22.5.2~4、6)(表22.5.4)	2 植栽基礎の整備 (23.2.2)(23.2.4)	3 地下埋設物、埋設配管 (解3.11.1)											
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																					
舗装製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHA5E-S209による																					
4 グレーティング	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メッシュ</th> <th>垂れ めっき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (荷重試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メッシュ	垂れ めっき (付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ () ・ ()	・凹凸形 ・平形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平形	9 路面標示用塗料 (22.11.1)	3 植込み用土 (23.2.3)	4 解体後の整地 (解3.12.1)【標表3.2.1】
材質	形式	用途	適用荷重	メッシュ	垂れ めっき (付着量)	上面形状																			
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ () ・ ()	・凹凸形 ・平形																			
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・溝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平形																			
備考			<p>(株)田端隆建築設計</p> <p>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆</p>		<p>設計代表者</p> <p>一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆</p>		<p>設計担当者</p> <p>一級建築士 No.297989 河合 敏 一級建築士 No.32033 井上 貴博 一級建築士 No.352551 田端 達也</p>		<p>SCA LE 原図 A 2</p> <p>A 2 : A 3 : DATE</p>		<p>工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事</p> <p>図面名称 特記仕様書 8</p>		<p>A-09</p>												

総合仮設・直接仮設 工事区分				
工事	工種	項目	工事区分	
			建築・電気	機械
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品	○	
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○ 共同1棟可
		仮設便所	○	○ 共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○	
	現場安全	安全費	○	○ 統括安全衛生管理は、 建築請負業者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○
		揚重機費	○	○
	その他	各種試験費	○	○
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○
		周辺道路清掃	○	
直接仮設工事		仮設足場	○	各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。
		清掃・片付け	○	○
		養生	○	○

工事区分							
No.	項目	建築・電気	機械	No.	項目	建築・電気	機械
1	機械基礎及びその仕上	○		27	避難器具		
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に 関するスリーブ及び箱入れ	○	○	28	浄化槽・受水槽・その他の水槽等の コンクリート躯体・断熱及び防水工事		
3	同上鉄筋補強	○		29	同上内部仕上・マンホール及び タラップ		
4	鉄骨造の設備工 事に関するスリーブ及び補強			30	ガソリントラップ及びコンクリート製 グリーストラップ		
5	機械室自体の防音・防振・防水 (機械に附属するものを除く)			31	排水溝(厨房・敷地内通路・機械室)・ルー フドレン・フロアドレン・雨水排水樋	○	
6	機械搬入に伴う開閉・閉塞及び補強			32	雨水排水樋の柵までの横引き		○
7	軽量鉄骨下地天井、 壁ボード類の切込	補強	○	33	雨水配管の防露工事		
		切込	○	34	ピット・トレンチ内の排水設備工事		
8	埋込分電盤 端子盤 ブルボックス	補強	○	35	出入口のマット下排水目皿及び 排水設備工事(自動ドア排水含む)		
		切込	○	36	陶製以外の流し類(業務用等の厨房流し を除外)	○	
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	37	同上 附属金物及び接続工事		○
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブ コンクリート立上げ			38	浴槽		
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞	○	○	39	鏡(衛生工事に関連しない場合・特殊 寸法の場合)		○
12	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋 マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋	○	○	40	建物外内壁・ドア・窓枠に取付ける ガラリ類(ガラリ取付け本枠等も含む)	○	
13	屋外配管用スタクション	○	○	41	シャッター・自動ドア等制御盤から 電動盤・スイッチ等に到る配管・配線		
14	二重スラブ内の水及び空気漏れ管 二重壁内の湧水処理費			42	煙感知機連動の扉・シャッター及び 防煙垂れ壁等の自閉用作用装置		
15	大理石・テラゾー・ALC・PC・RC版・鋼板 などの穴あけ	○	○	43	エレベーター昇降口・インジケーター 及び押釦の穴あけ		
16	同上 穴あけに伴う補強	○		44	エレベーター機械室の天井フック取付 ・床穴あけ及び床増内コンクリート		
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い	○	○	45	吊ボルトの躯体への支持	○	○
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカー ・火災報知機・換気扇等の穴あけ	○	○	46	天井吊り型FCU及び全熱交換型換気扇と 操作スイッチとの渡り配管・配線		
19	同上 天井穴あけ部の下地補強	○		47	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダ ンバに至る配管・配線		
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの 点検口	○		48	小便器用節水装置の制御盤以降の配管 配線		
21	ユニットシステム(バス・トイレ・キッチン) 及び内部の配管・配線			49	電力	○	○
22	ユニットシステム(バス・トイレ・キッチン) への配管・配線及び接続			50	用水	○	○
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺 (設備機器に装着するものを除く)						
24	換気扇取付枠		○				
25	配電盤・制御盤等の基礎(屋内外)						
26	ルーフファン						

I 工事概要

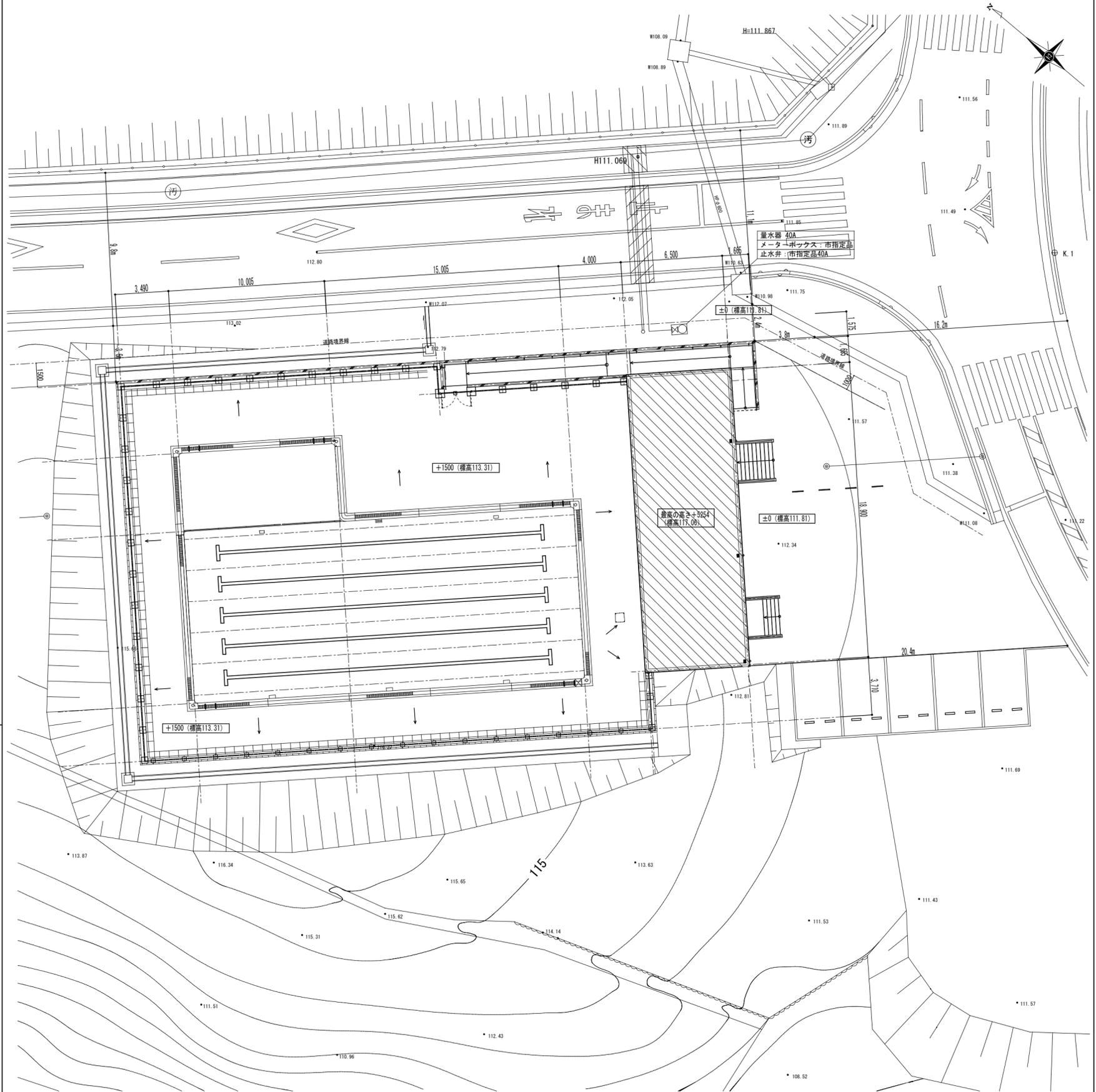
工事名称	美里地域施設小中一貫校整備に伴うプールその他新築工事	
敷地概要	地名地番	三重県津市美里町三郷 地内
	敷地面積	3,079.98 m ²
	都市計画区域	指定区域外
	用途地域	指定無し
	防火地域	指定無し
	指定建ぺい率	指定無し
	指定容積率	指定無し
	高さ制限	指定無し
	道路	
建物概要	建物用途	プール及びプール付属棟
	工事の種類	新築工事
	構造	R C造平家建
	最高の高さ	5.254m
	軒の高さ	4.800m
設備概要	給水	※特記仕様書による
	給温水	
	排水	※特記仕様書による
	ガス	
	防災設備	非常警報装置
	換気	※特記仕様書による

面積表			
敷地面積	3,079.98 m ²		
建築面積	名称		合計
	プール付属棟	122.85 m ²	128.85 m ²
見学者用庇	6.00 m ²		
延床面積	名称		合計
	プール付属棟	122.85 m ²	122.85 m ²

用途地域・防火地域	指定無し
-----------	------



案内図



配置図 S=1/200

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	設計担当者 一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆也
---	-------------------------------------	----------------------------	-----------------------------

SCALE 原図A2
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 工事概要・案内図・配置図

外部仕上表

屋根	平場：改質アスファルト防水 屋根露出防水絶縁工法(AS-T3工法)(トチ工法) 立上り：改質アスファルト防水 屋根露出防水密着工法(AS-T1工法)(トチ工法)	プール	FRP製 ※7-本体工事特記仕様書による
外壁	コンクリート打放し補修の上複層塗材RE吹付	プールサイド	土間コンクリート金ゴテ仕上げの上、 防滑性シート t=2.9 張り(遮熱・赤外線反射タイプ) 特殊バリエーション 特殊カラー グラスクリップ MX 同等品以上
巾木	珪藻土仕上げ(H=300)の上保護塗料塗リ(水性シリコン系) 目地@2,000		防滑性シート端部：シーリング 幅5mm程度 珪藻土樹脂系二成分形端部処理材 特殊バリエーション 特殊カラー 同等品以上
笠木	7ミリ製笠木	洗体シャワー	FRP製 ※シャワーユニット工事特記仕様書による
擁壁	コンクリート打放し補修の上複層塗材RE吹付	手洗い・洗眼	防水珪藻土仕上げ
スロープ	床：コンクリート刷毛引き仕上 (珪藻土：弱溶剤系珪藻土樹脂塗床仕上げ 耐摩耗・耐薬品・防滑仕様) 巾木：珪藻土仕上げ(H=300)の上保護塗料塗リ(水性シリコン系) 目地@2,000 壁：コンクリート打放し補修の上複層塗材RE吹付	見学者用庇	屋根：不燃認定パラス 構造体：鉄骨フレーム 鎖止め1回ルン塗装

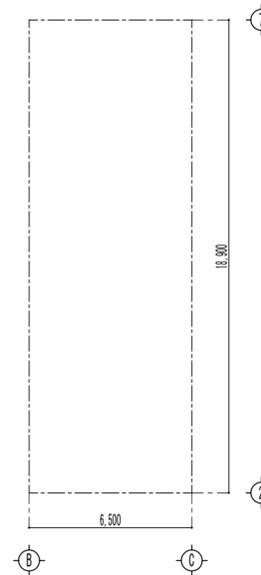
内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
	女子更衣室	下地：珪藻土仕上げ 仕上：防滑性複層珪藻土床シート t=2.5	100角磁器質珪藻土 H=100	珪藻土仕上げ EP-G塗	下地：軽量鉄骨天井下地 仕上：珪藻土板 t=6 EP-G塗	2400	珪藻土仕上げ t=30打込 天井塩ビ製廻縁
	女子便所	下地：珪藻土仕上げ 仕上：磁器質珪藻土 □100	100角磁器質珪藻土	珪藻土仕上げ EP-G塗 (一部珪藻土板 t=6 EP-G塗)	下地：軽量鉄骨天井下地 仕上：珪藻土板 t=6 EP-G塗	2400	珪藻土仕上げ t=30打込 天井塩ビ製廻縁
	男子更衣室	下地：珪藻土仕上げ 仕上：防滑性複層珪藻土床シート t=2.5	100角磁器質珪藻土 H=100	珪藻土仕上げ EP-G塗	下地：軽量鉄骨天井下地 仕上：珪藻土板 t=6 EP-G塗	2400	珪藻土仕上げ t=30打込 天井塩ビ製廻縁
	男子便所	下地：珪藻土仕上げ 仕上：磁器質珪藻土 □100	100角磁器質珪藻土	珪藻土仕上げ EP-G塗 (一部珪藻土板 t=6 EP-G塗)	下地：軽量鉄骨天井下地 仕上：珪藻土板 t=6 EP-G塗	2400	珪藻土仕上げ t=30打込 天井塩ビ製廻縁
	通路	珪藻土仕上げ t=30	珪藻土仕上げ(H=300)の上 保護塗料塗リ(水性シリコン系) 目地@2,000	コンクリート打放し補修の上複層塗材RE	下地：軽量鉄骨天井下地 仕上：珪藻土板 t=6 EP-G塗	2400	珪藻土仕上げ t=30打込 天井塩ビ製廻縁
	倉庫	コンクリート直均し仕上げ	珪藻土仕上げ H=300	コンクリート打放し補修	木毛珪藻土板 t=30打込	—	
	機械室	コンクリート直均し仕上げ	珪藻土仕上げ H=300	コンクリート打放し補修	木毛珪藻土板 t=30打込	—	

求積図・求積表

上屋 S=1/200

見学者用庇 S=1/200

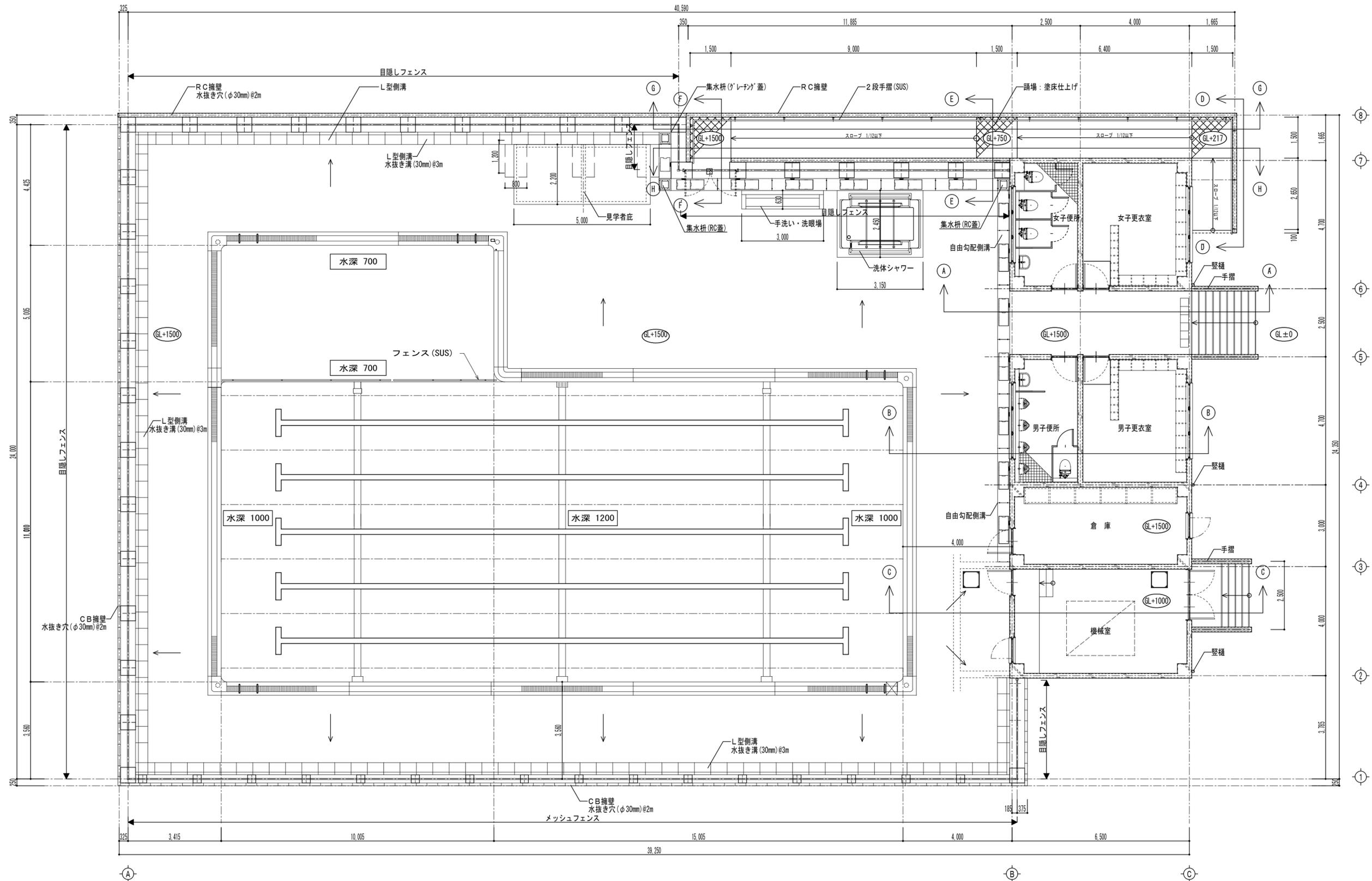


名称	計算式(m)	面積(m ²)
プール付属棟	6,500 × 18,900	122,850
見学者用庇	5,000 × 1,200	6,000
合計面積		128,850

名称	計算式(m)	面積(m ²)
プール付属棟	6,500 × 18,900	122,850
合計面積		122,850

防火認定		材料・仕上記号					
不燃	NM-8619	石膏ボード厚12.5	CON	コンクリート	SOP	合成樹脂顔合ペイント	防 水 そ の 他
	NM-8612	石膏ボード厚9.5	MO	モルタル	CL	クリアラッカー	
	NM-8614	化粧石膏ボード厚9.5	CB	コンクリートブロック	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料	
	NM-8599	ロックウール吸音板厚9、12、15	ALC	オートクレーブ軽量気泡コンクリート	DP	耐水性塗料	
	NM-8600	ロックウール保温板	PC	プレキャストコンクリート	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	
	NM-8333	吹付ロックウール	LGS	軽量鉄骨	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	
	NM-8605	グラスウール保温板	LC	軽量コンクリート	EP-T	合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料	
	NM-8576	フレキシブルボード厚6	ST	スチール	UC	ウレタン樹脂ワニス	
	NM-8424	化粧珪藻土珪藻土厚6	AL	アルミニウム	LE	ラッカーエナメル	
			SUS	ステンレス	OS	オイルステイン	
準不燃	QM-9822	化粧吸音石膏ボード			WP	木材保護塗料	
	QM-9828	石膏ボード(準不燃石膏ボード)厚9.5					
	QM-9824	化粧石膏ボード					
	QM-9705	普通木片セメント板					
	QM-9706	硬質木片セメント板					
	QM-9701	木毛セメント板					
	QM-9826	耐水石膏ボード厚9.5、12.5					
	QM-9038	木毛セメント板					

備 考	 <p>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆</p>	設計代表者	設計担当者	SCALE 原図A2	工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事	図面名称 仕上表・求積図・求積表
		一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.297989 田端 隆	一級建築士 No.332033 河合 敏 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆		



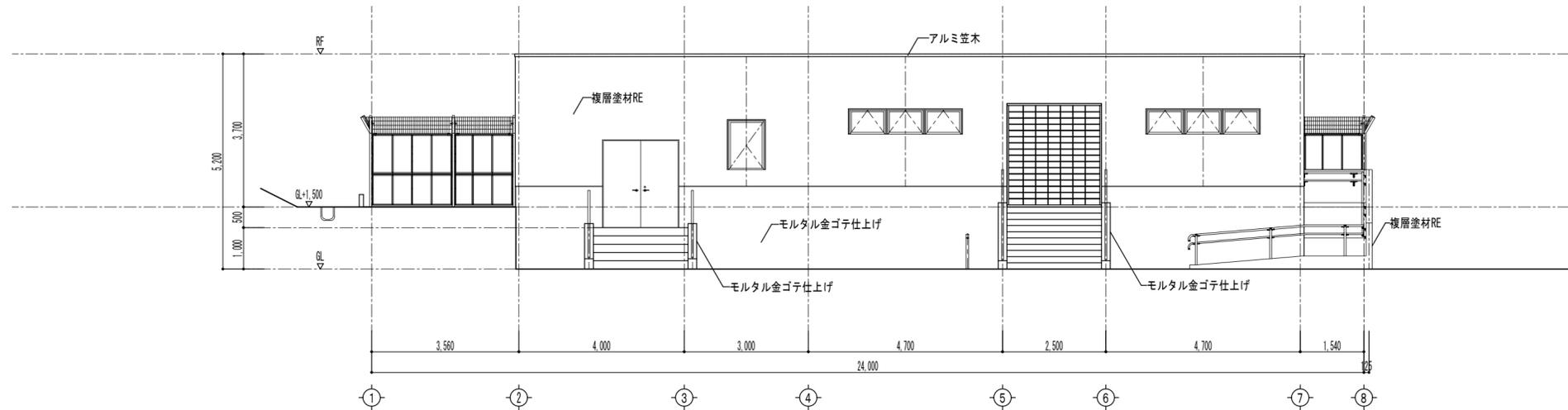
平面図 S=1/100

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

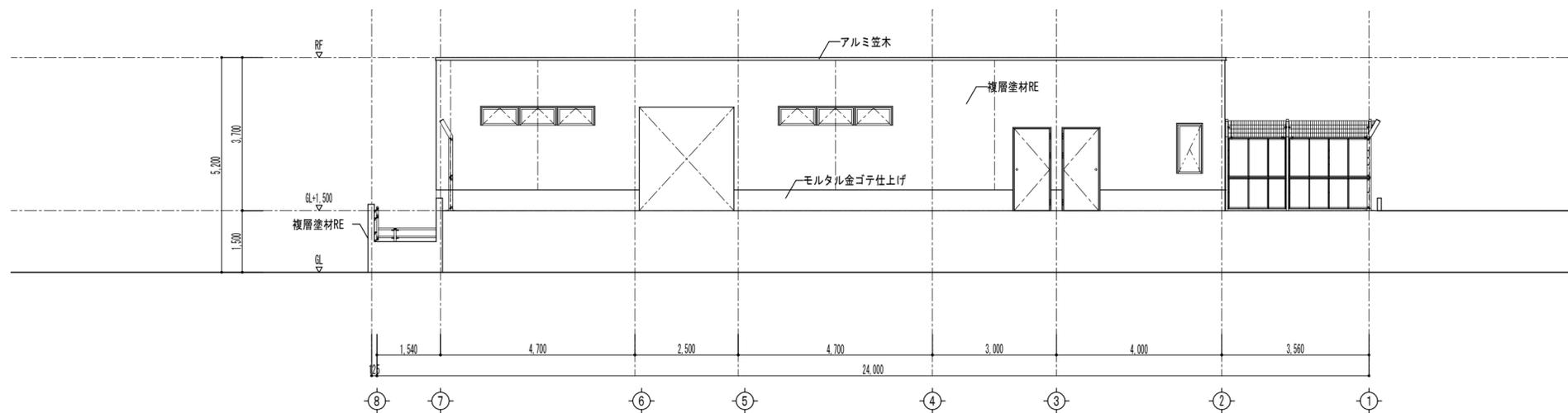
設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆也

SCALE 原図 A2
 A2 : 1/100
 A3 : 1/140
 DATE

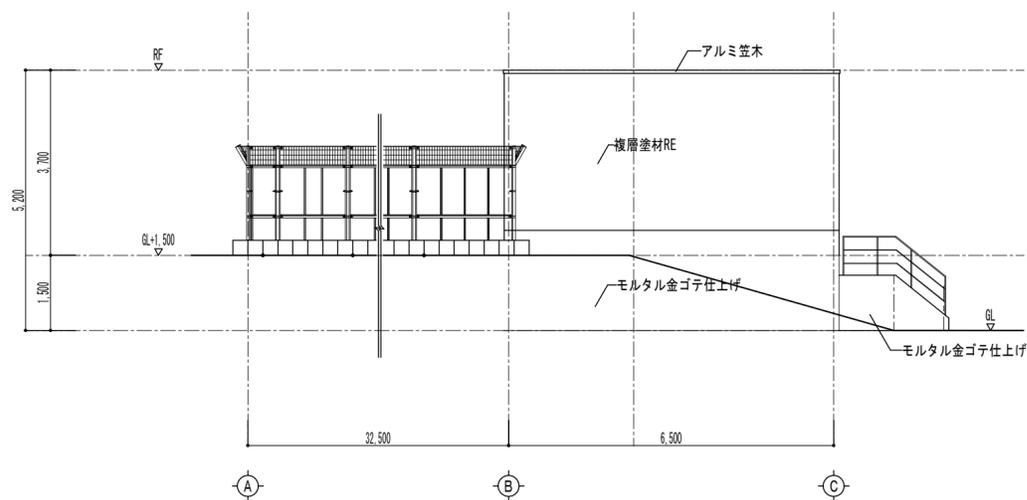
工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 平面図



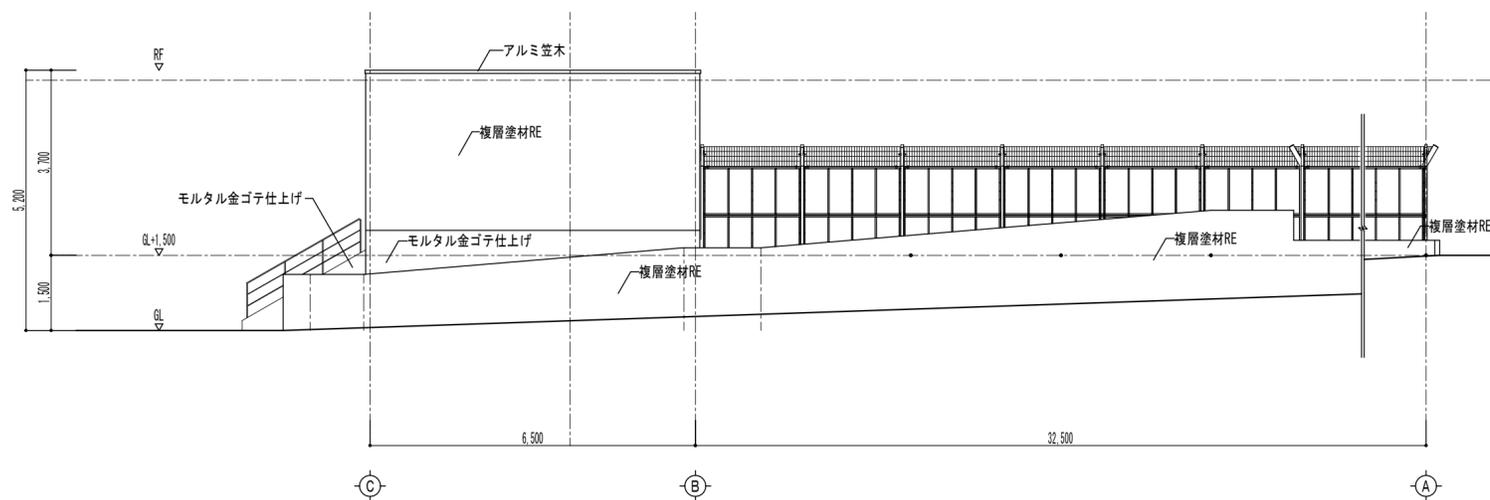
南東立面図 S=1/100



北西立面図 S=1/100



南西立面図 S=1/100



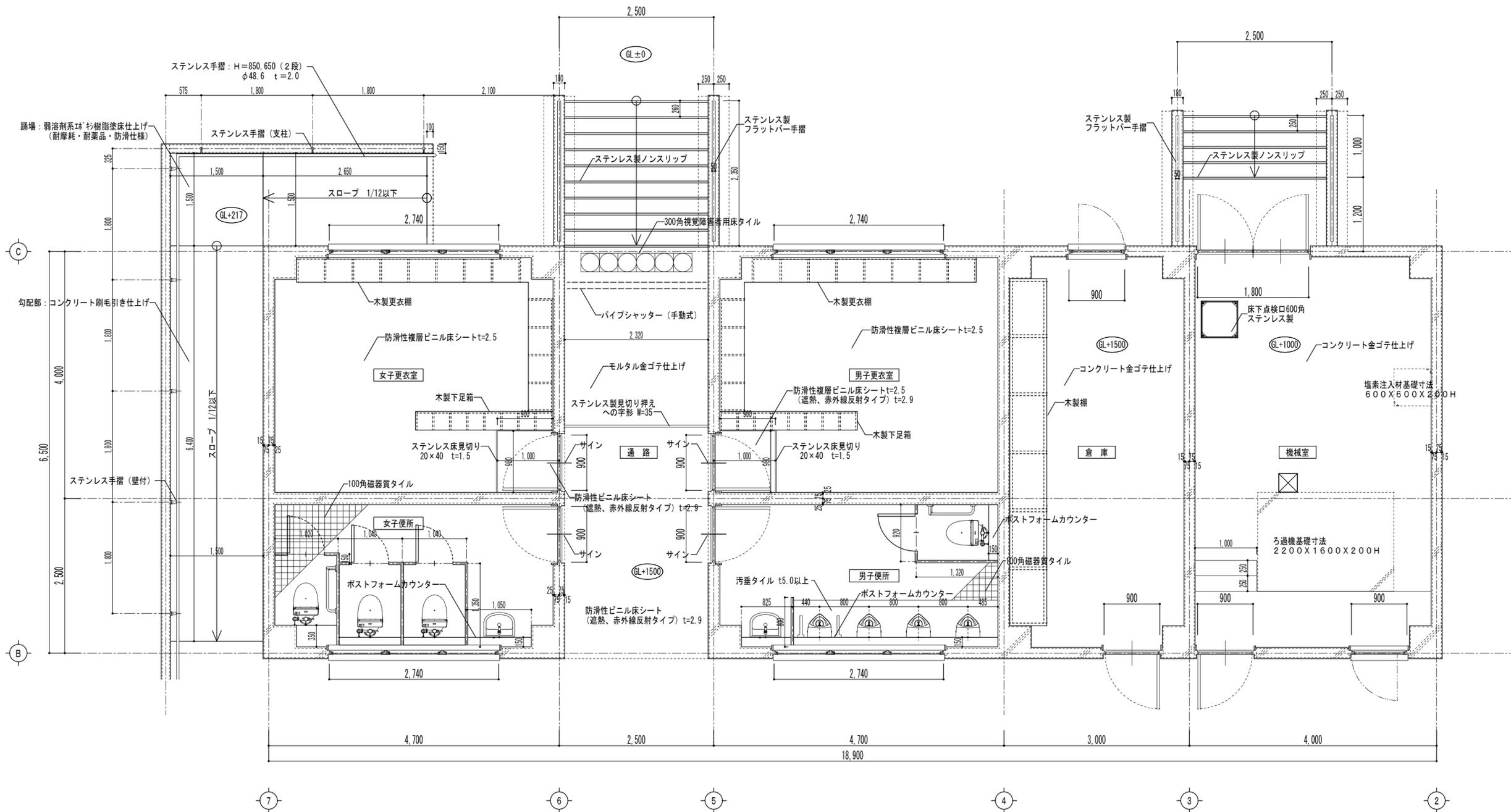
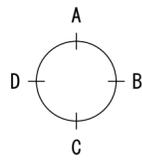
北東立面図 S=1/100

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆也

SCALE	原図 A2
A2	1/100
A3	1/140
DATE	

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 立面図



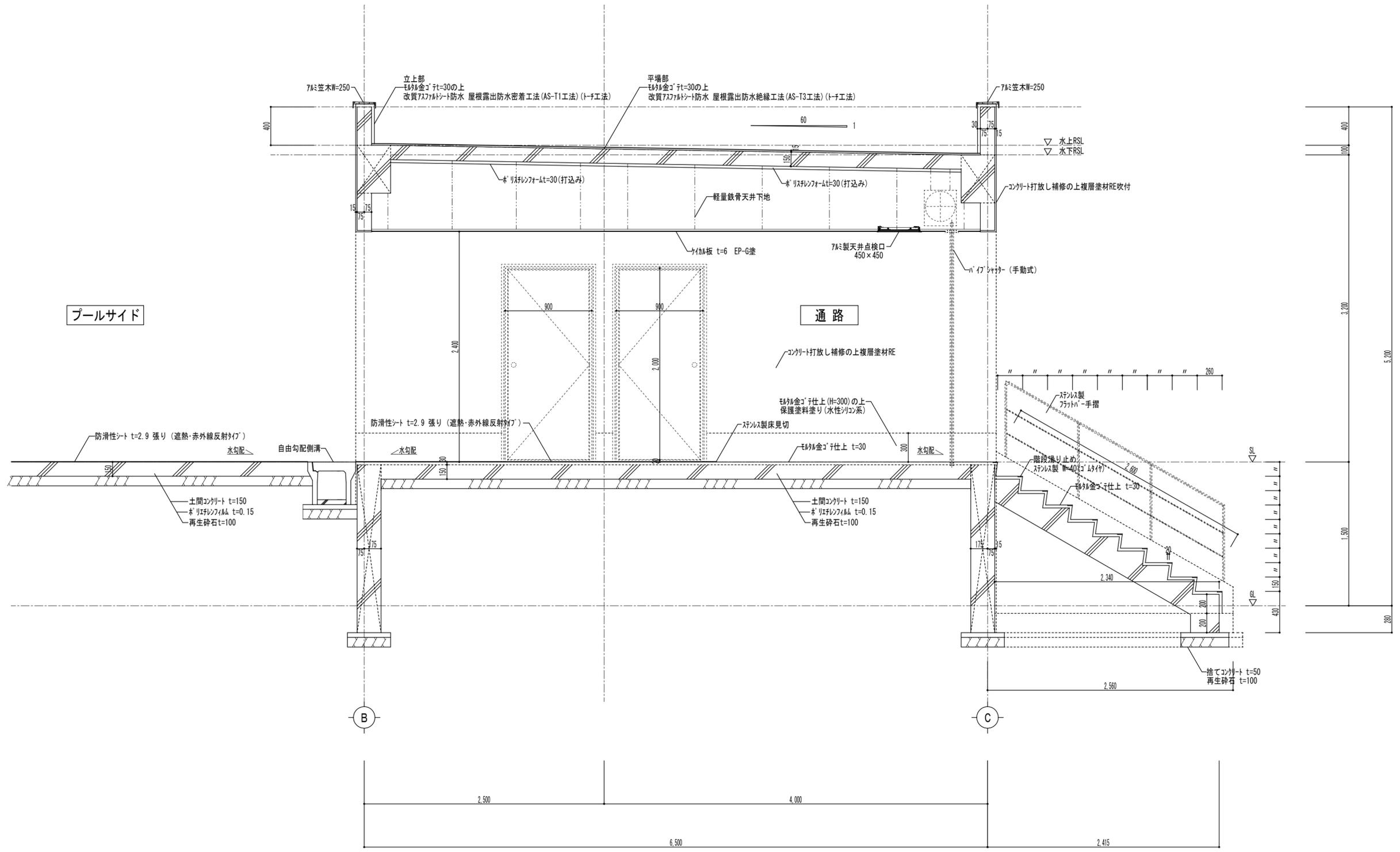
平面詳細図 S=1/50

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 達也

SCALE	原図A2
A2	1/50
A3	1/70
DATE	

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 平面詳細図



矩計図① (A-A') S = 1/30

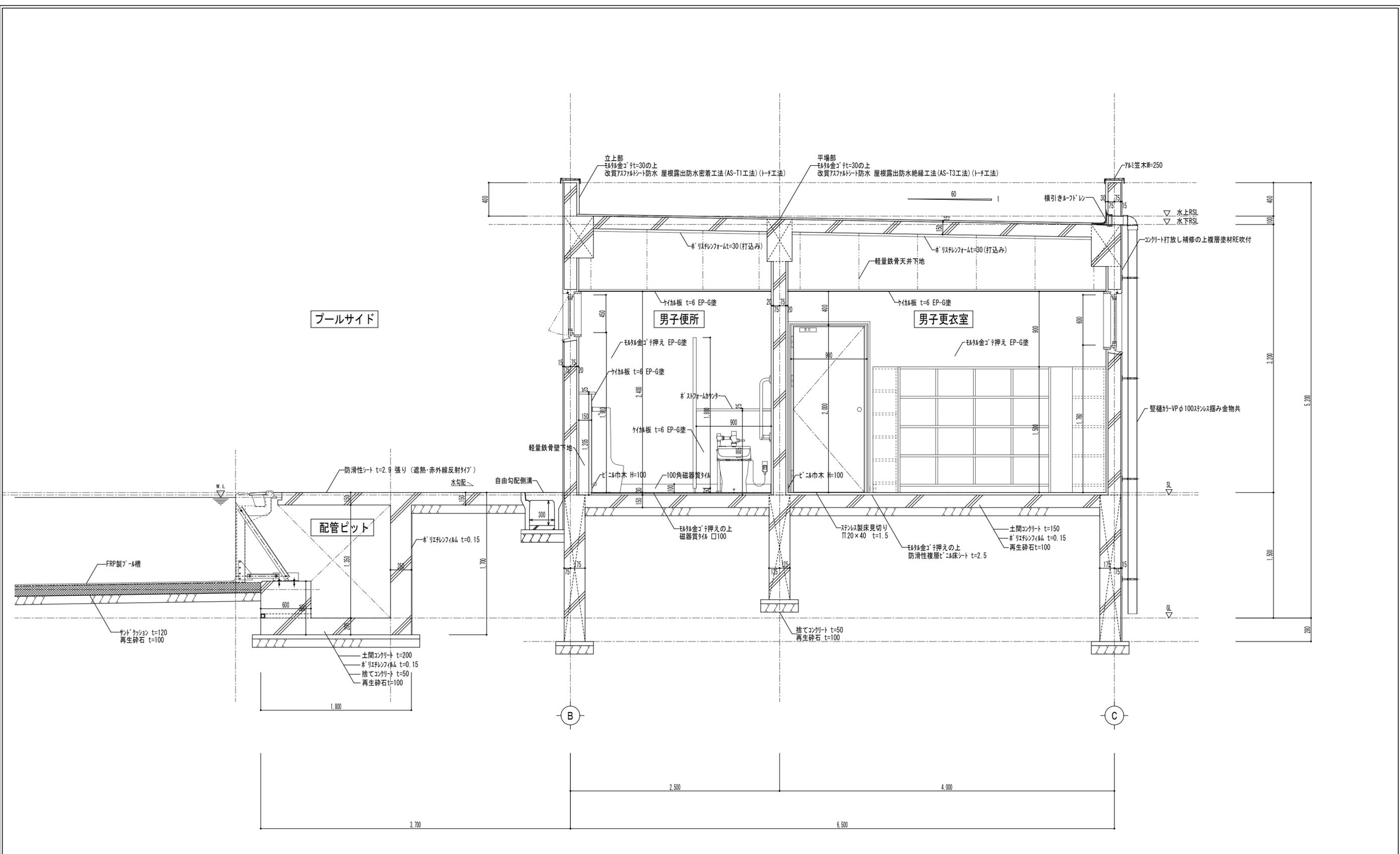
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆

設計担当者
 一級建築士 No.297989 河合 敏
 一級建築士 No.32033 井上 貴智
 一級建築士 No.352551 田端 隆也

SCALE 原図 A2
 A2 : 1/30
 A3 : 1/42
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 矩計図①



矩計図② (B-B') S=1/30

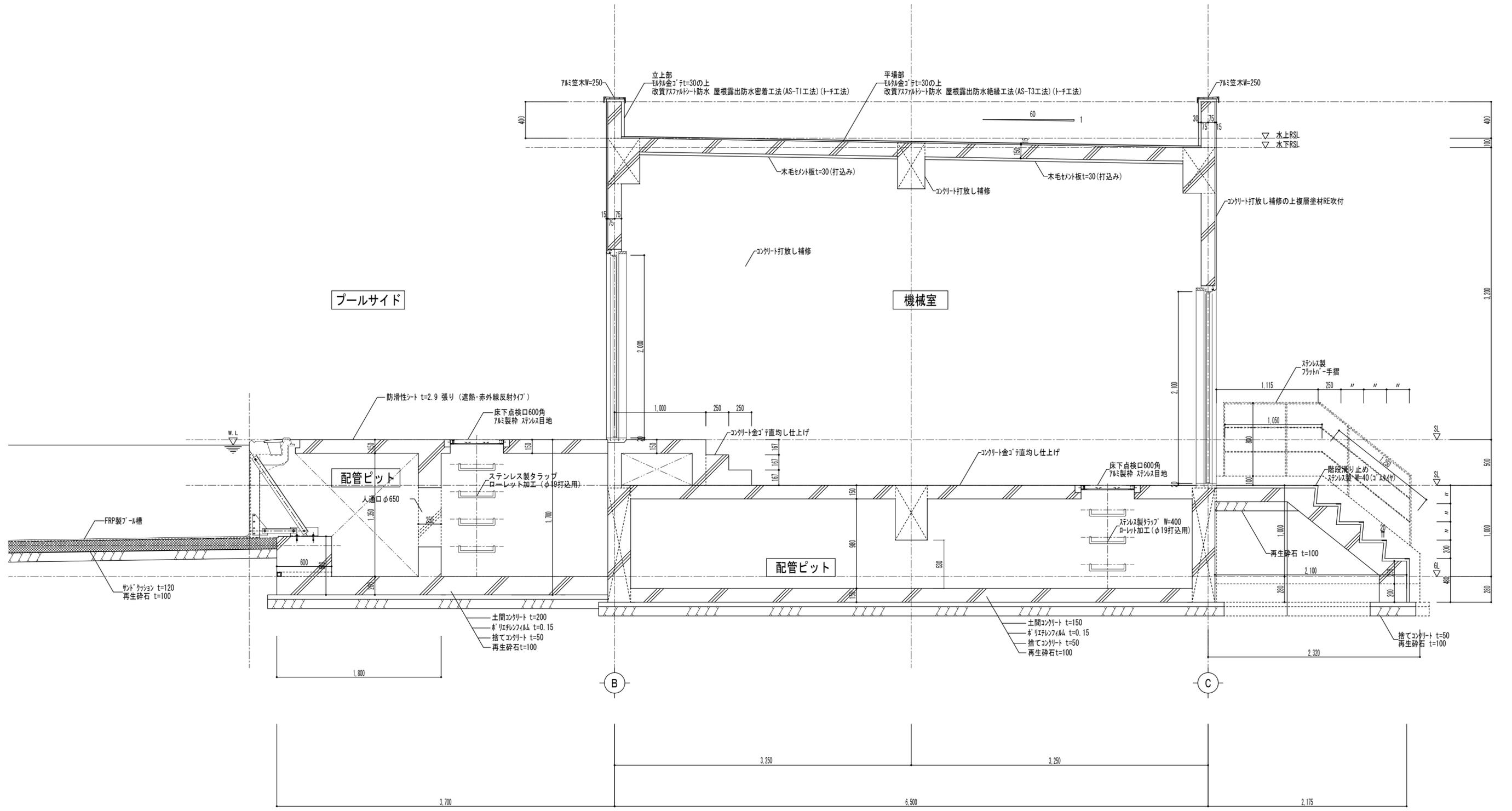
備考	
欄	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 達也

SCALE	原図A2
A2	1/30
A3	1/42
DATE	

工事名称	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事
図面名称	矩計図②



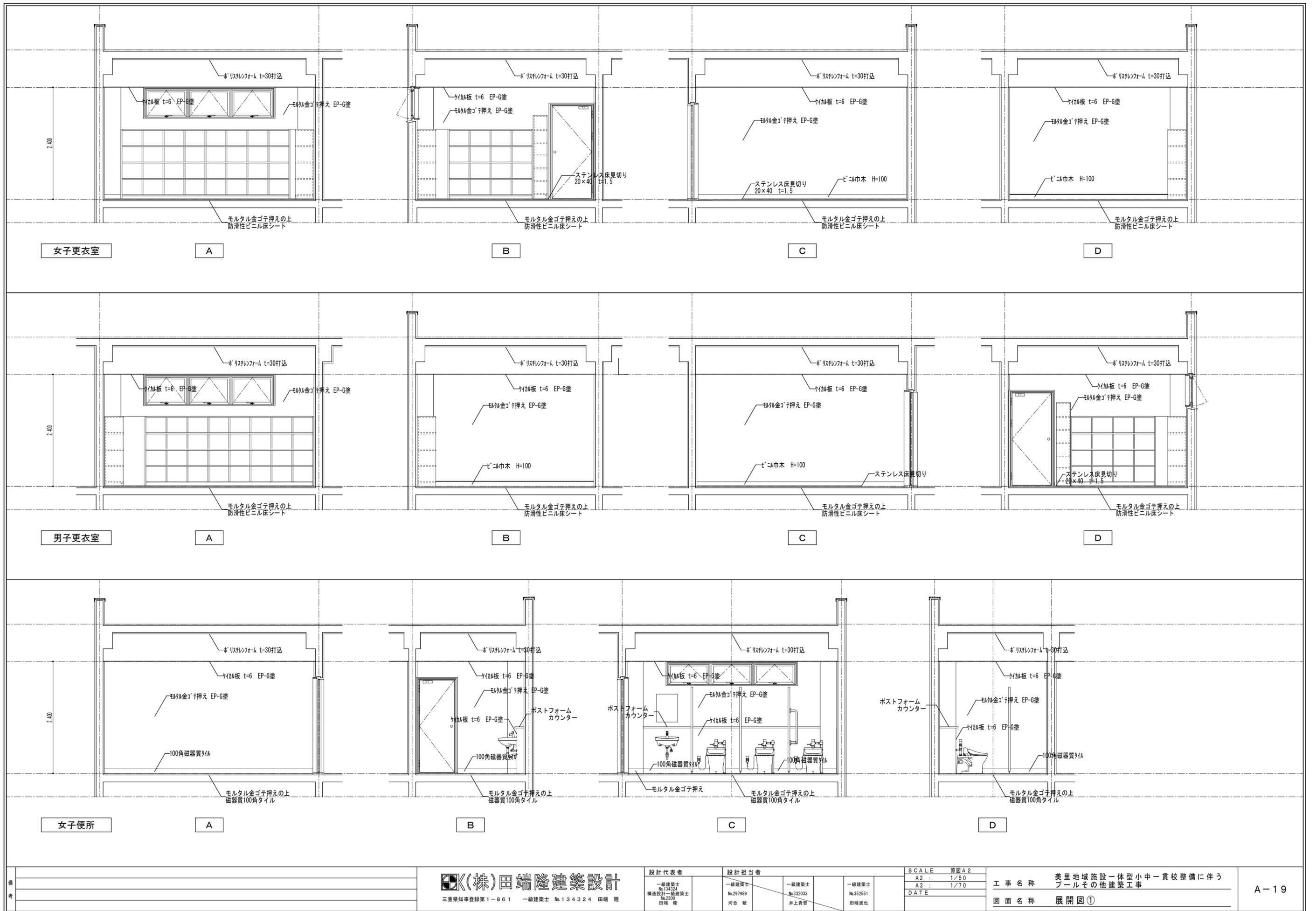
矩計図③ (C-C') S=1/30

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆

SCALE	原図 A2
A2	1/30
A3	1/42
DATE	

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 矩計図③



女子更衣室

A

B

C

D

男子更衣室

A

B

C

D

女子便所

A

B

C

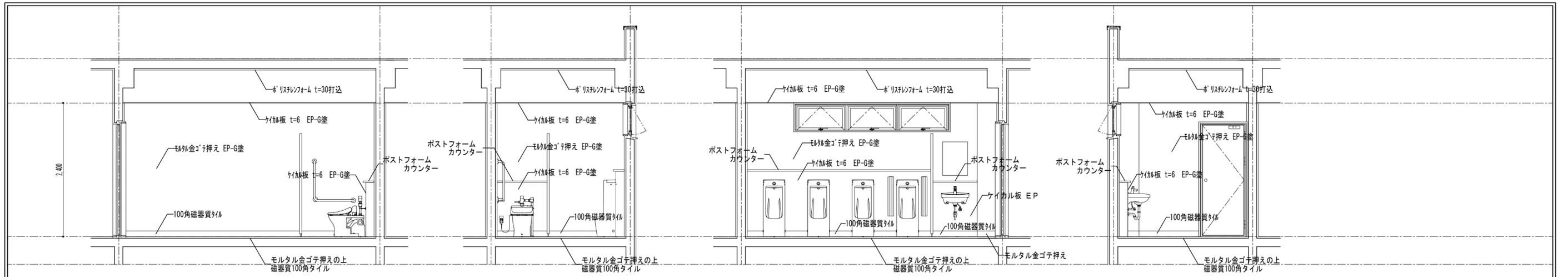
D

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 達也

SCALE 原図A2
 A2 : 1/50
 A3 : 1/70
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 展開図①



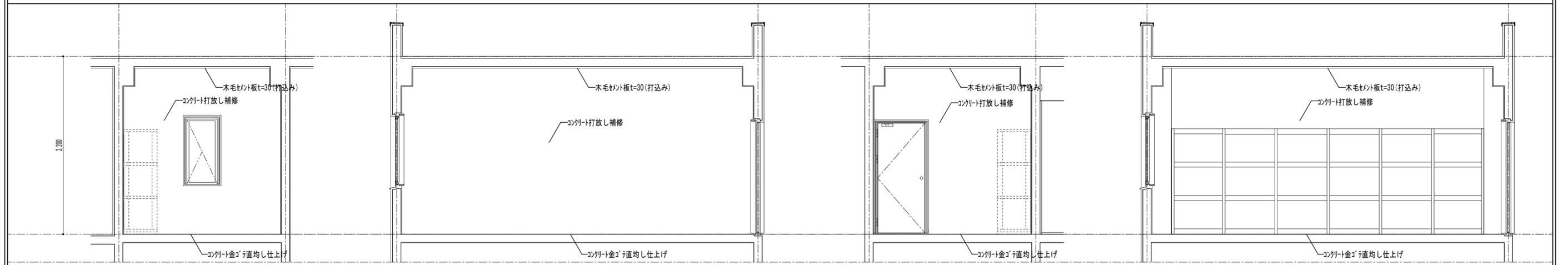
男子便所

A

B

C

D



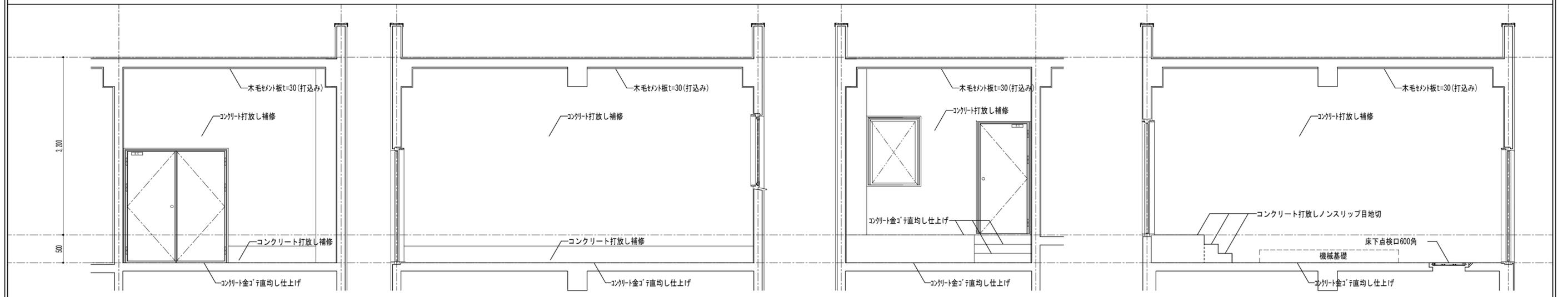
倉庫

A

B

C

D



機械室

A

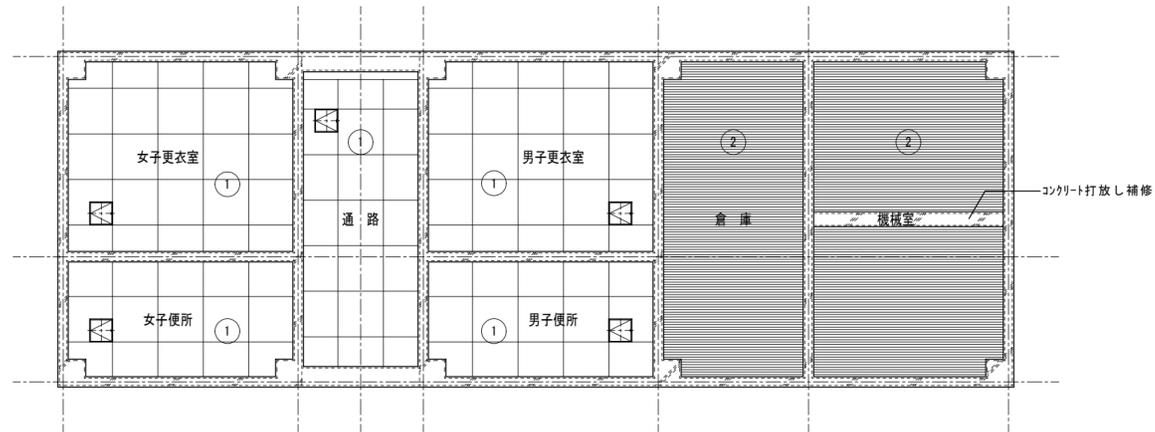
B

C

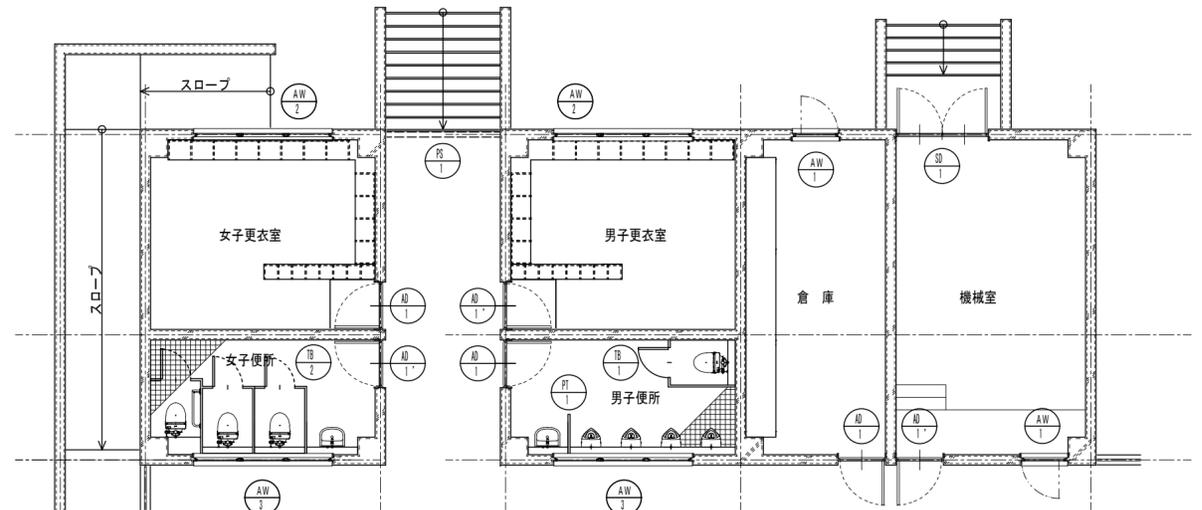
D

備 考	(株)田端隆建築設計				設計代表者	設計担当者	SCALE 原図A2	工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 図面名称 展開図②	A-20	
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆				一般建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一般建築士 No.297989 河合 敏	一般建築士 No.32033 井上貴博			一般建築士 No.352551 田端 隆也
							A2 : 1/50			
							A3 : 1/70			
						DATE				

①	ケイ板 t=6 EP-G塗
②	木毛t=30打込
	7mm製天井点検口450×450



天井伏図 S=1/100



建具平面図 S=1/100

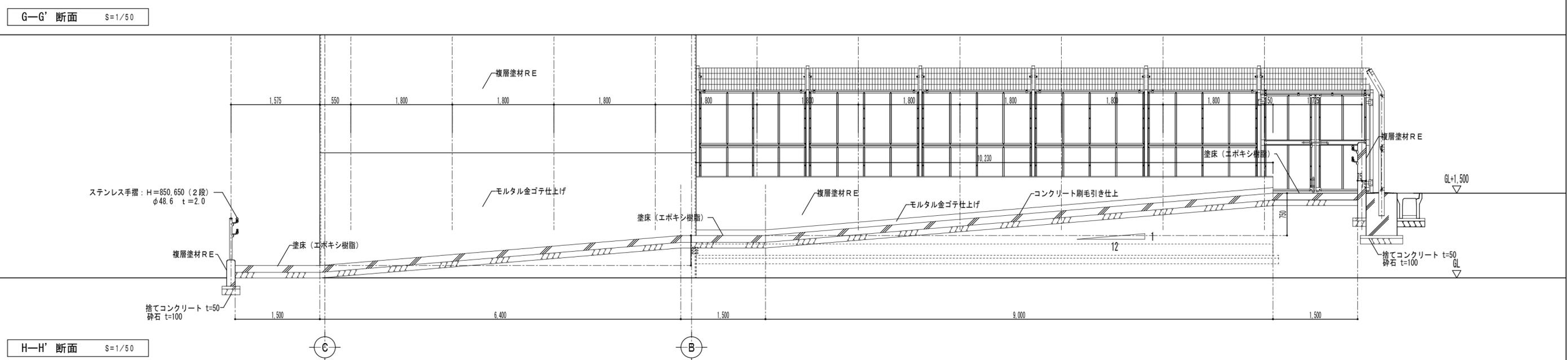
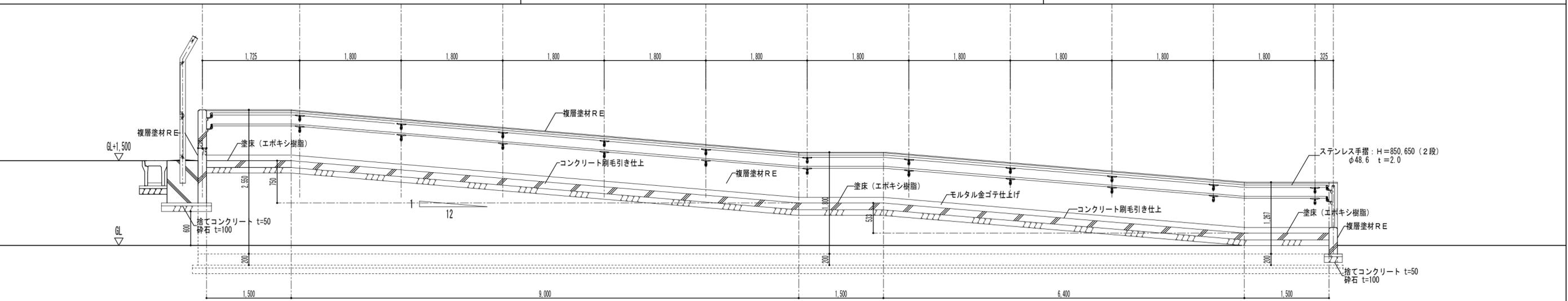
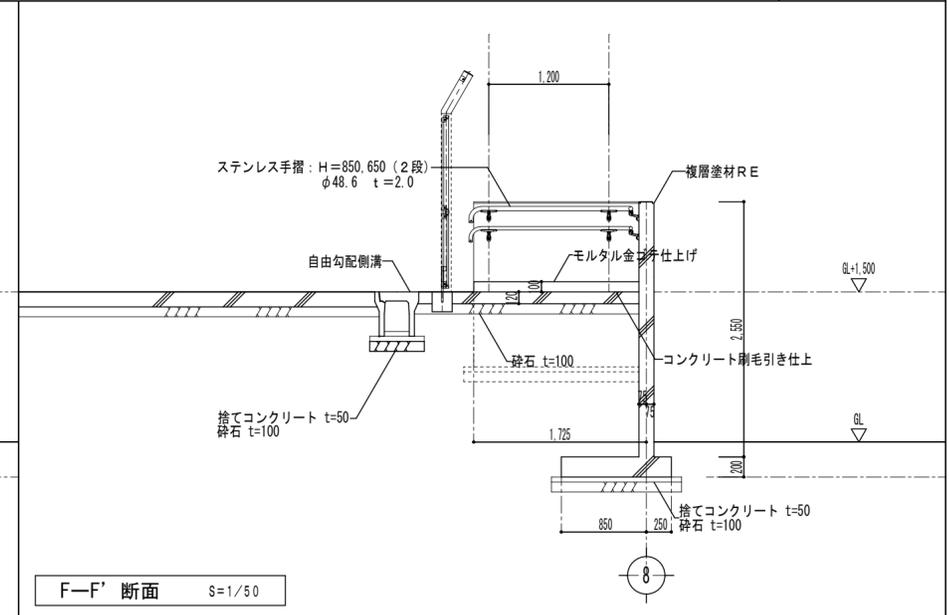
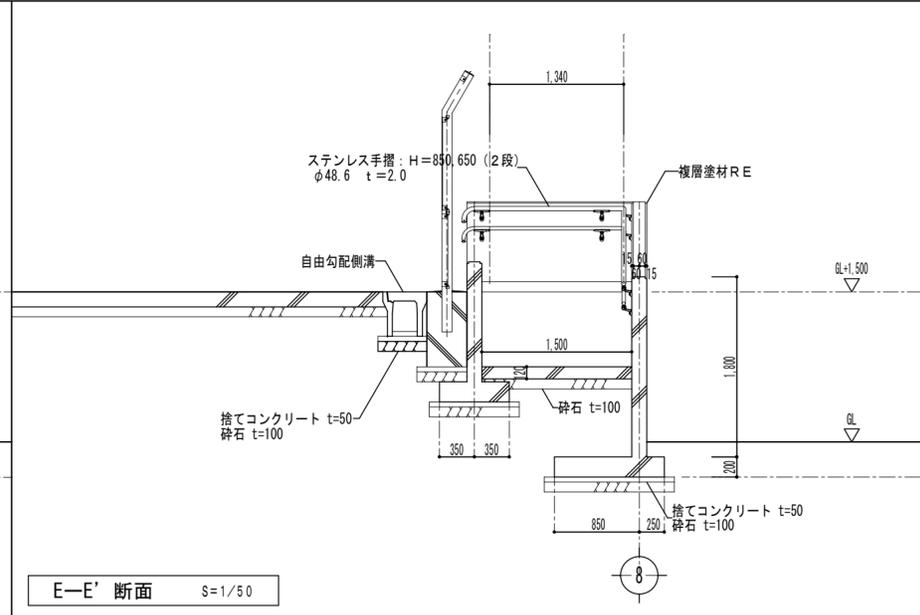
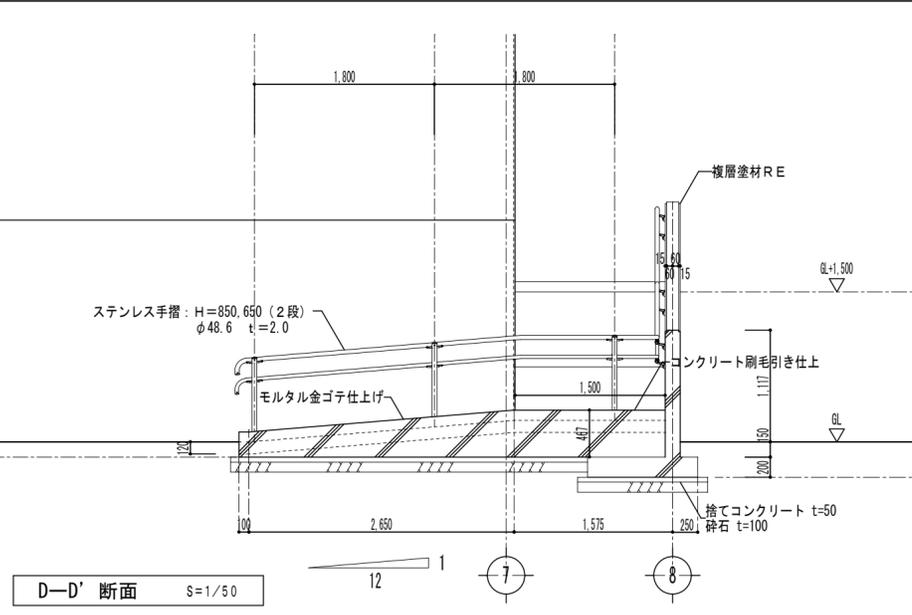
建具表 1/100

記号	数量	1ヶ所	6ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所				
姿図											
場所		機械室	女子更衣室、男子更衣室、女子便所、男子便所、倉庫、機械室	倉庫、機械室	女子更衣室、男子更衣室	女子便所、男子便所	男子便所				
形式	見込	両開きドア	片開きドア	縦すべり出し窓	70	突出し窓	70	突出し窓	70	トイレブース	厚さ 40
仕上	材質	SOP仕上	スチール	カラーアルミ仕上	アルミ	カラーアルミ仕上	アルミ	カラーアルミ仕上	アルミ	高圧メラミン樹脂化粧板	
付属金物		標準金物一式、レバーハンドル、シリンダー錠	標準金物一式、レバーハンドル、シリンダー錠	標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		付属金物一式 頭つなぎ 指詰め防止仕様ヒンジ 戸当り エッジアルミ 笠木:アルミ型材裏付 巾木:ステンレス	
硝子	塗装		シルバー	型ガラス 厚4.0	シルバー	型ガラス 厚4.0	シルバー	型ガラス 厚4.0	シルバー		
備考	下端レベル	ドアクローザー	GL+1,000	ドアクローザー	FL±0	FL±900		FL±1,760		FL±1,910	FL±0

記号	数量	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	
姿図					
場所		女子便所	通路	男子便所	
形式	見込	トイレブース	パイプシャッター (手動式)	パーテーション	厚さ 40
仕上	材質	高圧メラミン樹脂化粧板		メラミン樹脂化粧板	
付属金物		付属金物一式 頭つなぎ 指詰め防止仕様ヒンジ 戸当り エッジアルミ 笠木:アルミ型材裏付 巾木:ステンレス	付属金物一式		
硝子	塗装		シルバー	白	
備考	下端レベル	FL±0		FL±0	FL±0

■ 特記事項

- 建具は全て原寸図作成の上係員の承諾を得ること
- 建具金物、ガラスは原則として見本提出の上係員の承諾を得ること
- アルミ枠及びガラス部には全てシーリングを施すこと
- クレセントは防犯ロック付とする
注:内側から鍵を用いずに手動開放可能な機構とすること
- 特記無き限り仕様ステンレスはSUS304とする
- 建具金物は原則ステンレス製とする
- アスキーを作成すること
- 丁番の使用建具は、1.8m以下は2枚、1.8m以上を超え2.4m以下は3枚とする
- 外部建具廻りは全てシーリング (MS-2) 充填とする
- 内部7mmガラスは山型とする
- 必要な箇所には戸当りを設けること
- サムターン・シリカゲル錠の取り付け高さは、原則としてFL+1500とする
- 建具の鍵前はケロックを原則とする
- 排煙窓等の手動及電動操作機器は、全て本工事とし、サツ・ワ付共すべて隠ぺい式とする
- 排煙窓用ホークおよびクレセントの取付位置は床面より800~1500とする
- 畜槽は特記なき限り、ステンレス=2.0加工品とする
- 外部に取り付ける建具には、結露受けを設けること
- 外部廻り建具 (開き戸) は、特記なき限りSAT仕様とする
- 外部に面する一般扉 (片開、両開、親子扉) は特記なき限りステンレス製 (HL) あり止め付とする
- 外部ドアクローザーはバックチェック機能付とする
- 外部に面する扉、ガラスはステンレス製水返し付きとする (全てステンレス製防虫金網付)
- 外部に面する建具 (出入口及びFIXを除く) は、ステンレス網戸付きとする
- 縁縁・敷居は米桐SOP塗装とする



備考	
----	--

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆		一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上貴智 一級建築士 No.352551 田端達也

SCALE	原図A2
A2	1/50
A3	1/70
DATE	

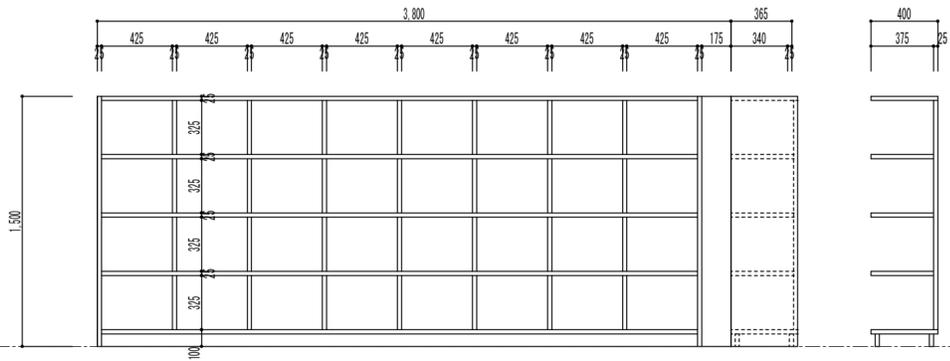
工事名称	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事
図面名称	スロープ詳細図

男子・女子更衣室・木製更衣棚（2カ所）

1/30

名称	材質・仕様
天板・棚板・底板	メラミン化粧合板
側板・仕切板	メラミン化粧合板
背板	メラミン化粧合板
木口	メラミン化粧合板

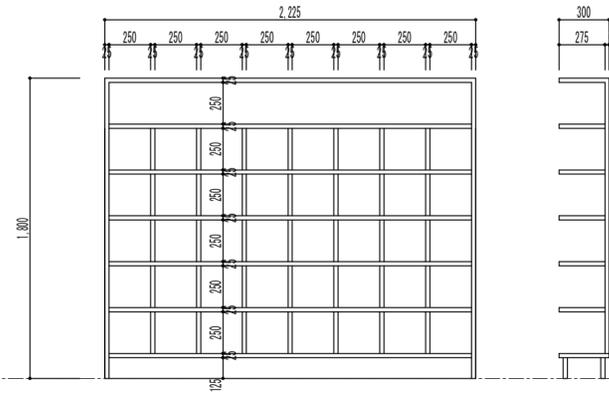
※男子更衣室は対称形



男子・女子更衣室・木製下足箱（2カ所）

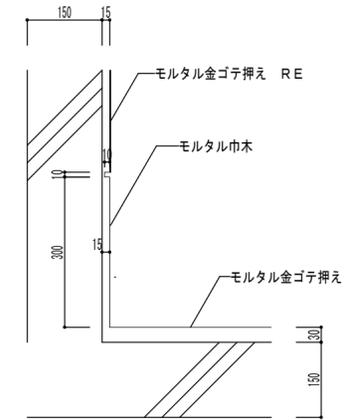
1/30

名称	材質・仕様
天板・棚板・底板	メラミン化粧合板
側板・仕切板	メラミン化粧合板
背板	メラミン化粧合板
木口	メラミン化粧合板



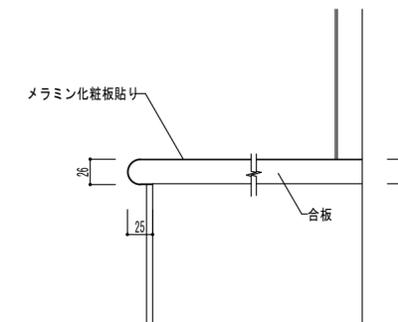
通路・外壁部モルタル巾木詳細図

1/10



便所ポストフォーム詳細図

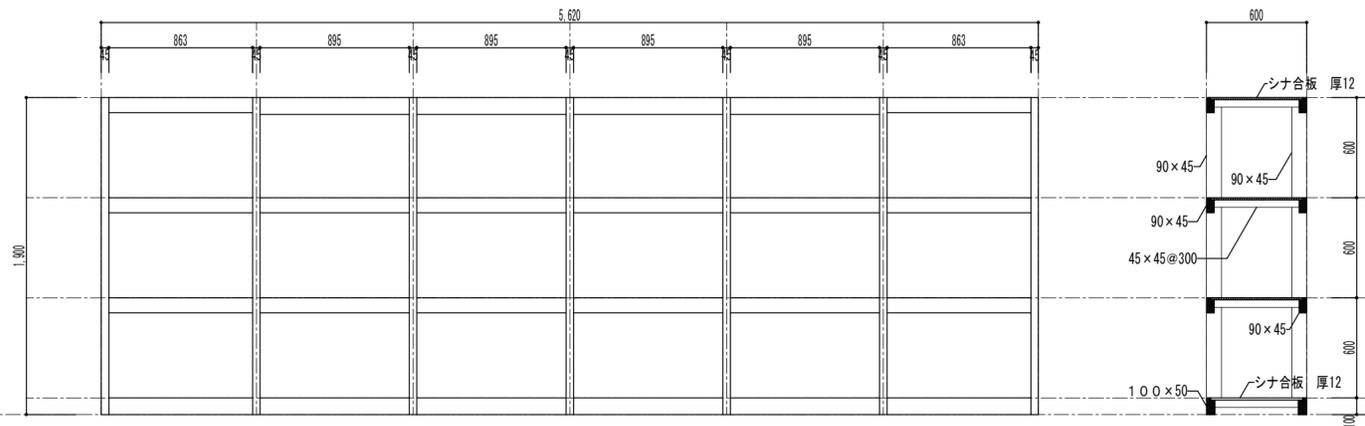
1/10



倉庫内木製棚

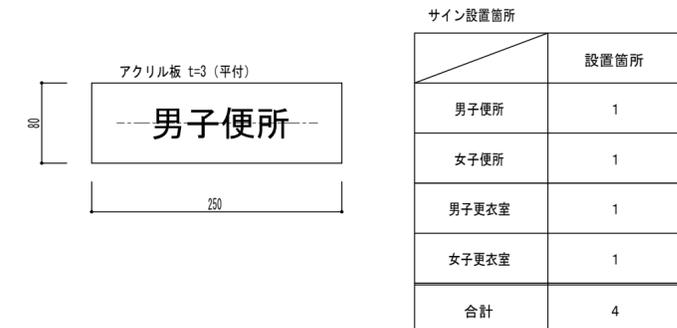
1/30

名称	材質・仕様
天板・棚板・底板	シナ合板 厚12
支柱	集成材 90×45
框	集成材 90×45
根太	集成材 45×45@300
ビーム	集成材 100×50



室名サイン参考図

1/5



※設置位置については、監督員の承認を受け決定

プール本体工事特記仕様書

規模	プールサイズ(呼称)	25×11+(10×5)	m
	水 深	1.0~1.2~1.0/0.7	m
	コース数	5	コース
	コース幅	2.0	m
	水 面 積:(呼称寸法で算出)	325	m ²
	容 量:(呼称寸法で算出)	337	m ³

本体材質	FRP(Fiberglass Reinforced Plastics):不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。		
成形法	ハンドレイアップ法 及び スプレイアップ法		
各部構造	側壁	サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材) ※短辺方向の側壁のみ防滑仕様 厚さ 21mm	
	底板	サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材) 厚さ 15mm	
	デッキ、オーバーフロー部	FRP単板構造 ※防滑仕様	
	本体固定金物	SS400 山形鋼 溶融亜鉛メッキ処理	
	集水方式	3本ガーターによる分散集水方式	

付属部品	部品名称	材質	員数	
1	グレーチング	ASA樹脂成形品	全周	
2	ラダーハンドル	SUS304	5	セット
3	コースロープフック	SUS304	12	個
4	コーナーハッチ	FRP製	5	ヶ所

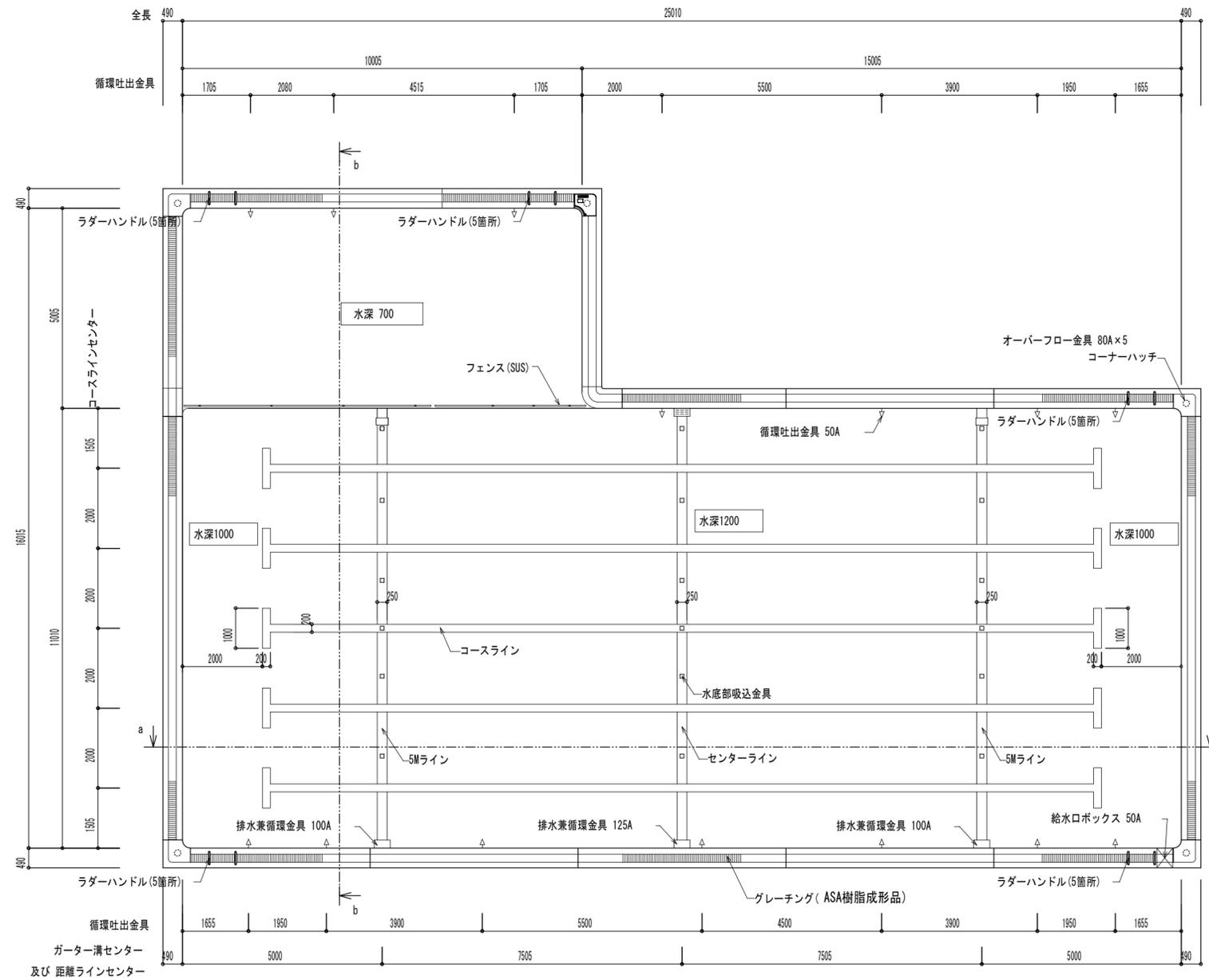
寸法公差	部位		基準値	許容範囲
	1	長さ	25,010mm	-5~+20mm
	2	幅	所定幅寸法	0~+30mm
	3	デッキレベル	内壁天端レベル	±7.5mm以内

カラーリング	部位	塗料材質	箇所	塗り分け位置
	プール 本体	ゲルコート (顔料を含んだ不飽和ポリエステル樹脂塗料)	側壁	オーバーフロー部 内壁天端より-50mm(水面)以下
ライン	アクリルウレタン樹脂系塗料	フロアー部	全面	
		コースライン	プール本体図参照	
		クロスライン		
		5Mライン		
			センターライン	

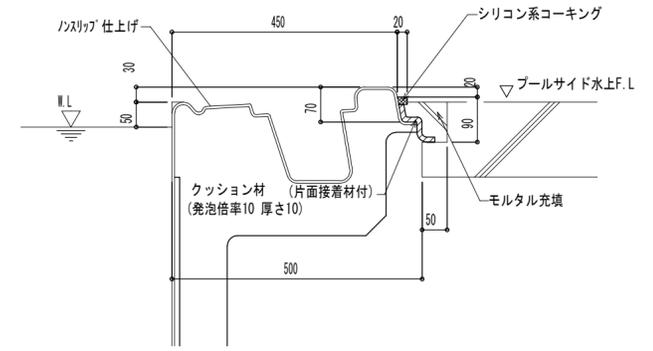
配管部品	部品名称	材質	サイズ	員数	
1	排水兼循環金具	フランジ(ナイロン粉体塗装)+フレキシブルジョイント	JIS10K 125A	1	個
2	排水兼循環金具	フランジ(ナイロン粉体塗装)+フレキシブルジョイント	JIS10K 100A	2	個
3	オーバーフロー金具	BSC ナイロン粉体塗装	80A	5	個
4	循環吐出(菊形)金具	BSC ナイロン粉体塗装	50A	14	個
5	給水口ボックス	FRP製	50A HIVP管	1	個
6	水底部吸込金具	SUS304 <ガーター部に取付>	図示	18	個

※プール取付金具以降の配管、フランジ、ボルト、ナット、ワッシャー、パッキン、配管サポート等は設備工事

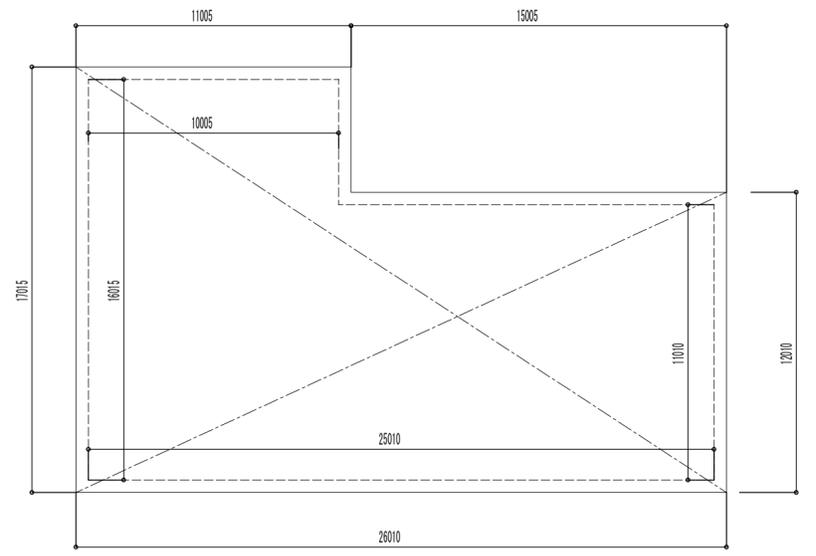
用語説明	ハンドレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法。
	スプレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレイ散布し硬化後、型から外して得る成形法。
	ASA	アクリレート スチレン アクリロニトリル
	BSC	黄銅鑄物
	Rc	管用テーパームすねじ



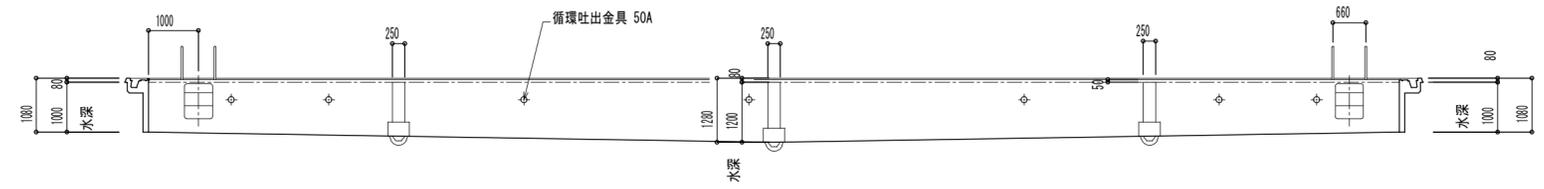
プール 平面図 1/100



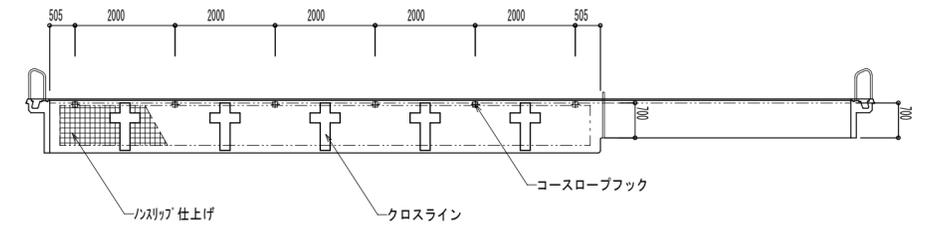
プールサイド取合い参考図 1/10



スラブ開口図 1/200



a-a断面図 1/100



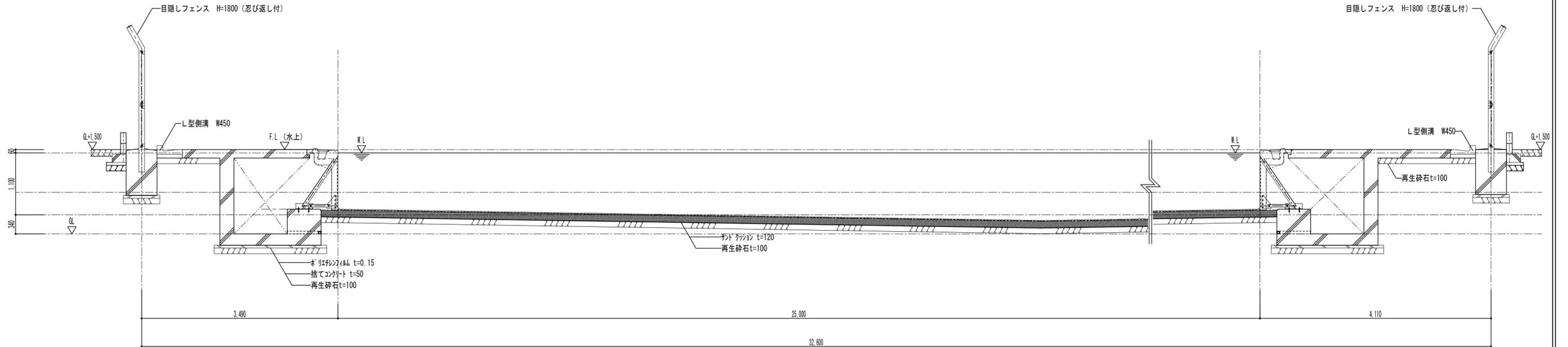
b-b断面図 1/100

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

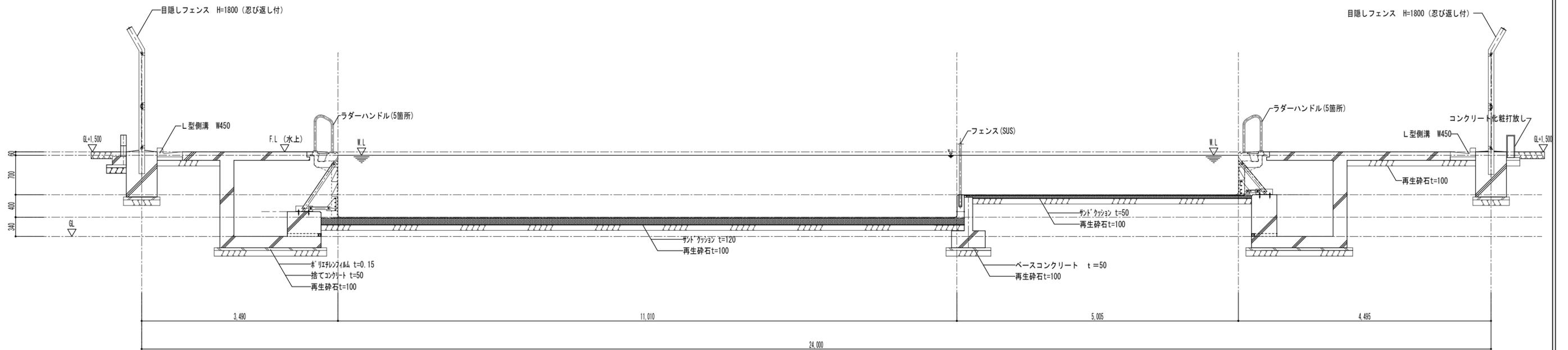
設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 達也

SCALE 原図A2
A2 : 1/100
A3 : 1/140
DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
プールその他建築工事
図面名称 プール本体図・スラブ開口図



A a-a断面図 1/50



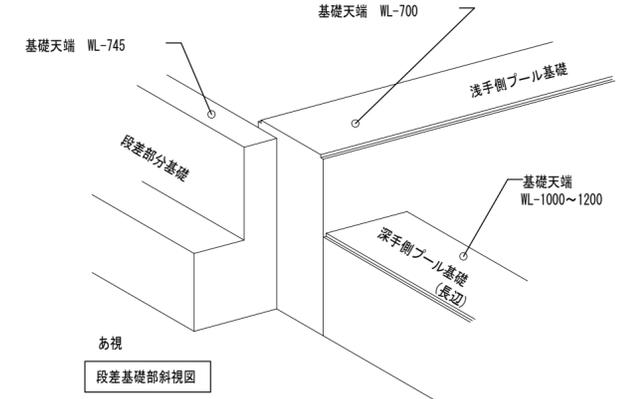
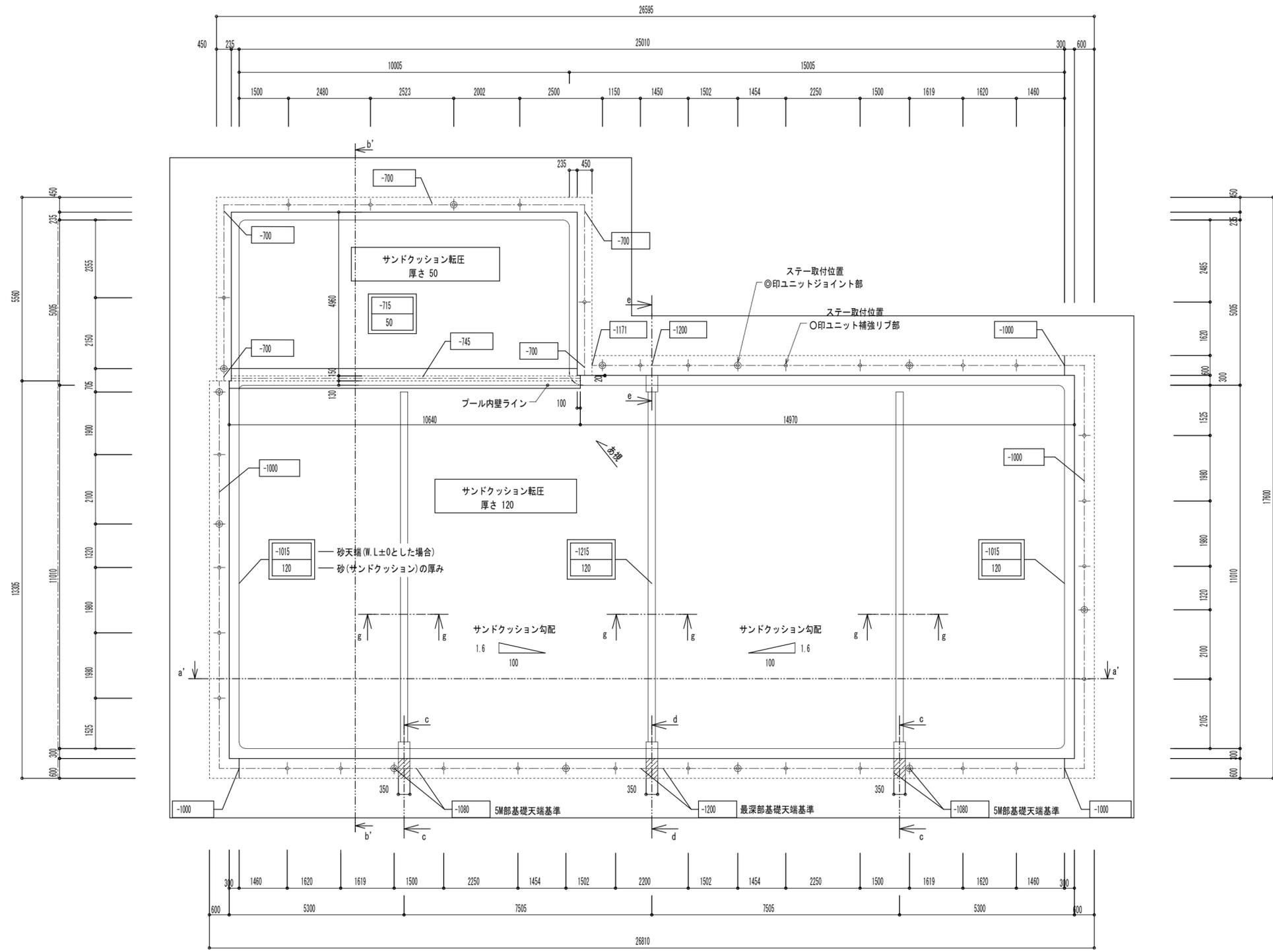
1 b-b断面図 1/50

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端 進也

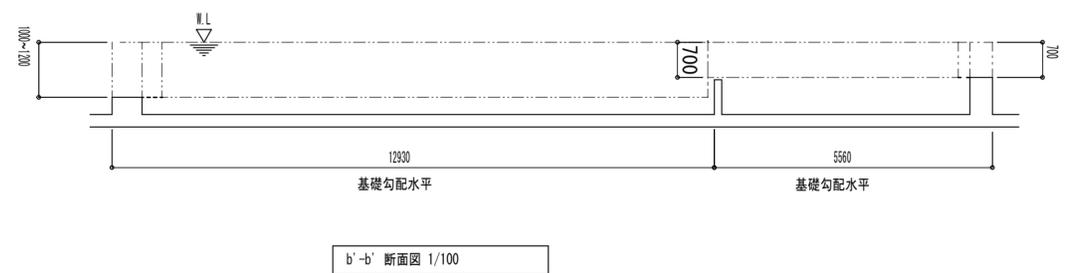
SCALE	原図 A2
A2	1/50
A3	1/70
DATE	

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 プール本体断面詳細図



- 注記
1. 図中 $-1200 L \pm 0$ とした場合のプール布基礎天端高を示す。
 2. プール布基礎 (RC) は高低差 ± 10 mm 以下とし、上面はコテ仕上げとする。
基礎上面の鉄筋かぶり厚は 60 mm 以上とする (後施工アンカー首下長さ 55 mm のため)
 3. サンドクッションは川砂又は同等品 (直径 $1 \sim 5$ mm 程度で塩分 0.04% 以下) にて高低差 ± 7.5 mm 以下となるようプレート等に転圧する。山砂は不適。
 4. 配管用基礎切り欠き部分は設備配管工事完了後に砂止め処置を行うこと。
 5. プールピット内は点検スペース及び換気・排水設備を設けること。

プール基礎伏図 1/100



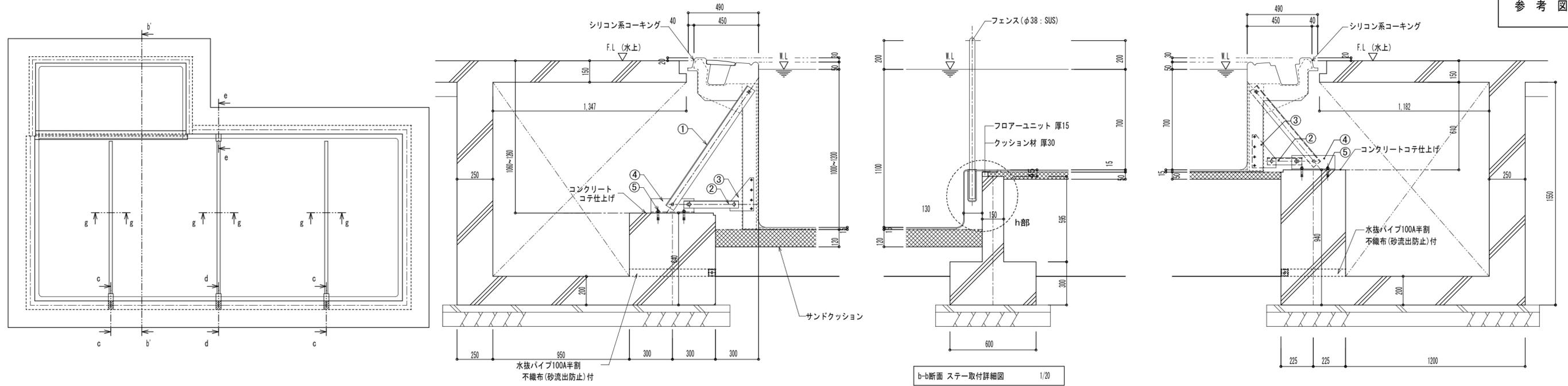
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第 1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士 No.134324 田端 隆
 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆

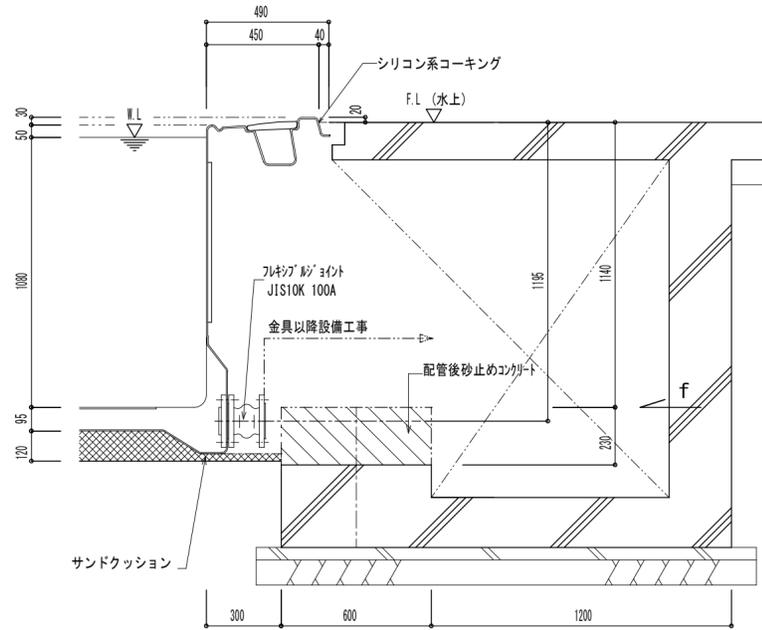
設計担当者
 一級建築士 No.297989 河合 敏
 一級建築士 No.32033 井上 貴智
 一級建築士 No.352551 田端 達也

SCALE 原図 A2
 A2 : 1/100
 A3 : 1/140
 DATE

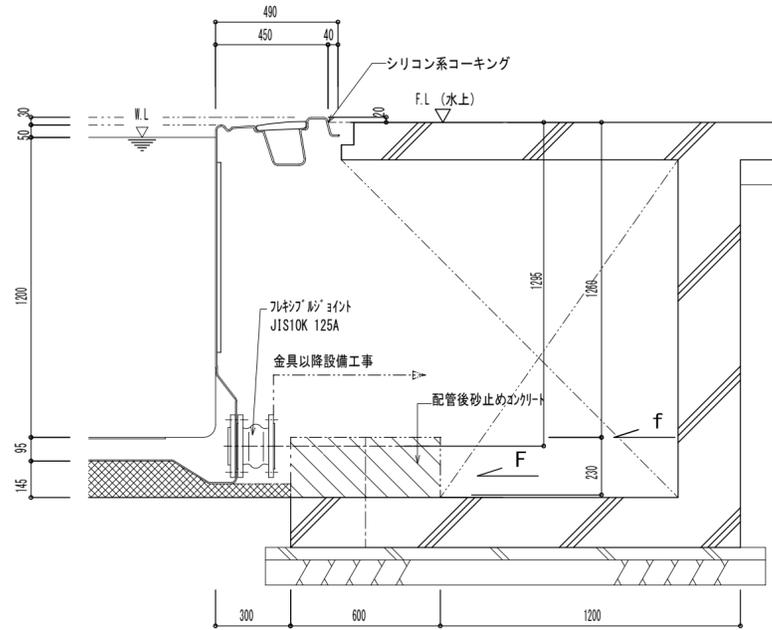
工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 プール基礎伏図



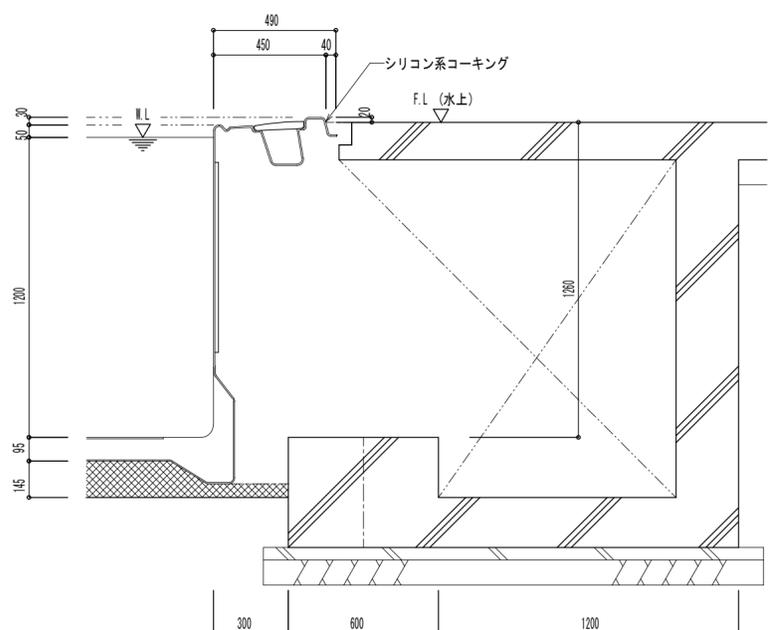
b-b断面 ステー取付詳細図 1/20



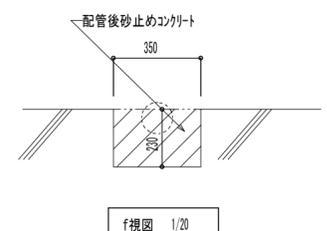
排水兼循環金具取付詳細図 c-c断面 1/20



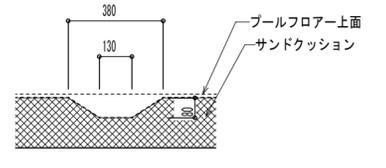
排水兼循環金具取付詳細図 d-d断面 1/20



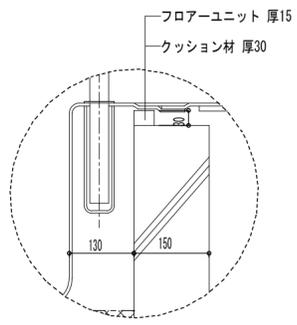
e-e断面詳細図 1/20



f視図 1/20



g-g断面詳細図 1/20



h部詳細図

番号	部品名称	寸度	材料
5	ホールインアンカー	M12	SUS304
4	ベースアングル	L-100×75×7	SS400 溶融亜鉛メッキ処理
3	ブラケット	PL-t 4.5	SS400 溶融亜鉛メッキ処理
2	ロアステー	L-50×50×4	SS400 溶融亜鉛メッキ処理
1	サイドステー	L-65×65×6	SS400 溶融亜鉛メッキ処理

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆
 設計担当者 一級建築士 No.297989 河合 敏 一級建築士 No.32033 井上 貴智 一級建築士 No.352551 田端 隆也

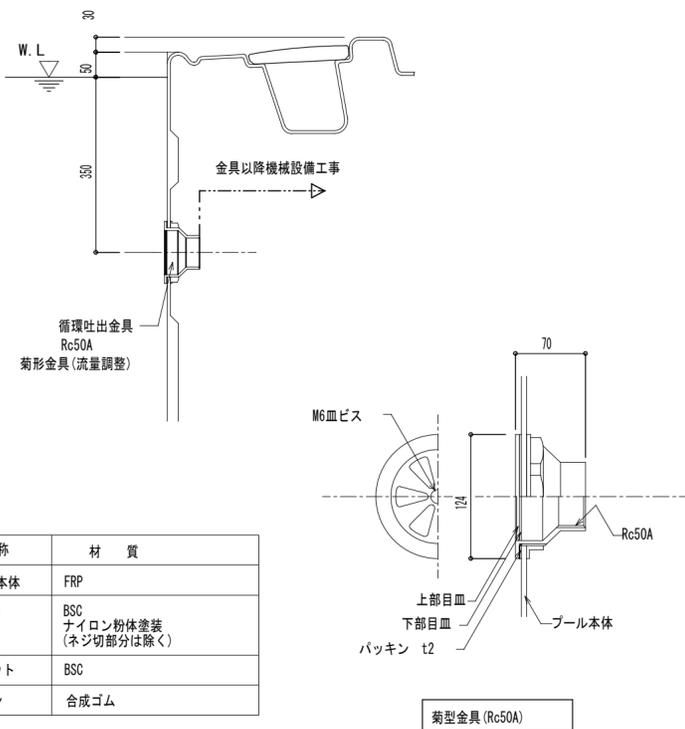
SCALE 原図A2
 A2 : 1/20
 A3 : 1/28
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事
 図面名称 プール断面詳細図

循環吐出金具部詳細図

1/10、1/5

参考図



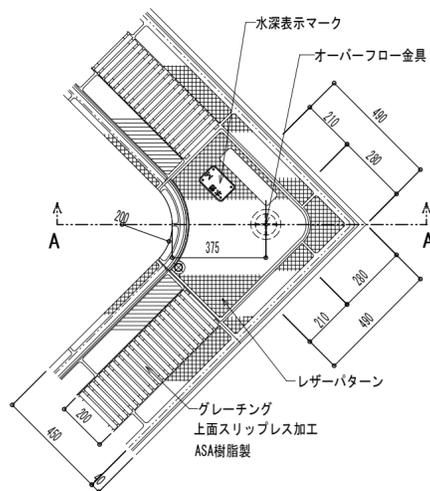
名称	材質
プール本体	FRP
金具	BSC ナイロン粉体塗装 (ネジ切部分は除く)
金具ナット	BSC
パッキン	合成ゴム

菊型金具 (Rc50A)

コーナーハッチ及びオーバーフロー金具部詳細図

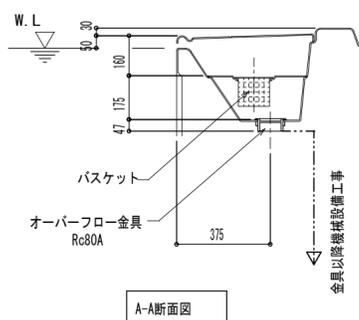
1/20、1/5

参考図

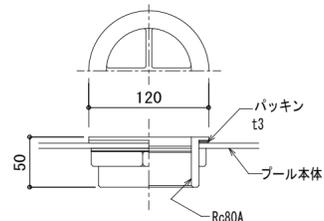


コーナーハッチ平面詳細図

名称	材質
プール本体	FRP
金具	BSC [ナイロン粉体塗装(ネジ切部分は除く)]
金具ナット	BSC
パッキン	合成ゴム



A-A断面図

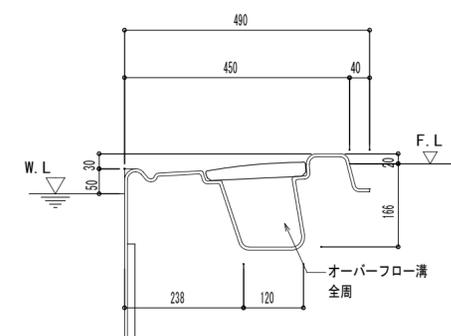


オーバーフロー金具 (Rc80A)

オーバーフロー溝断面詳細図

1/10

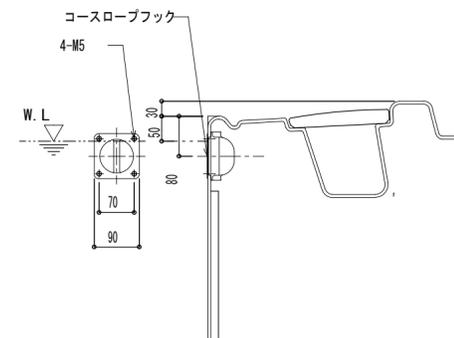
参考図



コースロープフック詳細図

1/10

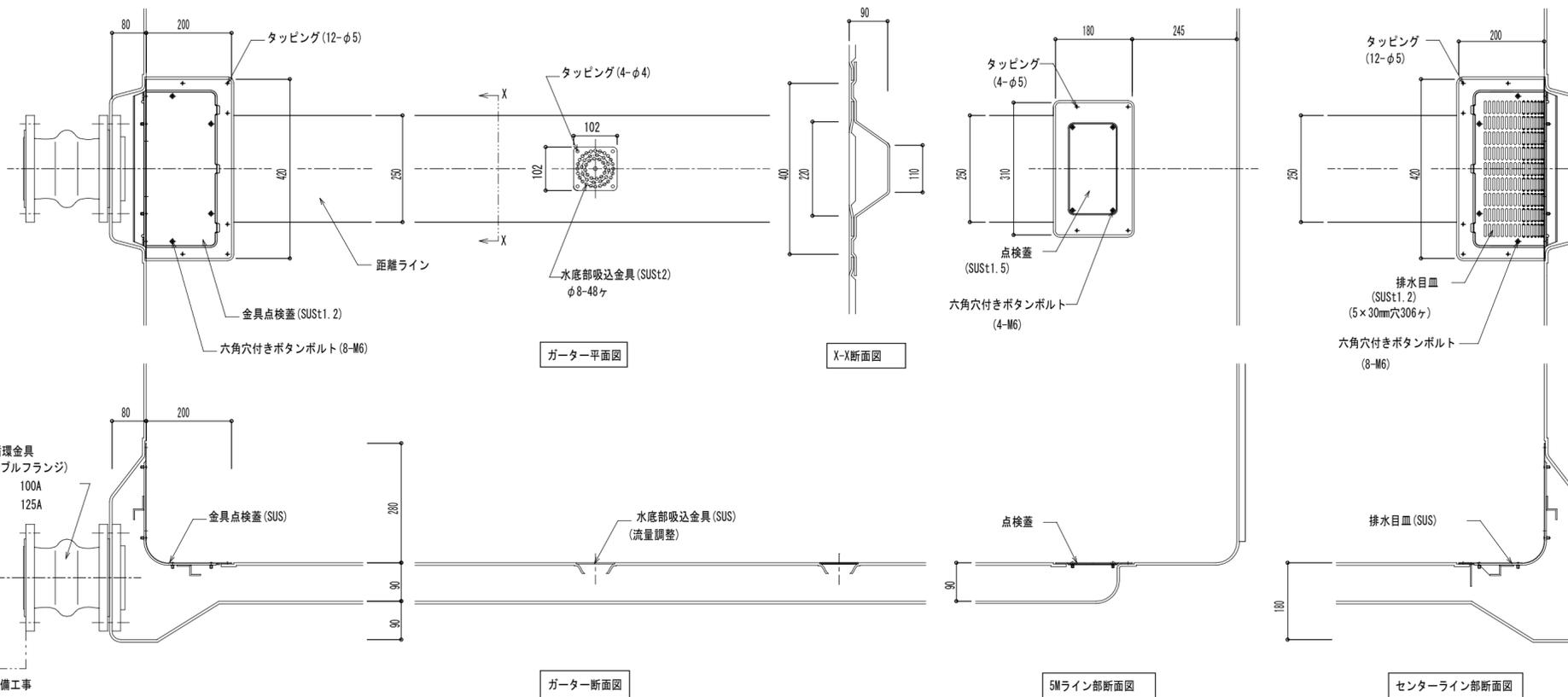
参考図



排水兼循環金具・ガーター部詳細図

1/10

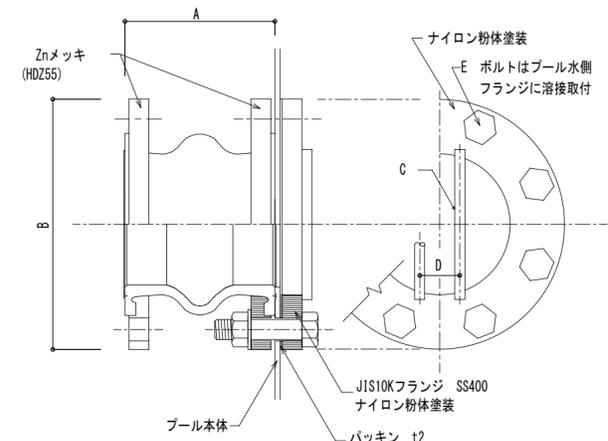
参考図



JIS10Kフレキシブルフランジ詳細図

(SCALE:FREE)

参考図



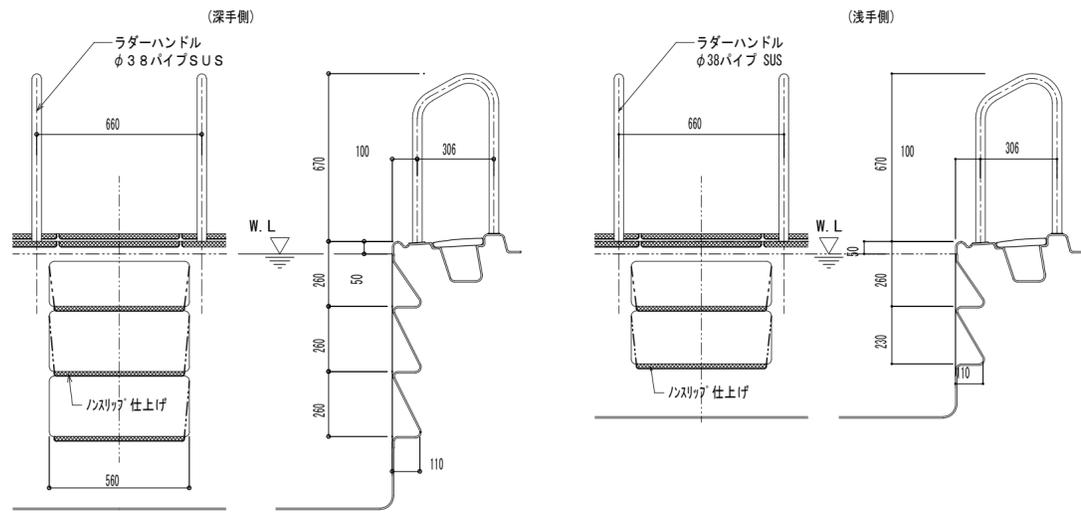
	A	B	C	D	E ボルト	使用箇所
125A	150	250	2-φ10	40	8-M20	排水兼循環
100A	150	210	2-φ7	30	8-M16	排水兼循環

名称	材質
プール本体	FRP
金具	SS400
パッキン	合成ゴム
取付金具	SUS(ボルト、ワッシャー、ナット)

ステップ及びラダーハンドル詳細図

1/20

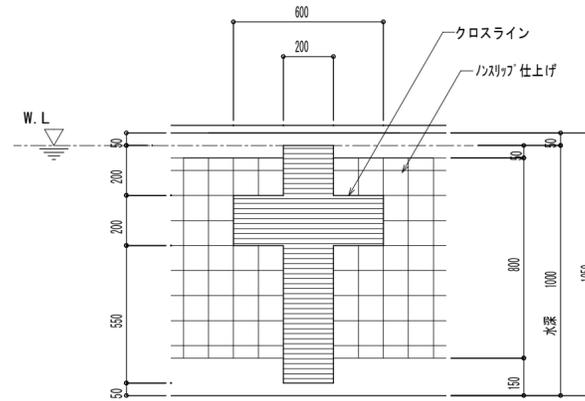
参考図



短辺側面詳細図

1/20

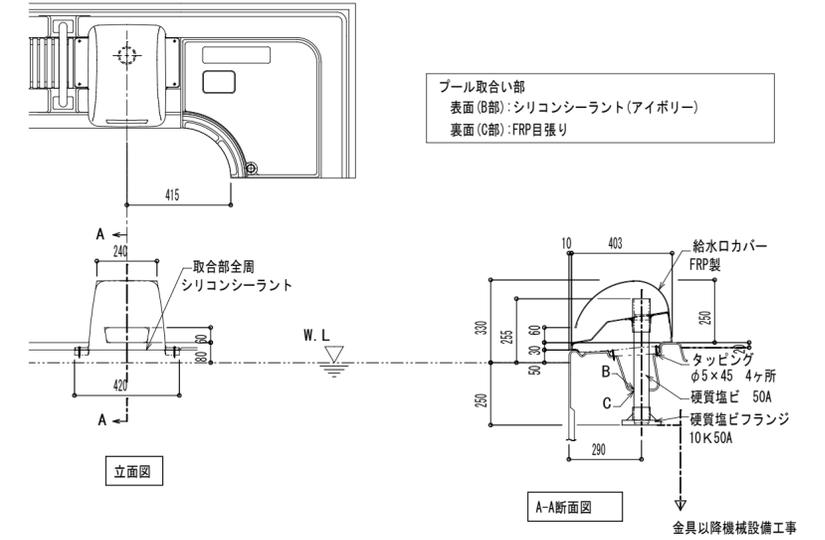
参考図



給水口ボックス詳細図

1/20

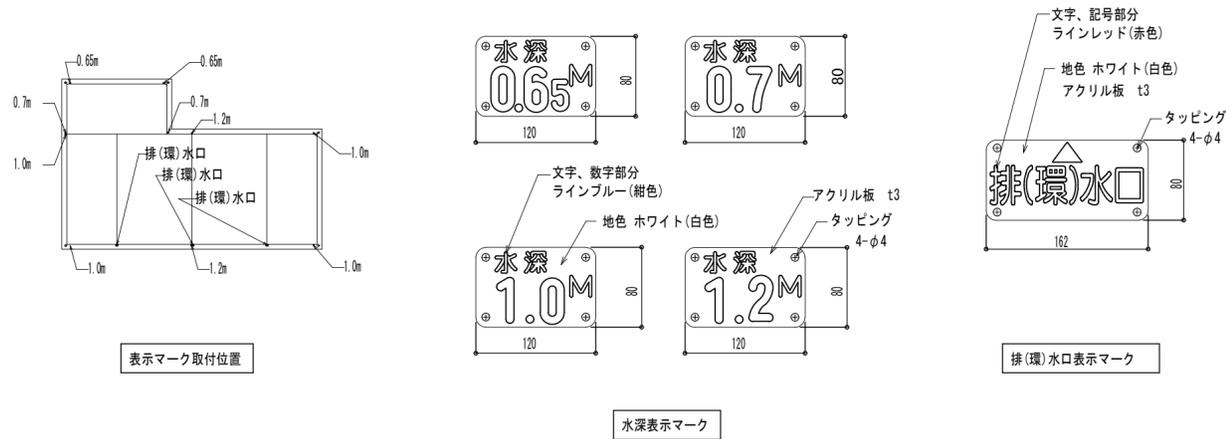
参考図



表示マーク詳細図

1/5

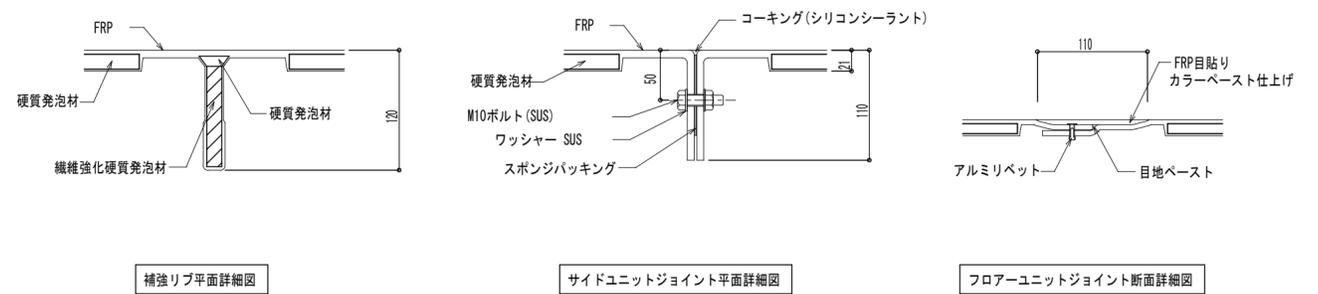
参考図



ジョイント及び補強リブ詳細図

1/5

参考図



シャワーユニット工事特記仕様書・設置図

区分	内容	単位	数量	重量	仕様・備考	
1	本体	全長	m	2.95		
		全幅	m	2.25	通路幅 1.2m	
		全高	m	2.2	仕上げF.Lから高さ 2.105m	
		ユニット高	m	1.1	仕上げF.Lから高さ 1.005m	
2	付属部品	ユニット1(側壁及び底盤)	ユニット	1	160kg	ゲルコート+FRP+硬質塩ビフォーム+FRP
		ユニット2(側壁外側カバー)	ユニット	2	20kg	ゲルコート+FRP
		シャワー アッパーパイプ	本	3	5kg	φ34パイプ (SUS304) ノズル (SUS304) 3箇所/本
		腰洗いノズル	箇所	6		PP及びPPS
		メンテナンスハッチ	箇所	2		ゲルコート+FRP

本体材質	FRP(Fiberglass Reinforced Plastics):不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。
成形法	ハンドレイアップ法 及び スプレイアップ法
各部構造	側壁・カバー:FRP単板構造 底板:サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材)

カラーリング	部位	塗料材質
	シャワー本体	ゲルコート(顔料を含んだ不飽和ポリエステル樹脂塗料)

配管部品 配線部品	部品名称	材質・仕様	サイズ	員数	
	1 排水金具	BSC ナイロン粉体塗装	Rc80A	1	個
	2 給水配管接続取り出し	HI-VPバルブソケット	40A	1	箇所
	3 ストレーナー	青銅 メッシュ80	40A	1	個
	4 操作バルブ	PVC	40A	1	個
	5 メンテナンスバルブ	青銅	40A	1	個
	6 フレキシブルホース	SUS316 腰洗いノズル用	φ20	6	本
	7 フレキシブルホース	SUS316 アッパーパイプ及び水抜き用	φ32.5	8	本

※シャワー取付金具以降の配管、バルブ、配管サポート、保温等は設備工事

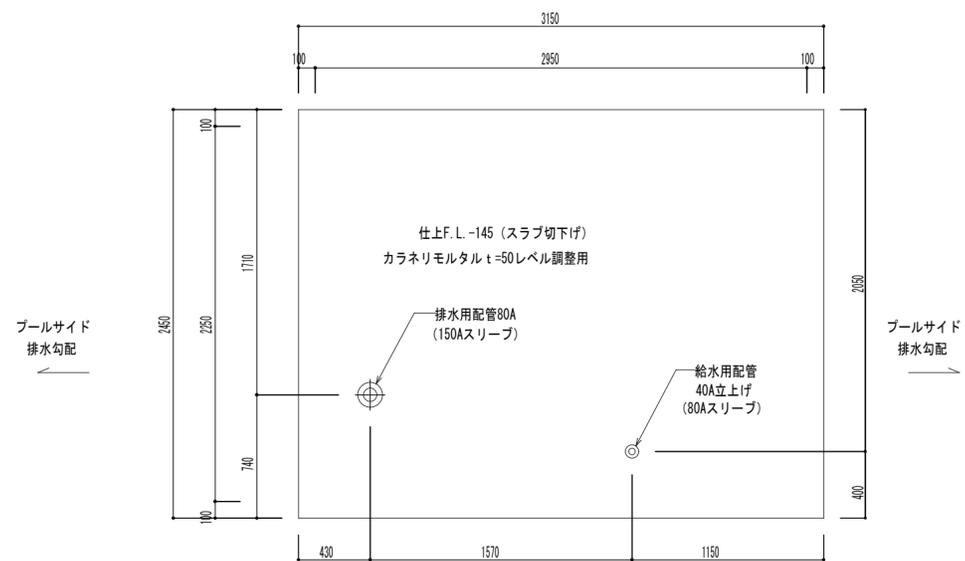
用語説明		
ハンドレイアップ法		型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法。
スプレイアップ法		型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレイ散布し硬化後、型から外して得る成形法。
BSC		黄銅鑄物
Rc		管用テーパードメスねじ
PP		ポリプロピレン樹脂
PPS		ポリフェニレンサルファイド樹脂
PVC		ポリ塩化ビニル樹脂

[1] 建築工事条件

- シャワーユニット設置場所50m以内まで4ton車の通行が可能であり、且つユニット設置場所まで2.0m巾以上の資材搬入路を確保すること。
- 設置地盤は長期地耐力20KN/m² (2t/m²)以上の均等地盤で不同沈下をおこさない地盤とすること。

[2] 設備工事条件

- 本商品のシャワー機能を充分発揮させるため、以下の条件を満たすこと。
- シャワーユニット用配管水圧を0.1MPa(0.1kg/cm²) [1.0kg/cm²(+0.5₀)] 流量80~100ℓ/分目安に供給すること。
上記の水圧・水量が確保出来ない場合は、一次側設備工事にて減圧・増圧の措置を行うこと。
 - 本管からシャワーユニット用配管取込み接続部まで、配管口径は40A以上とすること。
 - シャワーユニットの排水は、自然排水ができるように排水勾配を確保すること。
(できない場合は、ピットを設け、強制排水等の処置をとること。)

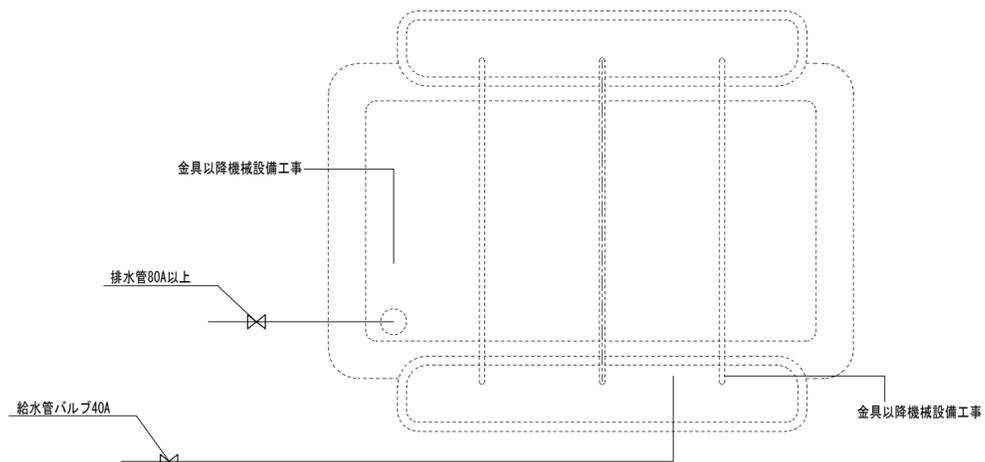


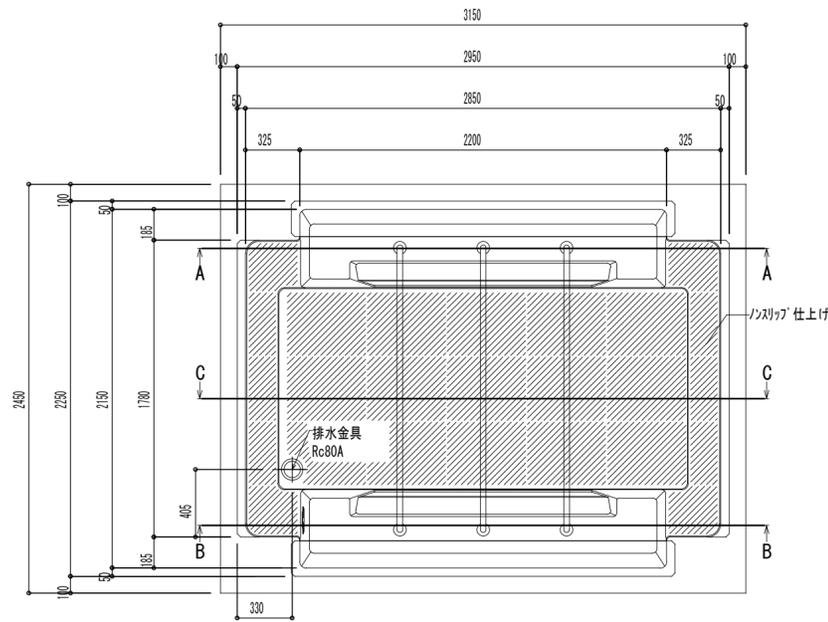
スラブ切下図、スリーブ位置図 1/30

○ 配管施工注意事項

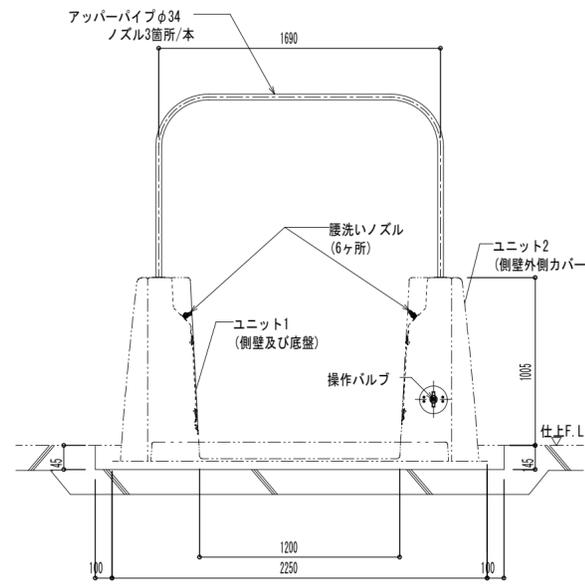
配管材質と凍結対策方法

- 材質
 - 給水配管は塩化ビニル管(VP)も可とする。
 - 排水配管は塩化ビニル管(VU)も可とする。
(関係官庁給水規定に照らし合わせ、材質を決定すること)
- 配管取廻し
 - 本体ユニット内配管の冬期凍結破損防止用として、給水配管には、必要に応じて保温措置をとること。

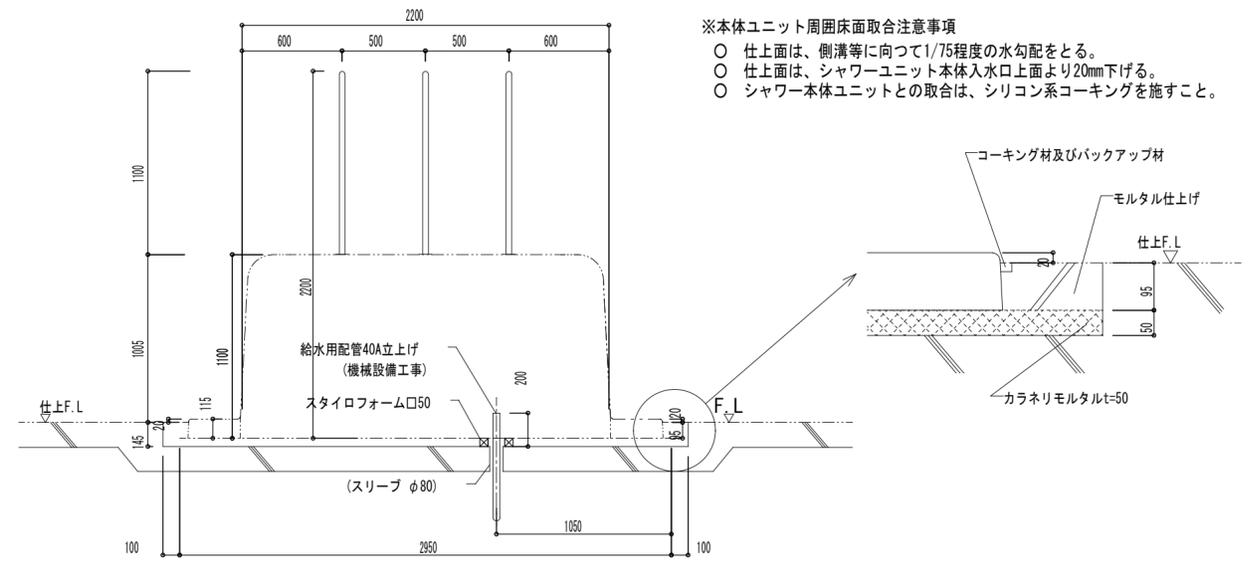




平面図 1/30



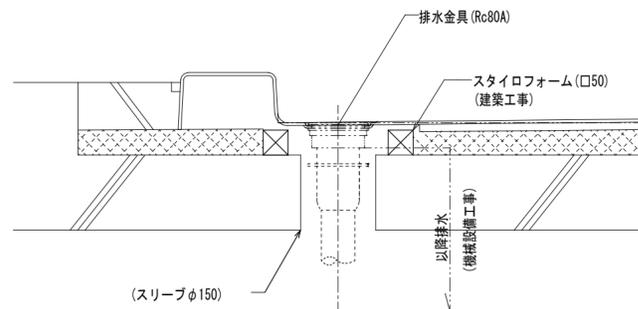
側面図 1/30



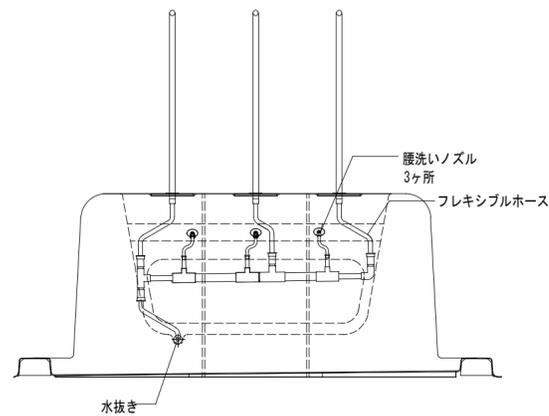
立面図 1/30

- ※本体ユニット周囲床面取合注意事項
- 仕上面は、側溝等に向つて1/75程度の水勾配をとる。
 - 仕上面は、シャワーユニット本体入水口上面より20mm下げる。
 - シャワー本体ユニットとの取合は、シリコン系コーキングを施すこと。

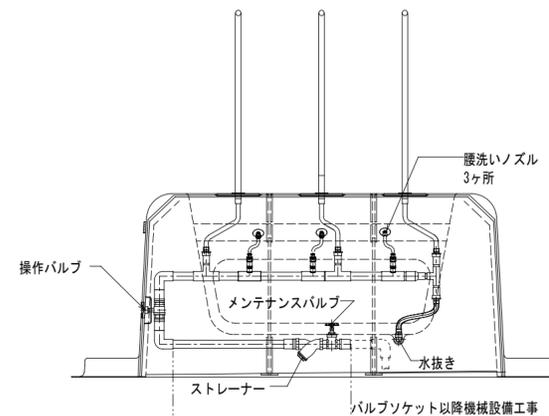
- ※シャワー下部がピットでない場合
- 1、ユニット設置時に合番工事にてエルボ配管先出しを行う
 - 2、ホッパー先行配管し、ユニット設置時に合番工事にてバルソケ差込を行う
 - 3、排水柵(400×400程度)を先行設置し、落とし込み排水とする
一次側排水配管は80A以上とし、柵の下部に100mm程度の泥溜まりを設ける



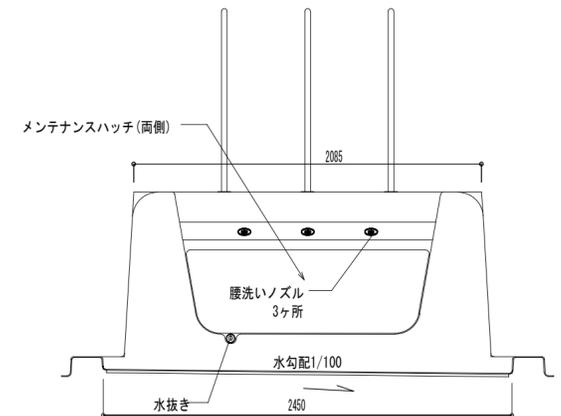
排水部詳細図 1/10



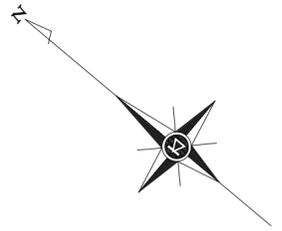
A-A方向ユニット内部配管図 1/30



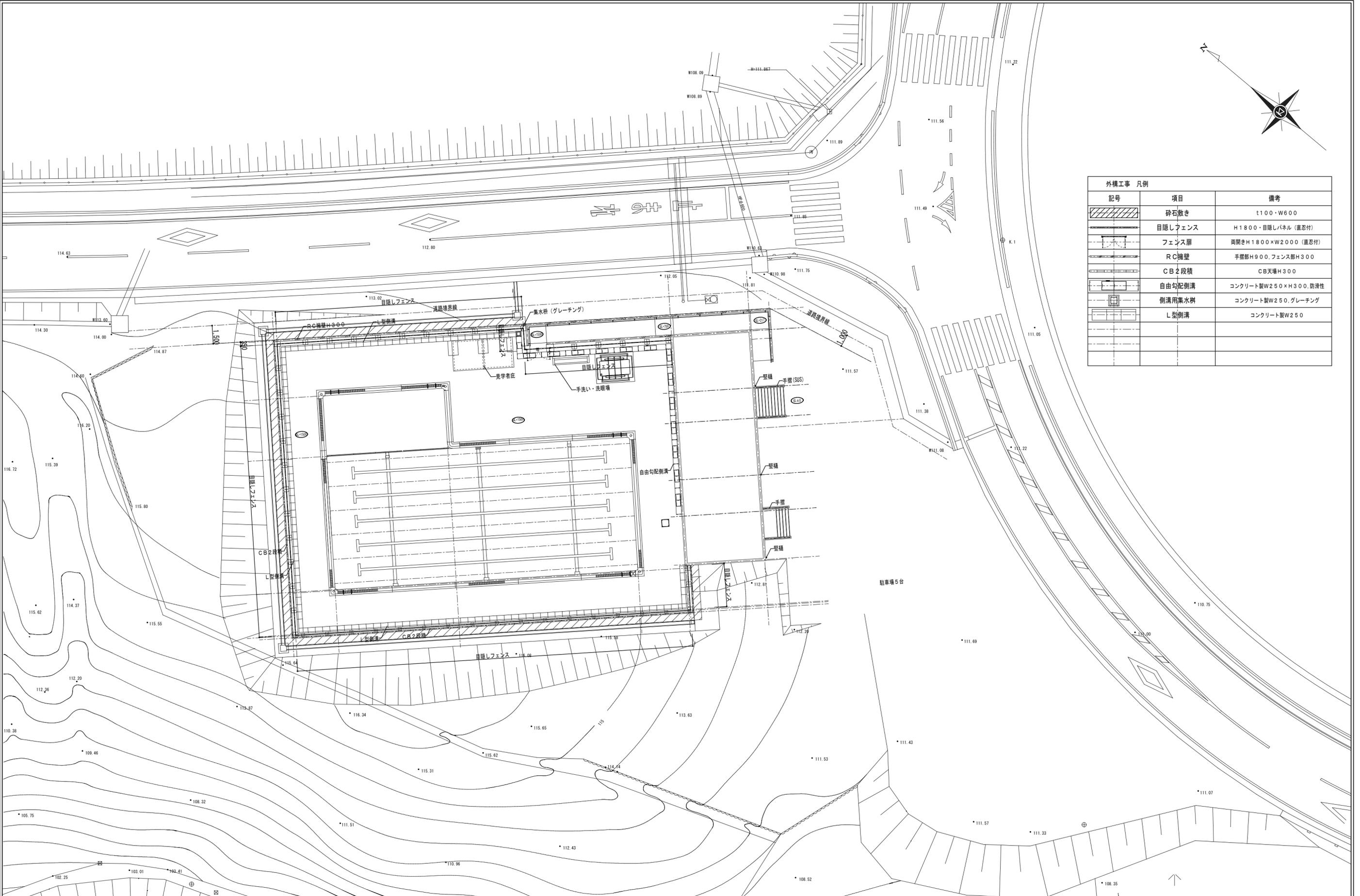
B-B方向ユニット内部配管図 1/30



C-C断面図 1/30

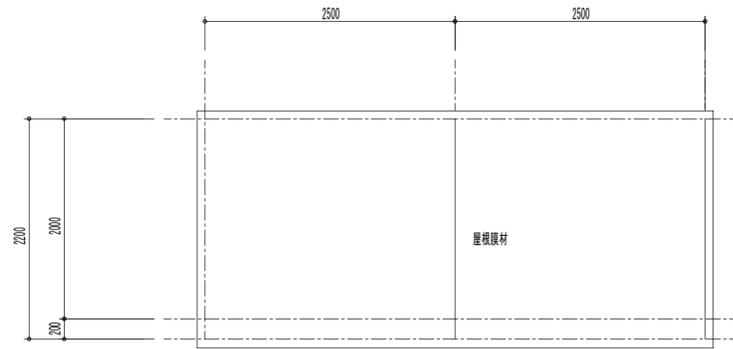


外構工事 凡例		
記号	項目	備考
	砕石敷き	t100・W600
	目隠しフェンス	H1800・目隠しパネル (直忍付)
	フェンス扉	両開きH1800×W2000 (直忍付)
	RC擁壁	手摺部H900、フェンス部H300
	CB 2段積	CB天端H300
	自由勾配側溝	コンクリート製W250×H300、防汚性
	側溝用集水樹	コンクリート製W250、グレーチング
	L型側溝	コンクリート製W250

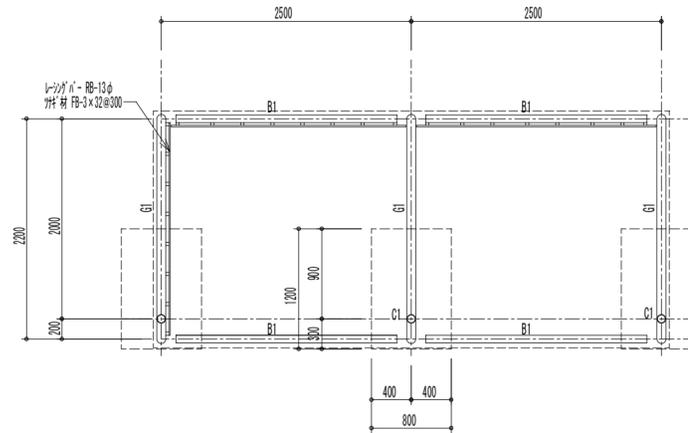


備 考	 (株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	設計担当者 一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.32033 井上 貴智	一級建築士 No.352551 田端 達也	SCALE 原図A2 A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE	工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 図面名称 外構平面図	A-33

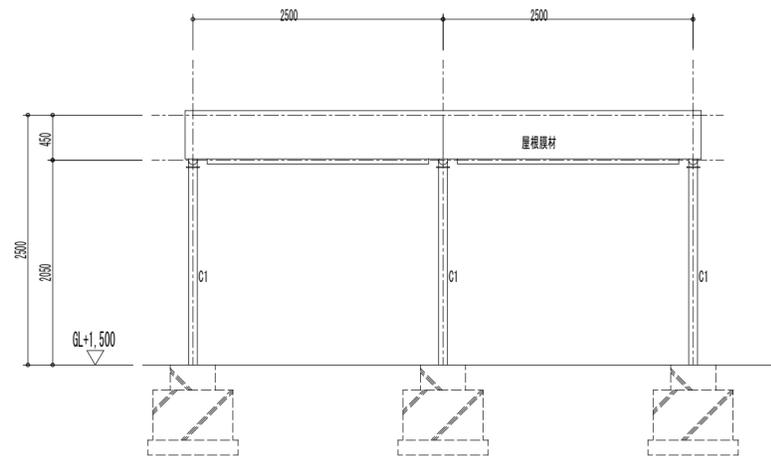
※太陽工業(株) NSB-04同等品とする。



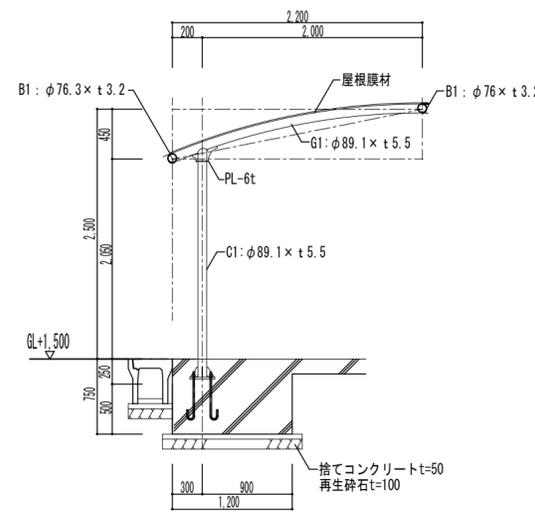
屋根伏図 S=1:50



小屋伏図 S=1:50



立面図 S=1:50

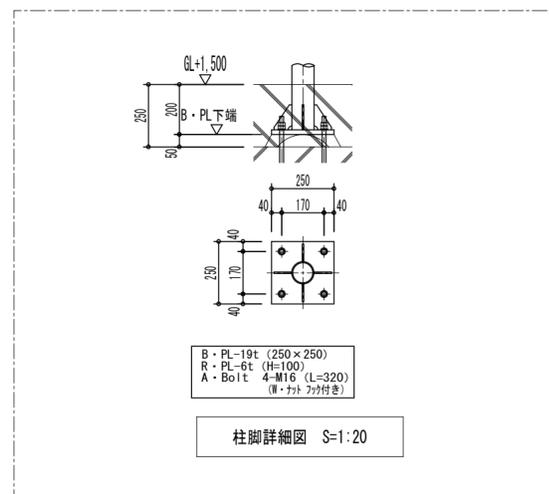


断面図 S=1:50

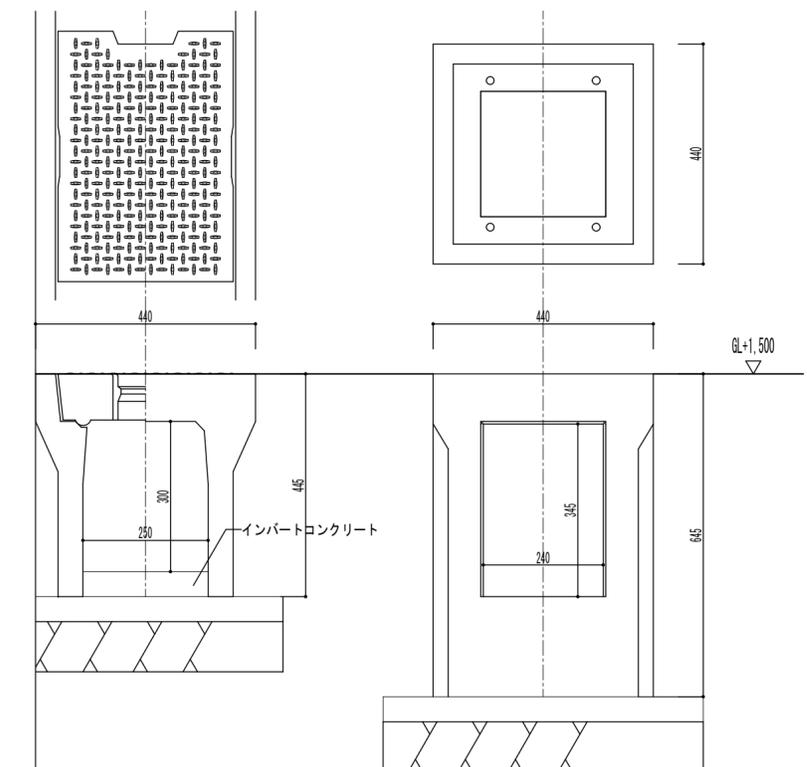
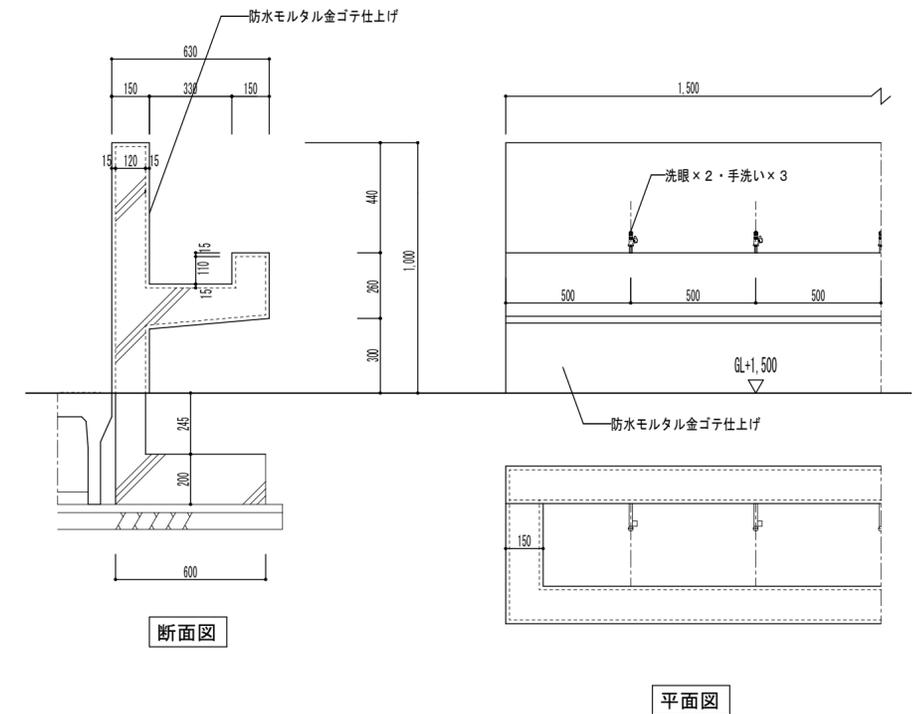
部材リスト		
C1	P-89.1φ × 5.5t	STK400
G1	P-89.1φ × 5.5t	STK400
B1	P-76.3φ × 3.2t	STK400
屋根膜材	SCC125-J (酸化チタン光触媒コーティング品) 建築基準法第37条第二号 MMEM-9035 建築基準法施行令第109条の5第一号 UW-9018	

設計条件	
設計風速	地表面粗度区分 III 基準風速 34m/sec
設計積雪荷重	垂直積雪深 d=30cm 単位体積重量 20N/m ² /cm

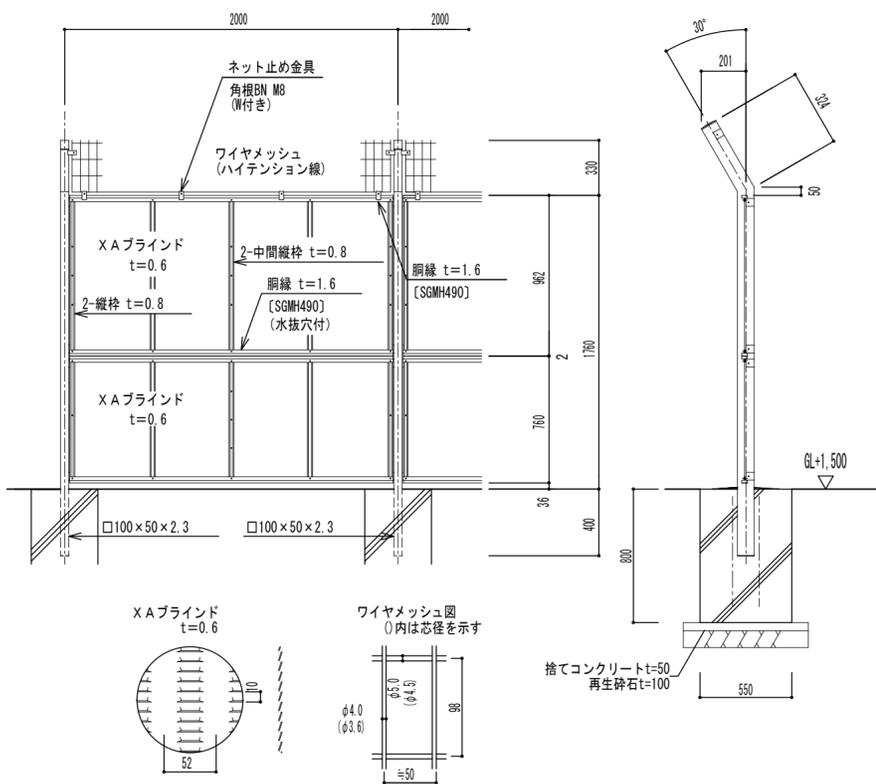
鋼材塗装仕様	
ポリウレタン塗装仕上げ	



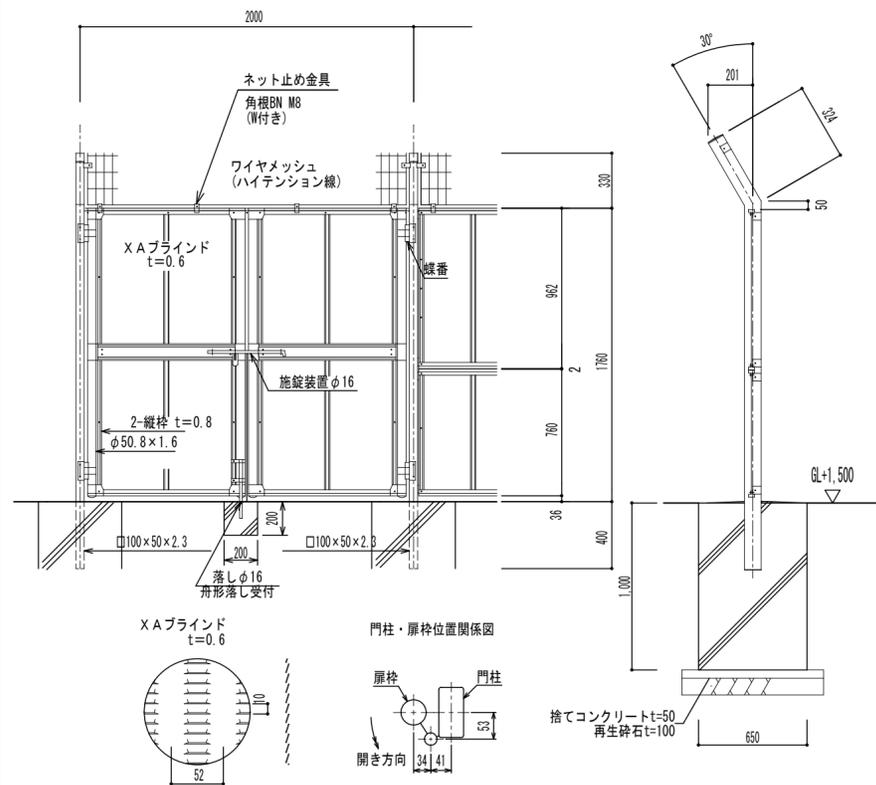
柱脚詳細図 S=1:20



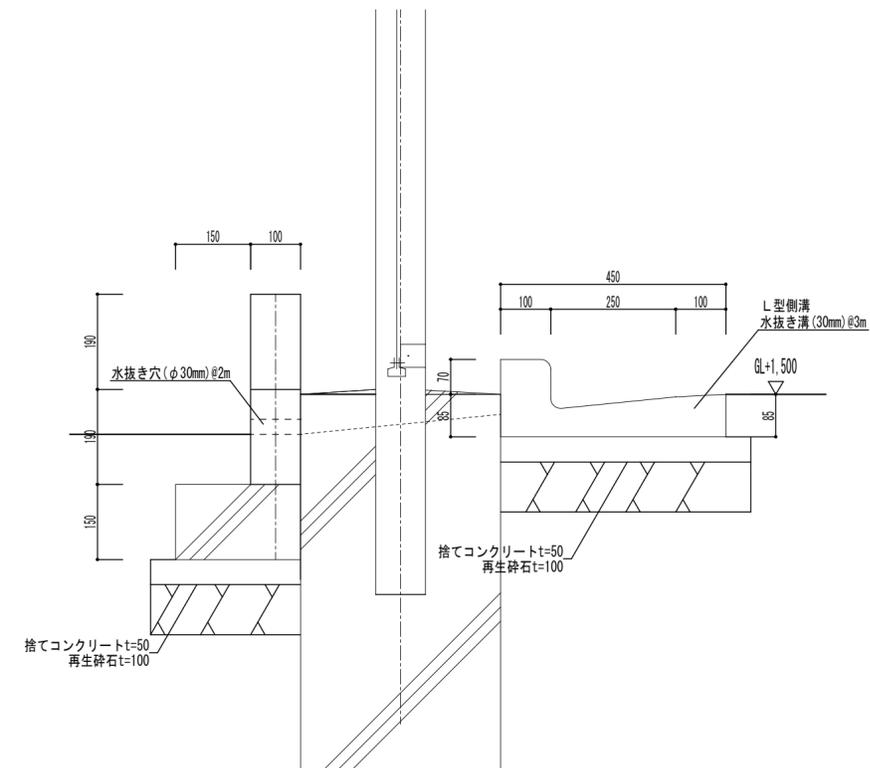
目隠しフェンス（曲忍付）詳細図（参考図） 1/30



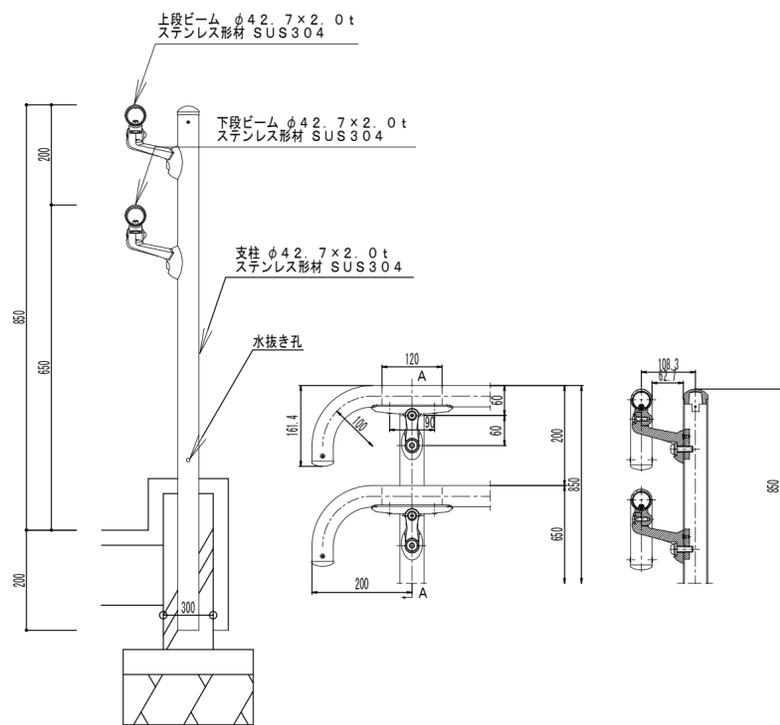
目隠しフェンス両開き門扉H1800×W2000（曲忍付）詳細図（参考図） 1/30



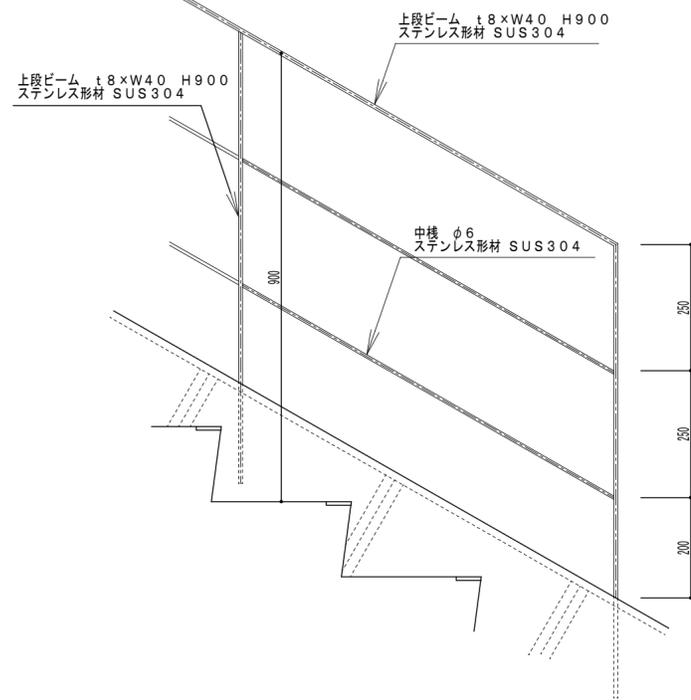
L型側溝・ブロック立上り詳細図 1/10



ステンレス製2段手摺詳細図 1/10



ステンレスフラットバー手摺 1/10



(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
一級建築士 No.134324
構造設計一級建築士 No.2300
田端 隆

設計担当者
一級建築士 No.297989
河合 敏

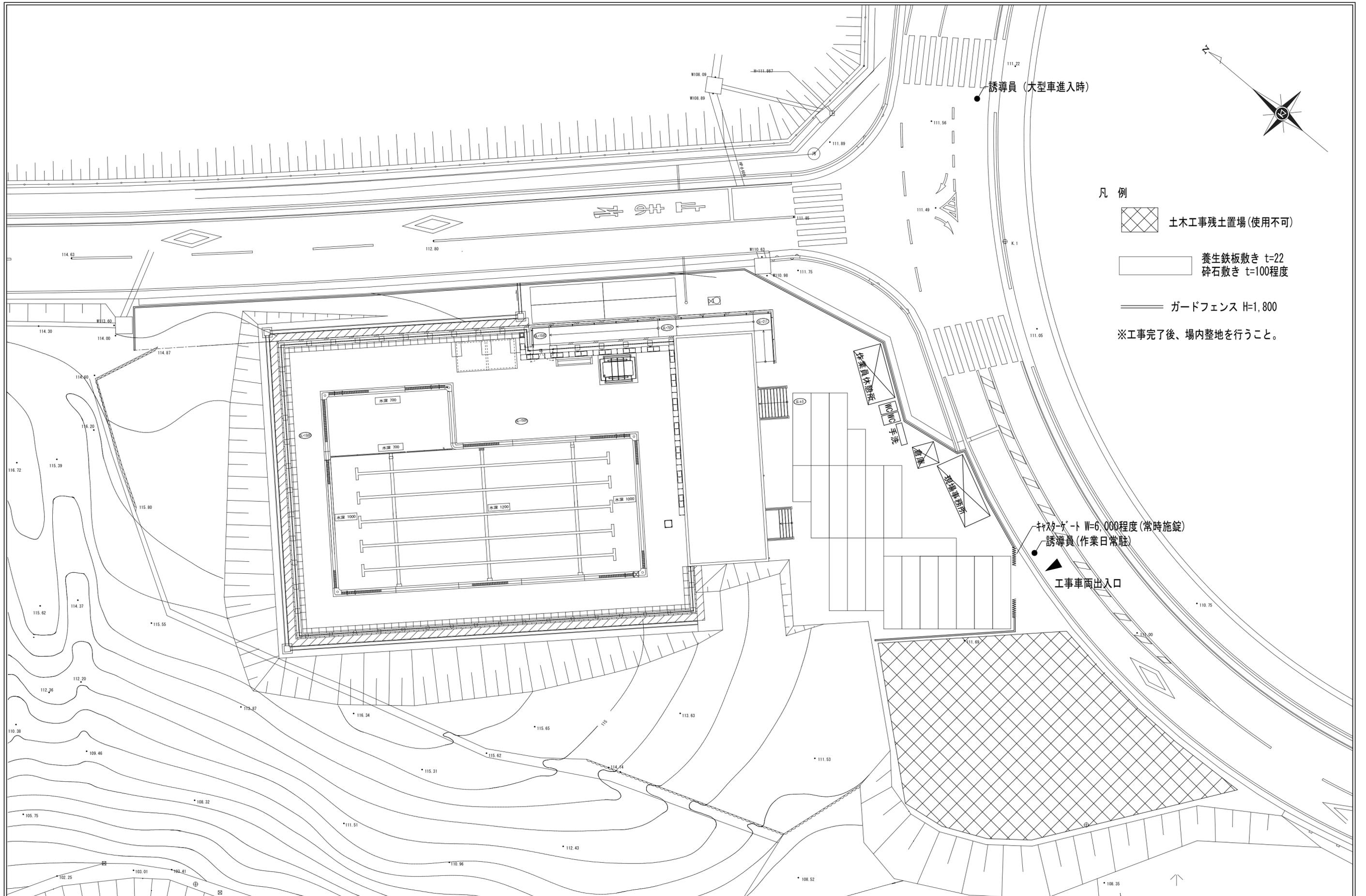
一級建築士 No.32033
井上 貴智

一級建築士 No.352551
田端 達也

SCALE 原図A2
A2 : 1/30・1/10
A3 : 1/42・1/14
DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
プールその他建築工事

図面名称 外構詳細図②



凡例

-  土木工事残土置場(使用不可)
 -  養生鉄板敷き t=22
砕石敷き t=100程度
 -  ガードフェンス H=1,800
- ※工事完了後、場内整地を行うこと。

誘導員(大型車進入時)

キャスト W=6,000程度(常時施設)
誘導員(作業日常駐)

工事車両出入口

(株)田端隆建築設計
三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
一級建築士
No.134324
構造設計一級建築士
No.2300
田端 隆

設計担当者
一級建築士
No.297989
河合 敏

一級建築士
No.32033
井上 貴智

一級建築士
No.352551
田端 達也

SCALE 原図 A2
A2 : 1/200
A3 : 1/280
DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
プールその他建築工事
図面名称 仮設計画図(参考図)

構造設計標準仕様

適用は、■印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 三重県津市美里町三郎 地内
- (2) 工事種別 ■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 □ 必要 □ 必要としない
 - 法第20条第一号（高さ60m超）
 - 法第20条第二号（RC造高さ20m超 □ S造4階建以上 □ 木造高さ13m超 □ その他）
 - 注（3）構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する。
- (4) 構造種別
 - 木造（■） □ 補強コンクリートブロック造（CB） □ 鉄骨造（S）
 - 鉄筋コンクリート造（RC） □ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
 - 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
 - プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）
- (5) 階数 地下 -1階 地上 1階 塔屋 階
- (6) 主要用途 更衣室・機械室
- (7) 屋上付属物
 - 広告塔 □ 高層水箱 □ 太陽光発電パネル
 - 煙突 □ キュービクル
- (8) 特別な荷重
 - エレベーター 人乗（マンリムレス ロープ式 油圧式） □ リフト kN
 - ホイスト kN □ 倉庫積載床用 kN/m² □ 受水槽 kN
- (9) 付帯工事
 - 門扉 ■ 納壁 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場 □
- (10) 増築計画
 - 有り（ ） ■ 無し
- (11) 構造計算ルート
 - X方向ルート -（1） Y方向ルート -（1）

2. 使用構造材料

適用場所	種類	設計基準強度 F _{cd} /N/mm ²	スラブ cm	備考
柱コンクリート	■普通	18	18	
土間コンクリート	■普通	18	18	
基礎・基礎梁	■普通	21+S	18	
柱・梁・床・壁	■普通、□軽量	21+S	18	
嵩上げコンクリート	□普通、□軽量			
押えコンクリート	□普通、□軽量			
細骨材の種類	□ 砂 ■ 山砂		□ 人工 □	
粗骨材の種類	□ 砂利 ■ 砕石		□ 人工 □	
水の区分	■ 水道水 □ 地下水 □ 工業用水			
混和材料の種類（JIS）	■ AE減水剤 □ 高性能AE減水剤 □			
呼び強度を保證する材料、養生	■ 材齢（■ 28日 □ 56日 □ □） ■ 養生（■ 現場打ち □ 現場水中 □ 標準 □）			

■ 単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする。

(2) コンクリートブロック（CB）
□ A種 □ B種 □ 種 厚 100 □ 120 □ 150 □ 190 使用箇所（□ □）

種類	径	使用箇所	継手工法
■ S295A	D10~D16	■ 躯体全般	■ 重ね継手
□ S295B		■ 躯体全般	■ ガス圧継手
■ S345	D19	■ 躯体全般	□ 溶接継手
□ S390			□ 機械式継手
■ 材種			（ ）
■ 大径認定番号 MRB-			
丸 鋼（JIS G 3112）	□ S225		
角 鋼（JIS G 3551）	□		

種類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□ S3400 □ S3400 □ S3400 A,B,C		□ 有 □ 無	JIS G
□ S3700 □ S3700 □ S3700		□ 有 □ 無	JIS G
□ S3700 □ S3700 □ S3700		□ 有 □ 無	JIS G
□ S3700 □ S3700 □ S3700		□ 有 □ 無	JIS G
□ S3700 □ S3700 □ S3700		□ 有 □ 無	JIS G
□ S3700 □ S3700 □ S3700		□ 有 □ 無	JIS G

- (5) ボルト
 - 高力ボルト
 - F10T（JIS B 1186） □ S10T 認定番号（ ） □ F8T 認定番号（ ） □ M12 □ M16 □ M20 □ M22 □ M24
 - ボルト（JIS B 1180） ■ ■ □ 4.8(4T) □
 - アンカーボルト
 - S5400 ■ L= mm ナット（□ シングル、□ ダブル）
 - ■ L= mm ナット（□ シングル、□ ダブル）
 - 鎖付スタッドボルト
 - φ = mm 使用箇所（□ 柱 □ 大梁 □ 小梁）
 - φ = L= mm 使用箇所（□ 柱 □ 大梁 □ 小梁）

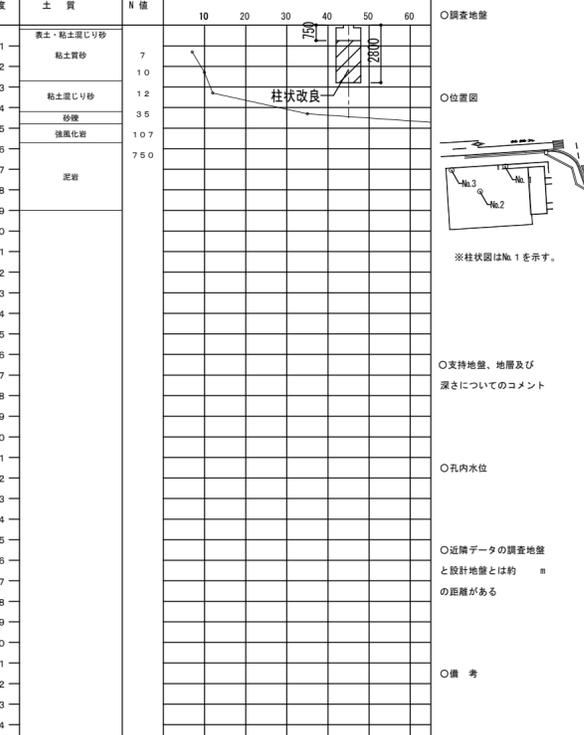
材 種	形状 厚 その他	使用箇所	仕様・補注
ALC（JIS A 5416）	厚	□ 壁 □ 床版	□ スライド □ 京浜止め □ ロッキング □
折 板	H= 厚	□ 屋根 □ □	
特殊デッキプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□ 床版 □ □	
デッキプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□ 床版 □ □	
キャストプレート（JIS G 3352）	型式 厚	□ 床版 □ □	

3. 地盤

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○	○	静荷重入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験		
試験槽（支持層の確認）			平面載荷試験		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成、（基礎、杭の位置を明記すること）



注) 地盤調査及び試験の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 □ ベタ基礎 □ 布基礎 ■ 独立基礎 試験値 □ 有 □ 無
- 深さ G_L - m、支持層 - 長期許容応力度 kN/m² 載荷試験 □ 有 □ 無
- (2) 地盤改良 □ 凍層混合処理工法 □ 深層混合処理工法 ■ ウルトラコラム工法
- 深さ G_L - m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □ 有 □ 無
- 注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針・日本建築センター2002」を参考とする
- (3) 杭基礎 支持層 -

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□ RC □ PRC	PRC（□ I 種 □ II 種 □ III 種）	□ 打ち込み	
□ PHC □ HPH	PHC（□ A 種 □ B 種 □ C 種）	□ 埋込み（セメントミルク工法）	
□ 鋼管 □ 摩擦杭	鋼材 □ S5400 □ S1X400	□ プレボーリング拡大掘削工法	認定第 号
□ SC杭 □	□ JIS		年 月 日
□ 場所打ち	コンクリート F _{cd} = N/mm ²	□ オールケーシング □ 拡張杭	
コンクリート杭	F _{cd} = N/mm ²	□ リバースサーキュレーション	
	スラブ cm 以下	□ アースドリル □ ミニアース	第 号
	セメント量 kg/m ³	□ BH □ 深礎 □ 手掘 □ 機械掘	年 月 日
	単位水量 kg/m ³		
	鉄筋 主筋 SD		
	HOOP SD		

杭仕様 □ 施工計画承認 □ 杭施工結果報告書

試験値（□ 有 □ 無）（□ 打ち込み □ 載荷 □ 孔壁測定） 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート（施工法等計画書）

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度（F_{cd}）が 30N/mm²以下は適用し、鉄筋の材種はSD390以下に適用する。

- (1) コンクリート
 - コンクリートは、JIS A 5308（レディーミックスコンクリート）に適合するJIS認定工場製の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5による。
 - 耐久設計基準強度 F_d □ 一般 □ 標準 □ 長期 □
 - セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 - 鋼合計量は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
 - 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要な事項について、工事監督者の承認を得ること。
 - フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
 - 測定回数：通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分け3回行い、その平均値を試験値とする。
 - 構造コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS5-603によることとし、共試験は現場水中養生、または現場打込み養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
 - また、打ち込み量が、150mを超える場合は、150mごとまたは、その倍数ごとに一回を標準とする。
 - 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取すること。
 - 尚、供試体の数量、回数については建築工事監理指針参照し、工事監督者と協議すること。
 - ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち込みコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが、分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
 - 尚、打ち込み継継中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は15分0.2分、25℃以上の場合は12分0分以内とする。
 - コンクリート打ち込み及び打ち込み5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
 - 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

(2) 鉄筋

- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリート同様、JASS 5による。
- 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の継ぎ長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造標準図解(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造設計標準図(1)(2)」による。
- 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	(1) 引張力最小部位				(2) (1)以外の部位(注)				鉄筋の径
	A級	B級	SAR		A級	B級	SAR		
■ 重ね継手	■ 40d	□ 35d	□ () d					■ D (16) 以下	
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号							□ D () 以上	
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号							□ D () 以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号							□ D () 以上	

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取付した継手工法等で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によりこと。

- D19未満は、すべて重ね継手とする。
- 継手部の施工要領は「日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）」による。

継手部の検査方法 ・ 外観検査 □ 有 □ 無 ・ 引張試験 □ 有 □ 無 ・ 超音波探傷試験 □ 有 □ 無

■ 柱の帯（HOOP）の加工方法は、□ H型（タガ型） □ 単型（溶接型） □ S型（スパイラル型）とする。

□ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取 要綱」第4条の試験機関で行うこと。

代行業者名 試験機関名 代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

種別	せき板				支 柱				
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ、はり下	スラブ	はり下	スラブ	はり下	スラブ	はり下	
セメントの種類	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	
UVC等	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
15℃以下	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28	
Y(B) C未満	5	8	10	16	15	28	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ²				設計基準強度の50%			85%	100%

注) 1) 片持ばり、底、スパン9.0m以上のはり下は、監理者の指示による。

注) 2) 大はりの支の盛りかえは行わない。また、その他のはり下の場合も原則として行わない。

注) 3) 支柱盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。

注) 4) 盛りかえ後の支柱頂部には、薄い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注) 5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしなければならない。

注) 6) 直上層に著しく大きな積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。

注) 7) 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 - 日本建築学会「JASS6」「鉄骨検査標準」「鉄骨工事技術指針」
 - 社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
 - 鉄骨制作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口の検査・補強マニュアル」
- (2) 工事監督者の承認を必要とするもの
 - 制作現場 □ 制作要領書 □ 工作図 □ 施工計画書
 - 認定または登録工場（大臣認定 S H M R J グレード）
 - 材料規格証明書※、または試験成績書
 - 鋼材 □ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ スタッドボルト
 - ※社) 日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
 - 社内検査表 □
- (3) 工事監督者が行う検査項目（□印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること）
 - 現寸検査 □ 組立、開先検査 □ 製品検査
 - 建方検査 □ □
- (4) 接合部の溶接は下記によること
 - 平成12年建設省告示1464号第二号イ、ロ
 - 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取要綱
 - 日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
 - 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
- (5) 接合部の検査
 - 溶接部の検査（検査結果は後日工事監督者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		工場自主検査	第三者受入検査	工事監督者	
□ 完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100%	100%	100%	※平成12年建設省告示第1464号第二号イによる（目録及び計測）（注）検査部の実施に当たっては、必要となる建築物の場合に要する
	超音波探傷試験	100%	100%	100%	
□ 内蔵検査（注）	□ 目視試験	%	%	%	
	□ 示温塗料塗布	%	%	%	
□ マクロ試験、その他	価	価	価	価	
□ 外観検査（※）	%	%	%	%	

第三者検査機関名 第三者検査機関とは、建築、工事監督者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

注2) 知事が定める重大な不具合が発生した場合は、是正前に対処策を建築主事に報告すること

- 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監督者に報告すること）
 - 軸力導入試験 □ 要 □ 否 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
 - 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、再回りの異常が無いことを確認する。
 - トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンチが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩耗面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
- 錆止めペイントは、□ JIS K5621、□ JIS K5625、□ □ □ を使用して、4つ層2回塗り標準とするが、突状に応じて決定すること。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は、工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆材料

-

7. 設備関係

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- 建築設備の支持構造部および接続金物には、錆止め等、防錆のための有効な措置を講じること。
- 建築物に設ける屋上からの突出する水栓、煙突・その他これらに関するものは、風圧・地震時に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm異常とした鉄筋コンクリート造とする。
- 設備配管は、地震時等の建物変形に追随できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
- 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
- 特記以外の受取貫は原則として設けない。
- 床スラブ内に設備配管等埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を振り保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の径 R...直径
 #...間隔 r...半径 C...中心線 E...部材間の内法距離
 ho...部材間の内法高さ ST...あばら筋 HOOP...帯筋
 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の長さ	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)
折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の種16およびLD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。			
折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部又はスラブと同時に打ち込み型及びV型梁のキャップタイにのみ用いる。			

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状、鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法 (R)
	帯筋	SR235, SR295	16φ以下	3d以上
	あばら筋	SD295A・B	19φ以上	4d以上
	スワイルル筋	SD345	D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B, SD345, SD390	D16以下, D19～D25, D29～D41	6d以上, 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

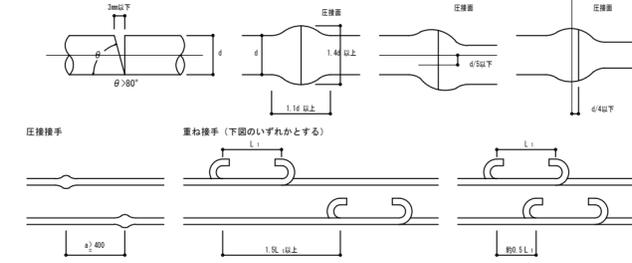
鉄筋の種類	普通、軽重コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下ば筋 (L3)	
SD295A, SD295B	18	40dまたは30dフック付	20dまたは10dかつ10dかつ	45dまたは25dフック付
	21	35dまたは25dフック付		40dまたは25dフック付
	24～36	30dまたは20dフック付		35dまたは25dフック付
SD345	18	40dまたは30dフック付	10dかつ150mm以上	50dまたは35dフック付
	21	35dまたは25dフック付		45dまたは30dフック付
	24, 27, 30, 33, 36	30dまたは20dフック付		40dまたは25dフック付

【注】許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする。

継手

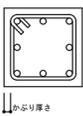
- 束端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



(1) かぶり厚さ (単位: mm)

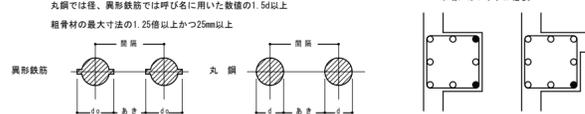
ひびわれ誘発目地など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



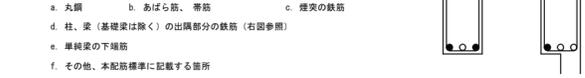
部	位	設計かぶり厚さ (mm)		最小かぶり厚さ (mm)
		設計かぶり厚さ	最小かぶり厚さ	
土に接しない部分	屋根スラブ	30	30	30
	床スラブ	30	30	30
	耐力壁	40 (1)	30 (20)	30
	柱	40	30	30
土に接する部分	耐力壁	50 (2)	40 (1) (30)	40
	柱	50 (2)	40 (1)	40
	柱・梁・床337・耐力壁	50	40 (4)	40
	基礎・構造物	70	60 (4)	60

- 【注】 1. 耐久性上有効な仕上げがある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 2. 耐久性上有効な仕上げがある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 3. コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 4. 軽重コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 5. ()内は仕上げがある場合。
 6. 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

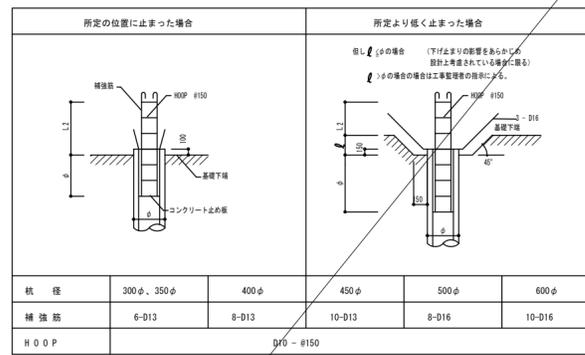


(6) 鉄筋のフック

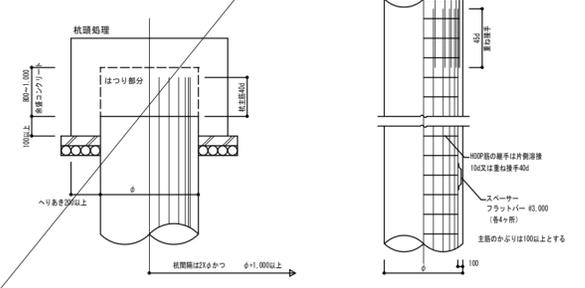


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

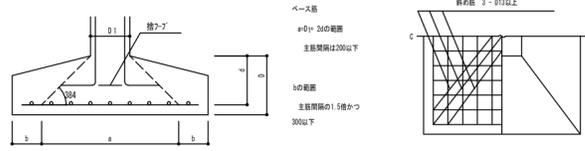


(2) 現場打ちコンクリート杭

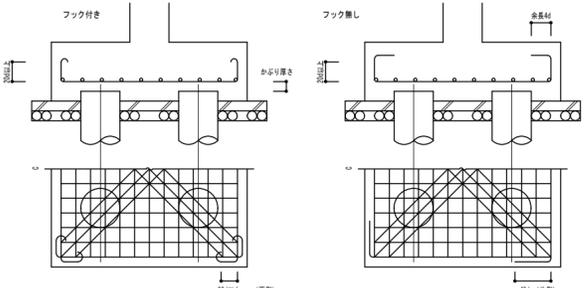


4. 基礎

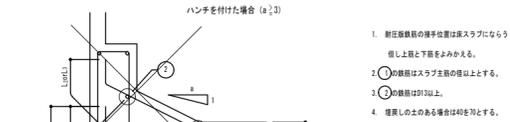
(1) 直接基礎



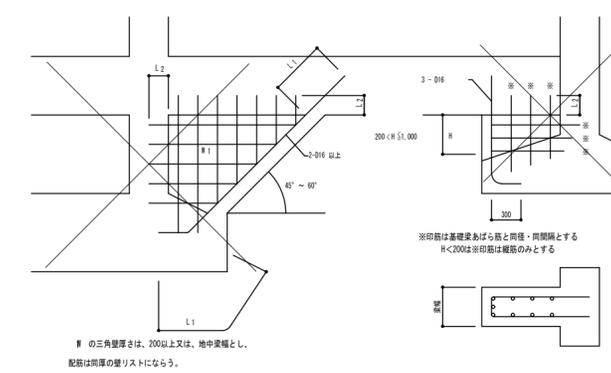
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

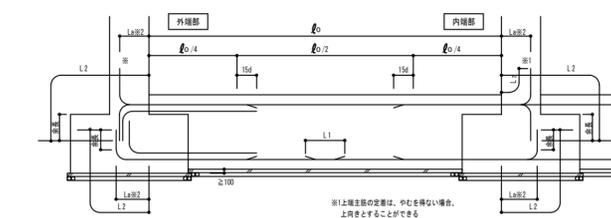


(4) 基礎接合部の補強

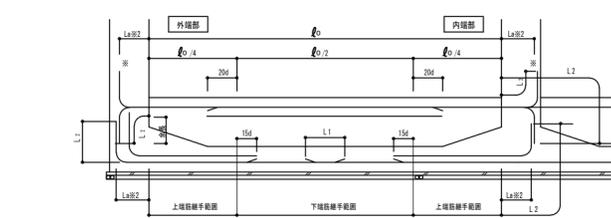


5. 地中梁

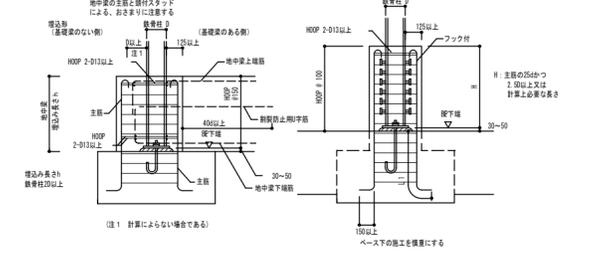
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



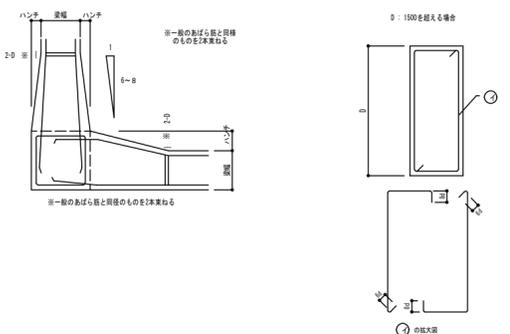
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

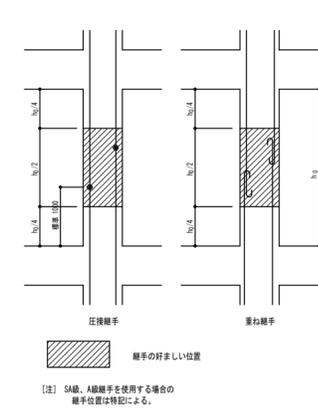


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

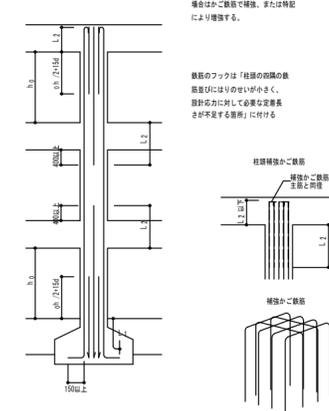


6. 柱

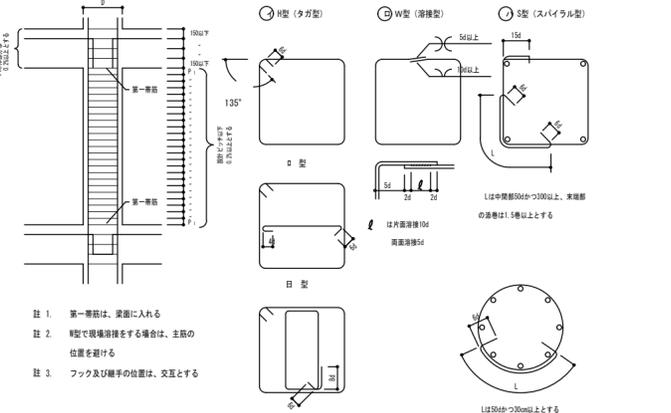
(1) 柱主筋の継手



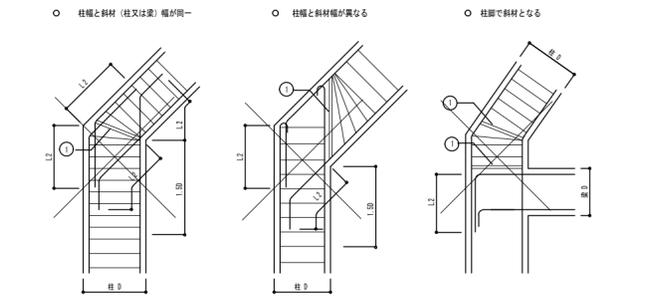
(2) 柱主筋の定着



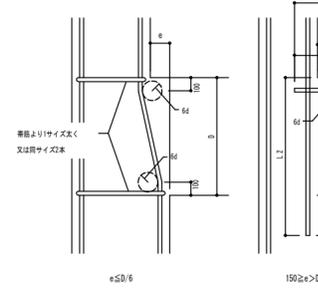
(3) 帯筋



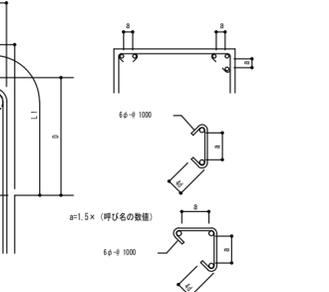
(4) 斜め柱、斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止筋の位置

(4) あばら筋の型

(5) 幅止筋の本数、加工

柱幅が大きい場合

一般床スラブ

片持ち床スラブ

片持ちスラブ出隅補強

床版開口部の補強

床版段差

土間コンクリート

釜場

打ち継ぎ補強

	継手位置
上端筋	短辺方向 B
下端筋	短辺・長辺方向 A C

床版厚さ D	間 隔	斜 め
$D \leq 150$	各 2-D13	各 1-D13
$150 < D \leq 200$	各 2-D13	各 2-D13
$200 < D \leq 300$	各 2-D19	各 2-D16

間 隔	本数
$600 < D < 900$	2-D10 (90°) 1 本
$900 < D < 1200$	4-D10 (90°) 2 本
$1200 < D$	D10 (90°) # 300以内

幅止筋 $D10 (90^\circ) \# 1000$ 以内で打設

8. 床版

(1) 定着および継手

(2) 層間スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅補強

(4) 床版開口部の補強

(5) 床版段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 打ち継ぎ補強

① 一般床スラブ

② 片持ち床スラブ

③ 柱に (平面図)

④ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

⑤ 壁と壁 (平面図)

⑥ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑦ 手摺、バラベツト

⑧ コンクリートブロック積壁

⑨ 壁に (平面図)

⑩ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

⑪ 壁と壁 (平面図)

⑫ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑬ 手摺、バラベツト

⑭ コンクリートブロック積壁

⑮ 壁に (平面図)

⑯ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

⑰ 壁と壁 (平面図)

⑱ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑲ 手摺、バラベツト

⑳ コンクリートブロック積壁

㉑ 壁に (平面図)

㉒ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉓ 壁と壁 (平面図)

㉔ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㉕ 手摺、バラベツト

㉖ コンクリートブロック積壁

㉗ 壁に (平面図)

㉘ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉙ 壁と壁 (平面図)

㉚ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㉛ 手摺、バラベツト

㉜ コンクリートブロック積壁

㉝ 壁に (平面図)

㉞ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉟ 壁と壁 (平面図)

㊱ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊲ 手摺、バラベツト

㊳ コンクリートブロック積壁

㊴ 壁に (平面図)

㊵ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㊶ 壁と壁 (平面図)

㊷ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊸ 手摺、バラベツト

㊹ コンクリートブロック積壁

㊺ 壁に (平面図)

㊻ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㊼ 壁と壁 (平面図)

㊽ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊾ 手摺、バラベツト

㊿ コンクリートブロック積壁

9. 壁

(1) 定着

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

(3) 手摺、バラベツト

(4) コンクリートブロック積壁

① 梁に

② 柱に (平面図)

③ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

④ 壁と壁 (平面図)

⑤ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑥ 手摺、バラベツト

⑦ コンクリートブロック積壁

⑧ 壁に (平面図)

⑨ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

⑩ 壁と壁 (平面図)

⑪ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑫ 手摺、バラベツト

⑬ コンクリートブロック積壁

⑭ 壁に (平面図)

⑮ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

⑯ 壁と壁 (平面図)

⑰ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

⑱ 手摺、バラベツト

⑲ コンクリートブロック積壁

⑳ 壁に (平面図)

㉑ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉒ 壁と壁 (平面図)

㉓ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㉔ 手摺、バラベツト

㉕ コンクリートブロック積壁

㉖ 壁に (平面図)

㉗ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉘ 壁と壁 (平面図)

㉙ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㉚ 手摺、バラベツト

㉛ コンクリートブロック積壁

㉜ 壁に (平面図)

㉝ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㉞ 壁と壁 (平面図)

㉟ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊱ 手摺、バラベツト

㊲ コンクリートブロック積壁

㊳ 壁に (平面図)

㊴ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㊵ 壁と壁 (平面図)

㊶ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊷ 手摺、バラベツト

㊸ コンクリートブロック積壁

㊹ 壁に (平面図)

㊺ 床に (斜め力壁とスラブが取合う場合)

㊻ 壁と壁 (平面図)

㊼ スリット部 (設計図に記入のあるとき)

㊽ 手摺、バラベツト

㊾ コンクリートブロック積壁

㊿ 壁に (平面図)

10. 柱、梁増し打ちコンクリート補強

(1) 柱

(2) 梁

増し打ちコンクリート部を塗り

増し打ち断面積 (A _増)	A < 300	300 ≤ A < 1000	1000 ≤ A < 1500
補強筋種	3-D16	4-D16	6-D16

補強筋は、梁主筋の1段差以上 (D16以上) とする

あばら補強筋は、梁と併設、同ピッチとする

腹筋D10ピッチは、梁の断面に合わせる

D10の場合は補強筋を2本とする

aは100~200程度

梁下増し打ちの場合も上増し打ちコンクリート補強と同様とする

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

(2) 鉄筋標準配筋

(3) 既製品

① 柱、梁

② 地中梁

③ 床版、壁

変位角 θ (100以内かつ20以内) は原則として避ける

貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打ち合わせのこと

$100 < \phi \leq 100$	$100 < \phi \leq 150$	$150 < \phi \leq 250$
新 筋 2-(2-D13)	新 筋 2-(2-D13)	新 筋 4-(2-D13)
横 筋 ST 2-D13	横 筋 ST 2-D13-# 50	横 筋 ST 2-D13-# 50
	横 筋 2-(2-D13)	横 筋 2-(2-D13)
	上下 横筋 ST 2-D13-# 50	上下 横筋 ST 2-D13-# 50

既製品 (使用する時は、設計者又は工事監理者と打ち合わせのこと)

ウェブレン、ダイヤレン 等 日本建築センター特許取得品とする

施工前に計算書を提出し、承認を得ること

設計時に使用する詳細取付品については計算書を提出すること

リング型 □ バイブ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定

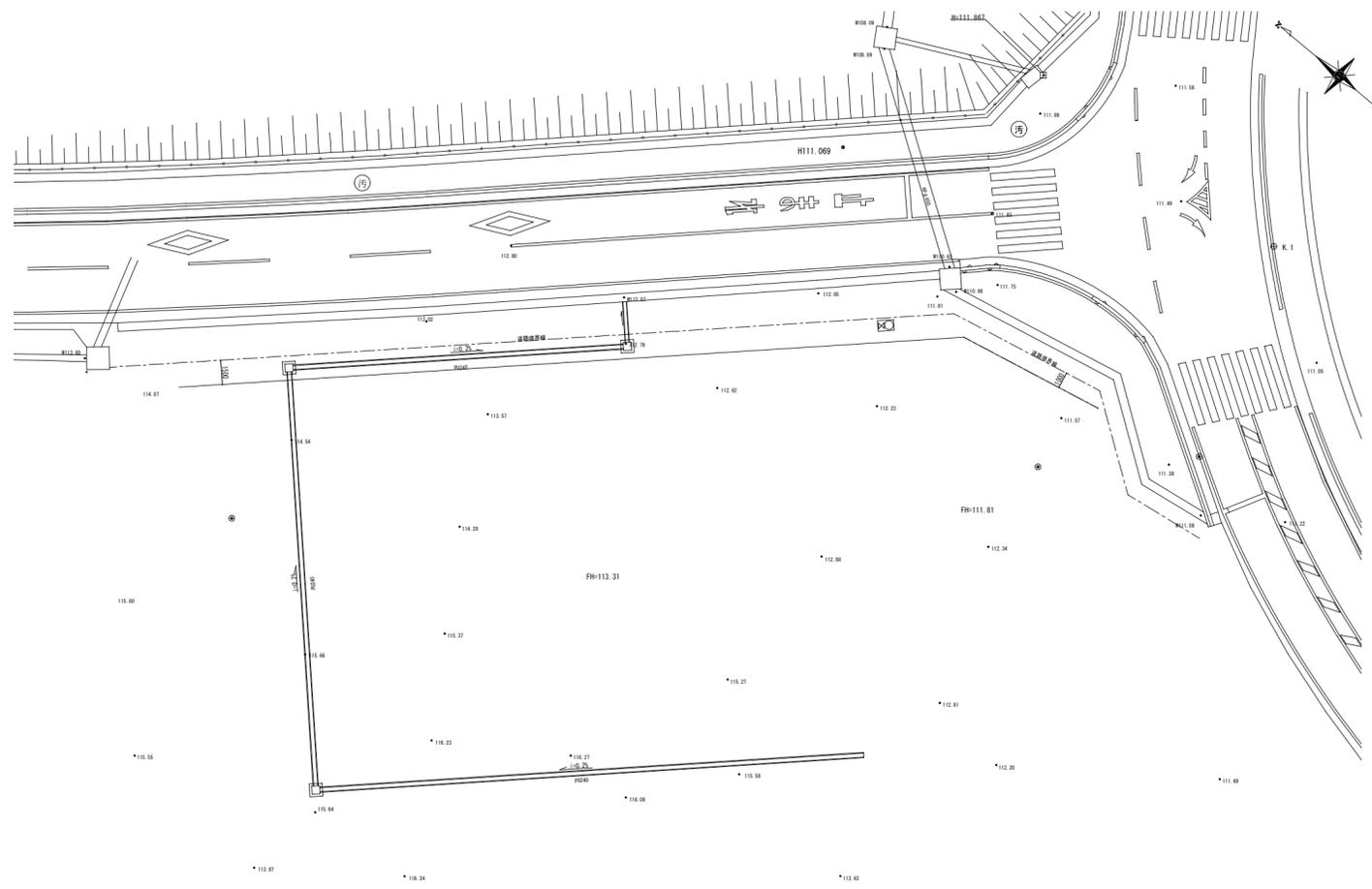
(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

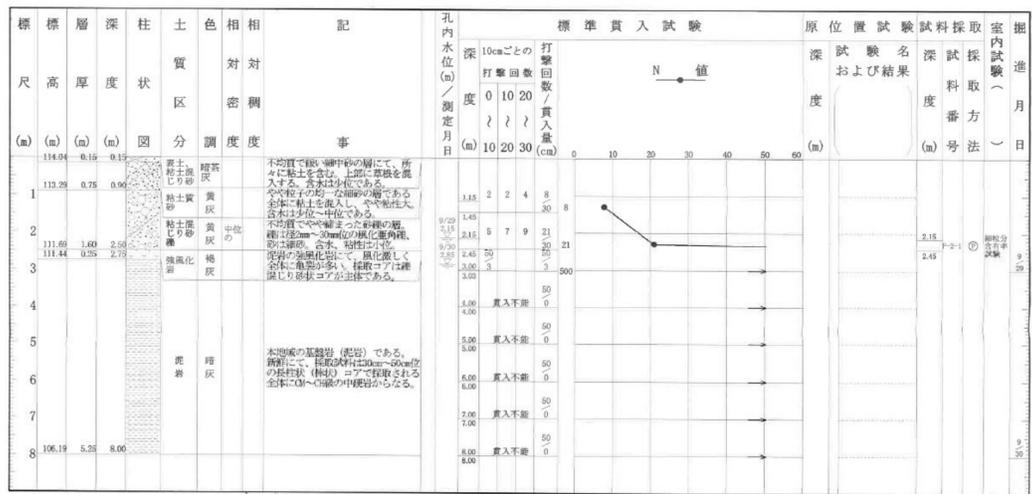
増し打ちコンクリート部を塗り

増し打ちコンクリート部を塗り



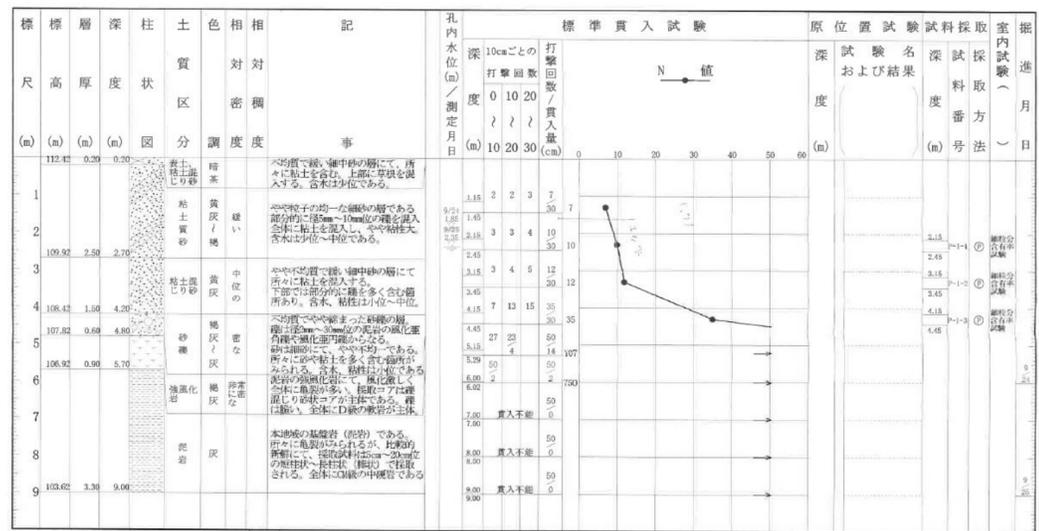
ボーリング柱状図

調査名		一体型小中一貫校整備に伴うプール新築工事等に係る地質調査業務委託		ボーリングNo.	
事業・工事名		平成27年度宮教総第1-36号美里地域施設		シートNo.	
ボーリング名	No. 2孔	調査位置	三重県津市美里町三郷 地内	北緯	34° 43' 9.37"
発注機関	津市建設部 営繕課	調査期間	平成27年9月29日 ~ 27年9月30日	東経	136° 23' 4.75"
調査業者名					
孔口標高	H=114.19m	角	180° 上 270° 西 90° 東 0° 南	方位	北 0° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	8.00m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用試験機	KR-50HC
		エンジン	NFAD-8	ハンマー落下用具	ポンプ
				半自動モンケン	V-6



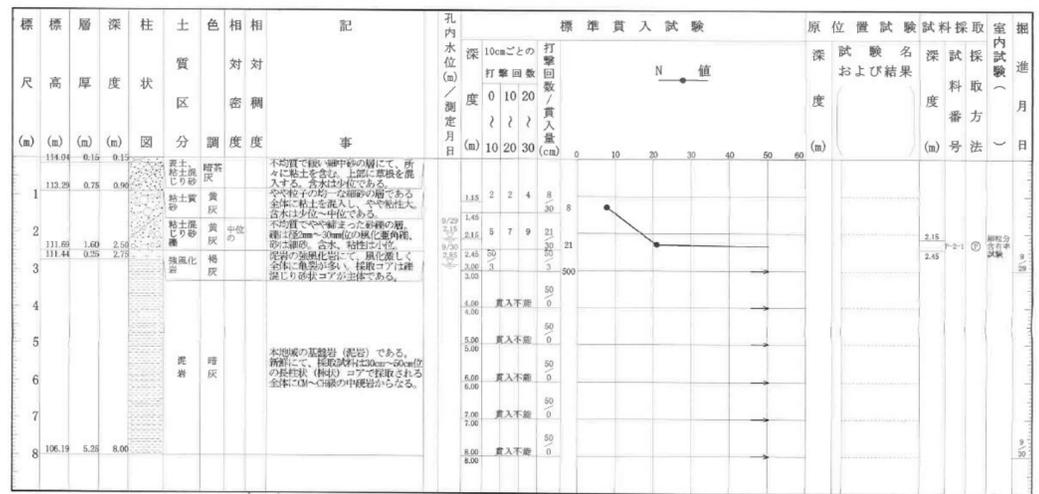
ボーリング柱状図

調査名		一体型小中一貫校整備に伴うプール新築工事等に係る地質調査業務委託		ボーリングNo.	
事業・工事名		平成27年度宮教総第1-36号美里地域施設		シートNo.	
ボーリング名	No. 1孔	調査位置	三重県津市美里町三郷 地内	北緯	34° 43' 9.19"
発注機関	津市建設部 営繕課	調査期間	平成27年9月24日 ~ 27年9月25日	東経	136° 23' 6.48"
調査業者名					
孔口標高	H=112.62m	角	180° 上 270° 西 90° 東 0° 南	方位	北 0° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	9.00m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用試験機	KR-50HC
		エンジン	NFAD-8	ハンマー落下用具	ポンプ
				半自動モンケン	V-6



ボーリング柱状図

調査名		一体型小中一貫校整備に伴うプール新築工事等に係る地質調査業務委託		ボーリングNo.	
事業・工事名		平成27年度宮教総第1-36号美里地域施設		シートNo.	
ボーリング名	No. 2孔	調査位置	三重県津市美里町三郷 地内	北緯	34° 43' 9.37"
発注機関	津市建設部 営繕課	調査期間	平成27年9月29日 ~ 27年9月30日	東経	136° 23' 4.75"
調査業者名					
孔口標高	H=114.19m	角	180° 上 270° 西 90° 東 0° 南	方位	北 0° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	8.00m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用試験機	KR-50HC
		エンジン	NFAD-8	ハンマー落下用具	ポンプ
				半自動モンケン	V-6



(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆

設計担当者
 一級建築士 No.297989 河合 敏
 一級建築士 No.32033 井上 貴智
 一級建築士 No.352551 田端 進也

SCALE 原図A2
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事
 図面名称 ボーリング柱状図

柱状改良工事標準特記仕様書

§1 工法概要

本地業は、ウルトラコラム工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、ウルトラコラム専用共回り防止翼(十字型)を装置した攪拌装置を用いて、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の科学反応により所要の強度所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

§2 特記事項

本工法は、攪拌能力・攪拌径・品質(変動係数)に対して「建築技術性能認証委員会」にて証明された技術性能証明取得工法とする。
また、事前にその証明書を管理者に提出し認証を得ることとする。

§3 一般事項

・本地業は、本特記仕様書によるほか
「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」
(平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という)による

<1> 施工業者

本工事の施工業者は、地盤改良工法の施工技術及び計測装置の取り扱いに精通したもので、ウルトラコラム工法協会に所属する指定施工会社とする。

<2> 設計変更

コラム径、掘削深度(改良長+空堀長)、本数配置等は、設計図書による。
ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上変更することができる。

§4 コラム仕様

<1> 設計基準強度

コラムの設計基準強度は $F_c = 900 \text{ kN/m}^2$ とする。

<2> 固化材

固化材の配合は、原則として改良部分の検査対象土を採取し、3種類以上の添加量にて室内配合試験を行い試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

※使用する固化材は、六価クロム等の土壤環境基準に適合することを確認する。

<3> 配合強度

配合強度 X_f は、設計基準強度 F_c と変動係数・採取ヶ数により割増係数 α_t を用いて、次式による。 $X_f = \alpha_t \times F_c$

割増係数 α_t は、合格率 80% とした下表による。

採取ヶ数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~	
変動係数 V_c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594
	30%	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869	1.594
	35%	3.160	2.649	2.448	2.265	2.265	1.594

<4> 室内配合強度

設計基準強度 × 割増係数 / (室内28日 / 室内7日強度比) = 推定室内7日強度

<5> 固化材液の配合

固化材添加量	300	kg/m	3
水/固化材比	70	%	

§5 施工監理

※施工手順に従って次の使用で行う。

- ① 固化材スラリーの吐出量
- ② ロッドの鉛直性
- ③ オーガー回転数
- ④ 掘削深度・速度及び引上げ深度・速度
- ⑤ トルク値またはオーガー電流値

§6 品質管理

<1> 調査ヶ所(検査対象に対して)

① 検査対象層群は概ねコラム300本を1単位とし、層厚50cm以上の土層毎に検査対象層を決める。

② 検査対象層は(粘土質砂)であり設計対象層を(砂礫)とする。

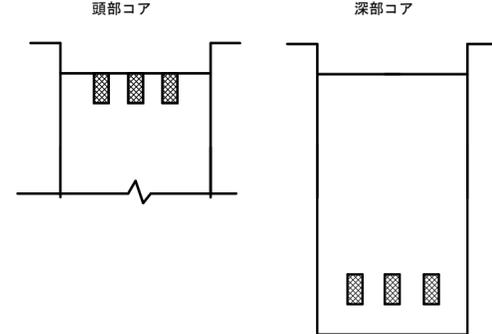
③ 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。

④ 調査ヶ所数(検査対象群に対して)

検査手法A	頭部モールドコア試験	3箇所
	深部モールドコア試験	1箇所

※頭部コアは、1箇所当たり3個のコア採取を標準とする。

<2> 採取位置



<3> 可否の判定

① 設計対象層について採取ヶ所をNとする。1箇所あたり3個の供試体採取し、強度をその箇所の強度とする。

② 一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。

③ 検査手法Aによる品質検査

可否の判定は設計対象層におけるNヶ所(採取ヶ所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$XN \geq XL = F_c + K_a \sigma_d = F_c + K_a [F_c V_d / (1 - 1.3V_d)]$$

XN : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値

XL : 合格判定値

F_c : 設計基準強度

K_a : 合格判定係数

σ_d : 標準偏差

V_d : 変動係数、品質確認書より想定する。

(合格判定係数)

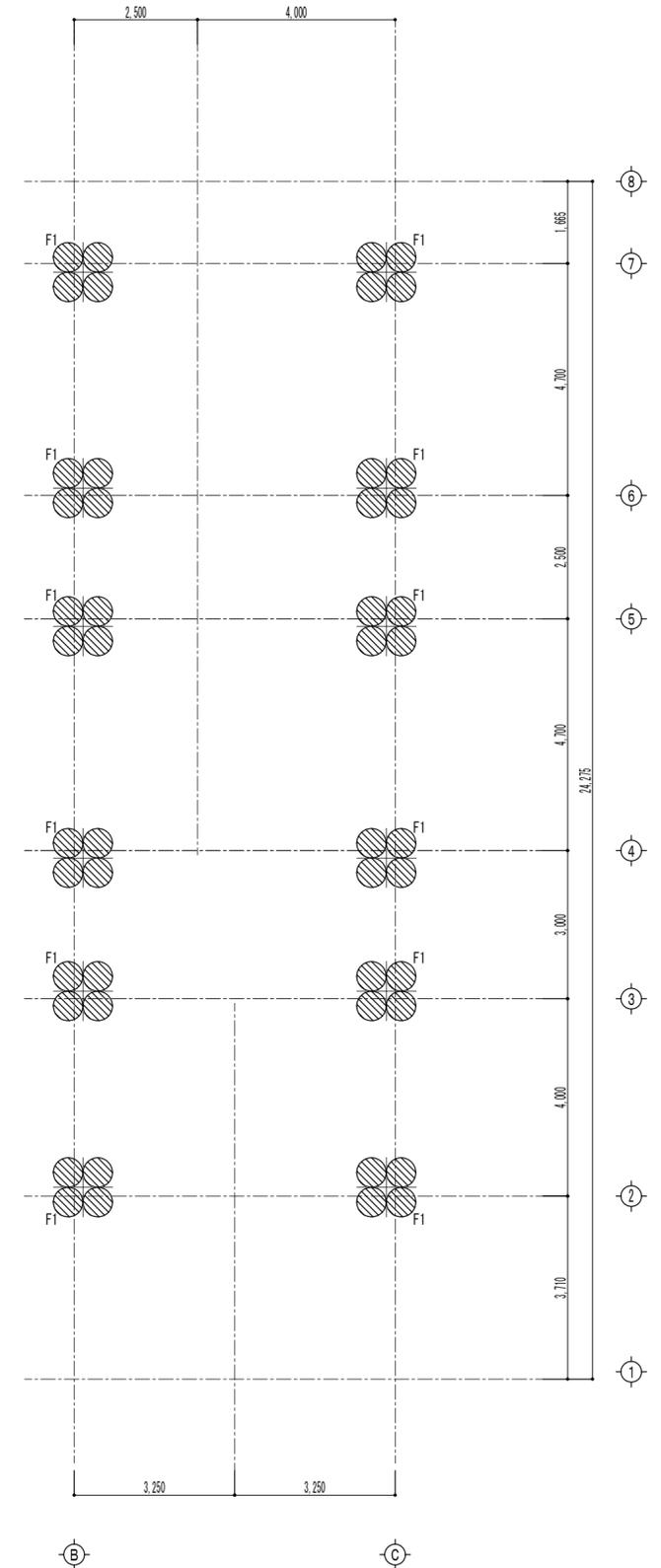
採取ヶ数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

<4> 未固化改良体の比低抗測定

施工直後の改良体の攪拌混合状況を把握するために、比低抗の深度方向の分布を測定する。

検査数量は、1検査対象群毎に1箇所以上かつ、50コラム毎に

1箇所以上とする。



● 柱状改良を示す。
(600φ L=2.05m $F_c=900\text{kN/m}^2$)

GBRC 性能証明 第08—06号036

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者

一級建築士
No.134324
構造設計一級建築士
No.2300
田端 隆

設計担当者

一級建築士
No.297989
河合 敏

一級建築士

No.32033
井上貴智

一級建築士

No.352551
田端 隆

SCALE 原図A2

A2 : 1/100

A3 : 1/140

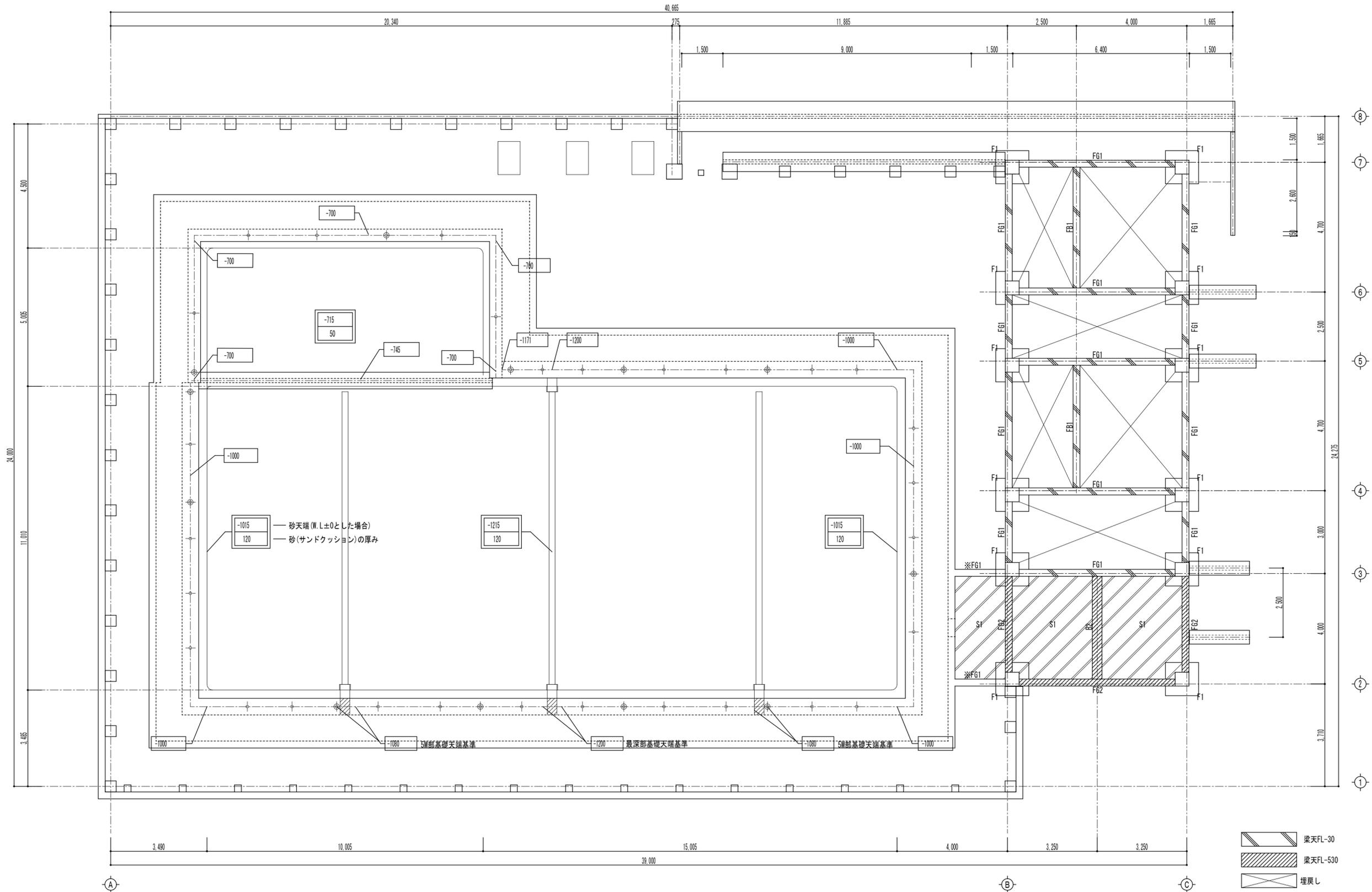
DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う

プールその他建築工事

図面名称 柱状改良工事標準仕様書・改良伏図

S-05



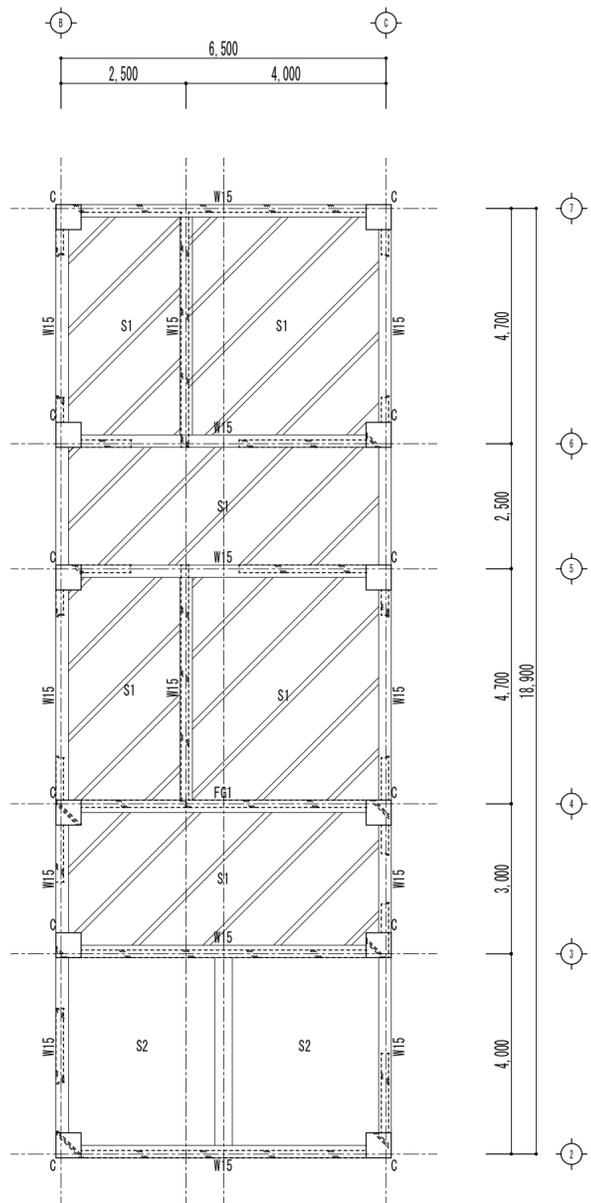
- 梁天FL-30
 - 梁天FL-530
 - 埋戻し
 - 土間コンクリート
- ※FG1は梁せい1700

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

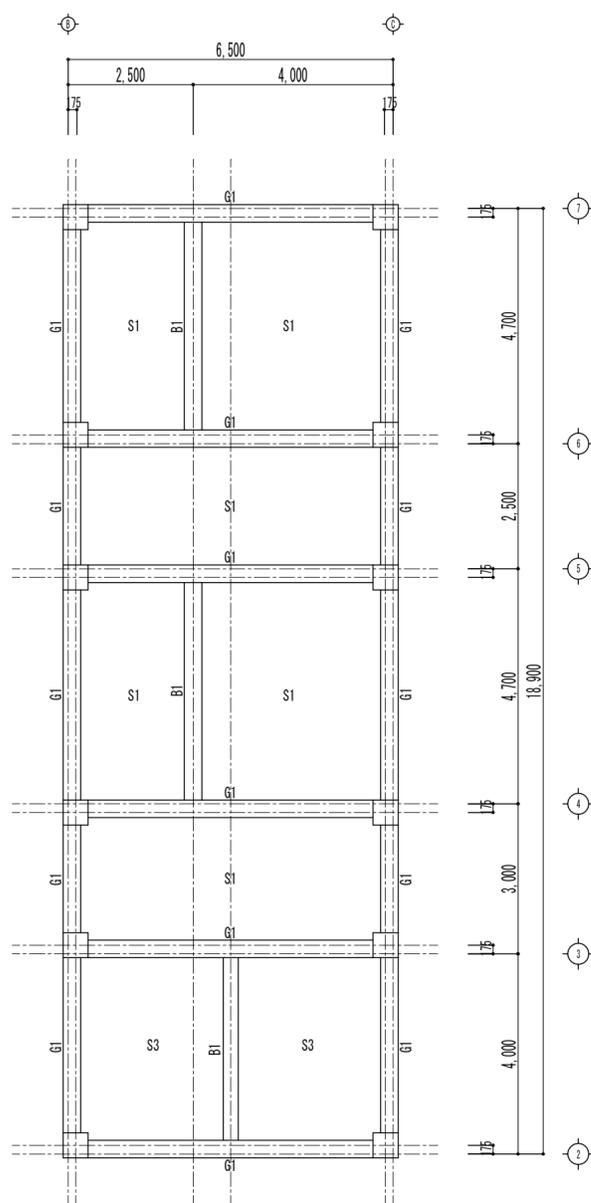
設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端 隆

SCALE 原図A2
 A2 : 1/100
 A3 : 1/140
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 基礎伏図



床伏図 S=1/100 土間コンクリート



梁伏図 S=1/100

柱リスト 1:50

階	符号	C
1	柱頭・柱脚	
	X × Y	500 × 500
	主筋	8-D19
	HOOP	D10@100
	D. HOOP	

地中梁リスト 1:50

符号	FG 1	FG 2	FB 1
位置	両端	両端	両端
断面			
B × D	250 × 1750	250 × 1250	250 × 1250
上端	2-D19	2-D19	2-D19
下端	2-D19	2-D19	2-D19
S T P	D10-@150	D10-@150	D10-@150
腹筋	10-D10	6-D10	6-D10

壁リスト 1:50

符号	W15
壁厚	t=150
断面	
縦筋	D13@200
横筋	D13@200

梁リスト 1:50

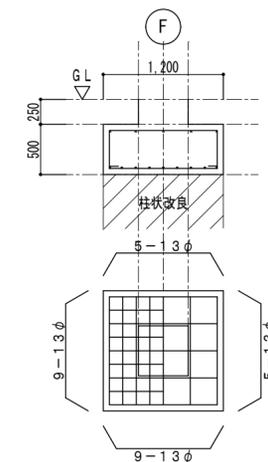
符号	G1	B 1	B 2
位置	両端	両端	両端
断面			
B × D	350 × 500	300 × 500	350 × 600
上端	4-D19	3-D19	3-D19
下端	4-D19	3-D19	3-D19
S T P	D10-@200	D10-@200	D10-@200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10

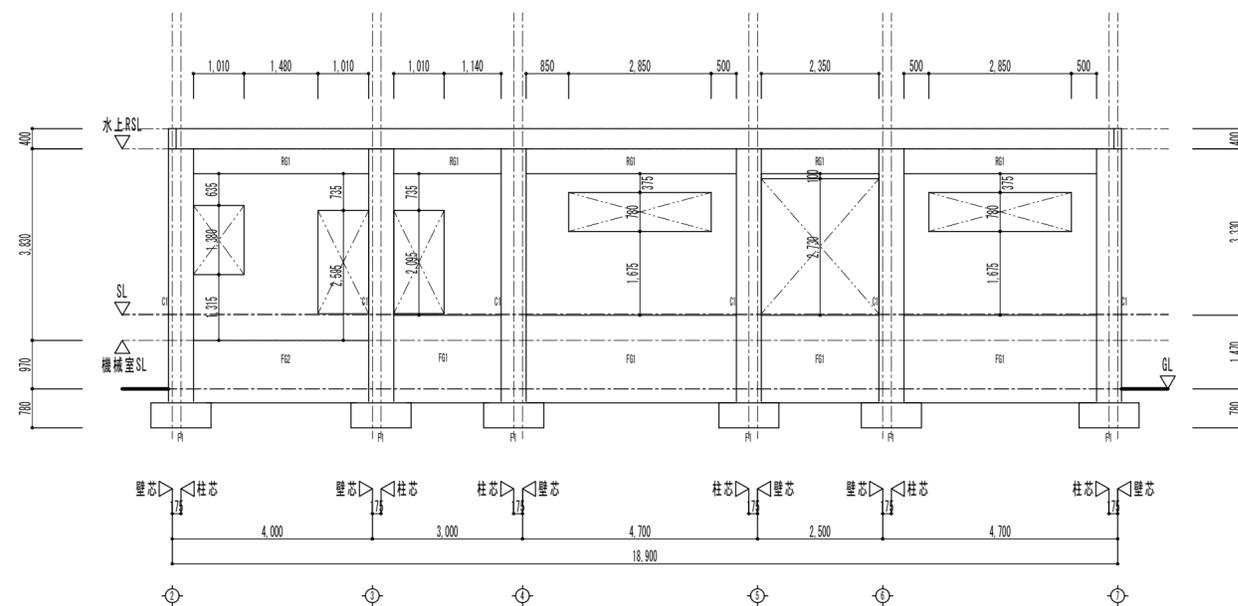
スラブリスト 1:50

符号	壁厚	位置	短辺方向	長辺方向
S 1	t=150	上端筋	D10D13@200	D10D13@200
		下端筋	D10D13@200	D10D13@200
S 2	t=150	上端筋	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200
S 3	t=150	上端筋	D10D13@200	D10D13@200
		下端筋	D10D13@200	D10D13@200



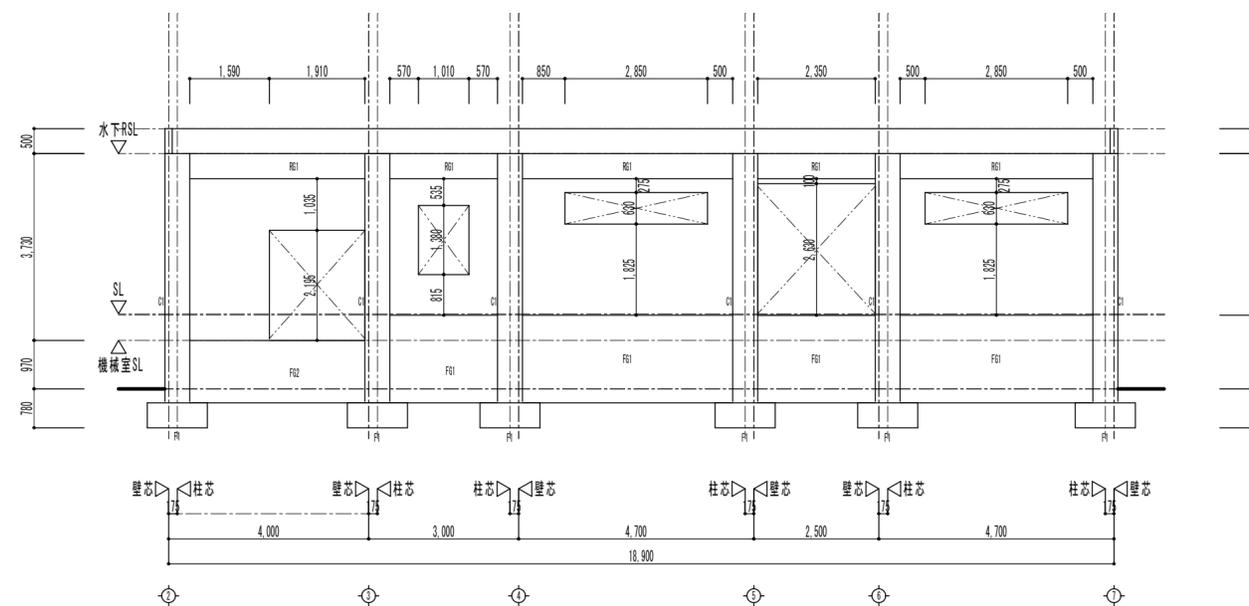
基礎リスト 1:50





B通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



C通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする

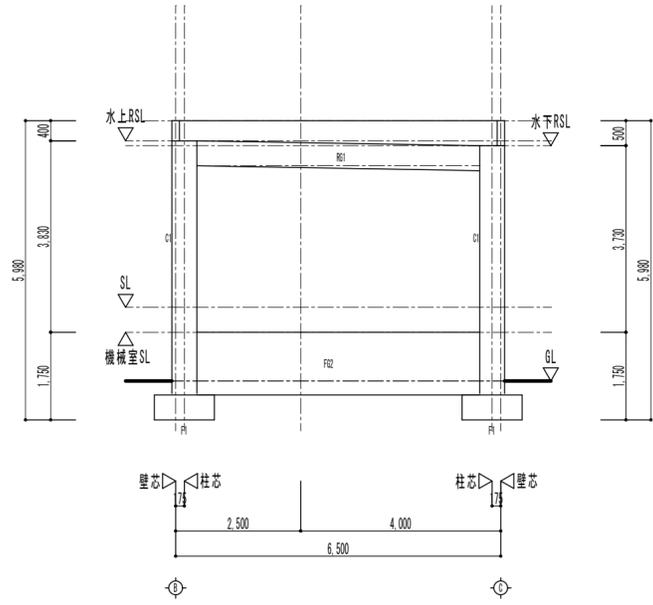
備考	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆		一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.322033 井上貴智

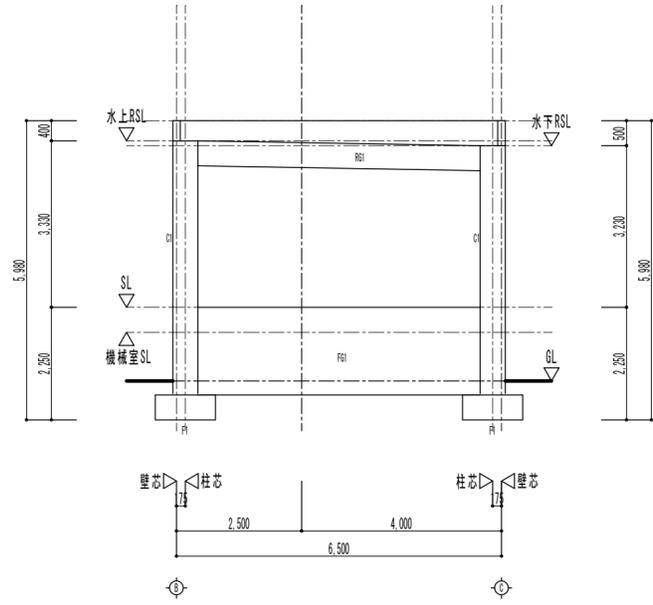
SCALE	原図A2
A2	1/100
A3	1/140
DATE	

工事名称	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事
図面名称	上屋軸組図①



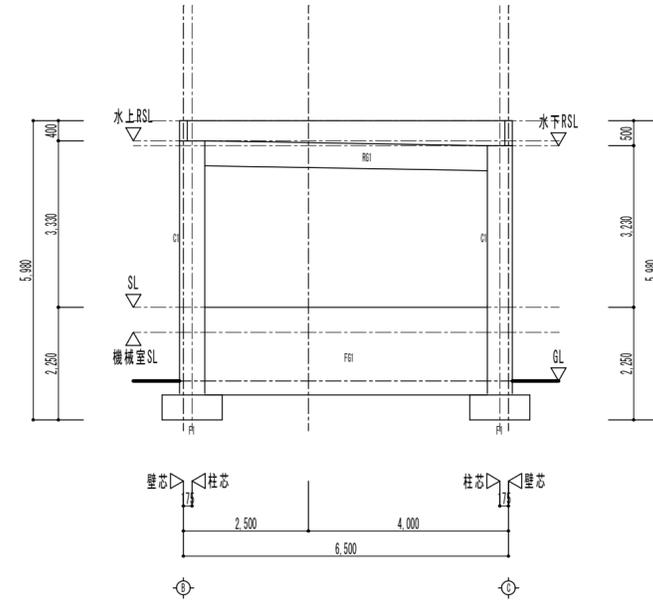
2通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



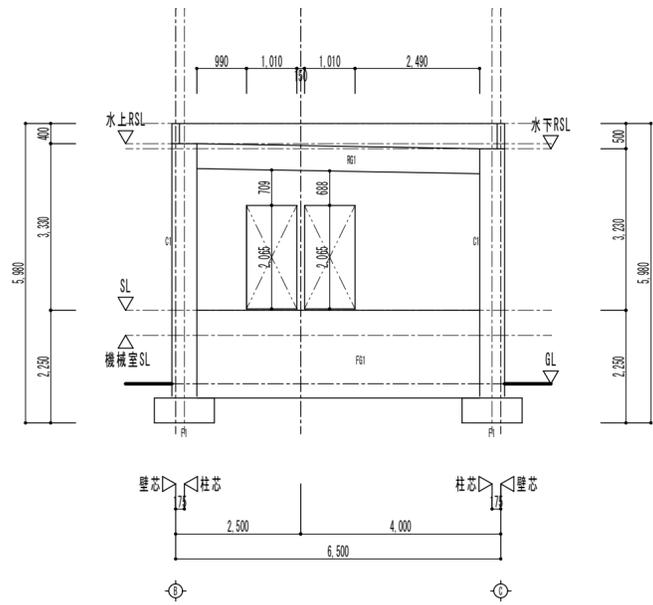
3通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



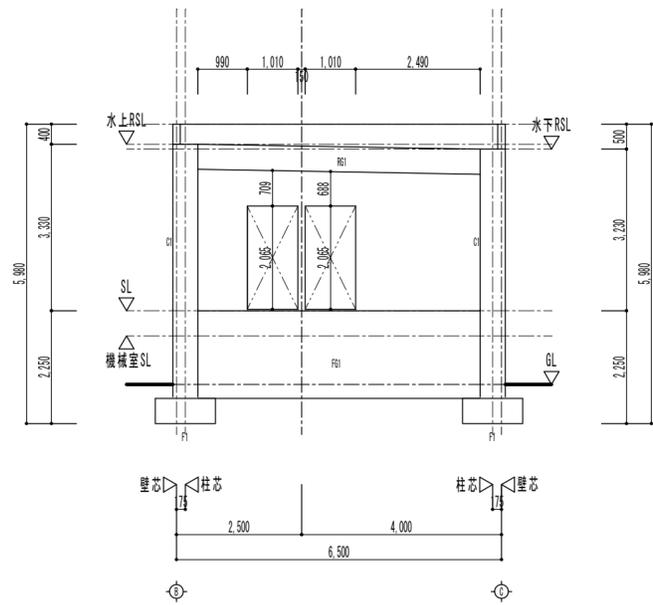
4通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



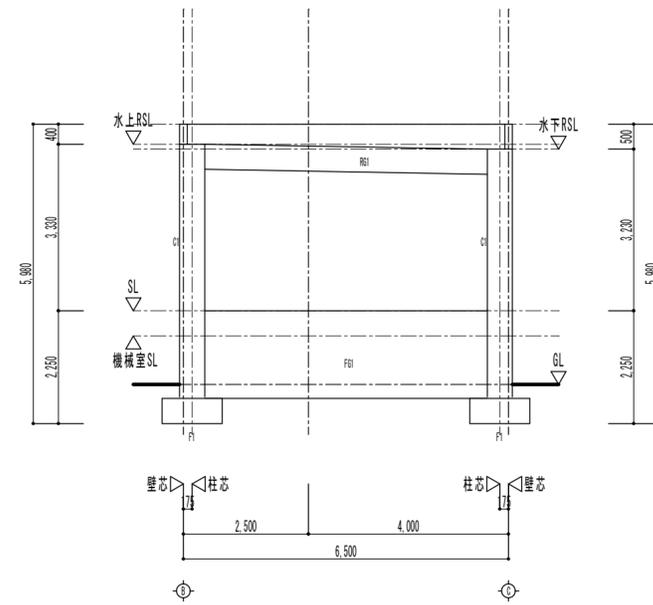
5通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



6通り軸組図 S=1/100

特記なき壁はW15とする



7通り軸組図 S=1/100

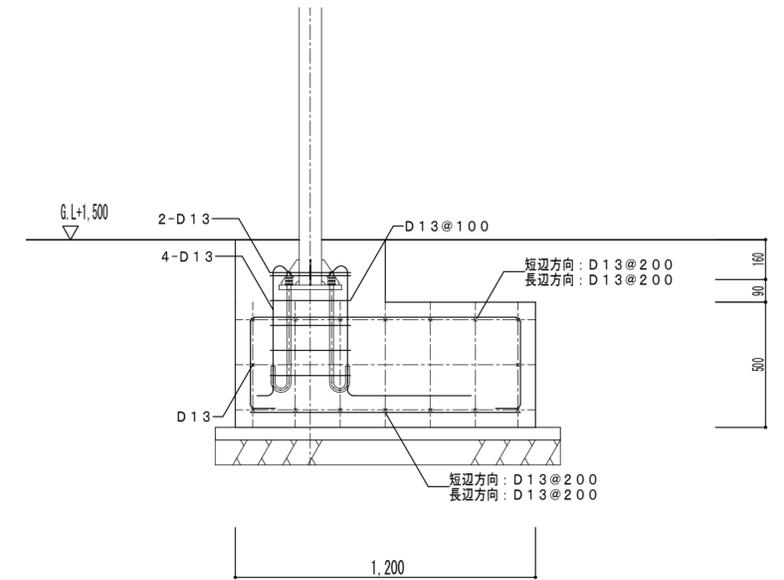
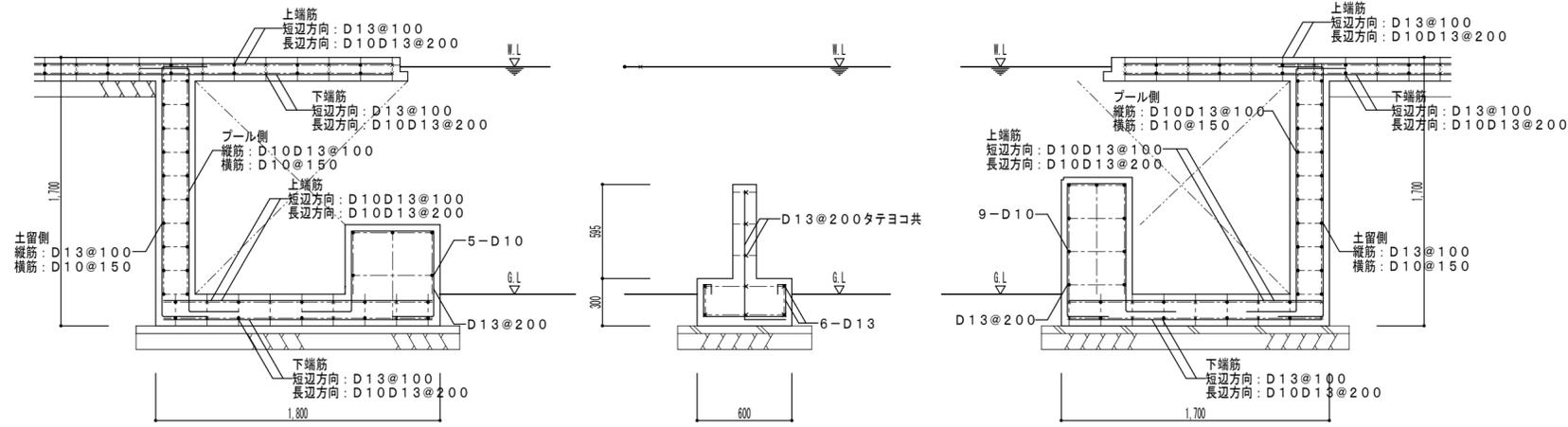
特記なき壁はW15とする

プールサイド基礎配筋図

S=1/30

見学者用庇基礎配筋図

S=1/20



洗眼所上り配筋図

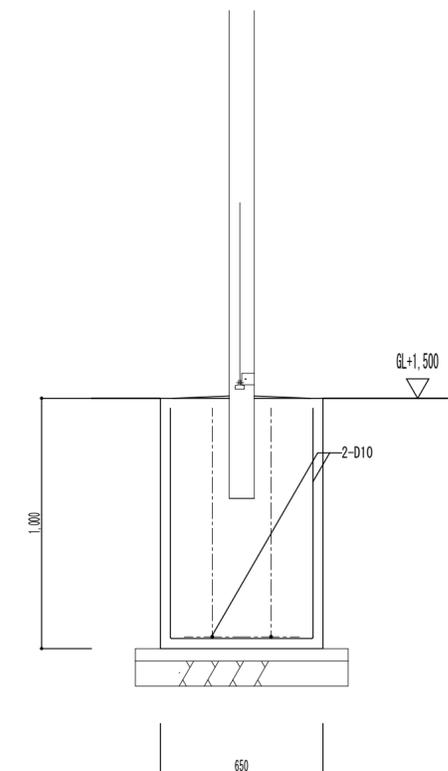
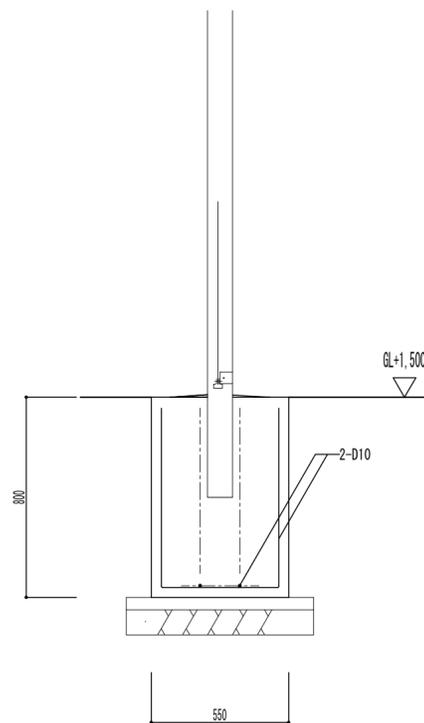
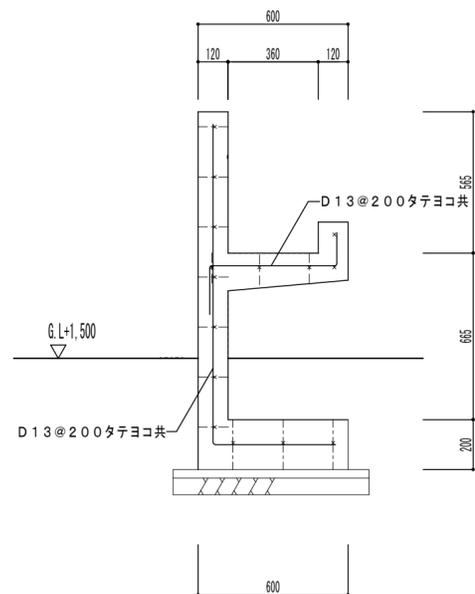
S=1/20

目隠しフェンス基礎配筋図

S=1/20

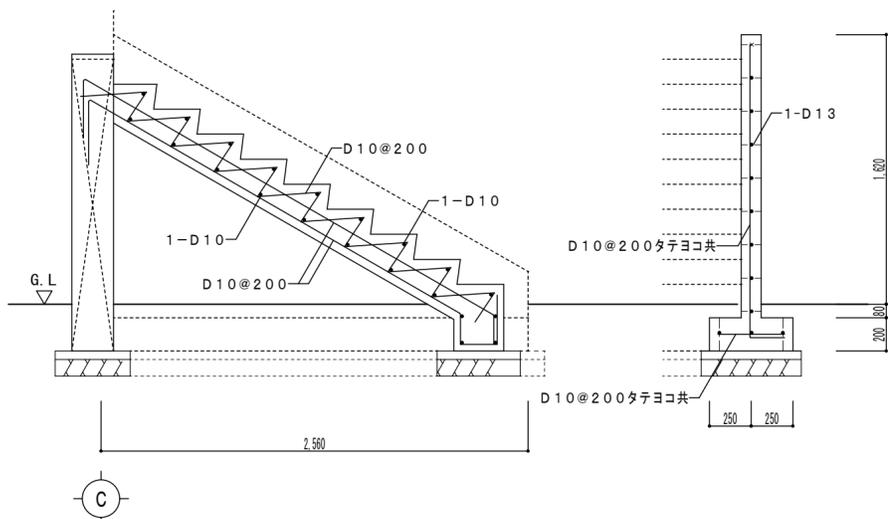
目隠しフェンス両開き門扉基礎配筋図

S=1/20



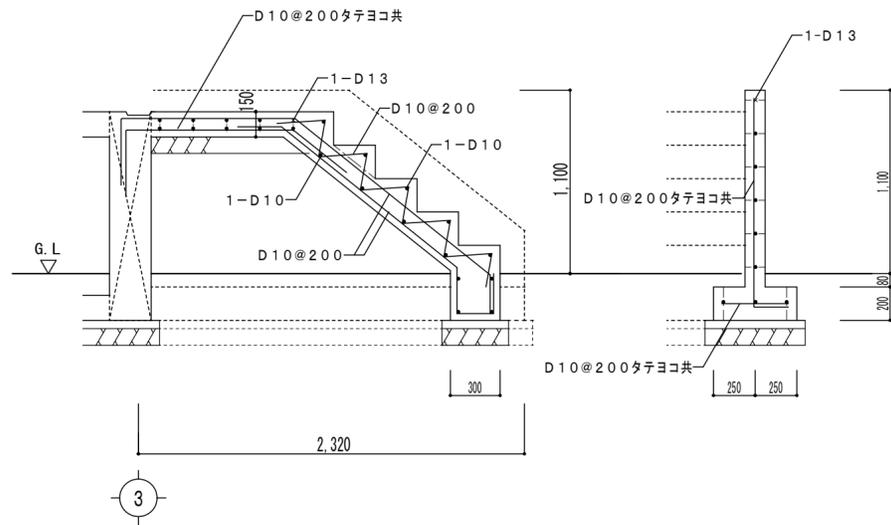
通路前階段・ささら桁配筋図

S=1/30



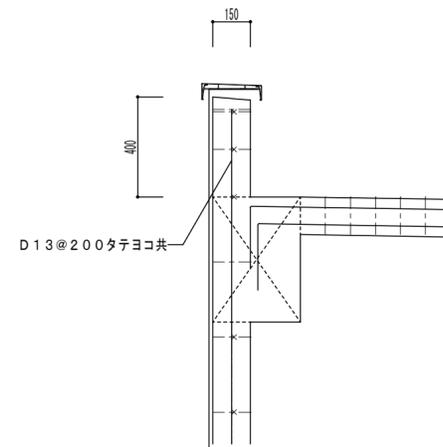
機械室前階段・ささら桁配筋図

S=1/30



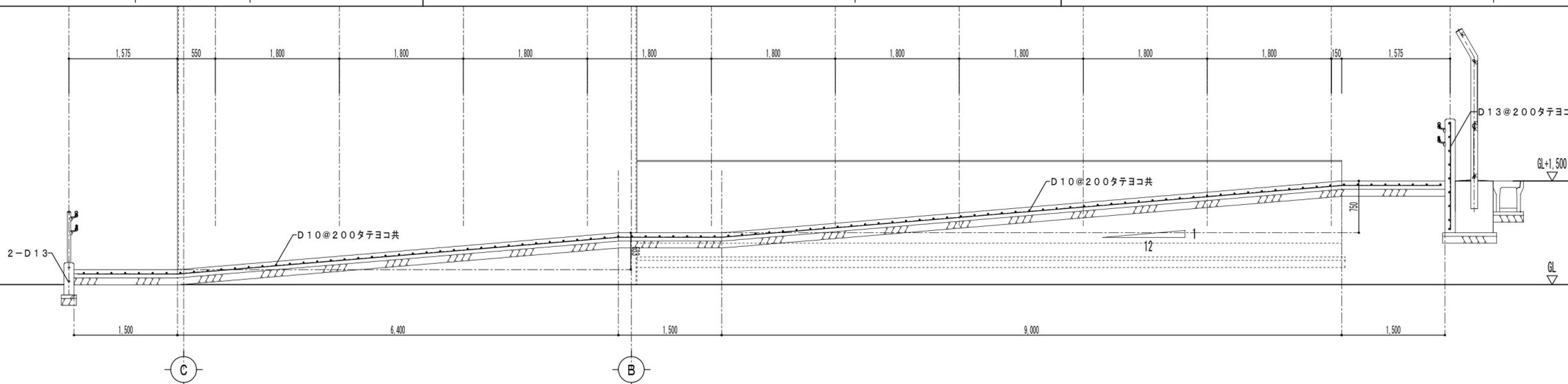
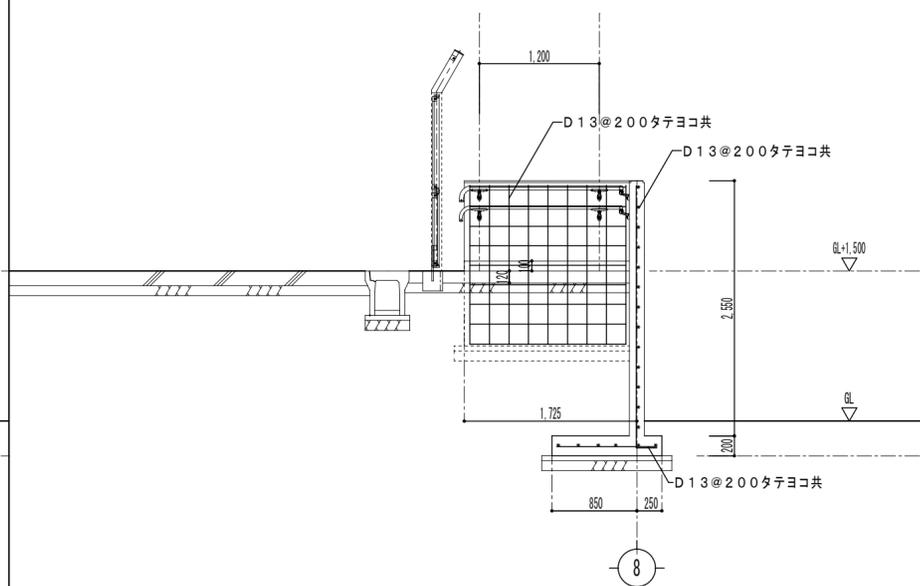
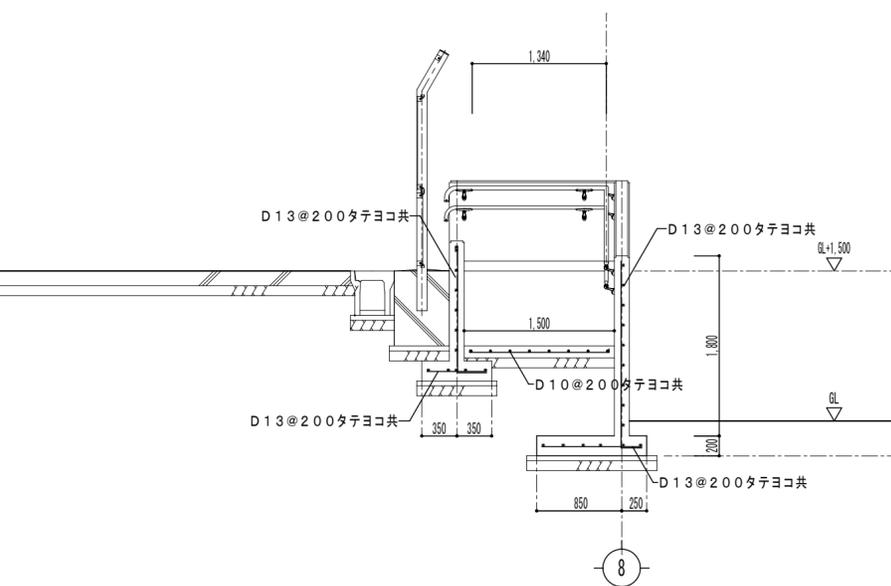
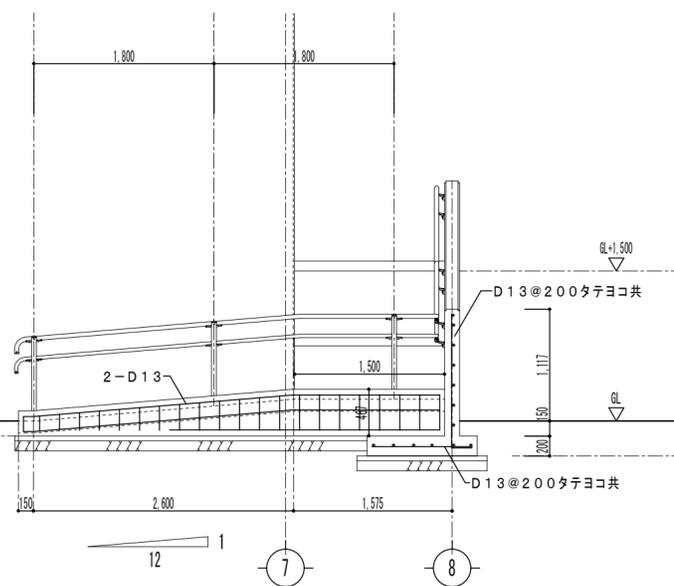
パラペット配筋図

S=1/20



スロープ配筋図

S=1/50



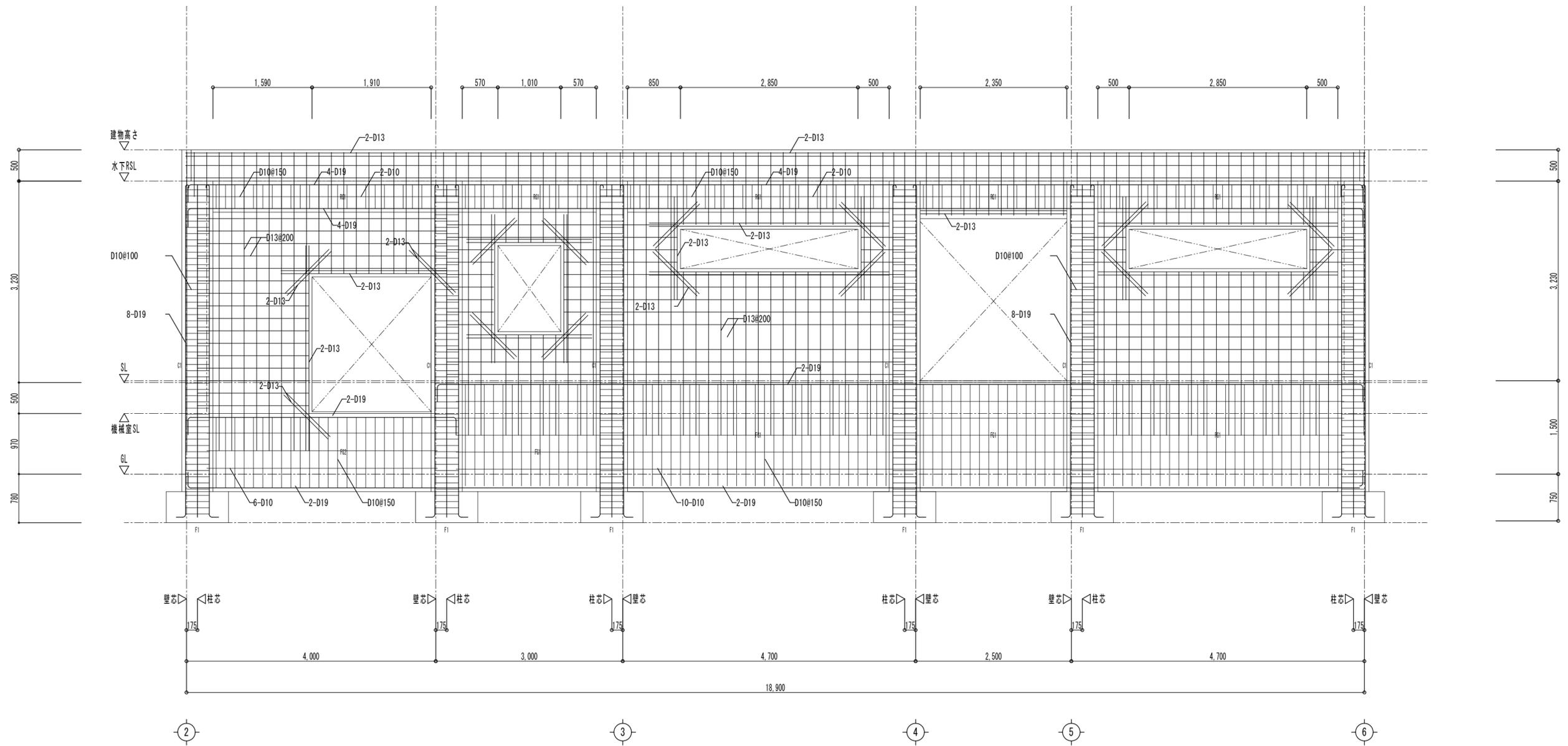
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆

設計担当者
 一級建築士 No.297989 河合 敏
 一級建築士 No.32033 井上 貴智
 一級建築士 No.352551 田端 隆也

SCALE 原図A2
 A2 : 1/50
 A3 : 1/70
 DATE

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 雑配筋図②



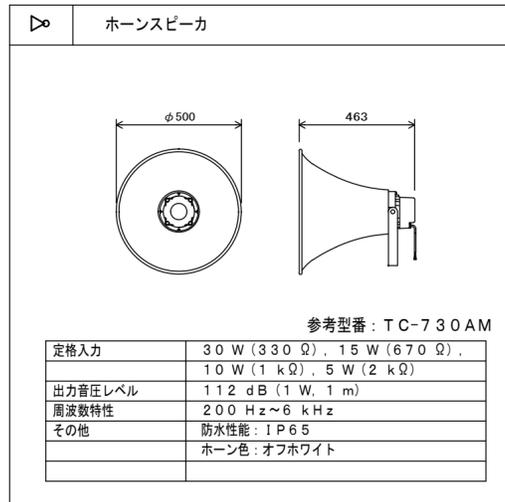
C通り架構詳細図 S=1/50

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

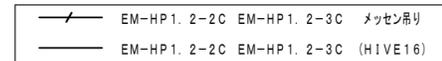
設計代表者		設計担当者			
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.332033 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端 進也		

SCALE 原図A2	
A2	1/50
A3	1/70
DATE	

工事名称	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事
図面名称	架構詳細図



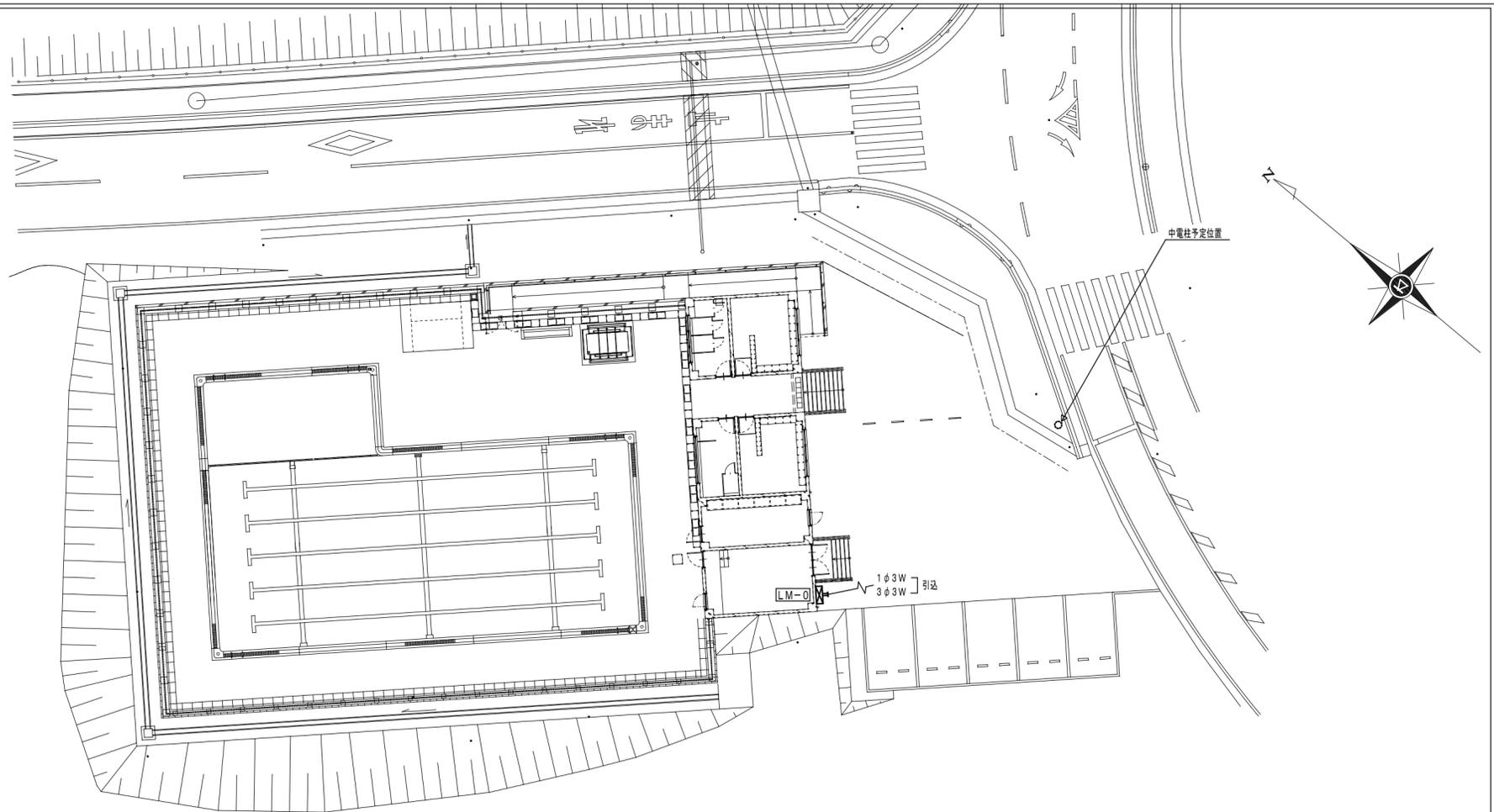
特記なき配線は下記による



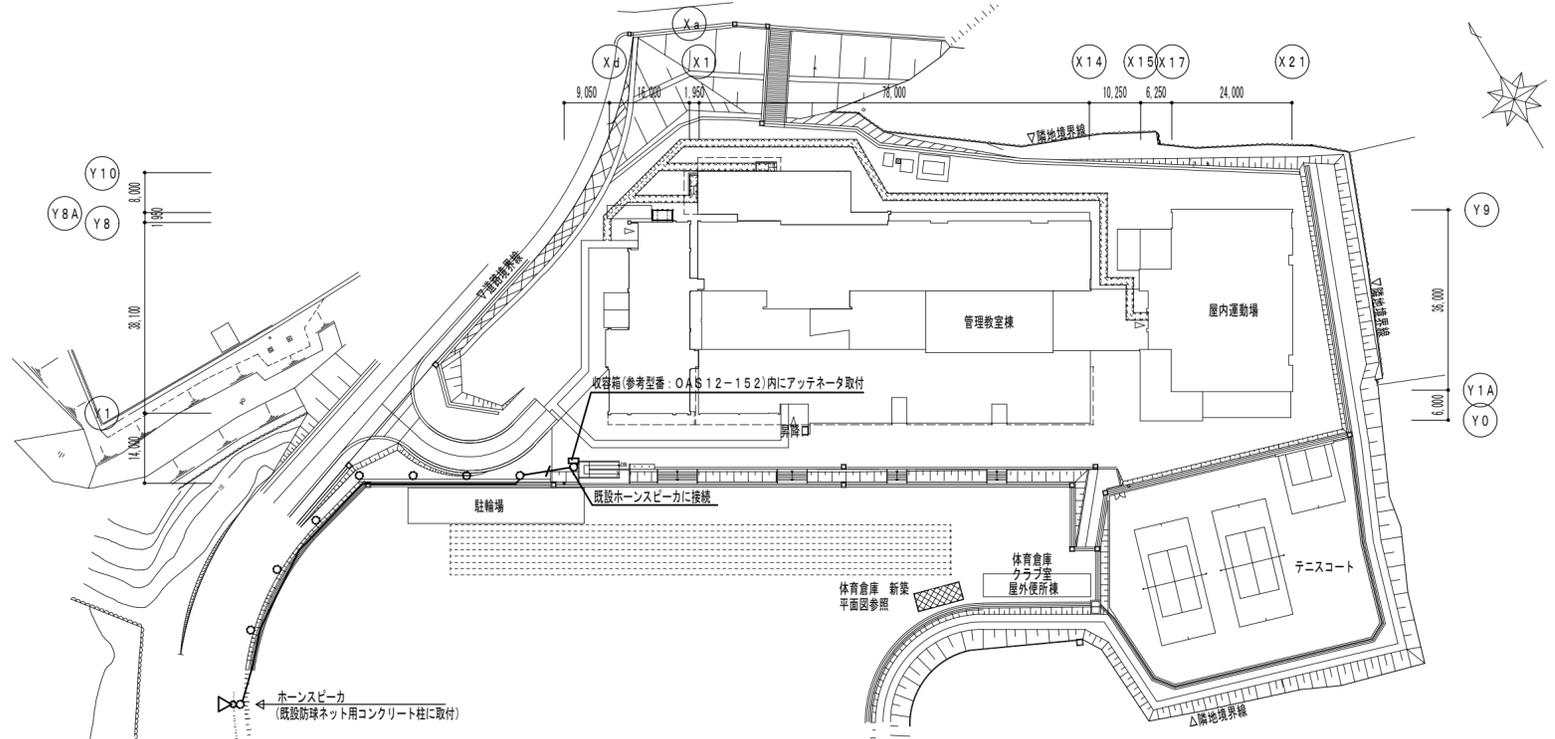
注記

※ ○ 既設防球ネット用コンクリート柱利用

凡 例		
記 号	名 称	
	引 込 盤	SUS 防水
	電 灯 盤	
	L E D 灯	ライトバー型
	L E D 防 犯 灯	防雨
	換 気 扇	機械設備工事
	ス イ ッ チ	片切
	ス イ ッ チ	3路
	ス イ ッ チ	3路 防水
	ス イ ッ チ	片切 防水
	コ ン セ ント	2P15A
	コ ン セ ント	2P15A x 2ET付
	コ ン セ ント	2P15A x 2ET付 防水
	屋 外 時 計	防雨
	ス ピ ー カ	ホーン型
	設 地 工 事	D種 埋設表示標共



配置図 1/250



拡声設備図 1/1000

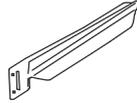
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者		設計担当者	
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.297989 河合 敏	一級建築士 No.322033 井上貴智	一級建築士 No.352551 田端進也

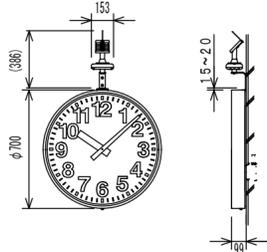
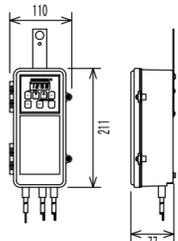
SCALE	原図A2
A2	:1/250,1/1000
A3	:
DATE	

工事名称 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 図面名称 配置図・拡声設備図・拡声設備姿図

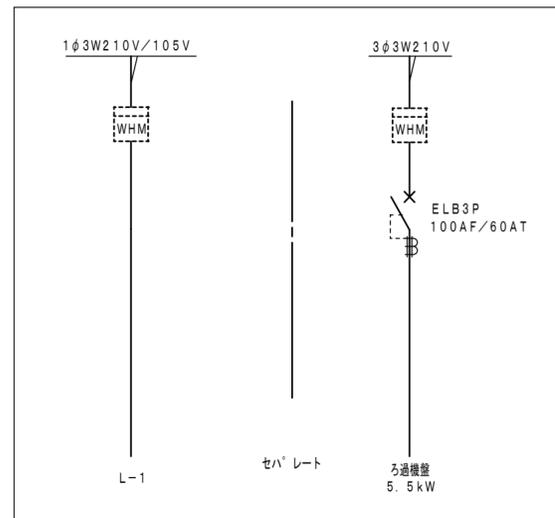
照明器具姿図

(A)1	LED直付型40形高出力相当 防湿ステンレス製	(B)1	LED直付型40形定格出力相当反射笠付 防湿ステンレス製	(C)	LED防犯灯 FHP32形相当 防雨型
(A)2	LED直付型40形定格出力相当 防湿ステンレス製				※自動点滅器内臓 壁面取付金具共
 <p>公共型番: LSS9MP/RP-3000LM 公共型番: LSS9MP/RP-2200LM</p>		 <p>参考型番: XLW453KEN LE9</p>		 <p>参考型番: NNY20495 LE1</p>	

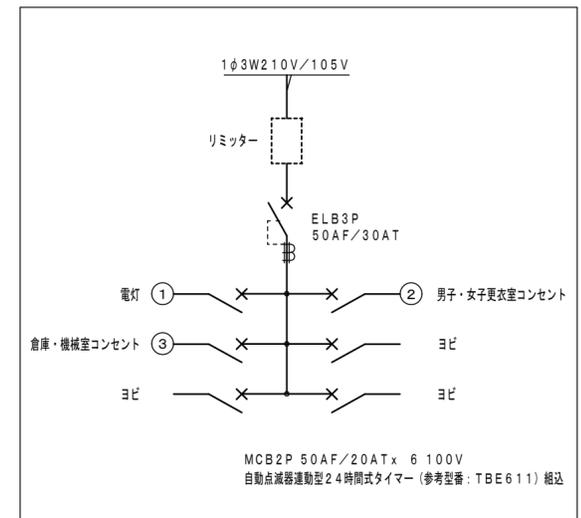
弱電機器姿図

φ700 壁取付型 太陽電池時計																													
🕒 時計 (屋外防雨型)	□ p 制御部																												
 <p>参考型番: TCW 7140</p>																													
<table border="1"> <tr><td>機械</td><td>DC3.6V有極30秒パルス</td></tr> <tr><td>受信ユニット</td><td>受信アンテナ及び回路を内蔵</td></tr> <tr><td>太陽電池</td><td>多結晶シリコン素子</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミ 黒色塗装</td></tr> <tr><td>文字板</td><td>銅板 白色塗装 文字黒色印刷</td></tr> <tr><td>表ガラス</td><td>ポリカボネート 透明 t=3</td></tr> <tr><td>ケース</td><td>銅板 コーヒーブラウン色塗装</td></tr> </table>	機械	DC3.6V有極30秒パルス	受信ユニット	受信アンテナ及び回路を内蔵	太陽電池	多結晶シリコン素子	指針	アルミ 黒色塗装	文字板	銅板 白色塗装 文字黒色印刷	表ガラス	ポリカボネート 透明 t=3	ケース	銅板 コーヒーブラウン色塗装	<table border="1"> <tr><td>原振</td><td>水晶発振式 4.194304MHz</td></tr> <tr><td>精度</td><td>標準電波受信により積算誤差0秒</td></tr> <tr><td>出力信号</td><td>シリアル信号</td></tr> <tr><td>蓄電池</td><td>ニカド蓄電池 DC3.6V 1300mAh</td></tr> <tr><td>動作可能無日数</td><td>90日 (晴天でない時が続いた場合)</td></tr> <tr><td>修正回数</td><td>1日1回 AM2:00に修正</td></tr> <tr><td>受信周波数</td><td>標準電波40kHzまたは60kHz</td></tr> </table>	原振	水晶発振式 4.194304MHz	精度	標準電波受信により積算誤差0秒	出力信号	シリアル信号	蓄電池	ニカド蓄電池 DC3.6V 1300mAh	動作可能無日数	90日 (晴天でない時が続いた場合)	修正回数	1日1回 AM2:00に修正	受信周波数	標準電波40kHzまたは60kHz
機械	DC3.6V有極30秒パルス																												
受信ユニット	受信アンテナ及び回路を内蔵																												
太陽電池	多結晶シリコン素子																												
指針	アルミ 黒色塗装																												
文字板	銅板 白色塗装 文字黒色印刷																												
表ガラス	ポリカボネート 透明 t=3																												
ケース	銅板 コーヒーブラウン色塗装																												
原振	水晶発振式 4.194304MHz																												
精度	標準電波受信により積算誤差0秒																												
出力信号	シリアル信号																												
蓄電池	ニカド蓄電池 DC3.6V 1300mAh																												
動作可能無日数	90日 (晴天でない時が続いた場合)																												
修正回数	1日1回 AM2:00に修正																												
受信周波数	標準電波40kHzまたは60kHz																												

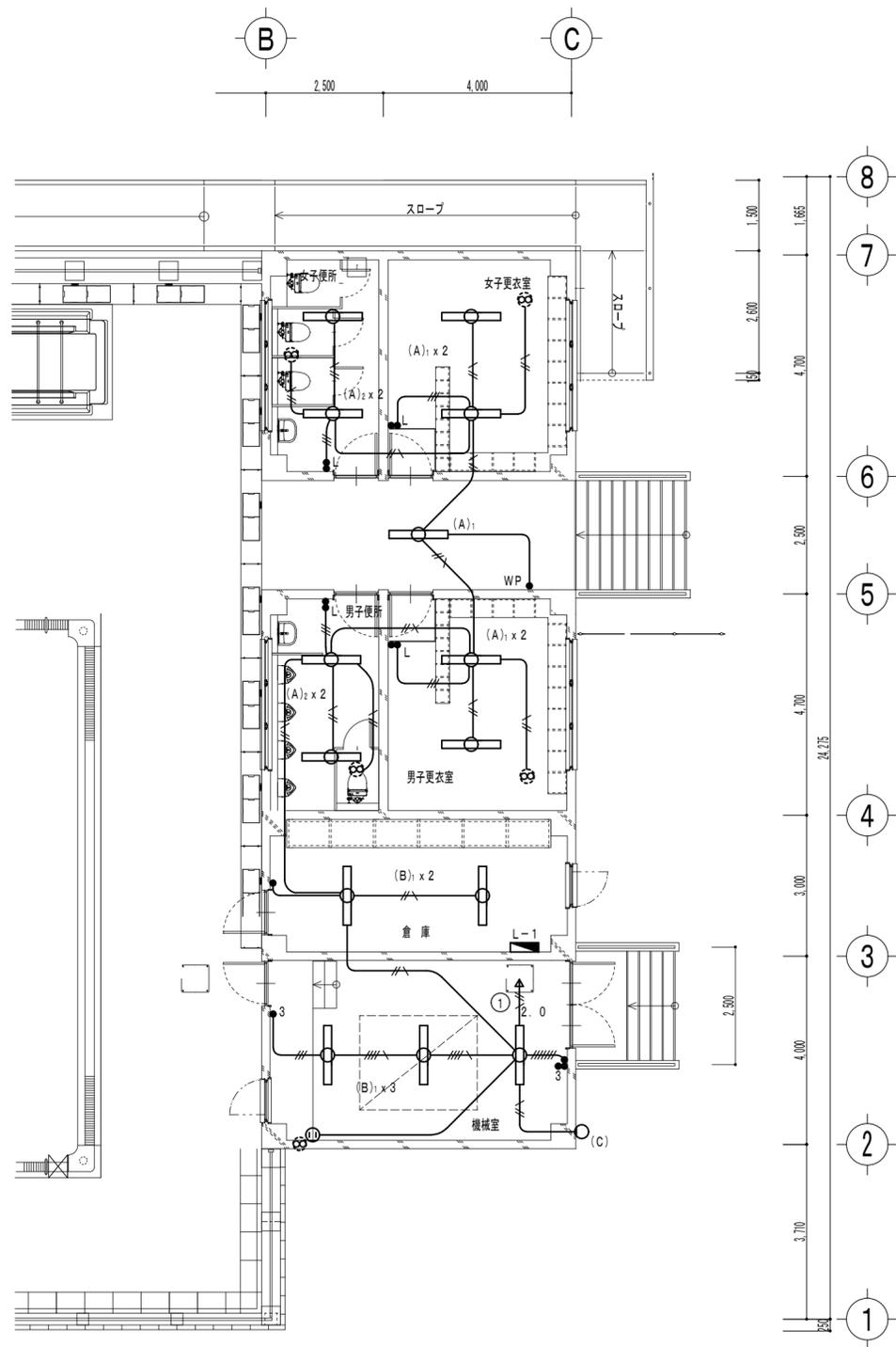
単線結線図



L M - 0
(SUS.WP)



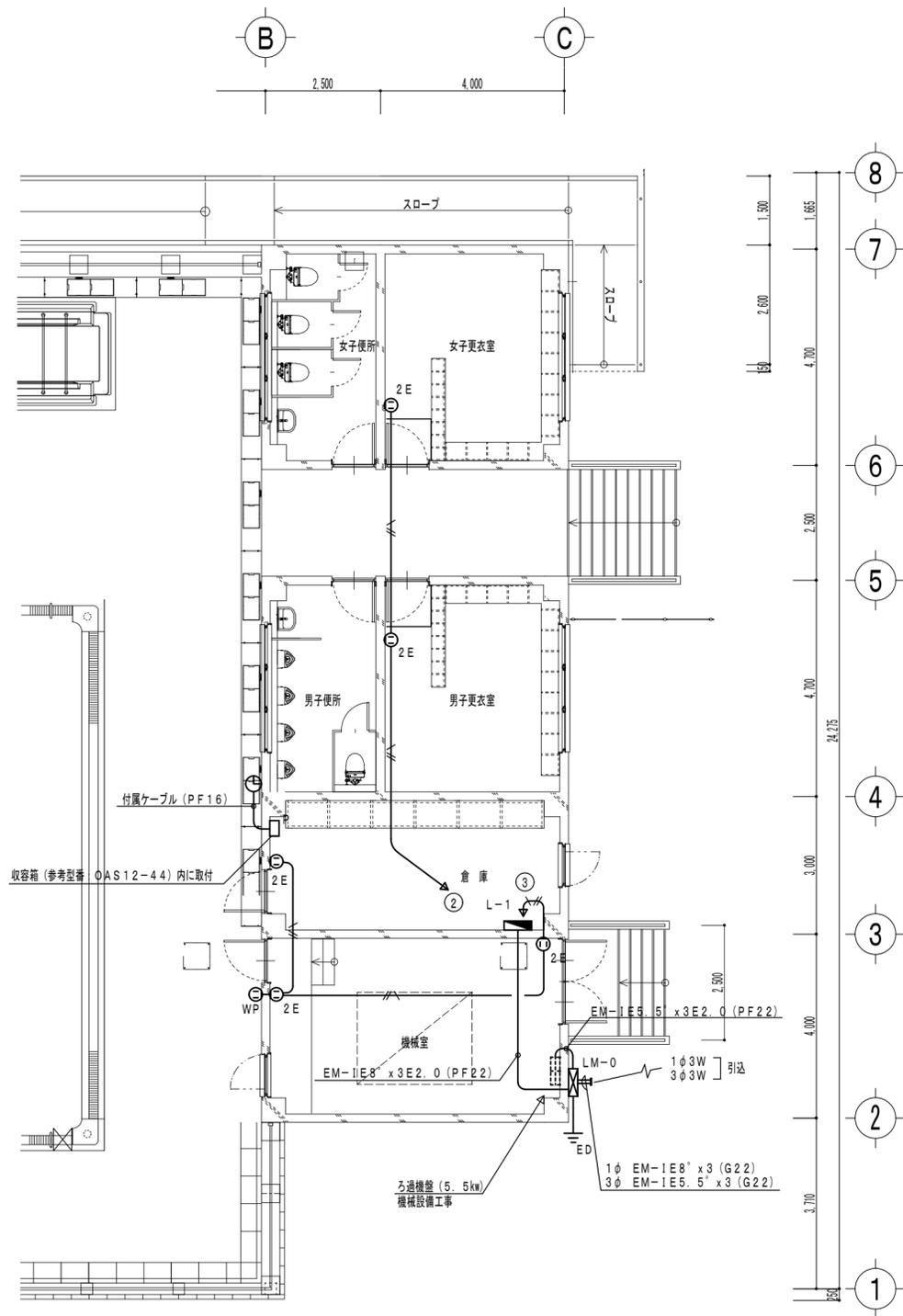
L - 1



1階 平面図 1/100
(電灯設備図)

特記なき配線は下記による

	EM-1E1.6x2 (PF16)
	EM-1E1.6x3 (PF16)
	EM-1E1.6x4 (PF16)
	EM-1E1.6x7 (PF16)
	EM-1E1.6x2E1.6 (PF16)
	EM-1E1.6x3E1.6 (PF16)
	EM-1E1.6x4E1.6 (PF16)
	EM-1E2.0x2E2.0 (PF16)



1階 平面図 1/100
(動力・コンセント設備図)

特記なき配線は下記による

	EM-1E2.0x2E2.0 (PF16)
--	-----------------------

建築工事特記仕様書		1	2	3	4								
I 工事概要	1. 工事名称	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事	1 一般共通事項	4 発生材の処理等 (1.3.8)	2 仮設工事	4 地業工事	<ul style="list-style-type: none"> ・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α、β、γが以下の値を採用できる工法 α=(), β=(), γ=() 						
	2. 工事場所	三重県津市美里町三郷84											
II 建築工事仕様	3. 敷地概要	敷地面積 : 28,314 m ²	5 三重県産業廃棄物税	3 埋戻し及び盛土	3 土工事	3 鋼杭地業	<ul style="list-style-type: none"> ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による 						
	4. 敷地概要	建物用途 : 中学校 工事の種類 : 新築 構造 : RC造 建築面積 : 5156.046 m ² 床面積 : 6863.541 m ²											
III 化学物質の濃度判定	1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。	<p>特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。</p> <p>使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。</p> <p>本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図 平成22年版 ・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課) ・津市公共建築物等木材利用方針 <p>4. その他事項</p> <p>特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>・特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	6 騒音・振動の防止	4 既設コンクリート杭地業	4 地業工事	4 砂利地業	<ul style="list-style-type: none"> ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による 						
	2. 本特記仕様書における採用事項												
章 項目	1 ① 通用基準	<p>・本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図(平成22年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>施工方法及び検査に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 作業着手までの校内調査は、事前に学校及び市監督員の承諾を得るものとし、学校の授業終了後、休日等の行事に影響を与えない範囲とする。 ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け、安全確保に十分配慮すること。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 屋外仮囲い等の現場への本格着手は学校及び監督員との協議とする。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低騒音・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。又、夏季休業等学校休校日であっても生徒等が利用している場合があるので注意を払うこと。 ※ 側溝、樹、ケヤキ等は車両通行時に破壊しないよう、鉄板敷き等で養生すること。 ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事用水、電力については校内既存の施設を利用できない。 ※ 本工事は、分離発注(本工事のほか、機械設備工事)形式となるため、施工にあたっては、工事の円滑な運営を図り、受注者間相互協力のもとに本施設の完成を目指すこと。 ※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。 <p>なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。</p>	7 騒音写真	2 既設コンクリート杭地業	4 地業工事	4 砂利地業							
	2 ② 施工条件												
測定物質(○で示したものとす。)	適用	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン						
	学校、教育施設												
住宅													
その他													
対象箇所(※ 図示)													
測定方法(※ パッシブ法、アクティブ法)													
報告書提出部数	2部												
月・日	月・日		月・日		月・日		月・日						
・	・		・		・		・						
・	・		・		・		・						
・	・		・		・		・						
<p>株式会社 市川三千男総合設計</p> <p>三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659</p> <p>一級建築士 第266489号 山口 裕之</p>				<p>設計</p> <p>一級建築士 第93977号 市川 司</p> <p>一級建築士 第302310号 山田 兼之</p>				<p>整理番号</p> <p>縮尺</p> <p>原図 A2</p>		<p>美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴うプールその他建築工事</p> <p>特記仕様書 1</p>		<p>NO.</p> <p>T 01</p>	

4 地業工事	5 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ※50mm 〇図示 (4.6.4) (6.14.1) 施工範囲 (4.6.4) (6.14.1) ・基礎下、土に接するスラブ 〇図示 設計基準強度 (4.6.4) (6.14.1) ※18N/mm ² スラブ (4.6/4) (6.14.1) ※15cm又は18cm	9 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.9~5.4.10) ※行う (全数) (5.4.9~5.4.10) 抜取試験 (5.4.9~5.4.10) ・超音波探傷試験 ・引張試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする	6 コンクリート工事	15 打増し厚さ (打ち放し仕上げ部)	(6.8.2) ・打ち放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.2) ・20mm 〇図示 ・打ち放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm 〇図示	7 鉄骨工事	9 ターンバックル	(7.2.6) 種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル調 ※割付式 ・パイプ式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び (7.2.6) ・図示による (構造図)
	6 床下防湿層	材料 (4.6.2) 〇ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm2枚重ね以上 施工範囲 (4.6.5) 〇建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く)	6 ①コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度	(6.1.3~4) (6.2.1~3) 〇普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)		16 型枠	(6.8.3) せき板の材料及び厚さ (6.8.3) 〇合板 (※12mm) 断熱材の兼用 (6.8.3) 〇行わない ・行う MCR工法用シート (6.8.3) ・用いる 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () ・用いない スリーブの材質 (6.8.3) ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による		10 デッキプレート	材料、形状及び寸法 (6.8.3) (7.2.7) (6.8.3) (7.2.7) (7.7.8) ・デッキプレート 単独の構造 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造 ・床型枠用
	7 地盤改良工法	(-) 種類及び施工方法等 ・図示による ()	②コンクリートの種類	(6.2.1) 種類 (6.2.1) ※ I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)		17 コンクリートの単位水量測定	(-)		11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 (7.2.8) ・図示による ()
	5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類	(5.2.1) 鉄筋の種類 (5.2.1)	③セメント		(6.3.1) 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 使用部位 () ・高炉セメントB種 使用部位 () ・フライアッシュセメントB種 使用部位 ()	7 鉄骨製作工場		(7.1.1) (7.1.3) 製作工場の加工能力 (7.1.1) (7.1.3) ・建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める() グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る) ・監督職員の承諾する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)	12 スタッド
	2 溶接金網	(5.2.2) 形状等 (5.2.2)	④骨材	(6.3.1) アルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) ※A ・B	2 施工管理技術者	(7.1.3) ※適用する ・適用しない	13 柱底均しモルタル	(7.2.9) モルタルの種類 (7.2.9) ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 材料、割合等 ※標準仕様書7.2.9による ・標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル		
	3 鉄筋の継手	(5.3.4) (5.5.2~5.5.3) 継手方法等 (5.3.4) (5.5.2~5.5.3)	⑤混和材料	(6.3.1) 〇混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による 〇混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による	3 鋼材	(7.2.1) 材質等 (7.2.1) ・図示	14 工作図	(7.3.2) 監督職員による原寸検査 (7.3.2) ・行わない ・行う 増築工事等を含め、既存建物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上、作成を行う		
	4 鉄筋の定着の方法及び長さ	(5.3.4) 鉄筋の定着方法 (5.3.4) 〇図示による (構造関係共通図)	⑥気乾単位容積質量	(6.2.3) (6.10.1) ・普通コンクリート (6.2.3) ・軽量コンクリート (6.10.1)	4 高力ボルト	(7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) ボルトの区分 (7.2.2) ・トルニア形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種 (F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ・図示 ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示	15 製作精度	(7.3.3) ※標準仕様書7.3.3による (7.3.3) 適しダイアグラムの許容誤差 ・ダイアグラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するたし書きの計算確認有り 補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・すべてのダイアグラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する使用を満足すること		
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	(5.3.5) 最小かぶり厚さ (5.3.5) 〇図示による (構造関係共通図)	⑦軽量コンクリート	(6.10.1) 種類 (6.10.1) ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による ()	5 普通ボルト	(7.2.3) (7.3.2) ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ・標準仕様書 7.2.3 による 座金 (7.2.3) ・標準仕様書 7.2.3 (d) による ボルトの径 (7.2.3) ・図示 ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示	16 鉄骨の仮組	(7.3.10) ・行わない ・行う 仮組を行う範囲 ・図示による () 確認方法、確認項目 ・図示による ()		
	6 機械式継手	(5.3.5) (5.5.2) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 〇なし ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 ・なし ・有り 適用箇所 () 最少かぶり厚さに加える暑さ () mm	⑧寒中コンクリート	(6.11.1) 適用期間 ・図示による () 〇積算温度を基に定める場合 (参考：平成25年度版 建築工事監理指針)	6 融融垂鉛つき高力ボルト	(7.2.2) (7.3.2) (7.3.8) (7.12.4) ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 (7.3.2) セットの種類 (7.2.2) ・1種 (F8T相当) 融融垂鉛めつき高力ボルトの径 (7.2.2) ・図示による (構造図) 融融垂鉛めつき高力ボルトのめつき前の孔径 (7.3.8) ・審査 (評定又は大臣認定) を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による (構造図)	17 溶接作業者の技量付加試験	(7.6.3) 試験の要領 ・図示による ()		
	7 溶接継手	(5.3.5) (5.5.3) 鉄筋相互のあき (機械式継手及び溶接継ぎ手を除く) (5.3.5) 〇図示による (構造関係共通図)	⑨マスコンクリート	(6.2.1) (6.13.1~6.13.2) 適用箇所 (6.2.1) (6.13.1) ・図示による () セメントの種類 (6.13.2) ・中床熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉ポルトランドセメントB種 ・フライアッシュポルトランドセメントB種 ・普通ポルトランドセメントに標準仕様書6.13.2(b)(2)の混和材を混合したもの	7 アンカーボルト	(7.2.4) (7.10.3) 適用 (7.2.4) (7.10.3) ・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B 1220 又は JSS II 13-2004) ・ABR400 ・ABR490 ・SS400	18 溶接接合	(7.6.4) (7.6.7) 開先の形状 (7.6.4) ・図示による (構造関係共通図) スカラップの形状 (7.6.7) ・図示による () エンドタブの切除する部分 (7.6.7) ・見え掛り部となる部分 ・図示による () ・見え隠れ部となる部分 ・図示による () 溶接部の余盛り高さ (7.6.7) ・JASS 付則 6「鉄骨精度検査基準」付表 3 [溶接]による		
	8 各部配筋	(5.3.7) 各部配筋 (5.3.7) 〇図示による (構造関係共通図)	⑩流動化コンクリート	(6.2.19) (6.15.1) 適用箇所 (6.2.1) (6.15.1) ・図示による ()	8 溶接材料	(7.2.5) 溶接材料 (7.2.5) ・標準仕様書7.2.5(a)(b)による ・図示による ()	19 入熱、バス間温度の溶接条件	(-) 適用箇所 ・図示による () ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部		
			⑪無筋コンクリート	(6.2.1) (6.14.1) 設計基準強度 (6.14.1) ※18(N/mm ²) スラブ (6.14.2) ※18cm 適用箇所 (6.2.1) (6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・図示による (ラッブルコンクリート)			20 溶接部の試験	(7.6.11) ・完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11) ・工場溶接の場合 AQL (%) ※4.0 ・2.5 ・工事現場溶接の場合 AQL (%) ※4.0 ・2.5 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。 ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②		

7 鉄骨工事	21 錆止め塗装 (7.8.3)	<p>塗料の種類 (7.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼面の錆止め塗料 <ul style="list-style-type: none"> 屋外 ※標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 屋内 ・標準仕様書18.3.2表18.3.1 ()種 垂れめつき鋼面の錆止め塗料 <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書18.3.2表18.3.2 (A)種 <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内側(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>(7.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書18.3.2表18.3.1 A種 <p>耐火被覆材の接着する面への塗装 (7.8.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行わない ・行う <ul style="list-style-type: none"> 適用範囲 ・図示による () <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書18.3.2表18.3.1 ()種 ・標準仕様書18.3.2表18.3.2 ()種 	8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	4 押出成形セメント板 (8.5.2~5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外壁パネル</td> <td>・F</td> <td>・50</td> <td>・60</td> <td rowspan="3">・A種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>・50</td> <td>・60</td> </tr> <tr> <td>・T</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・F</td> <td>・50</td> <td>・60</td> <td rowspan="3">・B種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・D</td> <td>・50</td> <td>・60</td> </tr> <tr> <td>・T</td> <td>60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない <p>パネルの相互の目地幅(mm) ・図示</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15</p> <p>やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>パネルに開口</th> <th>短辺</th> <th>開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>欠く場合</td> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種類	備考	・外壁パネル	・F	・50	・60	・A種		・D	・50	・60	・T	60		・間仕切壁パネル	・F	・50	・60	・B種		・D	・50	・60	・T	60			パネルに開口	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	短辺	・	・	・	・	長辺	・	・	・	・	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・	欠く場合	長辺	・	・	・	9 防水工事	3 改質アスファルトシート防水 (9.3.2, 3)(表 9.3.1~3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>防水層の種類</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>防湿層</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による</td> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="10">・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T-T1</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T-J1</td> <td>屋根</td> <td>(材質) ※JISA9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ・30mm</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T-T2</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・AS-T-T3</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による <p>押え金物</p> <ul style="list-style-type: none"> ※改質アスファルト製造所の仕様による 	防水層の種類	種 別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による	・AS-T1			・図示	・	・AS-T2			・	・AS-J1			・	・AS-T3			・	・AS-T4			・	・AS-J2			・	・AS-T-T1			・	・AS-T-J1	屋根	(材質) ※JISA9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ・30mm	・図示	・	・AS-T-T2			・	・AS-T-T3			・	10 石工事	1 施工 (10.1.3, 5)	<p>石材の割付け ※標準仕10.1.3(a)(1)、(2)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>屋内の床を本磨きとする場合のフックスゲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う (適用場所) ・すべて () ・行わない <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">天然石 (10.2.1, 3)(表 10.2.1, 2)</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>玄関床</td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td>花こう岩 (御影石)</td> <td>※正方形に近い矩形</td> <td>W100</td> <td>t40</td> <td>本磨き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※正方形に近い矩形</td> <td></td> <td></td> <td>滑り止め溝付</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">テラズブロック</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">テラズタイル</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※石材施工業者の指定する製品 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">テラズタイル (10.2.2, 3)(10.3.2, 3)</th> </tr> <tr> <th>石裏面処理</th> <th>裏打ち処理</th> <th>受金物</th> <th>目地</th> <th>伸縮調整目地</th> <th>アンカーの材質及び径</th> <th>あと施工アンカーの材質及び寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>※SS400 M12</td> <td>・あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</td> </tr> <tr> <td>下地ごしらえ</td> <td>※流し施工</td> <td>・あと施工アンカー工法</td> <td>・あと施工アンカー、横筋流し工法</td> <td>形状及び寸法</td> <td>・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm</td> <td>・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>アンカーの材質及び径 ※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.1による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 	天然石 (10.2.1, 3)(表 10.2.1, 2)							施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	玄関床	・1等品 ・2等品	花こう岩 (御影石)	※正方形に近い矩形	W100	t40	本磨き		・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形			滑り止め溝付	テラズブロック							施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			テラズタイル							施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考			※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型				テラズタイル (10.2.2, 3)(10.3.2, 3)							石裏面処理	裏打ち処理	受金物	目地	伸縮調整目地	アンカーの材質及び径	あと施工アンカーの材質及び寸法	・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	・適用しない	※SS400 M12	・あと施工アンカーの材質及び寸法 ()	下地ごしらえ	※流し施工	・あと施工アンカー工法	・あと施工アンカー、横筋流し工法	形状及び寸法	・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm	・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm	3 外壁湿式工法 (10.2.2, 3)(10.3.2, 3)	2 内壁湿式工法 (10.2.2, 3)(10.4.2, 3)	<p>石裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>裏打ち処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>下地ごしらえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※流し施工	4 内壁空積工法 (10.2.2)(10.4.2, 3)	4 内壁空積工法 (10.2.2)(10.4.2, 3)	<p>受金物</p> <p>材質 ※SS400</p> <p>形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm ・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm <p>石裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>裏打ち処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>下地ごしらえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※あと施工アンカー、横筋流し工法 <p>アンカーの材質及び径 ※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※6mごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 	5 乾式工法 (10.2.2)(10.5.2, 3)(表10.2.4)	5 乾式工法 (10.2.2)(10.5.2, 3)(表10.2.4)	<p>取付け方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド方式 ・ロッキング方式 <p>石裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>裏打ち処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b)(1)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>外壁の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない <p>アンカーの材質及び形状 ※ステンレス (SUS304) M10</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法 ()</p> <p>目地 目地幅(mm) ※8以上</p> <p>シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9章7節による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・適用しない <p>床石張りの裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>階段張りの裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示</p> <p>シーリング材 ・適用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない <p>伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 	6 床及び階段の石張り (10.6.2, 3)	6 床及び階段の石張り (10.6.2, 3)	<p>床石張りの裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>階段張りの裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示</p> <p>シーリング材 ・適用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない <p>伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示
	パネルの種類	表面形状		厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種類	備考																																																																																																																																																																																																																										
	・外壁パネル	・F		・50	・60	・A種																																																																																																																																																																																																																											
・D		・50	・60																																																																																																																																																																																																																														
・T		60																																																																																																																																																																																																																															
・間仕切壁パネル	・F	・50	・60	・B種																																																																																																																																																																																																																													
	・D	・50	・60																																																																																																																																																																																																																														
	・T	60																																																																																																																																																																																																																															
	パネルに開口	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																																																																																																																													
短辺	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
長辺	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
欠く場合	長辺	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
防水層の種類	種 別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用																																																																																																																																																																																																																												
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による	・AS-T1			・図示	・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T2				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-J1				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T3				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T4				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-J2				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T-T1				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T-J1	屋根	(材質) ※JISA9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ・30mm		・図示	・																																																																																																																																																																																																																											
	・AS-T-T2				・																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T-T3				・																																																																																																																																																																																																																												
天然石 (10.2.1, 3)(表 10.2.1, 2)																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																											
玄関床	・1等品 ・2等品	花こう岩 (御影石)	※正方形に近い矩形	W100	t40	本磨き																																																																																																																																																																																																																											
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形			滑り止め溝付																																																																																																																																																																																																																											
テラズブロック																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																											
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																																																																																																																																																																																													
テラズタイル																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																												
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																																																																																																																																																																														
テラズタイル (10.2.2, 3)(10.3.2, 3)																																																																																																																																																																																																																																	
石裏面処理	裏打ち処理	受金物	目地	伸縮調整目地	アンカーの材質及び径	あと施工アンカーの材質及び寸法																																																																																																																																																																																																																											
・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	・適用しない	※SS400 M12	・あと施工アンカーの材質及び寸法 ()																																																																																																																																																																																																																											
下地ごしらえ	※流し施工	・あと施工アンカー工法	・あと施工アンカー、横筋流し工法	形状及び寸法	・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm	・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm																																																																																																																																																																																																																											
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2, 5)	<p>ブロックの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th>正味厚さ (mm)</th> <th>ギョーレ呼び寸法 (mm)</th> <th>化粧の有無</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 空洞ブロック-16</td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各部の配筋 ※図示</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ギョーレ呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考	※ 空洞ブロック-16			・無	・有		・ 型枠状ブロック-20			・無	・有		・			・無	・有		9 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	2 コンクリートブロック構造及び研 (8.3.2, 3)	<p>ブロックの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th>正味厚さ (mm)</th> <th>ギョーレ呼び寸法 (mm)</th> <th>化粧の有無</th> <th>(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 空洞ブロック-08</td> <td>100</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>・無</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td>・ 空洞ブロック-16</td> <td>100</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>・無</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無</td> <td>・有</td> </tr> </tbody> </table> <p>各部の配筋 ※図示</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ギョーレ呼び寸法 (mm)	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	・ 空洞ブロック-08	100	400	200	・無	・有	・ 空洞ブロック-16	100	400	200	・無	・有	・				・無	・有	・				・無	・有	10 ALCパネル (8.4.2~5)	3 ALCパネル (8.4.2~5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>単位荷重 (N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>有 (1)時間</td> <td>・平</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・間仕切壁パネル</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・100</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">有 (1)時間</td> <td rowspan="2">・平</td> <td>・C種</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>有 (0.5)時間</td> <td>平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>有 ()時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない <p>外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ・20</p> <p>伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用しない 	パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	構法の種類	・外壁パネル		・100		有 (1)時間	・平	・A種	・間仕切壁パネル		・100		有 (1)時間	・平	・C種	・D種	・屋根パネル		・100		有 (0.5)時間	平	F種	・床パネル		・100		有 ()時間																																																																																																																																	
	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ギョーレ呼び寸法 (mm)	化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																											
	※ 空洞ブロック-16			・無	・有																																																																																																																																																																																																																												
・ 型枠状ブロック-20			・無	・有																																																																																																																																																																																																																													
・			・無	・有																																																																																																																																																																																																																													
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	ギョーレ呼び寸法 (mm)	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																												
・ 空洞ブロック-08	100	400	200	・無	・有																																																																																																																																																																																																																												
・ 空洞ブロック-16	100	400	200	・無	・有																																																																																																																																																																																																																												
・				・無	・有																																																																																																																																																																																																																												
・				・無	・有																																																																																																																																																																																																																												
パネルの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	構法の種類																																																																																																																																																																																																																											
・外壁パネル		・100		有 (1)時間	・平	・A種																																																																																																																																																																																																																											
・間仕切壁パネル		・100		有 (1)時間	・平	・C種																																																																																																																																																																																																																											
						・D種																																																																																																																																																																																																																											
・屋根パネル		・100		有 (0.5)時間	平	F種																																																																																																																																																																																																																											
・床パネル		・100		有 ()時間																																																																																																																																																																																																																													
月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計	設計	整理番号	縮尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う	No.																																																																																																																																																																																																																										
・	・	三重県津市阿部町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659	一級建築士 第93977号 市川 司	年月日	—	プールその他建築工事	T — 03																																																																																																																																																																																																																										
・	・	一級建築士 第266489号 山口 裕之	一級建築士 第302310号 山田 兼之	年月日	原図 A2	特記仕様書 3																																																																																																																																																																																																																											

14 金属工事	6 金属成形板張り (14.6.2、3)(表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅(mm)</th> <th rowspan="2">板厚(mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜等の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・7Mミニム</td> <td rowspan="2">・押し出し ・ロール</td> <td rowspan="2">ハット形 パネル形</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・B-1種</td> <td>※B</td> </tr> <tr> <td>・B-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)</td> <td>※B</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・プレス</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・C-1種</td> <td>※AA6</td> </tr> <tr> <td>・C-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)</td> <td>※AA6</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理		種別	皮膜等の種類	・7Mミニム	・押し出し ・ロール	ハット形 パネル形			・B-1種	※B	・B-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)	※B	・プレス				・C-1種	※AA6	・C-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)	※AA6						・D種		15 左官工事	5 ALCパネルの場合の 下地処理 (15.5.4)	内壁目地の形状 ※V形目地付き	16 建具工事	8 鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 鋼板 ※巻締めつき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・標準仕様書表16.5.1による ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・
	種別	製法						形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理																														
種別			皮膜等の種類																																						
・7Mミニム	・押し出し ・ロール	ハット形 パネル形			・B-1種	※B																																			
					・B-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)	※B																																			
	・プレス				・C-1種	※AA6																																			
					・C-2種(・フッ素 ・アクリル系 ・スチレン系)	※AA6																																			
					・D種																																				
7 アルミニウム製 笠木	(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)	種類 ○図示 ・250形 ・300形 ・350形 ・100形 表面処理 種別 ()種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による ・) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない	16 建具工事	1 防火戸 (16.1.4)	※建具表による	9 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による ・) ・S-5 (建具符号: ・建具表による ・) ・S-6 (建具符号: ・建具表による ・) 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 鋼板 (屋外) ※SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・ 鋼板 (屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ・ 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ																																		
8 手すり及び タラップ (14.8.2、3)	手すり ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度 ・) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ・) タラップ ○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし ・) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・)	3 防犯建物部品 (16.1.6)	・適用する (※建具表による ・) ・適用しない	4 アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による ・) ・B種 (建具符号: ※建具表による ・) ・C種 (建具符号: ※建具表による ・) 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 枠の見込み寸法 ○建具表による ・ 表面処理 外部に面する建具 ○B-1種 ・B-2種 ・ 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による ・) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 屋内の建具 ・C-1種 ・C-2種 ・ 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による ・) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 ・ 水切り板、ぜん板 ※図示 ・	10 木製建具 (16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板G 表面の樹種 生地、透明塗料塗布 (※劣化程度 ・) 不透明塗料塗布 (※しな合板程度 ・) 板面の品質 () 接着の程度 (・1種 ・2種) ・天然木 化粧合板G 樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種) ・特殊加工 化粧合板G 化粧加工の方法 (・オーナレ ・フリット ・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種) 表面板の厚さ ※表16.7.6による ・																																		
15 左官工事	1 モルタル塗り (15.2.2、5)	既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・) ・設けない 床目地 ・設ける (工法※押し目地 ・) ・設けない 外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着剤試験 ・適用する ・適用しない ・防水剤 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	5 網戸等 (16.2.3)	種類 材種 線径 網目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	6 樹脂製建具 (16.3.2~5)	性能等級 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による ・) ・B種 (建具符号: ・建具表による ・) ・C種 (建具符号: ・建具表による ・) 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・) (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス	11 建具用金物 (16.8.2.3)	金物の種類・見え掛りの材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による ・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレーセントの取付位置 ・建具表による ・																																	
2 床コンクリートの 直均し仕上げ (6.2.5)(15.3.2)	下表以外は標準仕様書15.3.2による	施工箇所 平たんさ(mm) 備考	7 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)	性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による ・) ・S-5 (建具符号: ・建具表による ・) ・S-6 (建具符号: ・建具表による ・) 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 鋼板 材料 めっき付着量 厚さ ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ※Z12又はF12 ・標準仕様書表16.4.2Iによる ・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板) ※Y08	12 鍵 (16.8.4)	マスターキー ・製作する ○製作しない その他の鍵 ※各室3本1組 ・ 鍵箱 ※有り ○無し																																			
3 セルフレベリング 材塗り (15.4.2)(表15.4.1)	・せっこう系 ・セメント系	3 防犯建物部品 (16.1.6)	・適用する (※建具表による ・) ・適用しない			13 自動ドア開閉機構 (16.9.2、3)	自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※標準仕様書表 ・SSLD-2 16.9.1Iによる ・DSL-1 ・DSL-2 ・SMD-1 ※標準仕様書表 ・SMD-2 16.9.2Iによる ・図示 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による 性能 ※標準仕様書表 16.10.1による (試験) 建築材料等品質性能表による シャッターの種類 ・一般重量シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・外壁用防火シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06 ・) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※A290 ・) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバerring形 セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレール による区分 (Pa) による区分 による区分 による区分 ※スチールタイプ ・125 ※バランスタイプ ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・バーチカル形 (9.7)(16.14.2~4)(表16.14.1) ・ガラス 品種 構成種類 性能 ・フロートガラス ・網入ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・1種 ・型板ガラス ・網入ガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・II-1種 ・II-2種 ・III種 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・1種 ・II種 ・熱線吸収強化ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品種 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・複層ガラス 品種 断熱性 日射熱減へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 U-3-1 ・U-3-2 ・日射熱減へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5 ・熱線反射ガラス 品種 日射熱減へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 色調 (・ブルー ・グレー) ・2種 ・A種 ・B種 ・高性能熱線反射ガラス 色調 (・ブロンズ ・シルバー) 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																		
4 仕上塗材仕上げ (15.5.2)	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 仕上塗材の種類 種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状等 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材S i ・可とう形外装薄塗材S i ・外装薄塗材E ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り) ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材S i ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C ・外装厚塗材S i ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S i ・内装厚塗材E ・外装厚塗材C ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S i ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS ・軽量骨材仕上塗材 ・こて兼用軽量塗材	6 樹脂製建具 (16.3.2~5)	性能等級 外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による ・) ・B種 (建具符号: ・建具表による ・) ・C種 (建具符号: ・建具表による ・) 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・) (建具符号: ・建具表による ・) ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス			14 自閉式上吊り引戸 装置 (16.10.3)	性能 ※標準仕様書表 16.10.1による (試験) 建築材料等品質性能表による	15 重量シャッター (16.11.2、3)	シャッターの種類 ・一般重量シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・外壁用防火シャッター耐風圧強度 () N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06 ・) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※A290 ・) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバerring形	16 軽量シャッター (16.12.2~4)	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06 ・) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※A290 ・) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバerring形	17 オーバーヘッド ドア (16.13.2.3)	セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレール による区分 (Pa) による区分 による区分 による区分 ※スチールタイプ ・125 ※バランスタイプ ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ファイバークラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・バーチカル形 (9.7)(16.14.2~4)(表16.14.1) ・ガラス 品種 構成種類 性能 ・フロートガラス ・網入ガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・1種 ・型板ガラス ・網入ガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス ・II-1種 ・II-2種 ・III種 ・強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・1種 ・II種 ・熱線吸収強化ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 品種 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・複層ガラス 品種 断熱性 日射熱減へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・2種 U2 ・3種 U-3-1 ・U-3-2 ・日射熱減へい複層ガラス ・4種 E4 ・5種 E5 ・熱線反射ガラス 品種 日射熱減へい性 耐久性 ・熱線反射ガラス ・1種 A種 色調 (・ブルー ・グレー) ・2種 ・A種 ・B種 ・高性能熱線反射ガラス 色調 (・ブロンズ ・シルバー) 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ																												

19 内装工事	12 断熱材 (19.9.2.3) ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 断熱材打込み工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・保温材(グラスウール)保温材 ・保温材(2種b) ・25 ・保温材(3種b) ・25・50 ・接合部分 ・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く) 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・B種1 厚さ(mm) ・25 ・30 ・20 施工箇所 図示 現場発泡断熱材(品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による	20 ユニットの工事 5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2) 施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 屋内 ・塩化ビニル製 ・300×300 ・7.0 ・磁器質タイル ・せっ器質タイル ・300×300 ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製 ・300×300 屋外 ・磁器質タイル ・せっ器質タイル ・300×300 ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製 ・300×300 ・5.0 ブロックパターンは JIS T 9251 による 6 階段滑り止め (20.2.6) 材種 幅(mm) 取付け工法 端部フラットエンド ・ステンレス製(SUS304)ビニル ・約35 ※接着工法 ・あり ・ビニル製 ・ステンレス製(SUS304) ・埋込み工法 ・なし ・ステンレス製 7 手すり 材種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考 ・集成材 ・クリアラッカー ・ ・35・45 ・ステンレスパイプ ・H L ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・ビニル製ハンドレール 8 黒板及びホワイトボード 種類 寸法(mm) 色彩 形式 ・黒板 ※焼付け 図示 ※緑・黒 ・平面 ・曲面 ・スリッ付引分 ・ホワイトボード ほうろう 図示 白 ・平面 ・曲面 ・スリッ付引分 9 鏡 (20.2.9) 取付箇所 () 寸法(mm) ・図示 厚さ(mm) ※5 10 表示 (20.2.10) 区分 材質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考 ・衝突防止表示 ・ステンレス製 ・30φ ・市販品 ・図示 (・両面 ・片面) ・図示 ・25φ ・室名札 ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 ・ビクトグラフ ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 ・とびら番号 ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 ・庁舎案内板 ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 ・各階案内板 ・アクリル板 ・図示 ・5 ・図示 案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。 11 煙突ライニング (20.2.11) ・煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃ ・キャストابل耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による	20 ユニットの工事 14 カーテン (20.2.14) 形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種別、品質、特殊加工等 取付箇所 備考 ・シングル ・片引き ・手引き ・フランスひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、つまひだ ・電動 ・ブレードひだ、片ひだ 使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する製品については[G]とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 15 カーテンレール (20.2.14) 材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形 16 ブラインドボックス及びカーテンボックス (一) 清淵×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ：) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 表面処理 ・C-1 ・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による ・鋼製(仕上げ：) 17 天井点検口 (一) 材種 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・縁縁タイプ ・縁縁タイプ ・600×600 ・気密形 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ ※天井仕上げが岩綿吸音板は目地付とする (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による 18 床点検口 (一) 材種 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・鋼製 ・750×750 ・結露防止形 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による 19 耐震スリット 方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考 ・垂直方向 ※完全(全貫通型) ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・非耐火型 ・無し 目地 目地材 内壁 外壁 目地材(mm) ・シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材(内外とも) 目地法(幅×深さ) ・幅20×深さ10 ・幅20×深さ10 目地材の材質は標準仕様書表9.7.21による 20 止水板 形状 ・差込式 ・振置式 ・壁張り式 施工箇所 ・図示 21 エキスパンション・ジョイント金物 材種 クリアランス 耐火性能 備考 ・アルミニウム製 ・50 ・100 ・有り() ・ステンレス製 ・200 ・無し 外部は防水型とする 22 くつふきマット 材種 受け枠 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ○ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ○ステンレス鋼(SUS304)製 23 流し台ユニット 材種 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板人造大理石 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・670 バックガード有り ・500 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 市販品 ・900 ステンレス製 ・600 ・1段式 品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示 24 旗竿 材種 形式 高さ(mm) 操作方法 固定方法 備考 ・アルミニウム合金製 ・テーパー式 ・同一断面式 ・ハンドル式 ・埋込式 ・ロープ式 ・ベース式 ・バンド式	25 旗竿受金物 26 止め支柱 27 フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ 図示 28 プレキャストコンクリート (20.3.3~4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する鋼合強度 図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 図示 取付け方法 ※図示 29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2~3) 材種 材種 種類 質量区分 備考 ・間知石 ・花こう岩 ・ ・凝灰岩 ・コンクリート間知ブロック ・A ・B 積み方 ※谷積み ・布積み 目録目地 図示 ・伸縮目地 伸縮目地 材種 図示 厚さ 図示 21 排水管 排水管材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3) 材種 管の種類 形状 呼び径 備考 ・連心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管(1種) ・B形管 ※図示 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ※図示 ・VU ※図示 ・RS-VU ※図示 基床の厚さ及び種類 図示 砂地層に用いる材料 ※標準仕様書(21.2.3)(a)(1) ・図示 砂利地層に用いる材料 ※標準仕様書(21.2.3)(a)(2) ・図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継ぎ目に用いる材料 ※接着剤 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書(6.14) 設計基準強度18N/mm ² とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の鋼合(容積比)セメント1：砂2：砂利4程度とする。 図示 2 側溝、排水樹等 (21.2.2) 側溝、排水樹等 形状及び寸法 図示 砂地層に用いる材料 ※標準仕様書(21.2.3)(a)(1) ・図示 砂利地層に用いる材料 ※標準仕様書(21.2.3)(a)(2) ・図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書(6.14) 設計基準強度18N/mm ² とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の鋼合(容積比)セメント1：砂2：砂利4程度とする。 図示 3 鉄製ふた (21.2.2) 名称 種類 適用荷重 鍵 備考 鉄製マンホールふた ・水封形 ・T-2用 ・有り 左記以外の品質等は(公社)SHASE-S209による ・簡易密閉形(バッキン式) ・T-6用 ・無し ・密閉形(ターバ・バッキン式) ・T-20用 ・中ふた付き密閉形(ターバ・バッキン式) 4 グレーティング (21.2.2) 材質 形式 用途 適用荷重 形状(荷重) 重荷つき(荷重) 上面形状 ・鋼製 ・受枠付き、ボルト固定 ・溝ふた(横断用) ・歩行用 ・細目 ・() ・凹凸形 ・溝ふた(側溝用) ・T-2用 ・普通目 ・() ・平形 ・溝ふた用(側溝用) ・T-6用 ・細目 ・溝ふた用(側溝用) ・T-14用 ・溝ふた用(側溝用) ・T-20用 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による(荷重試験方法) 工事建築材料等品質性能表による	
	20 ユニットの工事 1 フリーアクセスフロア (20.2.2) 施工箇所 構法 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 表面仕上げ材 備考 職員室 ・パネル構法 ・溝構法 ・500×500 60 ・1.0G ・3000 ・0.6G ・5000 ・帯電防止床タイル ・ナイロンベアット 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)~(iii)による 厚さ ±0.5mm 平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下 図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下 表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製(仕上げ：溶融亜鉛めっき鋼板) スロープ及びボーダー 製造所の仕様による 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント 配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり(形式、施工箇所：図示) (性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による	20 ユニットの工事 1 フリーアクセスフロア (20.2.2) 構造形式 構成基材の種類 総厚さ(mm) 材質 厚さ(mm) パネル表面仕上げ 遮音性(db/500Hz) 防火性能 ・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式 パネル内に取付ける建具 あり(※図示) 図示) 図示) 図示) 図示) 図示) 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による	20 ユニットの工事 2 可動間仕切 (20.2.3) 走行方向 操作方法 圧縮装置の操作方法 総厚さ(mm) 材質 パネル表面仕上げ 遮音性(db/500Hz) ・平行方向 移動式 ・手動式 ・プッシュ式 ・鋼板 ・焼付塗装 ・36未満 ・二方向 移動式 ・電動式 ・ハンドル式 ・壁紙張り ・36以上 パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による	20 ユニットの工事 13 ロールスクリーン (20.2.5) 表面材の材質 脚部 ドアエッジ 形状 形状 材質 ・メラミン樹脂系化粧板(木目程度) ※幅木タイプ ・標準 ・アルミニウム製 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・R ・ステンレス製 ・表面材と型材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による(試験方法) 建築材料等品質性能表による	20 ユニットの工事 13 ロールスクリーン (20.2.5) 材種 操作方式 遮光性 寸法(mm) 取付箇所 備考 ・ポリエステル ・電動式 ・1級 ・図示 ・図示 ・スプリング式 ・2級 ・チェーン式 ・3級 巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

月	日	月	日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市阿津町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659 一級建築士 第二66489号 山口裕之	設計	整理番号	縮尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 特記仕様書7	No. T 07
・	・	・	・		一級建築士 第93977号 市川 司 一級建築士 第302310号 山田 兼之	年月日	原図 A2		
・	・	・	・						

21 排水工事	5 街きよ、緑石、側溝 (21.4.1)(表21.4.1) 街きよ、緑石、側溝 種類 形状、寸法 ・緑石 ・図示 ・L形側溝 ・図示 ・U形側溝 ・図示 ・U形側溝ふた ・図示 ・ 図示 地業の材料 ※標準仕様書(4.6.2)(a)による ・図示 砂利地業の厚さ ※100(mm) ・図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書(6.14) 設計基準強度18N/mm ² とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の場合(容積比)セメント1:砂2:砂利4程度とする。 ・図示	22 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2~4)(表22.6.1) 種類 部位 車道部の基礎 厚さ(mm) ・加熱系 ・アスファルト混合物 ・車道部 ・無し ・常温系 ・石油樹脂系混合物 ・歩道部 ・有り 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書22.4.2(c)による 材料 添加する材料 ・着色骨材() ・自然石() 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・ 樹脂系混合物、コート工法及び塗布工法の配合等 ・	23 植栽及び屋上緑化工事	5 樹木 (23.3.2) 樹種、寸法、株立数等 ※図示	23 その他	① 三重県産業廃棄物税 ※ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。
			6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6) 材料 厚さ(mm) ストレートアスファルト ・図示 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの	6 支柱 (23.3.2) 支柱材 ※丸太(間伐材)G ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示	② 事故報告 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。		
6 埋戻し土 (21.2.3) ※ B種	7 排水性アスファルト舗装 (22.8.2、3、6) 区分 種類 材料 厚さ(mm) 表層 ・排水性舗装用アスファルト混合物 ・ポリマ改質アスファルトII型 ・図示 基層 ・加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物) ・再生アスファルト ・スレトアスファルト ・図示 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	7 排水性アスファルト舗装 (22.8.2、3、6) 区分 種類 材料 厚さ(mm) 表層 ・排水性舗装用アスファルト混合物 ・ポリマ改質アスファルトII型 ・図示 基層 ・加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物) ・再生アスファルト ・スレトアスファルト ・図示 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	9 吹付けは種 (23.4.2) 種子の種類 発芽率 種子の量 (g/m ²) 備考 ※洋芝類(採取後2年以内) ※発芽率80%以上	9 吹付けは種 (23.4.2) 種子の種類 発芽率 種子の量 (g/m ²) 備考 ※洋芝類(採取後2年以内) ※発芽率80%以上	③ 不当介入を受けた場合の措置 ※暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第10号)を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第8号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 (3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。		
22 舗装工事	1 路床 (22.2.2、3、5)(表22.2.2) 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G ・遮断層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下) ・図示 ・凍上抑制層 ・再生クラッシュランG・クラッシュラン ・切込み砂利 ・図示 ・フィルター層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下) ・図示 路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 kg(目標CBR ・5以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない	8 ブロック系舗装 (22.9.2、3) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考 ※普通平板(N) ※300角 ・60 ※砂 表面加工 ・透水平板(P) ・モリタ 洗い出し ・たたき出し 歩道部に使用するコンクリート平板はG(再生材料を用いた舗装用ブロック)とする。透水平板はG(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内	10 地被類 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の結核償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の結核償を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し	10 地被類 (23.4.2) 樹種 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 芽立数	④ 消防提出書類 消火器の設置層については、電気及び機械設備にて設置層が不要な場合は、建築にて設置層を提出するものとする。 防火対象物使用開始層については書類の作成(建築図面の用意及び建築に関する部分の記述)を行うこと。		
2 路盤 (22.2.2、3、5)(表3.2.1) 路盤の厚さ ・図示 路盤材料 ・砕石 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 図示 試験 路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない	9 玉砂利敷き (22.9.2、3) 種類 部位 厚さ(mm) 曲げ強度(N/mm ²) 備考 ※普通ブロック(N) 車道部 ※80 ・ ※5.0 色彩、表面加工 ・透水性ブロック(P) 歩道部 ※60 ・ ※3.0 ・ 標準品 ・ 図示 歩道部に使用するブロックはG(再生材料を用いた舗装用ブロック)とする。透水性ブロックはG(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内	9 玉砂利敷き (22.9.2、3) 種類 部位 厚さ(mm) 曲げ強度(N/mm ²) 備考 ※普通ブロック(N) 車道部 ※80 ・ ※5.0 色彩、表面加工 ・透水性ブロック(P) 歩道部 ※60 ・ ※3.0 ・ 標準品 ・ 図示 歩道部に使用するブロックはG(再生材料を用いた舗装用ブロック)とする。透水性ブロックはG(透水性コンクリート)とする。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内	11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の結核償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の結核償を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し	11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の結核償の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の結核償を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し	⑤ 三重県「ユニバーサルデザインのまちづくり」推進条例への対応 ※本工事建物は三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例における特定施設であり、この条例に定められた整備基準に適合するものとする。		
3 アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1.5) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料 アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類(22.4.4)(表22.4.5) 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・寒冷地域 ・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F) 基層 一般及び寒冷地域 粗粒度アスファルト混合物(20) シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 コンクリート舗装の厚さ(22.5.2~4、6)(表22.5.4) 舗装の種類 部位 厚さ(mm) コンクリート舗装 車道部 ・図示 ・150 歩道部 ・図示 ・70 転圧コンクリート 車道部 ・図示 ・150 縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による ・使用しない 早強セメント ・使用する ・高弾性タイプ 注入目地材料 ※低弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※図示 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.4及び図22.5.1による ・図示 試験 コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない	10 路面標示用塗料 (22.9.2、3) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 施工方法 基層 備考 ※小舗石(花こう岩) ・80 ・うろこ張り ・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内	10 路面標示用塗料 (22.9.2、3) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 施工方法 基層 備考 ※小舗石(花こう岩) ・80 ・うろこ張り ・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内	12 屋上緑化G (23.5.2~3) 植栽基礎及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	12 屋上緑化G (23.5.2~3) 植栽基礎及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 排水層 ・軽量骨材(層の厚さ:) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	⑤ 三重県「ユニバーサルデザインのまちづくり」推進条例への対応 ※本工事建物は三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例における特定施設であり、この条例に定められた整備基準に適合するものとする。		
4 コンクリート舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1.5) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料 アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類(22.4.4)(表22.4.5) 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・寒冷地域 ・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F) 基層 一般及び寒冷地域 粗粒度アスファルト混合物(20) シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 コンクリート舗装の厚さ(22.5.2~4、6)(表22.5.4) 舗装の種類 部位 厚さ(mm) コンクリート舗装 車道部 ・図示 ・150 歩道部 ・図示 ・70 転圧コンクリート 車道部 ・図示 ・150 縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による ・使用しない 早強セメント ・使用する ・高弾性タイプ 注入目地材料 ※低弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※図示 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.4及び図22.5.1による ・図示 試験 コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない	23 植栽及び屋上緑化工事	23 植栽及び屋上緑化工事	23 植栽及び屋上緑化工事	23 植栽及び屋上緑化工事	⑤ 三重県「ユニバーサルデザインのまちづくり」推進条例への対応 ※本工事建物は三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例における特定施設であり、この条例に定められた整備基準に適合するものとする。		
月 日	月 日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市阿津町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第93977号 市川 司 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号 縮尺 年 月 日 原図 A2	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 特記仕様書8	NO. T - 08	

<敷地概要>

地名地番 三重県津市美里町三郷 8 4
 敷地面積 28,314㎡
 用途地域 都市計画区域外のため指定なし
 防火地域 指定なし
 その他地域・地区 指定なし
 指定建ぺい率 指定なし
 指定容積率 指定なし

<建物概要>

主要用途 体育倉庫
 工事種別 新築
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上1階
 各部の高さ 設計GL=111.70 (1FL=GL+200)
 軒高 8.025m (校舎棟)、8.55m (屋内運動場)
 最高高さ 8.5m (校舎棟)、9.75m (屋内運動場)

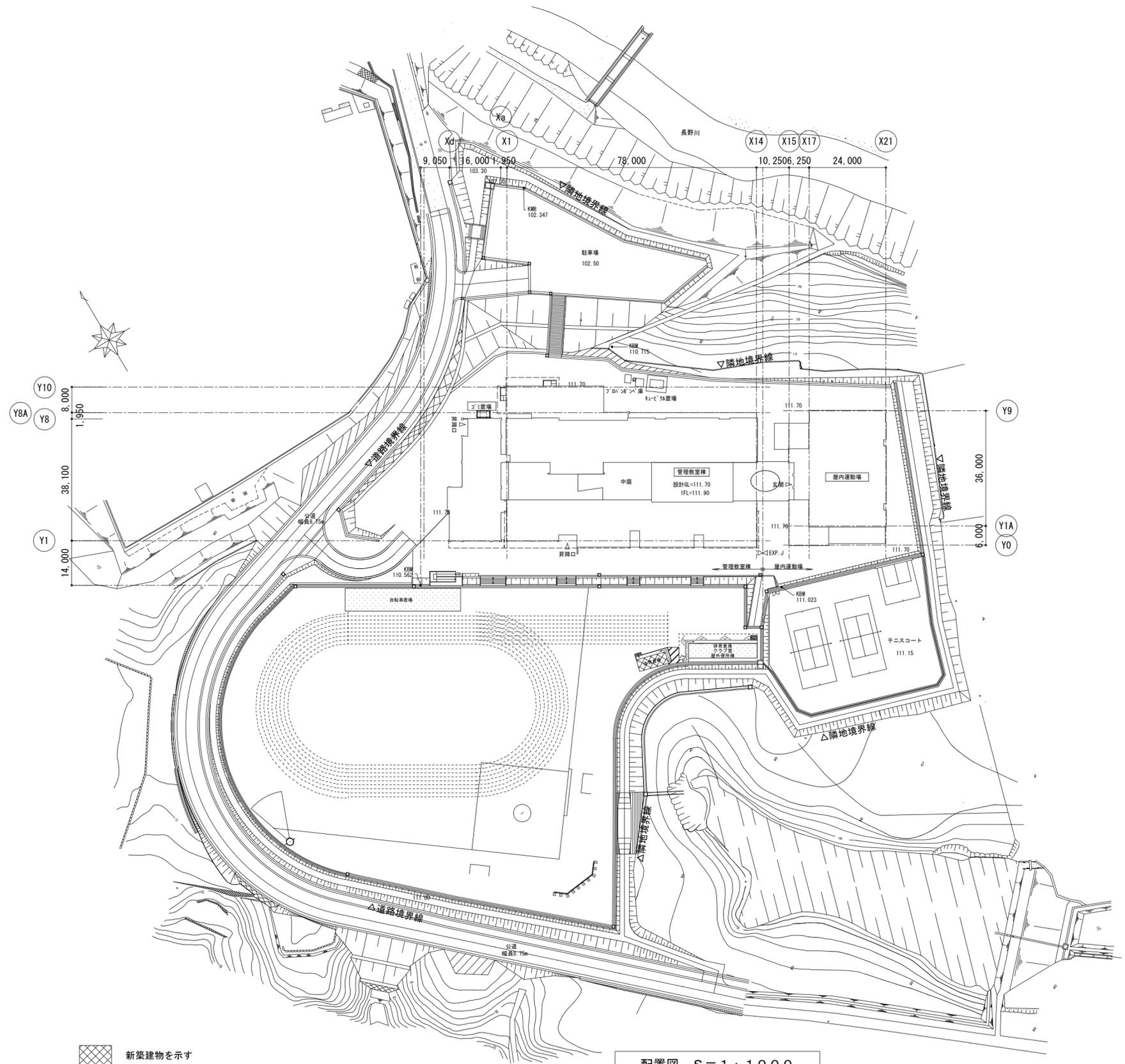
延床面積				
本体	管理教室棟		屋内運動場	合計
	2F	1650.177㎡		210.070㎡
1F	3540.603㎡		1155.101㎡	4695.704㎡
小計	5190.780㎡		1365.171㎡	6555.951㎡
その他	駐輪場 (既設)			198.00㎡
	体育倉庫 (新築)			32.025㎡
	ゴミ置場 (既設)			8.00㎡
	プロパンボンベ庫 (既設)			7.42㎡
体育倉庫・クラブ室・屋外便所棟 (既設)				94.17㎡

建築面積				
本体	管理教室棟		屋内運動場	合計
		3693.732㎡		1220.724㎡
その他	駐輪場 (既設)			132.00㎡
	体育倉庫 (新築)			32.025㎡
	ゴミ置場 (既設)			8.00㎡
	プロパンボンベ庫 (既設)			7.42㎡
体育倉庫・クラブ室・屋外便所棟 (既設)				94.17㎡



工事場所
三重県津市美里町三郷 8 4

案内図



新築建物を示す

配置図 S=1:1000

月・日	月・日
.	.
.	.
.	.

株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿瀬町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
 一級建築士 第 266489号 山口 裕之

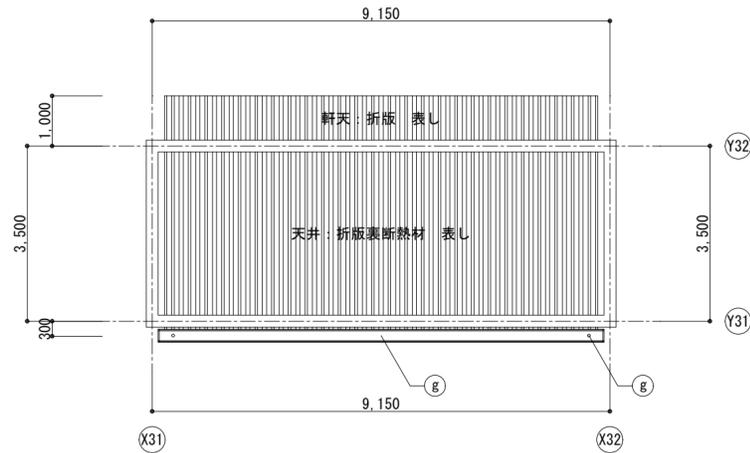
設計
 一級建築士 第 93977号 市川 司
 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

整理番号
 縮尺 A2 1/1000
 年月日
 原図 A2

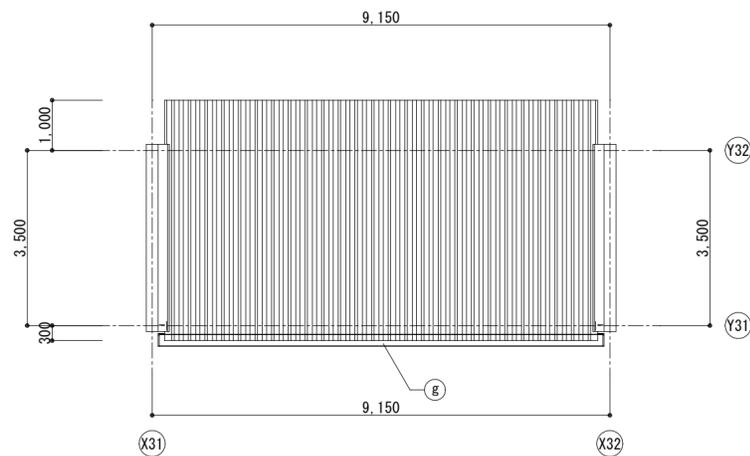
美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事

建築概要・案内図・配置図

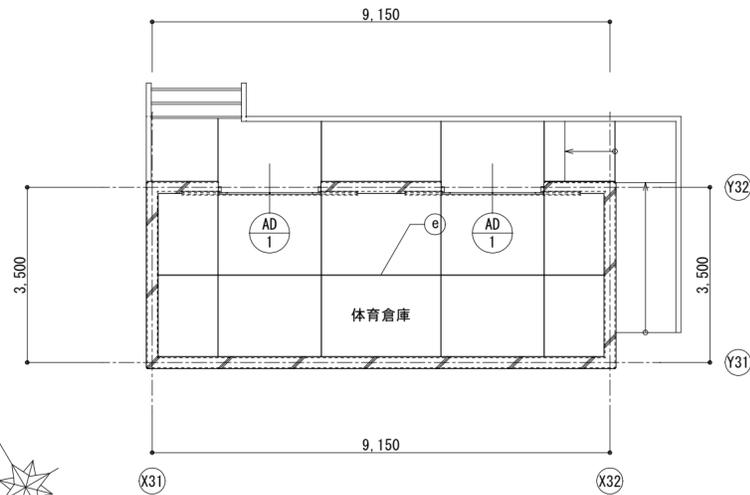
No. D - 01



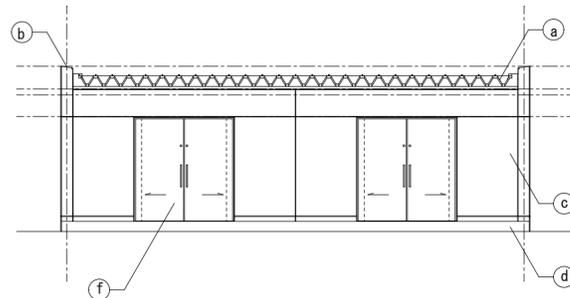
天井伏図 S=1:100



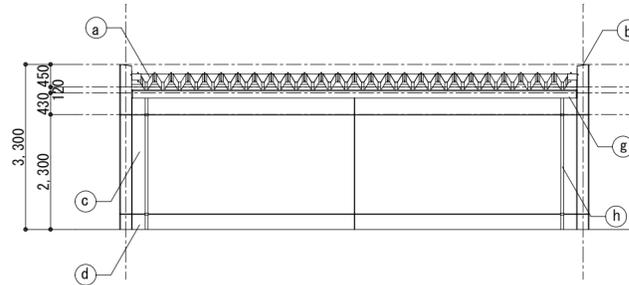
屋根平面図 S=1:100



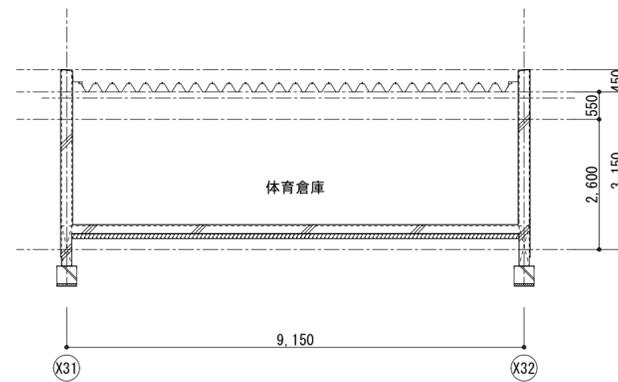
平面図 S=1:100



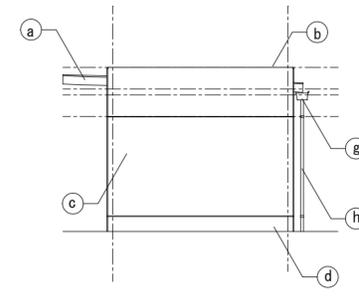
北立面図 S=1:100



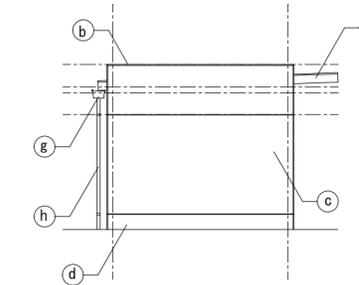
南立面図 S=1:100



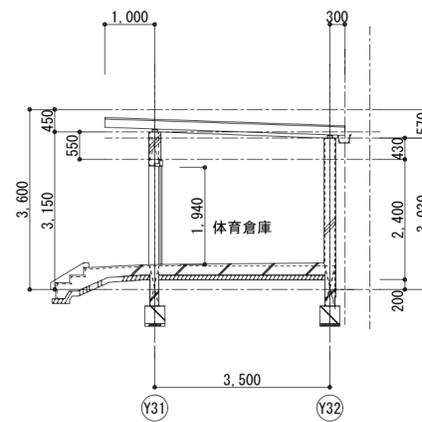
X-X断面図 S=1:100



西立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



Y-Y断面図 S=1:100

外部仕上表: 鉄筋コンクリート (壁式) 造

部位	仕上	符号
屋根	カラーガルバリウム鋼板折版葺 t=1.0 (断熱材t=4.0内貼り)	a
笠木	コンクリート化粧打放し 塗装	b
外壁	コンクリート打放し補修の上複層塗材RE (化粧目地切)	c
巾木	コンクリート打放し補修の上複層塗材RE	d
犬走り	コンクリート金コテ仕上 (化粧目地切)	e
外部建具	アルミドア (アルマイト)	f
軒樋	硬質塩ビ製角樋 (前高120・カラー: 折版用吊金具)	g
縦樋	硬質塩ビ製丸樋 (60φ・カラー: 摺り金具@1000内外)	h

内部仕上表

部位	仕上
天井	折版裏断熱材 表し
壁	コンクリート打放し (化粧目地切)
巾木	コンクリート打放し
床	コンクリート金コテ仕上 (化粧目地切)
備考	

建具表

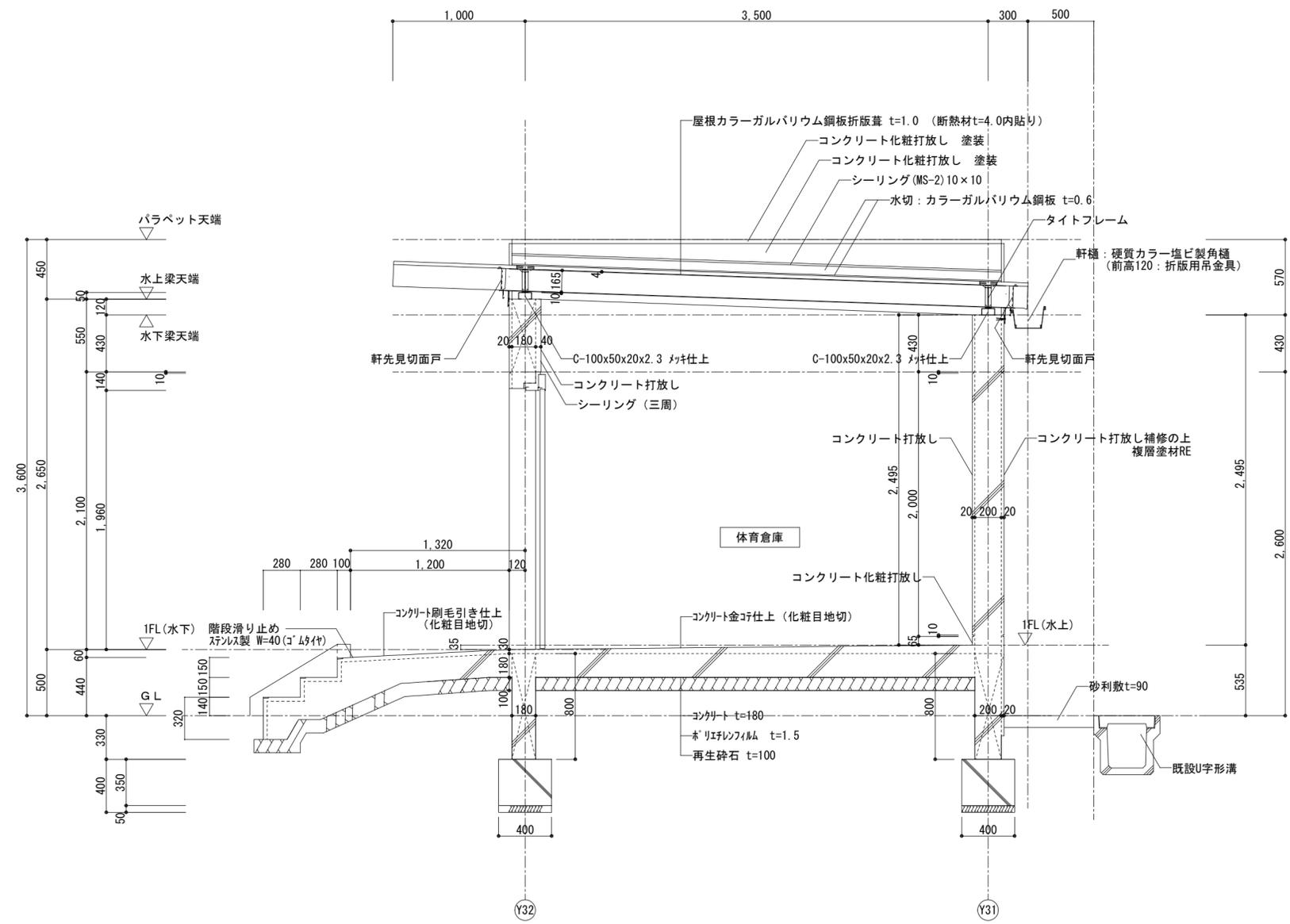
符号	形式	AD 1	両引分けアルミフラッシュハンガードア
位置	数量	体育倉庫 2	
扉	見込 36	仕上	7#アイト
枠	タイプ D	見込 260	仕上 7#アイト
番指・窓台	タイプ -	見込 -	仕上 -
水切	見込 -	仕上 -	
ガラリ	-		
ガラス	-		
付属金物	付属金物一式、F、CL、引棒 (樹脂製L-450)		
防火戸・エアータイト	-		
備考	メーカー仕様による		
<p>■ 付属金物略号</p> <p>H・・・丁番 CL・・・シリンダー本締錠 (サムターン付き)</p> <p>PH・・・ピボットヒンジ</p> <p>FH・・・フロアーヒンジ ML・・・本締付モノロック</p> <p>LH・・・ラバトリーヒンジ GL・・・グレモン錠</p> <p>HC・・・ヒンジクローザー MC・・・モノロック錠</p> <p>DC・・・ドアクローザー</p> <p>FB・・・あげ落とし</p> <p>AS・・・あおり止め</p> <p>T・・・戸当たり</p> <p>F・・・フランス落し</p> <p>■ 枠タイプ</p> <p>A B C D E</p> <p>見込 見込 見込 見込 見込</p> <p>■ 番指・窓台タイプ</p> <p>A B C D E</p> <p>見込 見込 見込 見込 見込</p>			

月	日	月	日
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

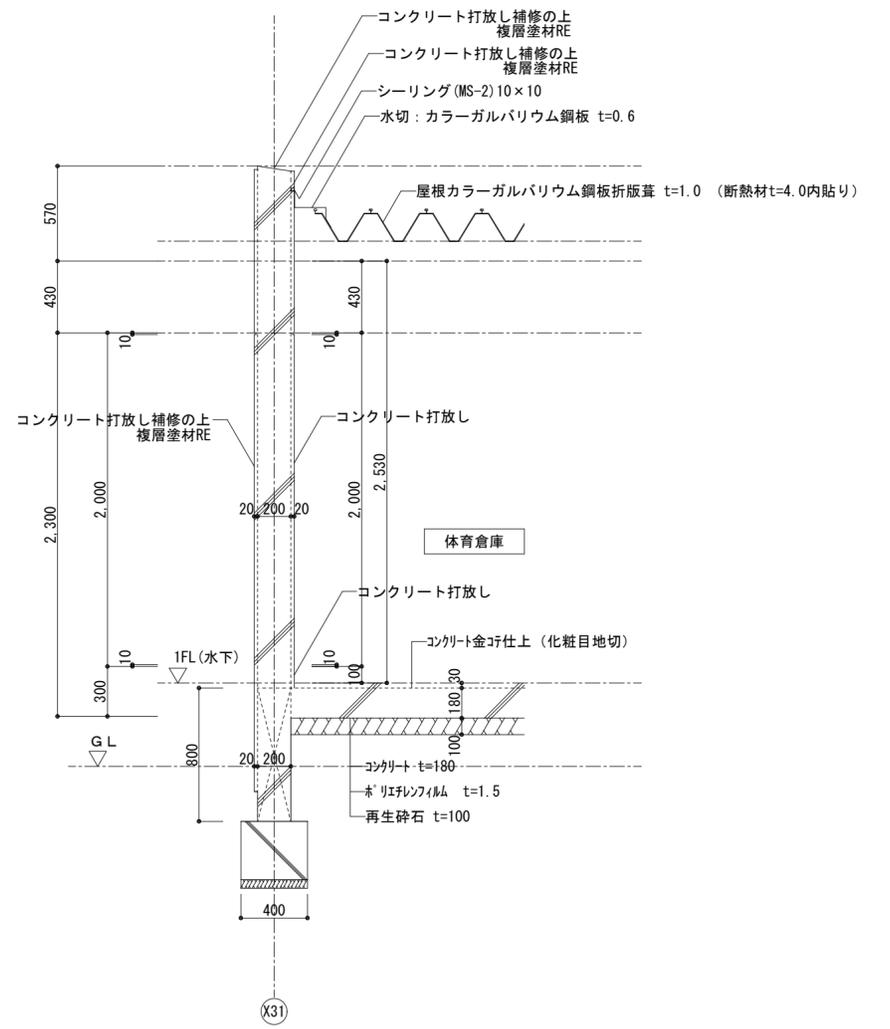
株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
 一級建築士 第 266489号 山口 裕之

設計
 一級建築士 第 93977号 市川 司
 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

整理番号
 縮尺 A2 1/100
 年月日
 原図 A2
 美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 体育倉庫 仕上表・平面図・立面図・断面図・天井伏図・建具表
 NO. D-02

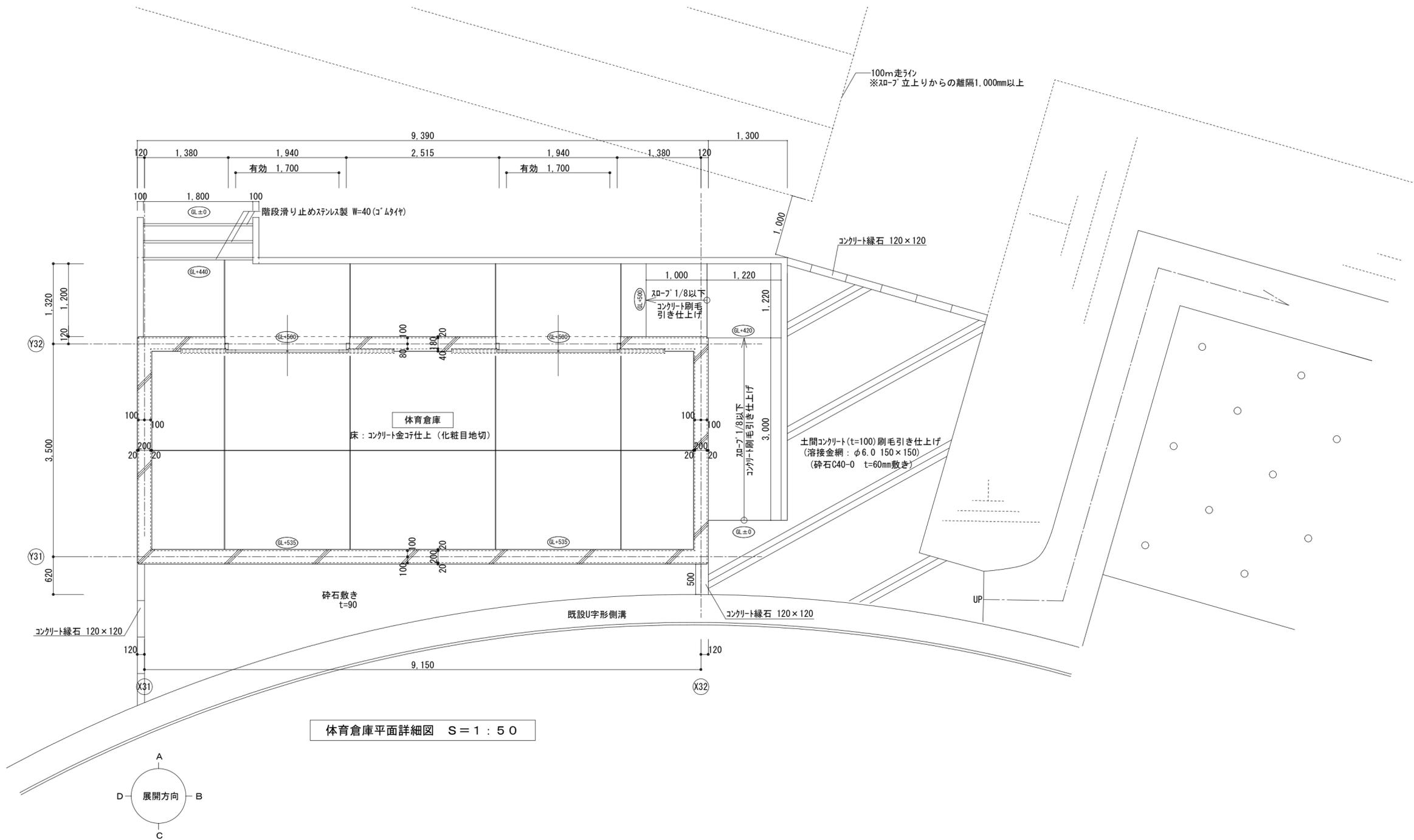


X-X断面詳細図 S = 1 : 30



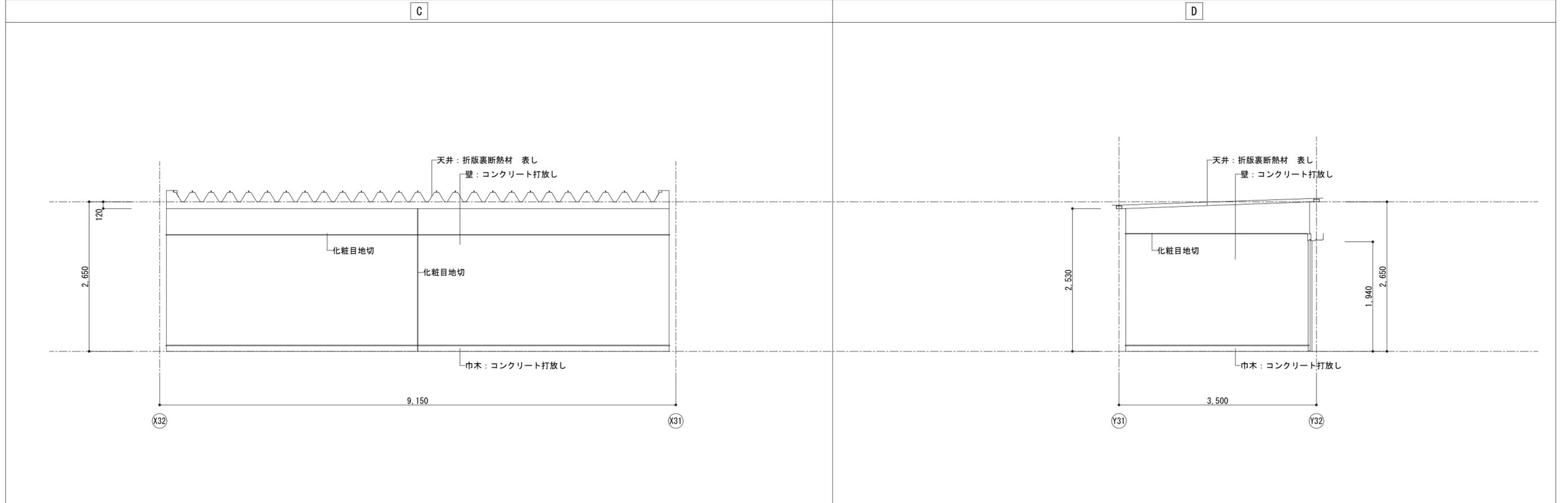
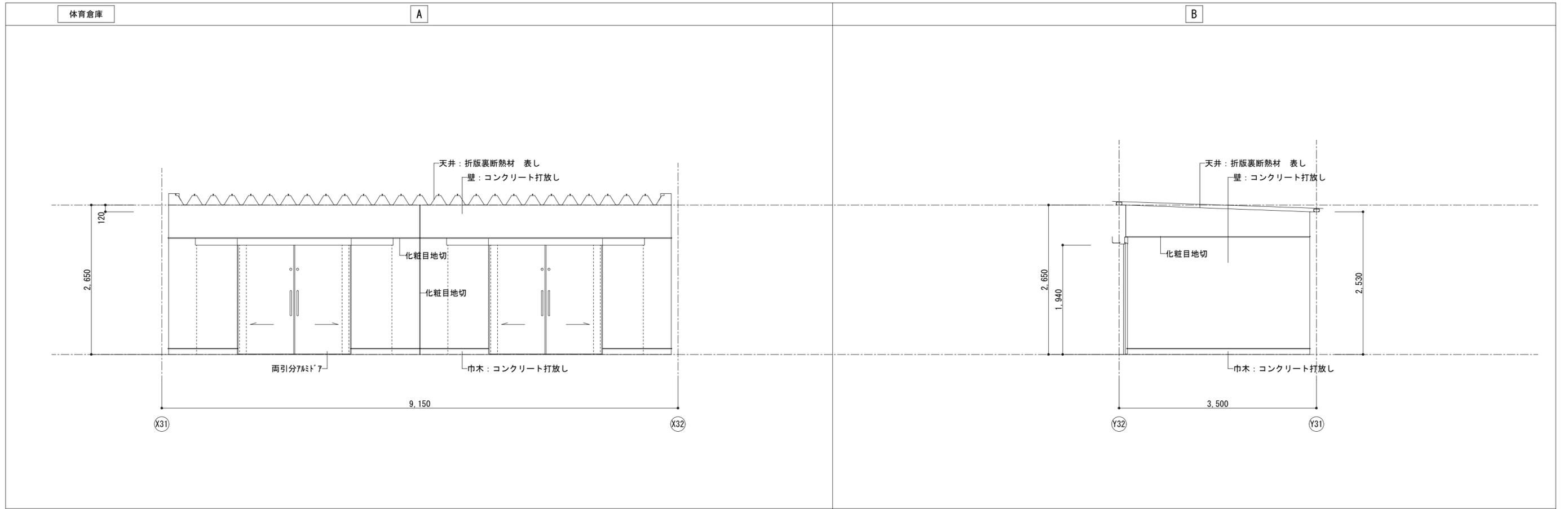
Y-Y断面詳細図 S = 1 : 30

月 日	月 日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第 93977号 市川 司 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	縮 尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 体育倉庫 断面詳細図	NO. D - 03
.	.			年月日	A2 1/30		
.	.			原図 A2			



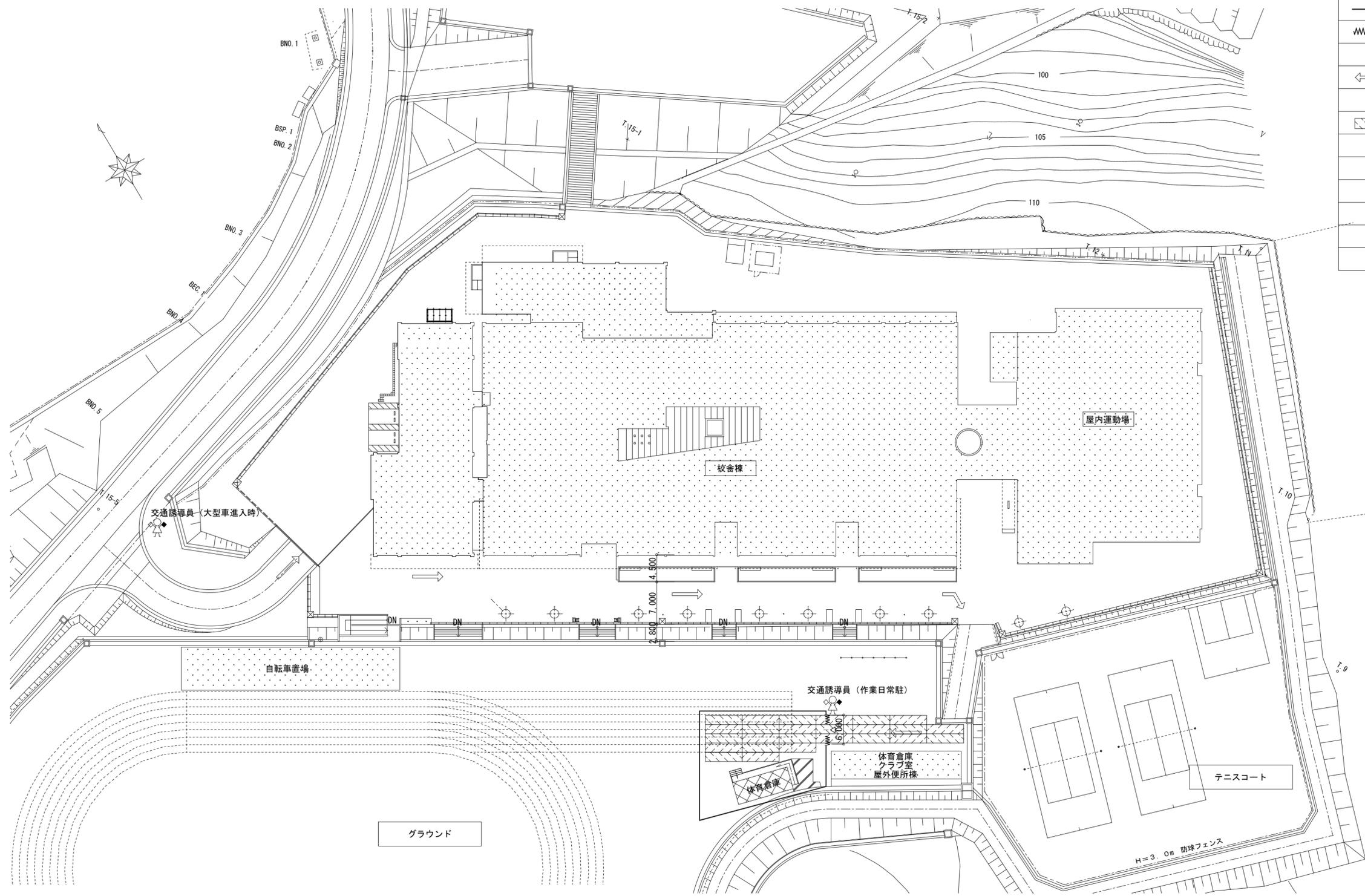
体育倉庫平面詳細図 S = 1 : 50

月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 266489号 山口 裕之	設計	整理番号	縮尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事	NO. D - 04
.	.		一級建築士 第 93977号 市川 司	年月日	A2 1/50		
.	.		一級建築士 第 302310号 山田 兼之		原図 A2	体育倉庫 平面詳細図・展開図	



月 日	月 日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第93977号 市川 司 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号	縮 尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事 体育倉庫 展開図	NO. D — 05
.	.			年月日	A2 1/50		
.	.				原図 A2		

凡例	
	既設建物
	新築建物を示す
	仮囲い(ガードフェンス1.8m)
	キャストゲート
	工事車両出入口
	工事車両進入経路
	交通誘導員
	鉄板養生(ガードフェンス外のみ コーン+コーンバー)



外部仮設計画図(参考) S=1:500

注意事項

- ・施設内は学校を運営しながら施工することとなるので、生徒や職員等の安全の確保を徹底し学校と十分調整した上で施工すること。
- ・車両進入経路上に校舎への出入口があるため、安全確保のため誘導員を配置し、生徒や職員等に支障のないよう作業を行うこと。
- ・工事完了後に工事エリア内の整理清掃、運動場の復旧等を確実に行うこと。

月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 <small>三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 266489号 山口 裕之</small>	設計 <small>一級建築士 第 93977号 市川 司 一級建築士 第 302310号 山田 兼之</small>	<small>整理番号</small> 年月日	縮尺	美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う プールその他建築工事	<small>NO.</small> D - 06
					A2 1/500		
					原図 A2		

外部仮設計画図(参考)

構造関係共通図(配筋標準図)

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図(余長)	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B, SD345	SD390	SD390
180°		D16以下	D19 ~D38	D19 ~D38
135°				
90°		3d以上	4d以上	5d以上
135°及び90°(幅止め筋)		4d以上		

- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- (1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部

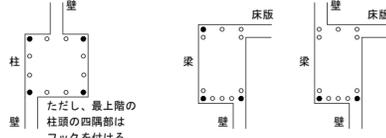


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(●印)

- 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- 杭基礎のベース筋
- 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1n} (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
SD345	30, 33, 36	35d	25d
	18	50d	35d
	21	45d	30d
SD390	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
	21	50d	35d
SD390	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- (注) 1. L₁, L_{1n}: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
 2. フックありの場合のL_{1n}は、図3.11に示すようにフック部分を含まない。
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

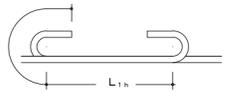
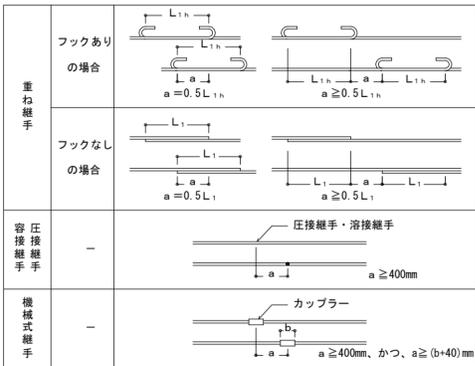


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- (3) 鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上(軽量骨材を使用する場合は50d以上)と表3.1の重ね継手の長さのうち大きい値とする。

- (4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置



- (b) 鉄筋の定着
 (1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	直線定着の長さ			フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L ₃ (小梁スラブ)	L _{1n}	L _{2n} (小梁スラブ)
SD295A SD295B	18	45d	40d		35d	30d
	21	40d	35d		30d	25d
	24, 27	35d	30d		25d	20d
SD345	30, 33, 36	35d	30d		25d	20d
	18	50d	40d	20d	35d	30d
	21	45d	35d	10d	30d	25d
SD390	24, 27	40d	35d		30d	25d
	30, 33, 36	35d	30d		25d	20d
	21	50d	40d		35d	30d
SD390	24, 27	45d	40d		35d	30d
	30, 33, 36	40d	35d		30d	25d

- (注) 1. L₁, L_{1n}: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L₂, L_{2n}: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
 4. L_{3n}: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

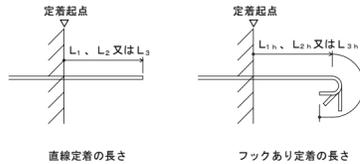


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

- (2) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。

- 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
- 余長は8d以上
- 仕口面から鉄筋が面までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

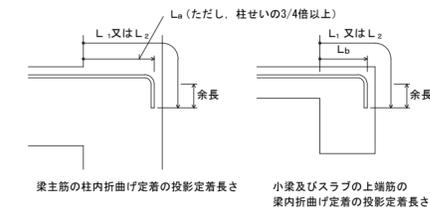


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	30, 33, 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD390	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	20d	20d
	21	20d	15d

- (注) 1. L_a: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。)
 2. L_b: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- (3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。なお、L₂及びL₃は表3.3の(注)による。

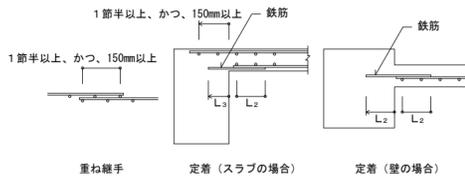


図3.4 溶接金網の継手及び定着

- (4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

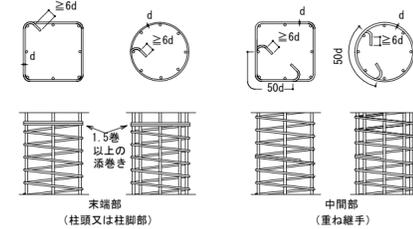


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ(単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	
	スラブ、耐力壁以外の壁	柱、梁、耐力壁
土に接しない部分	仕上げあり	20
	仕上げなし	30
	屋外	40
土に接する部分	擁壁、耐圧スラブ	40
	柱、梁、スラブ、壁	*40
煙突等高温を受ける部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ	*60
		60

- (注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗材、塗装等)のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは図4.11より、次の値のうち最大のもの以上とする。

- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- 25mm
- 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍



図4.1 鉄筋相互のあき

- (e) 鉄筋鉄筋コンクリートの場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

5.1 基礎梁

(a) 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.10のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
- 梁筋が柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

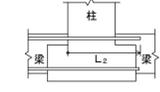
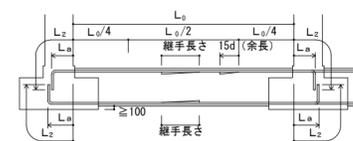


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. ≡印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

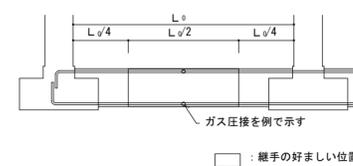
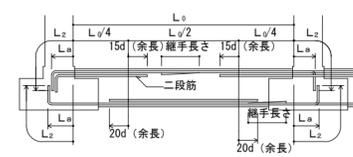


図5.2 主筋の継手、定着及び余長(その1)

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. ≡印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

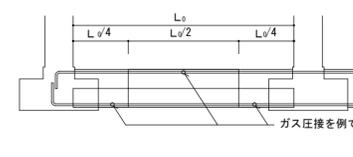
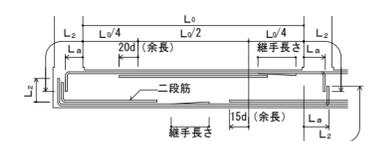


図5.3 主筋の継手、定着及び余長(その2)

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. ≡印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

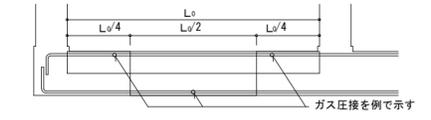


図5.4 主筋の継手、定着及び余長(その3)

5.2 基礎梁のあばら筋等

(a) 一般事項

- あばら筋の径および間隔は、構造図による。
- あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

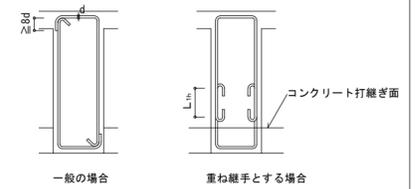


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

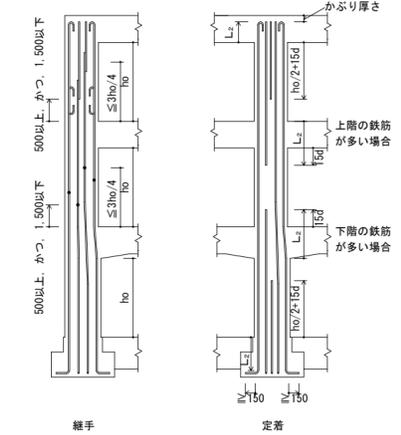
- (b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2(c)による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

- (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

(a) 一般事項

- 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4 (hoは柱の内法高さ)以下とする。
- 継手、定着及び余長は、図6.1による。ただし、柱頭定着長さL₂が確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
 2. 隣り合う継手の位置は、表3.2「隣り合う継手の位置」による。
 3. 継手及び定着は、すべての層に適用できる。

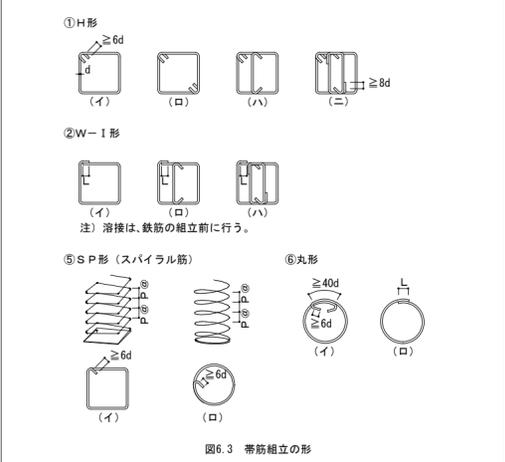
図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(b) 柱打ち増し部
 (1) 打ち増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打ち増し部分を含まない。
 (2) 土に接する柱周囲の打ち増しは図6.2による。

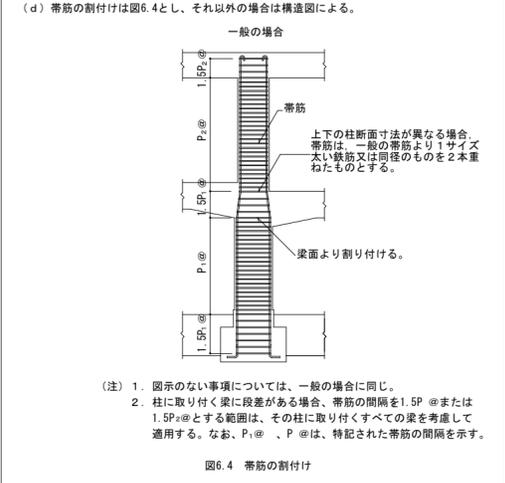
図6.2 柱打ち増し部

6.2 帯筋

(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。
 (b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
 (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
 (2) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は1.0d以上とする。
 (3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。



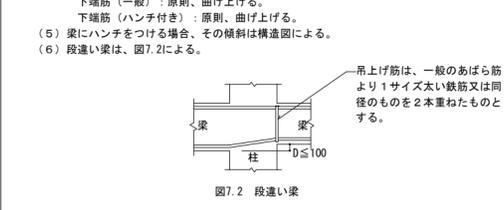
(c) フック及び継手の位置は交互とする。
 (d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



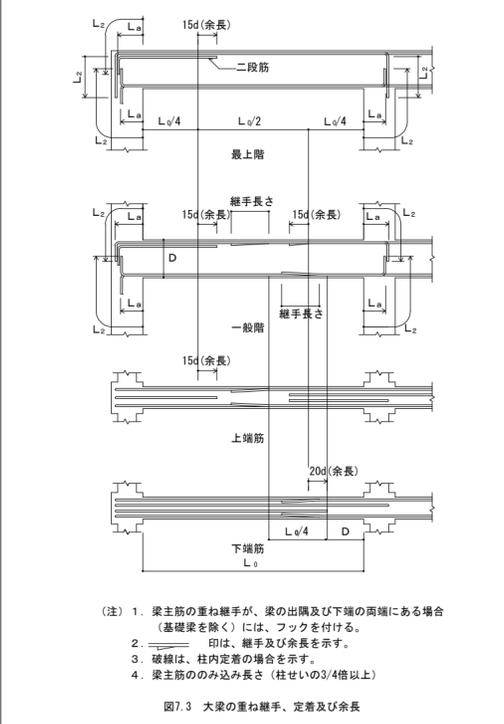
7.1 大梁

(a) 一般事項
 (1) 梁の上り下りりはFLを基準とした寸法値とする。
 (2) 地下梁下の砂利地層厚及び捨てコンクリート地層厚は構造図による。
 (3) 打ち増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打ち増し部分を含まない。

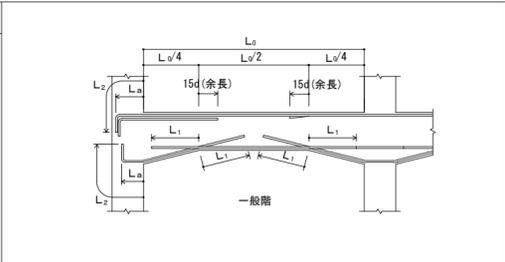
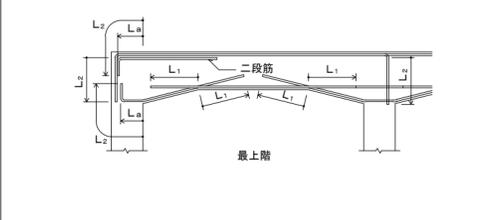
(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
 (1) 継手中心位置は、次による。
 上端筋：中央 o/2以内
 下端筋：柱面より梁せい(D)以上とし、o/4を加えた範囲以内
 (2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
 (3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。



(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



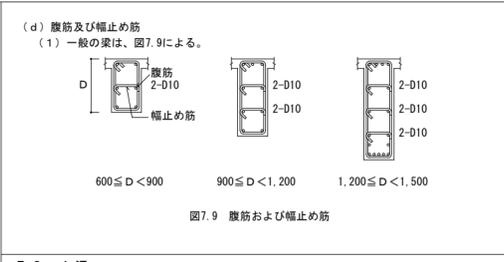
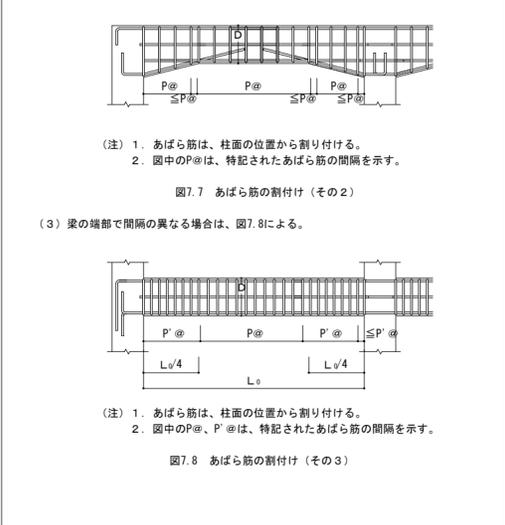
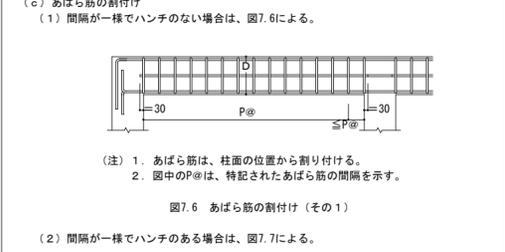
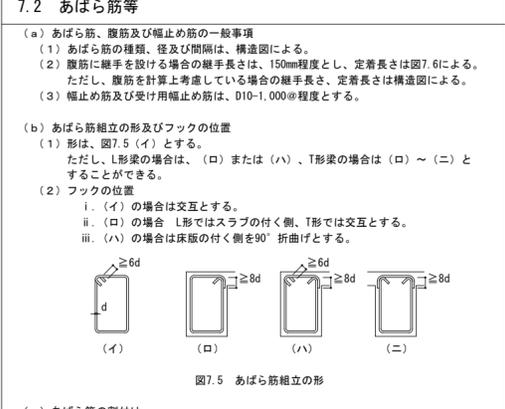
(d) ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。



7.2 あばら筋

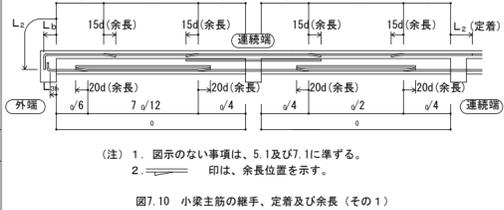
(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項
 (1) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。
 (2) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さは、定着長さは構造図による。
 (3) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000程度とする。

(b) あばら筋組立の形及びフックの位置
 (1) 形は、図7.5(イ)とする。
 ただし、L形梁の場合は、(ロ)または(ハ)、T形梁の場合は(ロ)～(ニ)とすることができる。
 (2) フックの位置
 i. (イ)の場合は交互とする。
 ii. (ロ)の場合 L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
 iii. (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

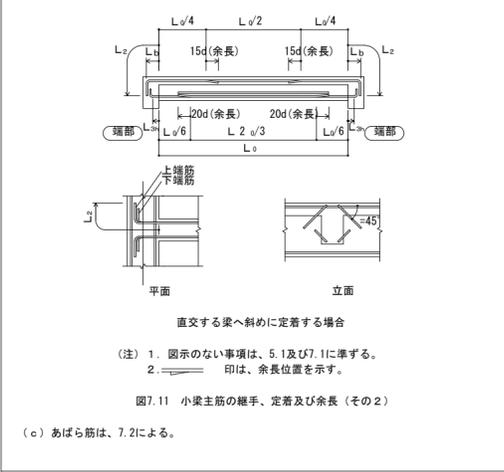


7.3 小梁

(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長
 (1) 連続小梁の場合は、図7.10による。

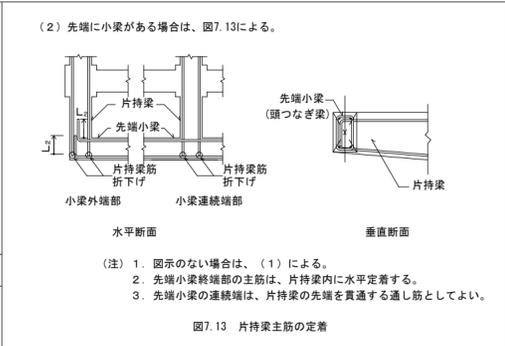
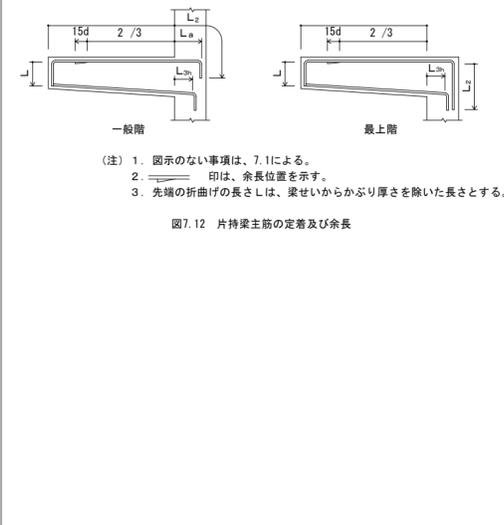


(b) 単独小梁の場合は、図7.11による。



7.4 片持梁

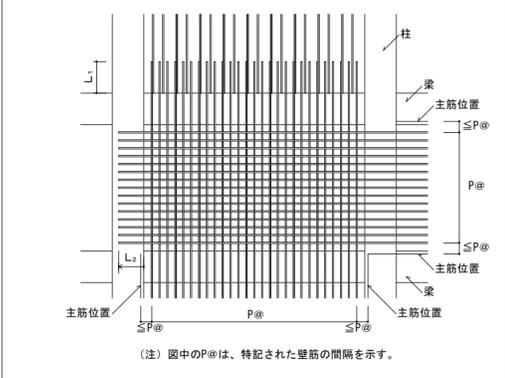
(a) 片持梁主筋の定着及び余長
 (1) 先端に小梁のない場合は、図7.12による。



(b) あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

(a) 一般事項
 (1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さをL2、定着長さをL1とする。
 (2) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。
 (3) EW〇〇、EKW〇〇、ERW〇〇の配筋はW〇〇、KW〇〇、RW〇〇に同じで、かぶり厚さ、定着長さ及び継手長さは、3.1、4.1による。
 (4) 打ち増し部分に、壁及びスラブ等が取り付く場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打ち増し部分を含まない。



(b) 壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1 壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
		壁リスト参照

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(c) 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋 D13-200#ダブル	180	KA1
	横筋 D10-200#ダブル		
KW2	縦筋 D13-150#ダブル	200	KA2
	横筋 D10-200#ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

月	日	月	日
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
 一級建築士 第 266489号 山口 裕之

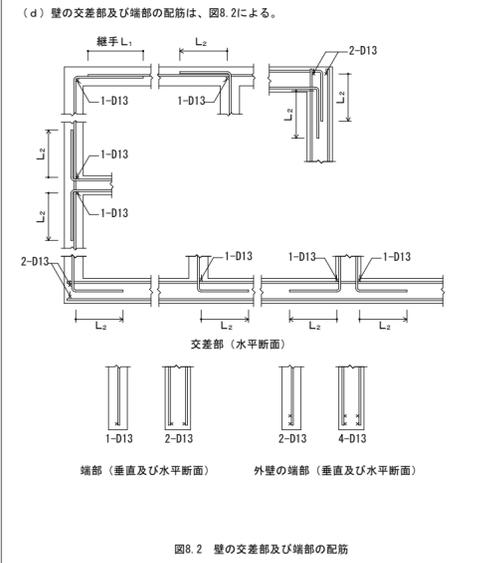
設計
 一級建築士 第331882号 吉田 明義
 一級建築士 第 93977号 市川 司
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号
 縮尺
 A2 N.S.
 年月日
 原図 A2

美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事

構造関係共通図 2

No.
 K - 02



8.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強
 (1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は構造図による。なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

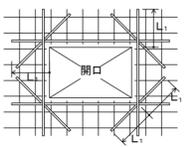
表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種類	補強筋	
	縦横	斜め
壁リスト参照		

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	補強筋	
	縦横	斜め
壁リスト参照		

(2) 壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。



(b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

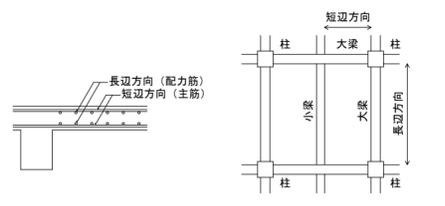
9.1 スラブ

- スラブ及び土間コンクリートの上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。
- 土間スラブ下の砂利地層厚及び捨てコンクリート厚は構造図による。
- 土間コンクリート補強筋(D0)の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
- スラブリの配筋(S形配筋)は表9.1及び図9.11により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

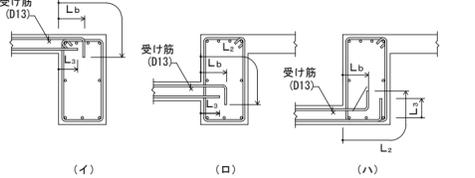
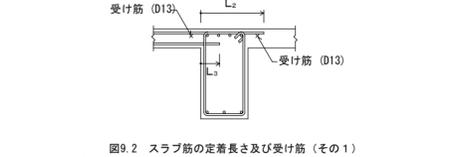
表9.1 S形配筋

配筋種別	短辺方向(主筋) 長辺方向(配力筋)	
	全域	全域

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



- 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、Lとする。
- 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

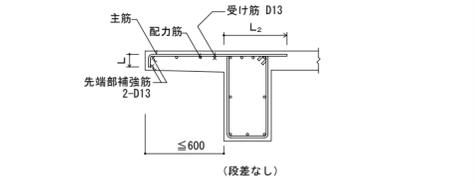
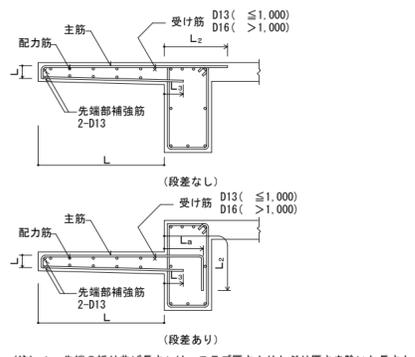


9.2 片持スラブ

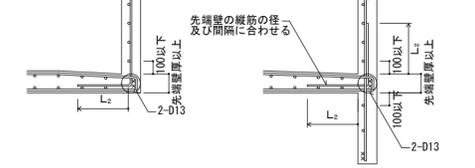
片持スラブリの配筋は、次による。
 (1) 片持スラブリの配筋(CS形配筋)は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2 CS形配筋

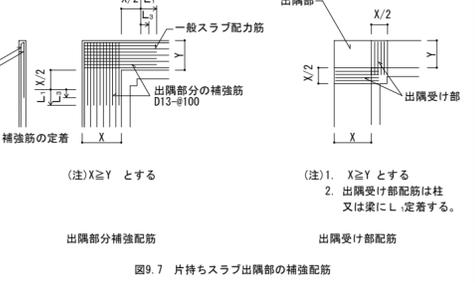
配筋種別	主筋
	57' リスト参照



- (注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

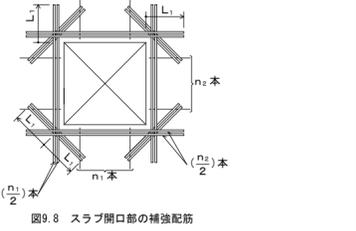


- (3) 出隅部
 (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。
 (ii) 出隅受け部分(図9.7の斜線部分)の補強筋は構造図による。



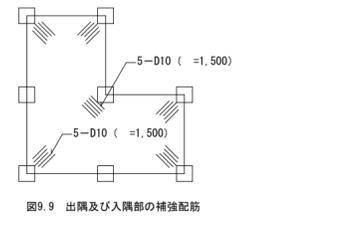
9.3 スラブリ等の補強

(a) スラブリ開口部の補強
 スラブリ開口部の補強は、特記による。
 (i) スラブリ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13(=2L)シングルを上下筋の内側に配筋する。



- (ii) スラブリ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

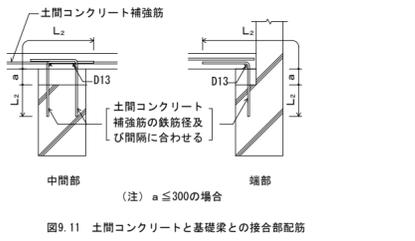
(b) 屋根スラブリの補強
 屋根スラブリの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



(c) 土間スラブリの打継ぎ補強
 基礎梁とスラブリを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。ただし、土間スラブリとは、土に接するスラブリS形の配筋によるものをいう。



(d) 土間コンクリートの補強
 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。

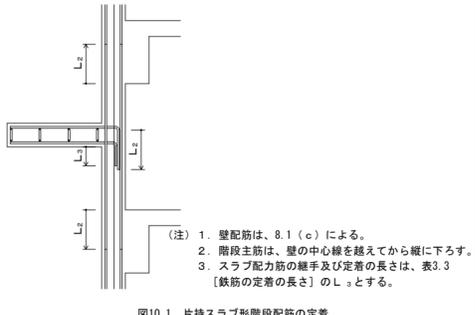


10.1 片持スラブリ形階段

片持スラブリ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1 片持スラブリ形階段の配筋

配筋種別	階段	
	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		



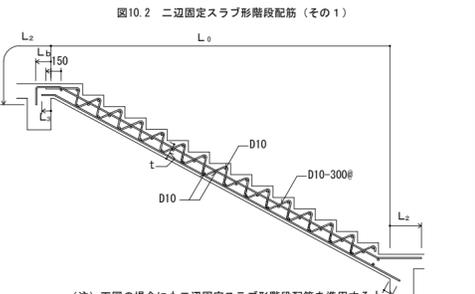
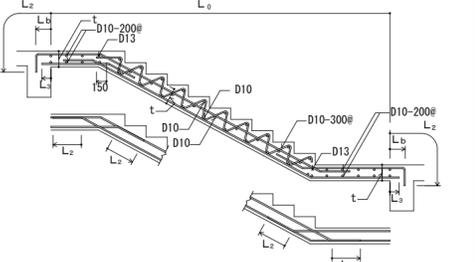
- (注) 1. 壁配筋は、8.1(c)による。
 2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
 3. スラブリ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3【鉄筋の定着の長さ】のL₂とする。

10.2 二辺固定スラブリ形階段

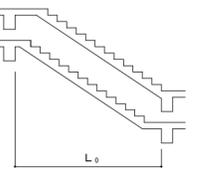
二辺固定スラブリ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.2 二辺固定スラブリ形階段

配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
	階段リスト参照



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブリ形階段配筋を準用する。



11.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
- (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
 - (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
 - (3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい)の範囲には設けてはならない。
 - (4) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
 - (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - (7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
 - (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 - (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 - (10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
- なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- (11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

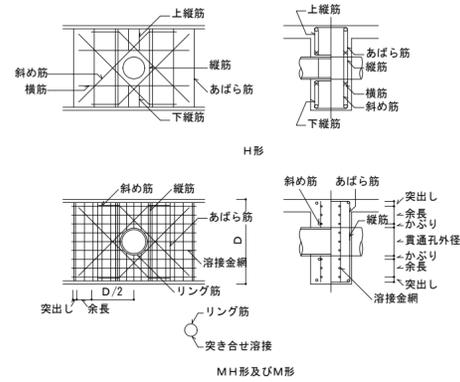


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

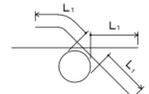


図11.2 補強筋の定着長さ

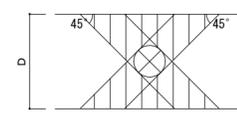


図11.3 他の開孔を設けない範囲

- (b) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100φ	
M4	6-2-D13		

(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100φ	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100φ	
MH7	4-2-D19			

(注) 〃は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

- (a) 控壁は、次による。
- (1) 控壁の配置は、構造図による。
 - (2) 配筋は、図11.4による。

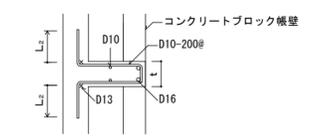


図11.4 控壁の配筋 (水平、垂直とも)

- (b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

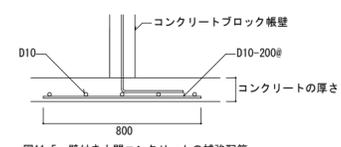


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 バラベットの配筋

バラベットの配筋は、図11.6により、コンクリート厚さ、配筋は構造図による。

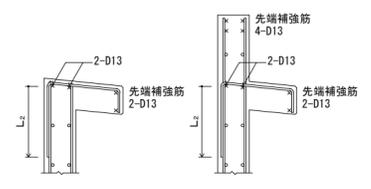


図11.6 バラベットの配筋

月・日	月・日
.	.
.	.
.	.

株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL.(059)222-0092 FAX.(059)222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計
 一級建築士 第331882号 吉田 明義
 一級建築士 第93977号 市川 司
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号
 縮尺
 A2 N.S.
 年月日
 原図 A2

美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 構造関係共通図 4

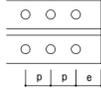
構造関係共通図(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

(a) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合は縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位mm)

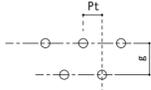
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70



(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位mm)

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt		
	ねじの呼び		
	M12, M16, M20, M22	M24	
35	50	65	
40	45	60	
45	40	55	
50	35	50	
55	25	45	
60	-	40	



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

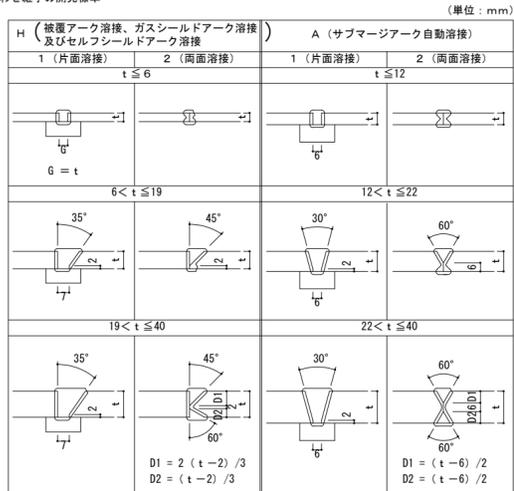
表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位mm)

A又はB	B		最大軸径	B	B		最大軸径	B	B		最大軸径
	g ₁	g ₂			g ₁	g ₂			g ₁	g ₂	
45	25	12	100	56	16	50	30	12			
50	28	16	125	75	16	65	35	20			
60	35	16	150	90	22	70	40	20			
65	35	20	175	105	22	75	40	22			
70	40	20	200	120	24	80	45	22			
75	40	22	250	150	24	90	50	24			
80	45	22	300	150	40	100	55	24			
90	50	24	350	140	70	24					
100	55	24	400	140	90	24					
125	50	35	24								
130	50	40	24								
150	55	55	24								
175	60	70	24								
200	60	90	24								

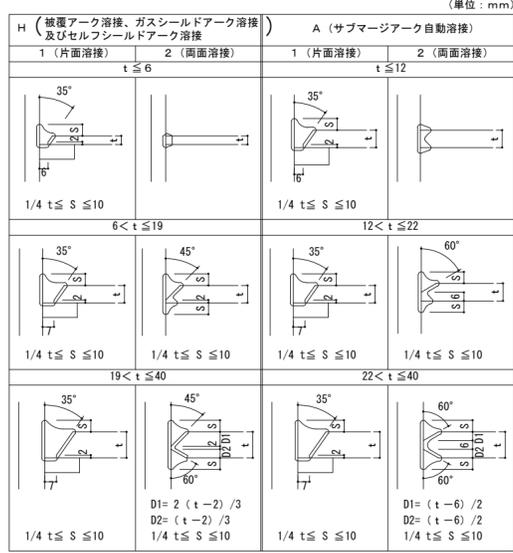
※1 千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

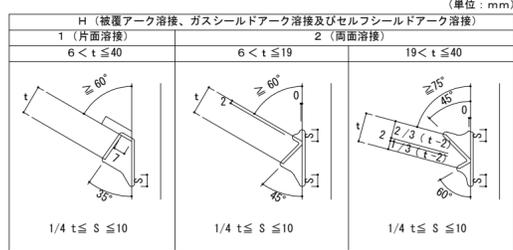
突合せ継手の開先標準



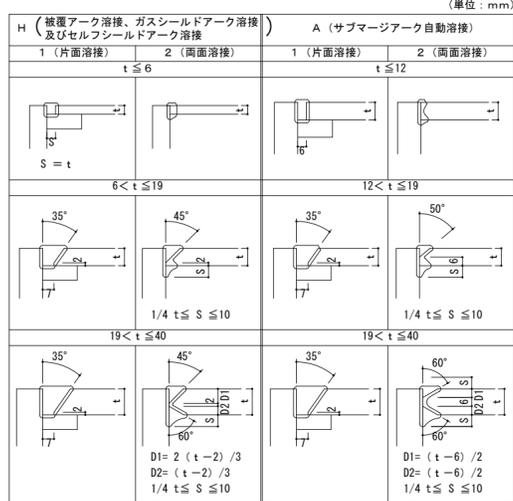
T型継手の開先標準



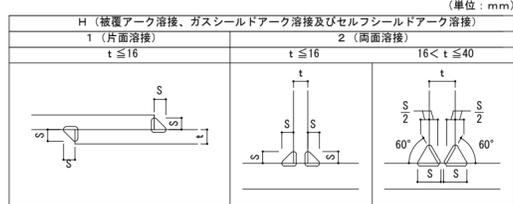
部材が直交しない場合の開先標準



かど継手の開先標準



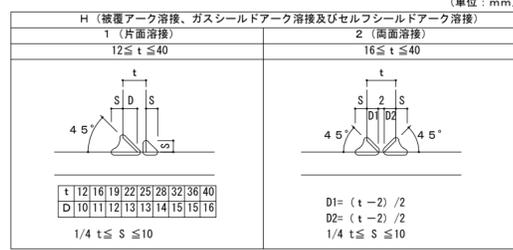
隅肉溶接の開先標準



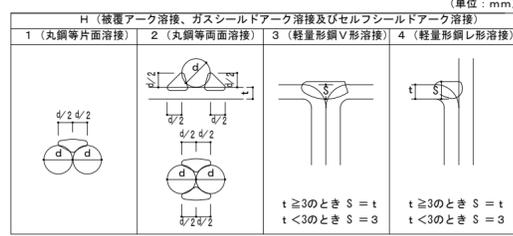
隅肉溶接のサイズ

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	6	7	8	9	10	10	11	12	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接の開先標準

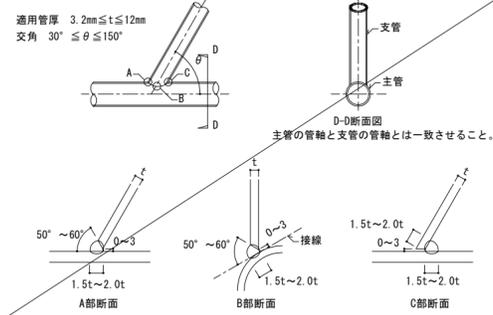


フレア溶接の開先標準



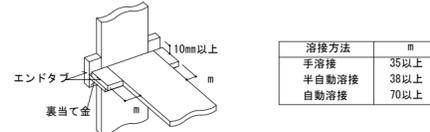
1-3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。



1-4 鉄骨溶接施工

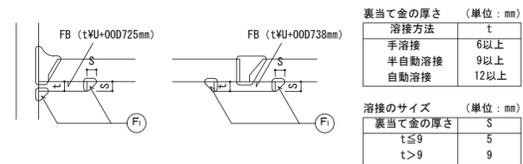
(a) フィラープレートの鋼材種別はSS400とする。
(b) エンドタブ
(1) エンドタブの形状は母材と同厚・開先のものとする。
(2) エンドタブ・裏当て金・スライズプレートの鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。



溶接方法	m
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

(c) 裏当て金

(1) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
(2) 完全溶込み位置溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。

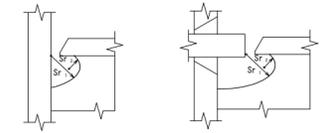


裏当て金の厚さ (単位: mm)	溶接方法	t
手溶接	6以上	t
半自動溶接	9以上	9以上
自動溶接	12以上	12以上

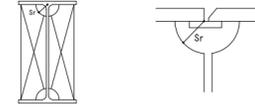
溶接のサイズ (単位: mm)	裏当て金の厚さ s
t ≤ 9	5
t > 9	9

(d) スクラップ改良型スクラップ

(1) スクラップ半径Srは35mmとする。Srは10mmとする。
(2) スクラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

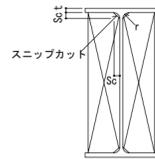


従来型スクラップ
①スクラップ半径Srは35mmとする。



(e) スニップカット

(1) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



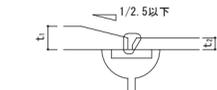
スニップカットの寸法

(i) ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2tより求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(f) 溶接部分の段差

(1) 完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合

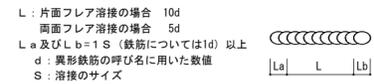


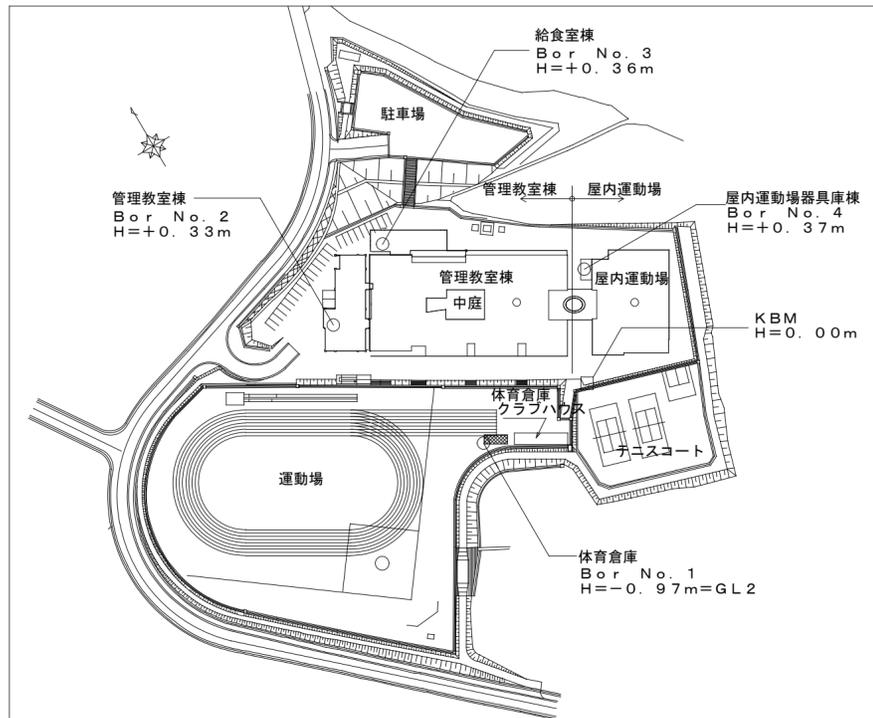
(g) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス開温度 (°C)
400級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490級鋼	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm ² 以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGW-50W, 50P	30以下	250以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	40以下	350以下
520級鋼	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
400級STKR, BCR及びBCP	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
490級STKR, 及びBCP	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下

1-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

(a) 鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合は下記による。
(b) 有効溶接長さ(L)は、ビードの始点(La)及びクレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。

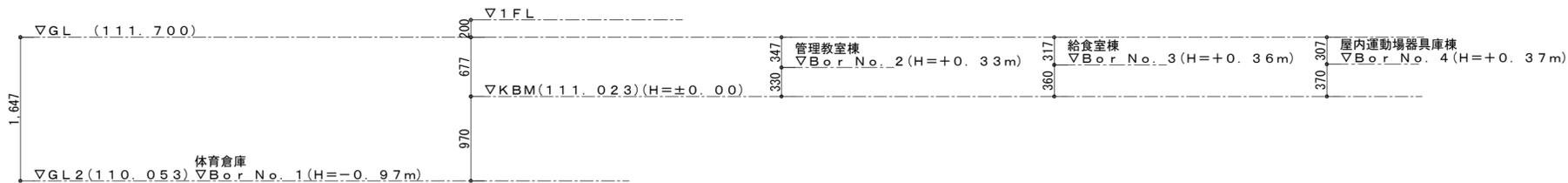




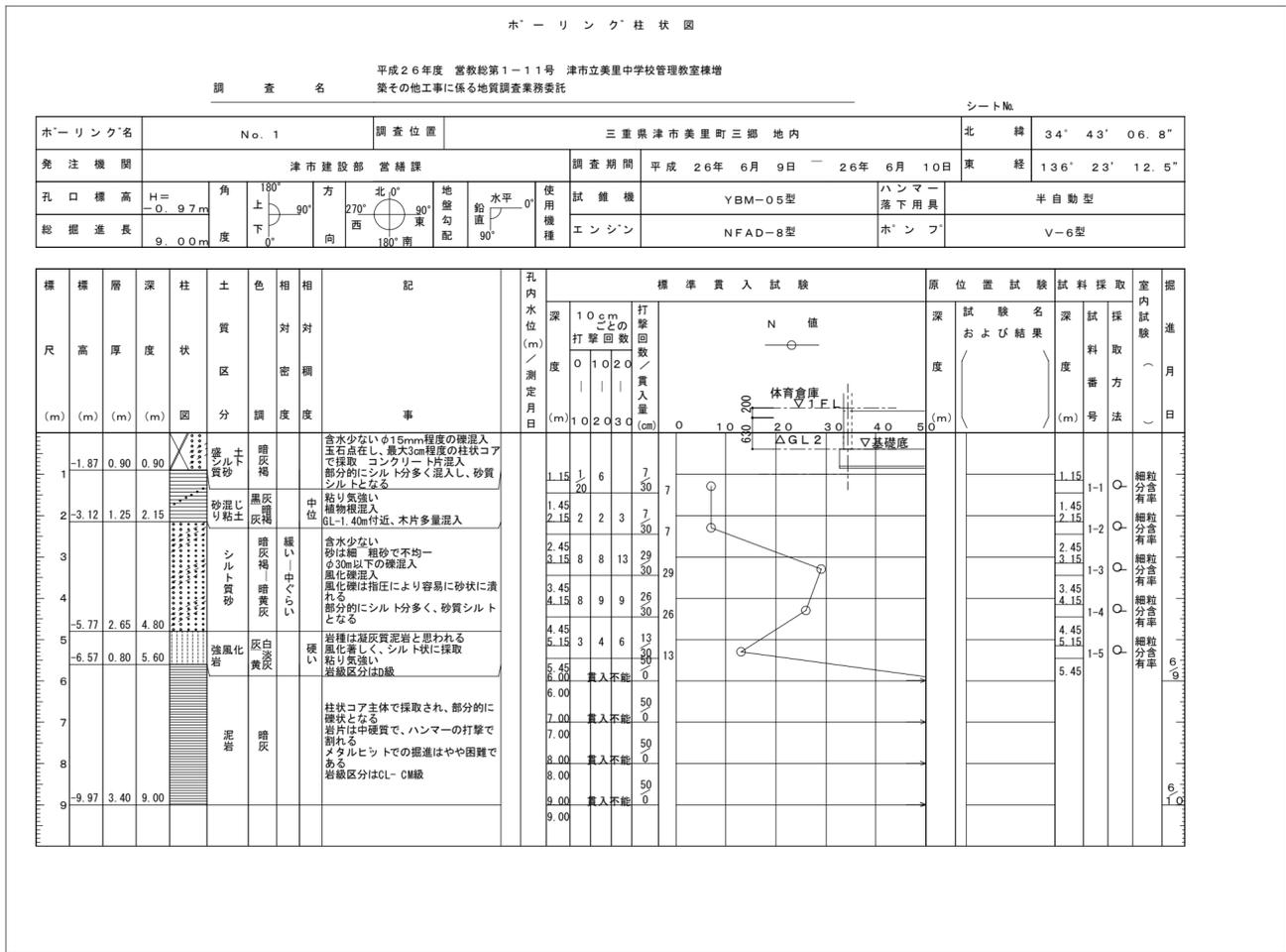
ボーリング位置図 S=1/2000

住所：三重県津市美里町三郷84

レベル関係図 S=1/50



使用材料
(体育倉庫)
コンクリート Fc21+S
鉄筋 SD295A (D16以下)
" SD345 (D19~D25)
「+S」は、温度補正を示す。



月	日	月	日
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

株式会社 **市川三千男総合設計**
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

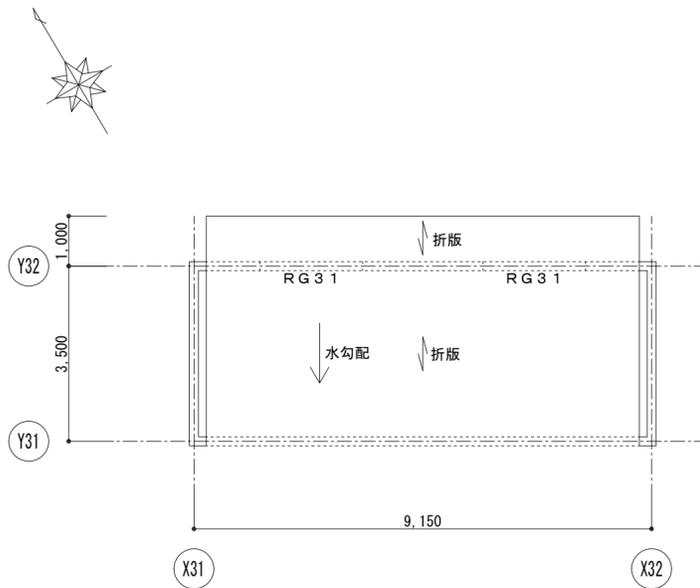
設計
 一級建築士 第331882号 吉田 明義
 一級建築士 第93977号 市川 司
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号
縮尺
A2 1/2000.1/50
原図 A2
年月日

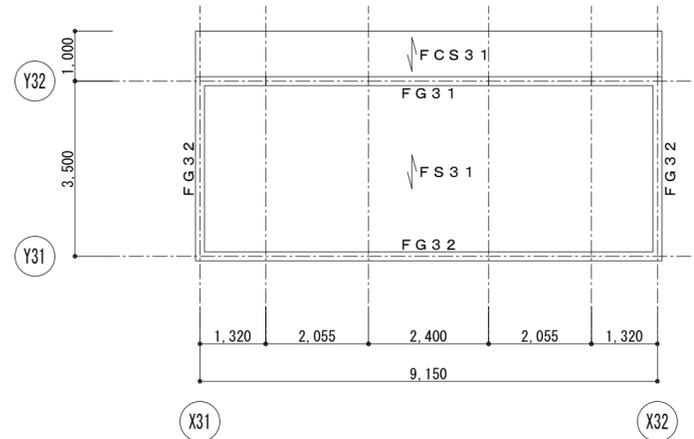
美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
プールその他建築工事

ボーリング位置図・ボーリング柱状図

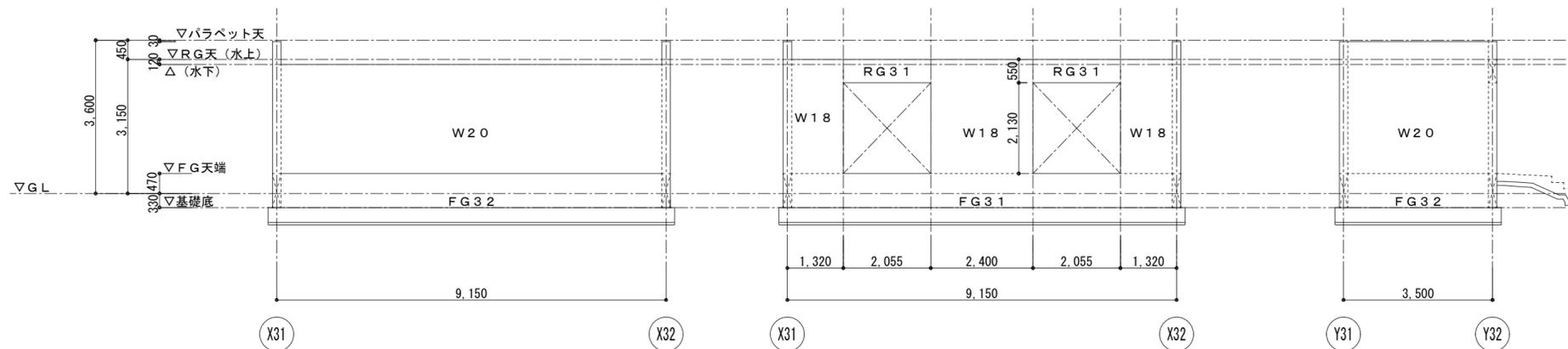
NO. K-06



屋根伏図 1/100



基礎伏図 1/100



Y31通り 軸組図 1/100

Y32通り 軸組図 1/100

X31・X32通り 軸組図 1/100

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

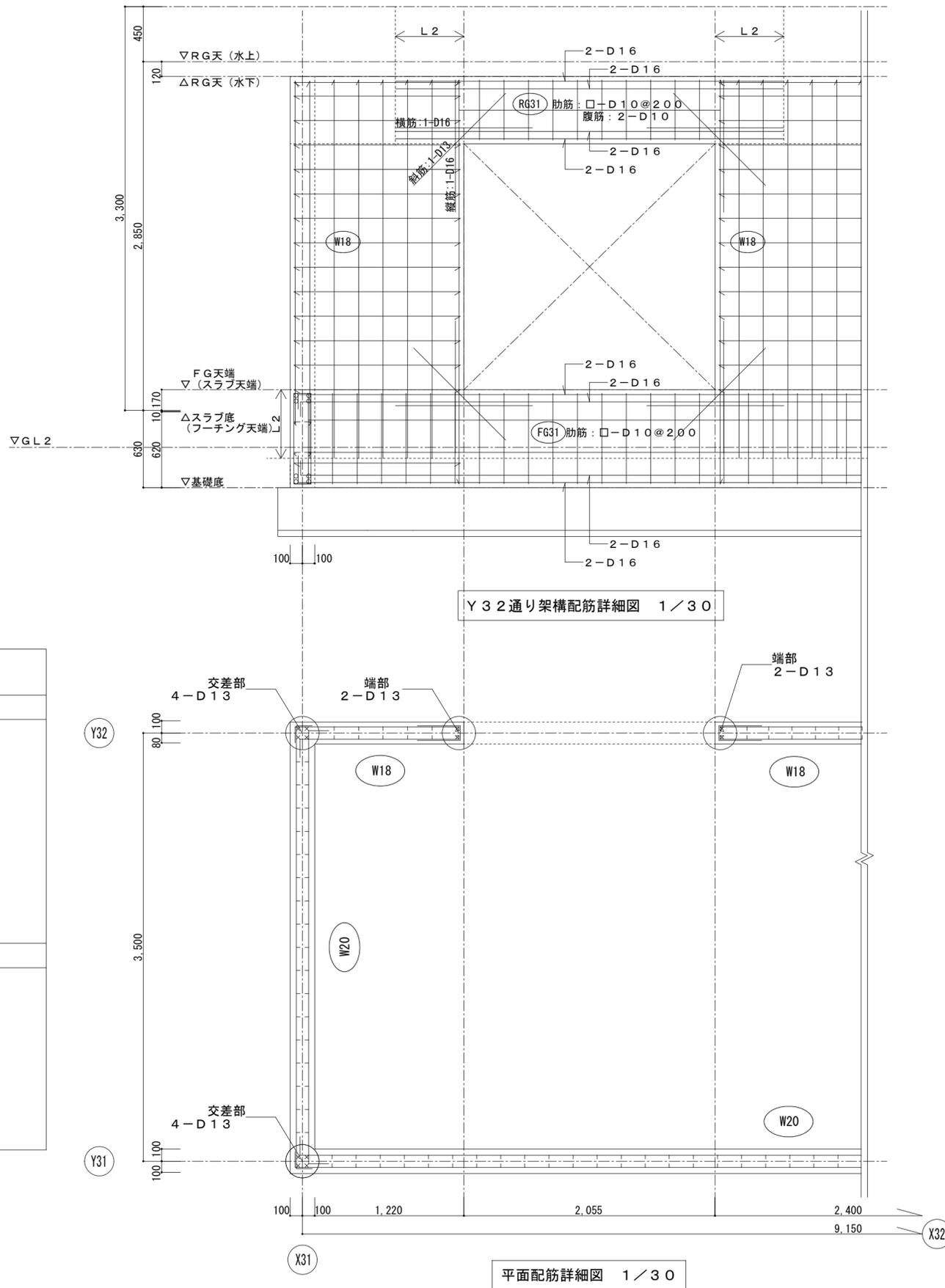
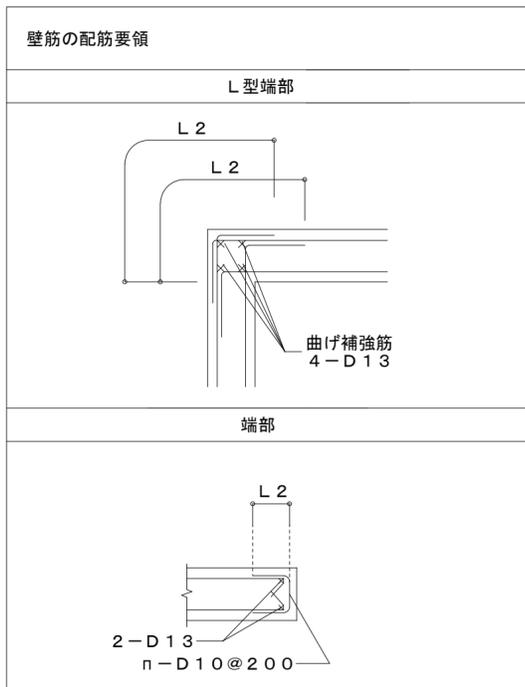
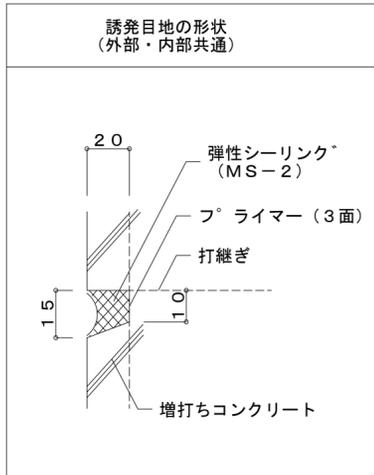
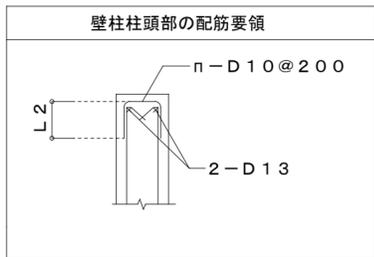
設計
 一級建築士 第331882号 吉田 明義
 一級建築士 第93977号 市川 司
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号
 年月日

縮尺
 A2 1/100
 原図 A2

美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 体育倉庫 伏図・軸組図

No. K-07



R階

全断面	RG31
	寸法 180 x 550
	上端筋 4-D16
	下端筋 4-D16
	肋筋 □-D13@200
腹筋 2-D10	

地中梁リスト 1/30 幅止め筋はD10@1,000とする。

1階

全断面	FG31
	寸法 180 x 800
	上端筋 4-D16
	下端筋 4-D16
	肋筋 □-D13@200
腹筋 4-D10	
備考 -	

全断面	FG32
	寸法 200 x 800
	上端筋 4-D16
	下端筋 4-D16
	肋筋 □-D13@200
腹筋 4-D10	
備考 -	

スラブリスト 1/30

	スラブ厚	位置	短辺方向		長辺方向	
			端部	中央	端部	中央
FS31	180	上端筋	D13+D10-@200	←	D10-@200	←
		下端筋	D10-@200	←	D10-@200	←
FCS31	元:180 先:180	上端筋	D13+D10-@200	←	D10-@200	←
		下端筋	D10-@200	←	D10-@200	←

壁リスト 1/30 幅止め筋はD10@1,000とする。

	壁厚 (t)	縦筋	横筋	開口補強筋		
				タテ	ヨコ	ナナメ
W18	180	D13-@200(ダブル)	D10-@200(ダブル)	1-D16	1-D16	1-D13
W20	200	D13-@200(ダブル)	D10-@200(ダブル)	-	-	-

月・日	月・日
.	.
.	.
.	.

株式会社 **市川三千男総合設計**
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL(059)222-0092 FAX(059)222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計
 一級建築士 第331882号 吉田 明義
 一級建築士 第93977号 市川 司
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号
 縮尺 A2 1/30
 年月日
 原図 A2

美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 体育倉庫 配筋詳細図・部材リスト

No. K-08

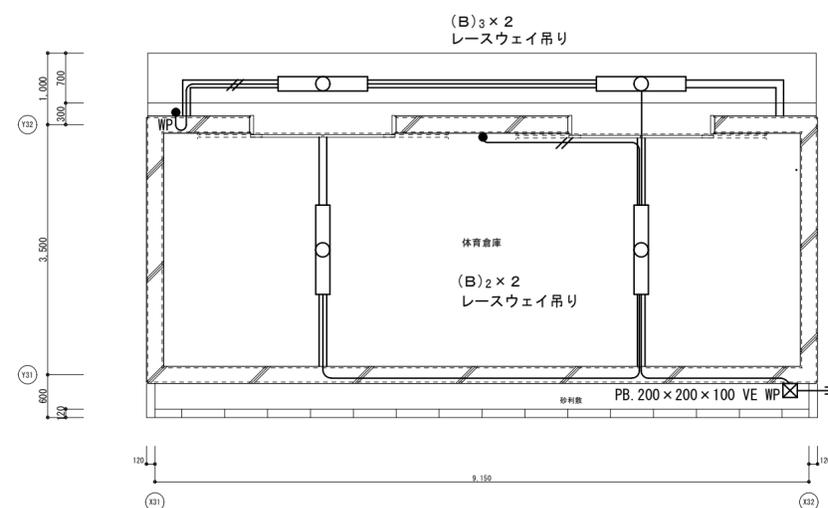


照明器具姿図

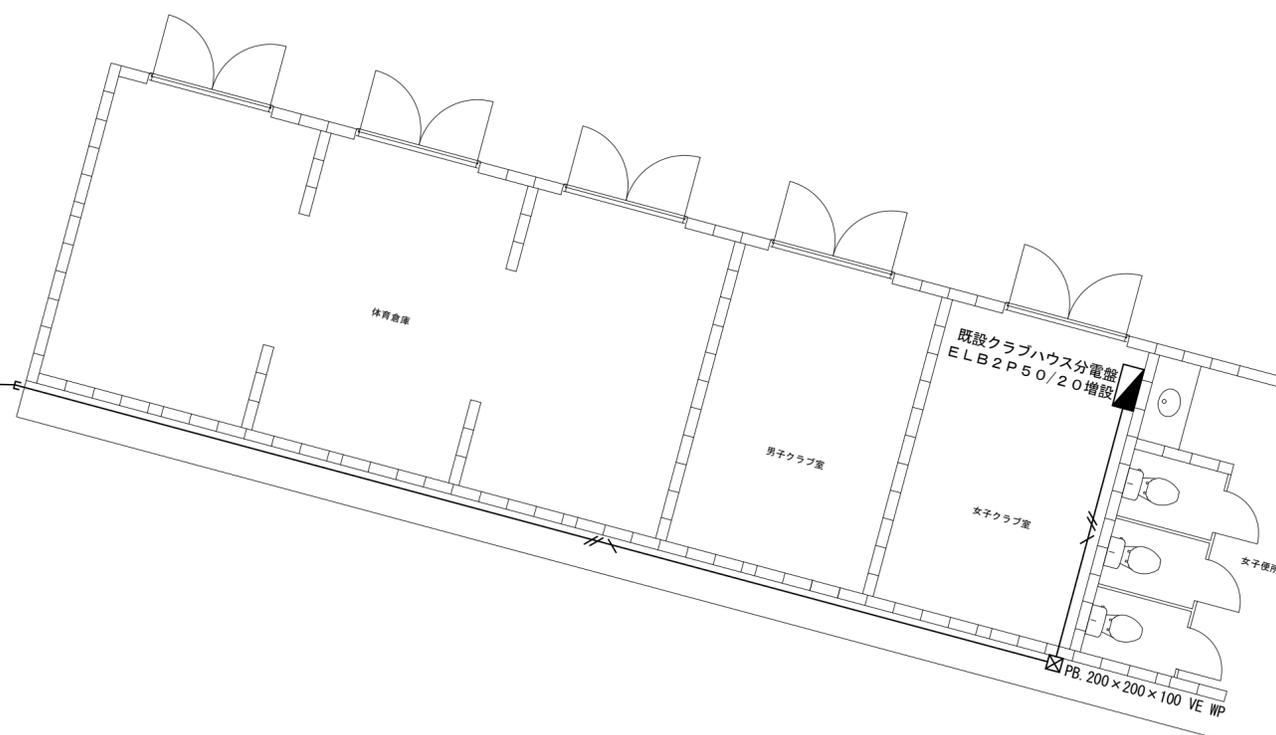
(B)2	LED直付型40形定格出力相当反射笠付
(B)3	LED直付型40形定格出力相当反射笠付 防雨型



参考型番: XLX420KENC LE9
参考型番: XLW422KEN LE9



EM-CE2.0-3C メッセン吊り



体育倉庫平面図 S=1:70

注記. 1 図中記入なき配線配管サイズは下記とする。

———	EM-EEF2.0-3C	(PF28)
———	EM-EEF2.0-2C	(PF28)
———	EM-CE2.0-3C	(E25)
●	スイッチ 片切	
●WP	スイッチ 片切 防水 防雨ガードプレート(鍵付き) 共	

月	日	月	日
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

株式会社 市川三千男総合設計
 三重県津市阿漕町津興1358-2 TEL.(059)222-0092 FAX.(059)222-0659
 一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計
 整理番号
 縮尺 1/70
 年月日
 原図A2

美里地域施設一体型小中一貫校整備に伴う
 プールその他建築工事
 体育倉庫 平面図

NO. TE-02